

2 0 1 9 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 恵泉会

- 目 次 -

① 恵泉会法人本部	1	～	8	ページ
② 障害者支援施設若草園	9	～	13	ページ
③ 障害者支援施設若生園	14	～	18	ページ
④ 生活介護事業所パルめぐみ	19	～	24	ページ
⑤ 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所	25	～	32	ページ
⑥ 恵泉会地域生活支援センター	33	～	36	ページ
⑦ 多機能型事業所若葉園	37	～	41	ページ
⑧ 就労継続支援B型さくらワークス	42	～	45	ページ
⑨ 登米市児童発達支援センターこじか園	46	～	53	ページ
⑩ 南方保育所	54	～	57	ページ
⑪ 事業所内保育所キッズつぼみ	58	～	61	ページ
⑫ 特別養護老人ホーム光風園	62	～	67	ページ
⑬ 特別養護老人ホーム松風園	68	～	73	ページ
⑭ 豊里デイサービスセンター百楽荘	74	～	78	ページ
⑮ 特別養護老人ホーム萩風園	79	～	82	ページ
⑯ 中田デイサービスセンター菊風荘	83	～	86	ページ
⑰ 特別養護老人ホーム迫風園	87	～	92	ページ
⑱ 迫デイサービスセンター翠風荘	93	～	99	ページ
⑲ 特別養護老人ホーム南風園	100	～	105	ページ
⑳ 南方デイサービスセンター南寿荘	106	～	109	ページ
㉑ 地域密着型特別養護老人ホーム東和	110	～	114	ページ
㉒ 東和高齢者福祉施設デイサービス	115	～	119	ページ
㉓ 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	120	～	122	ページ
㉔ 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷	123	～	127	ページ
㉕ 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷	128	～	132	ページ
㉖ 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘	133	～	137	ページ
㉗ 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか	138	～	142	ページ
㉘ 恵泉会ヘルパーステーション	143	～	145	ページ
㉙ 恵泉会介護支援センターいきいき	146	～	149	ページ
㉚ 恵泉会介護支援センターらくらく	150	～	153	ページ
㉛ 恵泉会東和介護支援センター	154	～	157	ページ
㉜ 恵泉会とよま介護支援センター	158	～	161	ページ
㉝ 登米市迫地域包括支援センター	162	～	165	ページ
㉞ 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと	166	～	168	ページ
【施設整備関係】				
㉟ 恵泉会若生園居住棟新築事業報告	169	～	170	ページ
㊱ 特別養護老人ホーム萩風園ロボット等介護機器導入支援事業報告			171	ページ
【事故報告関係】				
㊲ ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告			172	ページ

2019年度 恵泉会法人本部 事業報告

【 概 況 】

1. 基本理念の実現に向けた取り組み

社会福祉諸制度をめぐる大きな変革の中、当法人の役職員が、社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、法人の基本理念を指標にして利用者・地域社会に施設・事業所の姿勢を表明することに努めた。

2. 利用者のサービス向上に向けた取り組み

福祉サービスの提供にあたっては、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、「利用者には選ばれるサービスとは何か」「望まれるサービスの質とは何か」「利用者本位のサービスとは何か」を常に念頭に置き、利用者のサービス向上に向けた各種の取り組みを行った。

- (1) 各施設・事業所において、サービス自己評価及び恵泉会第三者委員による評価を実施し、抽出された要改善事項について十分検討し、改善に努めた。
- (2) 各施設・事業所の苦情解決責任者及び恵泉会第三者委員出席のもと、苦情処理・サービス向上委員会を開催し、平成30年度に発生した苦情・介護事故等の分析・検討を行い、提供するサービスの質の向上を図った。
- (3) 情報開示、広報活動の取り組みとして、恵泉会会報誌(1回)を発行した。また、法人の公益性と経営の透明性を高めるため、情報公開の手段としてワムネット(財務諸表等電子開示システム)とホームページを活用し、恵泉会基本理念や財務諸表、事業報告書、監事監査報告書等を公表した。
- (4) サービスの質の向上のために、恵泉会職員研修大会をはじめ、職員の意識改革に取り組む研修や会議等を行った。

3. 経営管理における取り組み

経営管理においては、各種事業でのプラスの収支差額を目標とし、經常活動による事業で獲得した収支差額の範囲内で、施設整備等による計画を樹立することに努めた。

- (1) 2019年度に計画された施設整備、設備整備、高額物品の取得等については、複数者による見積合わせを実施し、執行額の削減に努めた。
- (2) 日常要する経費については、漫然と延長的に捉えるのではなく、無駄を排除し、共同購入を推進するなど、効率性の追求に努めた。
- (3) 電気代の削減を目的として、各施設・事業所において照明器具のLED化を実施した。また、2019年度内に新電力への切り替え作業を進め、2020年4月1日から法人内の15拠点で新電力に移行した。

4. 働き方改革に対する取り組み

国の働き方改革に対する取り組みとして、恵泉会で働く職員一人ひとりが、より良い将来の展望を持ち、働く意欲・能力を存分に発揮できるような職場環境の構築に努めた。

- (1) 同一労働・同一賃金の理念のもと、准職員制度を廃止して正職員に組み込むため職員就業規則や職員給与支給規程など、働き方改革に関連する各種規則・規程を改正した(2020年4月1日施行)。
- (2) 年10日以上年次有給休暇を付与する職員に対して、年5日の確実な年次有給休暇取得を推進した。
- (3) 労働生産性の向上と長時間労働の是正のため、各特別養護老人ホームに介護ロボットを導入するなど、業務プロセスの見直しや仕事の効率化を図った。

5. 職員の経営参加に対する取り組み

職員の経営参加を積極的に推進し、各種計画の立案に際して広く職員から提案を求め、集約する体制作りに努めた。また、法人内各事業間の連携を意識して広い見地から計画を練るため、統括施設長・施設長・管理者が参加する経営者会議を延べ5回開催した。

6. 職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

平成30年度に実施した「管理職育成研修」及び「中核職員研修」で得た知識と成果を基本とし、法人の今後の在り方や現在直面する課題において、より実務的にアプローチするための経営企画チームを形成し、取り組みを進めた。

また、資格種類や役職、経験年数に応じた基礎的・専門的知識と素養を身に付けた人材を養成するため、職員研修計画に基づく各種研修や職種毎の専門部会等を実施した。

7. 地域貢献事業の取り組み

法人が持つ人的資源や物的資源、これまで培ってきた知識や技術などを活用し、多様化・複雑化する福祉ニーズを充足させる地域貢献事業に積極的に取り組んだ。

- 1) 講師等派遣事業の実施
- 2) 社会福祉法人による利用者負担軽減対策事業の実施
- 3) オレンジカフェ(認知症カフェ)の実施

8. 恵泉会介護職員初任者研修の実施

働きながら介護の基礎を学び、仕事の原理・原則、基本を身につけ、研修終了後も資格取得や専門性の更なる向上に自ら取り組める土台形成を目的として、恵泉会介護職員初任者研修を開講し、2019年度は11名が研修を修了した。

【行事・研修・会議・委員会等】

1. 行事

(1) 会務

年月日	内 容
H31.04.01	辞令交付式
H31.04.15	辞令交付式
H31.04.19	若生園居住棟新築工事完成検査(若生園居住棟)
H31.04.26	恵泉会役員・評議員による若生園居住棟見学会
R1.05.08	法人監事・公認会計士による決算監査事前打合せ
R1.05.14	宮城県障害福祉課による平成30年度社会福祉施設等施設整備事業現地確認(若生園居住棟)
R1.05.20	辞令交付式
R1.05.27	若生園居住棟新築残工事検査(若生園居住棟)
R1.05.31	辞令交付式
R1.06.02	恵泉会介護職員初任者研修開講式(迫風園)受講者11名
R1.06.13	高齢・障害・求職者雇用支援機構による障害者雇用納付金等に関する調査
R1.06.18	宮城県東部県税事務所による若生園居住棟建物確認(若生園居住棟)
R1.06.21	登米地域パートナーシップ会議(登米総合産業高校)
R1.06.28	登米市就職ガイダンス(登米総合体育館)
R1.07.01	辞令交付式
R1.07.01	辞令交付式
R1.08.02	ハローワーク迫による事業所ヒアリング調査(介護職等の特定職種求人状況調査)
R1.08.29	令和元年度定年退職者再雇用説明会(対象4名)
R1.09.02	辞令交付式
R1.10.05	恵泉会介護職員初任者研修閉講式(迫風園)修了者11名
R1.10.14	第30回恵泉会福祉旗登米市招待少年野球大会(光ヶ丘球場・大東球場)11チーム参加
R1.10.29	萩風園汚水系統改修工事完成検査(萩風園) 南風園放流ポンプ槽改修工事完成検査(南風園)
R1.11.01	辞令交付式
R1.11.27	若草園・若生園配置医師に関する打合せ(宮城県自治会館)
R1.12.27	仕事納め
R2.01.06	辞令交付式
R2.01.06	仕事始め
R2.03.18	登米市迫地域包括支援センター運営事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎) 登米市委託事業(支援ハウス・生きがいデイサービス)見積合わせ(登米市南方庁舎)
R2.03.23	登米市障害者相談支援事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎)
R2.03.31	辞令交付式

(2)採用・登用関係

年月日	内 容
H31.04.22	職員採用試験(随時試験-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H31.04.26	職員採用試験(随時試験-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R1.05.17	職員採用試験(随時試験-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R1.08.23	職員採用試験(随時試験-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R1.09.02	令和2年4月1日付け職員採用一次試験(介護職員・保育士)〈書類審査〉受験者4名
R1.09.09	令和2年4月1日付け職員採用二次試験(介護職員・保育士)〈筆記試験・人物審査〉受験者4名 令和2年4月1日付け職員採用二次試験(介護職員・保育士)合否判定会議
R1.09.20	令和2年4月1日付け職員採用試験(高校新卒の部-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者3名 令和2年4月1日付け職員採用試験(高校新卒の部-介護職員)合否判定会議
R1.10.23	職員採用試験(随時試験-介護職員・保育士)〈筆記試験・人物審査〉受験者2名
R1.12.06	令和2年4月1日付け職員採用試験(作業療法士・保育士)〈筆記試験・人物審査〉受験者2名
R1.12.09	職員採用試験(随時試験-保育士)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R1.12.18	職員採用試験(随時試験-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R2.01.16	准職員登用一次試験〈書類選考〉受験者6名 正職員登用一次試験〈書類選考〉受験者23名
R2.01.20	令和2年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R2.01.24	准職員登用二次試験〈人物審査〉受験者6名 准職員登用試験合否判定会議
R2.01.27	正職員登用二次試験〈人物審査〉受験者20名
R2.01.31	正職員登用試験合否判定会議 令和2年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R2.03.04	令和2年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R2.03.09	令和2年4月1日付け採用職員入職説明会(在宅サービス支援棟)新規採用職員10名参加
R2.03.17	令和2年4月1日付け職員採用試験(介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R2.03.18	令和2年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R2.03.23	令和2年4月1日付け職員採用試験(介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者2名

2. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.15	人事考課者研修	理事長 常務理事 参事	対象職員9名
R1.06.19	新任職員研修	理事長 常務理事 参事 迫風園施設長	対象職員17名
R1.06.27	新任職員研修	前理事長 常務理事 参事 迫風園施設長	対象職員16名
R1.10.18	第40回恵泉会職員研修大会 ○講演「人生が500倍おもしろくなる思考力・妄想力」～あなたの仕事はなぜつまらないのか。AI時代の思考と行動～	音楽プロデューサー メンタルコーチ・著述家 中脇雅裕氏	恵泉会役職員等 155名
R2.02.18	フォローアップ研修	理事長 迫風園施設長	対象職員19名
R2.03.03	フォローアップ研修	理事長 迫風園施設長	対象職員17名
随時	管理職育成コンサルマネジメントミーティング 全3回	ウエルフェア・J・ユナイテッド 専務取締役 鈴木真一氏	対象職員29名
随時	恵泉会経営企画チーム 全10回	ウエルフェア・J・ユナイテッド 専務取締役 鈴木真一氏	対象職員8名
随時	ケアマネージャー試験対策講習会 全13回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ20名
随時	介護福祉士筆記試験対策講習会 全16回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ49名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R1.05.08	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R1.05.23	安全運転管理者法定講習	宮城県公安委員会	登米市	参事
R1.06.06	宮城県社会福祉法人経営者協議会 定期総会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R1.07.30	都道府県経営協セミナー研修会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	参事
R1.08.30	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
R1.09.10	クラウド説明会	日本事務器株式 会社	仙台市	常務理事
R1.09.10	軽減税率制度説明会	佐沼税務署	登米市	主任
R1.11.21	福祉サービスの苦情解決に関する研 修会(第三者委員対象)	宮城県社会福祉 協議会	仙台市	第三者委員
R1.11.21	年末調整説明会	佐沼税務署	登米市	主任
R2.02.10	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事

3. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 数	参 加 者
経営者会議	施設・事業所経営に関する検討、その他	5回	理事長・常務理事 参事・統括施設長 施設長・管理者・法人本部

(2) 理事会

開 催 日	内 容
H31.04.03	第1回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) 決議事項 2019年度 恵泉会収支補正予算(第1号)について審議
R1.06.10	第2回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) 決議事項 平成30年度 恵泉会事業報告及び収支決算の承認について審議 監査報告 定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議 新役員(理事・監事)について審議 2019年度迫デイサービスセンター翠風荘事業計画の変更について審議 2019年度恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘事業計画の変更について審議 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告) 寄付金の報告について
R1.06.26	第3回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 理事長の互選について審議 常務理事の互選について審議
R1.07.08	第4回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 2019年度 恵泉会収支補正予算(第2号)について審議 業績手当の支給について審議 社会福祉法人恵泉会役員等の報酬及び旅費に関する取扱規程(内規)の制定について審議

R1.09.25	<p>第5回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項 社会福祉法人恵泉会臨時職員就業規則の一部改正について審議</p> <p>報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)</p>
R1.12.02	<p>第6回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項 恵泉会経理規程の一部改正について審議 2019年度 恵泉会収支補正予算(第3号)について審議 業績手当の支給について審議</p> <p>報告事項 中間監査の報告について 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 寄付金の報告について</p>
R1.12.17	<p>第7回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>協議事項 働き方改革について(同一労働同一賃金の考えによる諸規則の改正について協議)</p>
R2.02.05	<p>第8回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の全部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の全部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員服務規程の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会再雇用職員就業規則の全部改正について審議 社会福祉法人恵泉会臨時職員就業規則の全部改正について審議 社会福祉法人恵泉会准職員給与支給規程の廃止について審議 業績手当の支給について審議 恵泉会各施設・事業所給食業務委託の更新について審議</p> <p>報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)</p>
R2.03.05	<p>第9回 (出席者:理事5名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項 令和2年度 恵泉会各種事業計画及び収支予算について審議 社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の全部改正(給料表)について審議 働き方改革に伴う職員への周知について審議</p>
R2.03.13	<p>第10回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項 業績手当の支給について審議 2019年度 恵泉会収支補正予算(第4号)について審議 施設長等の任免及び配置換えについて審議</p>
R2.03.26	<p>第11回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項 2019年度 恵泉会収支補正予算(第5号)について審議 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会臨時職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職級、職階制度規則の全部改正について審議 社会福祉法人恵泉会昇給取扱規程の廃止について審議 社会福祉法人恵泉会経理規程の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会非常勤登録ホームヘルパー就業規則の廃止について審議</p>

(3) 評議員会

開催日	内 容
R1.06.24	定時評議員会 (出席者:評議員9名/9名 理事8名/8名 監事3名/3名) 報告事項 平成30年度恵泉会事業報告について 平成30年度恵泉会会計決算(計算関係書類及び財産目録)について 平成30年度県指導監査の指摘事項及び改善状況について 決議事項 理事の選任について審議 監事の選任について審議

(4) 監査会

実施日	実施施設・事業所	監査員等
【平成30年度決算監査】		
R1.05.13	ほたるの郷 こじか園	恵泉会監事
R1.05.14	迫風園・翠風荘	〃
R1.05.16	光風園・ゆりの郷	〃
R1.05.17	南風園・南寿荘	〃
R1.05.20	若草園・若生園・さくらワークス・若葉園	〃
R1.05.22	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 遠山荘 恵はあと キッズつぼみ	〃
R1.05.23	松風園・百楽荘	〃
R1.05.24	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
R1.05.27	恵泉会地域生活支援センター パルめぐみ 南方保育所	〃
R1.05.28	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション	〃
R1.05.30	法人本部・取りまとめ	〃

実施日	実施施設・事業所	監査員等
【2019年度中間監査】		
R1.11.06	松風園・百楽荘	恵泉会監事
R1.11.07	迫風園・翠風荘	〃
R1.11.08	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 遠山荘 恵はあと キッズつぼみ	〃
R1.11.11	南風園・南寿荘	〃
R1.11.12	光風園・ゆりの郷	〃
R1.11.13	ほたるの郷 こじか園	〃

R1.11.15	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション	恵泉会監事
R1.11.18	若草園・若生園・さくらワークス・若葉園	〃
R1.11.21	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
R1.11.25	恵泉会地域生活支援センター パルめぐみ 南方保育所	〃
R1.11.26	法人本部・取りまとめ	〃

(5) 会計監査人監査

開催日	内 容	実施拠点区分	会 計 監 査 人
H31.04.17	あすの監査法人による監査 平成30年度会計監査人監査(第4回)	法人本部	あすの監査法人 公認会計士
H31.04.18			
R1.05.07	あすの監査法人による監査 平成30年度会計監査人監査(第5回)	法人本部	〃
R1.05.08			
R1.05.09			
R1.09.05	あすの監査法人による監査 2019年度会計監査人監査(第1回)	法人本部	〃
R1.09.06			
R1.10.24	あすの監査法人による監査 2019年度会計監査人監査(第2回)	キッズつぼみ 恵はあと・遠山荘	〃
R1.10.25		法人本部	
R1.12.19	あすの監査法人による監査 2019年度会計監査人監査(第3回)	光風園 ゆりの郷	〃
R1.12.20		法人本部	

(6) 入札会

開催日	件名	立会人(役職名等)
無		

(7) 各種工事等打合せ

開催日	内 容	場 所	出 席 者
【萩風園汚水系統改修工事】			
R1.08.05	第1回工事打合せ	萩風園	常務理事 参事・主任
【南風園放流ポンプ槽改修工事】			
R1.09.19	第1回工事打合せ	南風園 在宅サービス支援棟	常務理事 参事・主任
R1.10.08	第2回工事打合せ		

(8) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
随時	障害事業施設長等会議(全10回)	在宅サービス支援棟	参事 他、障害サービス事業施設長

4. 委員会開催状況

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R1.06.03	第1回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部3名
R1.06.03	国家資格取得対策委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事・松風園施設長 迫風園施設長・南風園施設長 委員2名
R1.06.04	第1回地震防災対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 委員18名・法人本部2名
R1.06.13	第1回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 グループホーム施設長 迫風園施設長・法人本部1名
R1.07.02	第2回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 グループホーム施設長 迫風園施設長・法人本部1名
R1.07.25	第1回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 グループホーム施設長 委員14名・法人本部1名
R1.08.22	第3回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 グループホーム施設長 法人本部1名
R1.08.28	第2回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員13名・法人本部2名
R1.09.19	第3回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員14名・法人本部2名
R1.09.27	苦情処理・サービス向上委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 第三者委員3名 委員18名・法人本部3名
R1.10.07	第4回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員14名・法人本部2名
R2.01.14	第2回地震防災対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 委員15名・法人本部2名
R2.01.16	第4回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 グループホーム施設長 迫風園施設長・法人本部1名

5. 各種サービス評価実施状況

実施日	実 施 施 設	評 価 員 等
【2019年度施設サービス評価】		
R1.11.19	松風園・百楽荘	恵泉会第三者委員
R1.11.22	ほたるの郷・こじか園	〃
R1.11.25	若草園・若葉園・若生園・さくらワークス	〃
R1.12.03	光風園・ゆりの郷・遠山荘・キッズつぼみ	〃
R1.12.04	迫風園・翠風荘・南風園・南寿荘	〃
R1.12.10	萩風園・菊風荘・恵泉会グループホーム	〃
R1.12.11	東和高齢者福祉施設・ほんわか	〃
R1.12.12	南方保育所・パルめぐみ・取りまとめ	〃

2019年度 障害者支援施設若草園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字町裏120番地1
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成23年 4月 1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
生活介護・施設入所支援	60 名
短期入所	4 名
計	64 名

【 基 本 方 針 】

恵泉会の基本理念並びに、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所」と「生活介護」の事業を一体的に行う障害者支援施設として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権の尊重を基本とし、その人がその人らしく充実した生活を安心・安全に営むことができるよう支援しました。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携・協働し、法令遵守もと、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、健全な運営に努めるようにしました。また、地域で生活している障害(児)者や家族の福祉ニーズの把握に努め、多様な福祉サービスの機会に応えるべく、施設機能と専門性を活かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たしました。

【 重 点 項 目 】

・高齢等による身体機能低下や病状の進行などにより、日常生活動作のリスクが高くなるとともに、医療的な支援を必要とされる方が多くなりました。また、情緒面が落ち着かない方も多く、それに応じて入院される方も多くなりました。疾病を抱えた利用者やそのご家族のニーズを確認し、そのニーズにできる限り対応し、併せて医療機関との連携をこれまで以上に深めながら支援をおこない、生活の質を維持出来るようにしました。

・利用者の高齢化が進む一方、障害の影響により若年齢から心身の機能低下や様々な生活習慣病、認知症のリスクも考えられることから、常に身体・行動変化の確認・記録を行い、専門職員・医療機関との連携の他、ご家族への報告も密にしました。また、個々の身体状況の変化に対し、適した方法で支援できるよう都度話し合いを持ち、支援方法を変更し対応しました。

・衛生面の向上を目指し、今年度から午後の時間帯に毎日の入浴を実施しました。利用者によっては毎日の入浴を希望しない方もいましたので、その場合には本人の希望を尊重しました。入浴によって、清潔保持の他、肌の疾患や外傷などの早期発見することが出来ました。一方で、前年度から職員が減になったことも相まって、利用者が楽しみにされている外出の機会が減少してしまい、利用者のストレス発散がうまくいかなくなってしまうこともありました。

・地域で生活されている障害(児)者の方々が、生活サイクルの安定及び情緒面の安定を図るため短期入所・日中一時支援をご利用される方が多い状況でした。これまで同様、ご家族の介護負担軽減を目的に利用されるご家族もおり、地域生活を営む上でのセーフティーネットとしての役割を果たすよう努力しました。

・世界遺産「米川の水かぶり」に代表される地域の行事や、地域の学校行事への参加を積極的におこない、地域に根ざす施設として地域交流を深めました。

・利用者に安心・安全なサービスを提供するため、職員間で虐待防止委員会や会議等で障害者虐待防止法の周知や障害者虐待防止策を検討し、「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、虐待防止に関する基本的支援姿勢の確認と接遇の確認をくり返し行い周知徹底を図りました。接遇に関しては、ご家族へのアンケート結果などを踏まえ、所作及び言動の確認を図りました。

・職員の危機管理意識の向上を目指し、施設整備・防犯用具等(外周センサー・さすまた・防犯カメラ等)を用いた不審者対応訓練を実施しました。

・恵泉会障害(児)者支援ワーキンググループ企画として、障害系事業所職員の接遇研修や外出行事、恵泉会フェスティバルを実施。利用者にとって事業所単位の企画とは違った楽しみを提供することが出来ました。また、他事業所職員との協働などにより知見を深め、さらなる資質を向上する機会となりました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 20,821 名(施設入所支援) 15,451 名(生活介護)
2. 年間稼働率 94.81 %(施設入所支援) 95.38 %(生活介護)
(目標稼働率 97.00 % 97.00 %)
3. 年間平均障害程度区分 区分 4.57 (施設入所支援) 区分 4.59 (生活介護)
4. 月別利用状況

施設入所支援事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	209	212	210	217	208	204	217	210	213	210	232	248	2,590
区分4	678	676	681	703	672	687	669	656	606	592	575	612	7,807
区分5	529	542	536	555	533	536	581	540	548	540	493	527	6,460
区分6	334	341	330	325	293	296	310	327	368	367	332	341	3,964
計	1,750	1,771	1,757	1,800	1,706	1,723	1,777	1,733	1,735	1,709	1,632	1,728	20,821

生活介護事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	154	160	154	161	159	153	161	154	161	159	168	184	1,928
区分4	489	499	487	504	496	484	482	462	435	434	400	431	5,603
区分5	396	411	396	414	406	396	436	396	412	413	357	391	4,824
区分6	255	266	259	253	233	230	244	257	290	288	256	265	3,096
計	1,294	1,336	1,296	1,332	1,294	1,263	1,323	1,269	1,298	1,294	1,181	1,271	15,451

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
退所者数	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	4
月末入所者数	60	60	60	60	58	58	59	59	59	58	58	57	-3

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.4.29	若草園情報交換会	年度当初にあたり、恵泉会障害児者支援共通スローガン「いっしょに」～あなたによりそう「けいせんかい」～に込められた支援姿勢の説明や若草園の年間予定、利用者状況などお知らせした。	利用者 0名 家族 7名 職員 3名
R1.6.21	レクリエーション大会	家族と一緒に体を動かす機会を設定し、和気あいあいと家族との交流を深めて頂いた。	利用者 59名 家族 36名 職員 13名
R1.10.25	恵泉会フェスティバル	楽しい恵泉会・強い恵泉会・頑張る恵泉会を地域にアピール発信した。	利用者 59名 家族 36名 職員 17名
R1.10.30	ハロウィン	ハロウィンを通じて季節を感じて頂き、皆さんで楽しい時間を過ごして頂いた。	利用者 58名 職員 13名
R1.12.24	クリスマス忘年会	クリスマス行事と一年間の労を労い、ボランティアを依頼し、慰問等楽しい時間を過ごして頂いた。	利用者 58名 職員 13名
R2.1.10	新年会	新年を健康で迎えられた事に感謝し、ボランティアを依頼しながら会食し楽しい時間を過ごして頂いた。	利用者 55名 職員 13名
R2.2.3	節分・年祝い	今年は節分・豆まきを行うことで季節感を感じて頂いた。	利用者 58名 職員 13名
R2.2.26	ひなまつり	ひなまつりを通じて季節感を感じて頂き楽しい時間を過ごして頂いた。	利用者 58名 職員 13名

【短期入所事業サービス、他】

1. 年間延べ利用人員 897 名
2. 年間稼働率 61.27 %
(目標稼働率 40.00 %)
3. 年間平均障害程度区分 4.40
4. 月別利用状況【短期入所事業】 (年間延べ利用人員 897 名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	6	4	6	8	4	6	4	8	8	4	6	4	68
区分3	6	5	7	9	8	12	4	5	10	10	9	3	88
区分4	40	34	33	34	44	34	30	39	32	34	29	43	426
区分5	0	7	0	10	11	6	9	7	0	0	0	0	50
区分6	23	28	32	23	18	21	23	26	21	17	19	14	265
計	75	78	78	84	85	79	70	85	71	65	63	64	897

5. その他の障害福祉サービス
月別利用状況【日中一時支援事業】 (年間延べ利用人員 250 名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市	17	17	9	15	12	17	9	13	17	17	16	15	174
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼市	4	6	7	7	3	6	8	7	8	5	6	9	76
計	21	23	16	22	15	23	17	20	25	22	22	24	250

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.4.3	利用者小遣い管理と処理について(勉強会)	生活支援員	職員1名
H31.4.5	新任職員研修	統括施設長	職員1名
H31.4.8	食事介助について(勉強会)	生活支援員	職員1名
H31.4.12	排泄(オムツのあて方・リハビリパンツ交換)介助について(勉強会)	生活支援員	職員1名
H31.4.15	車椅子の移乗について(勉強会)	生活支援員	職員1名
H31.4.16	個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	生活支援員	職員1名
H31.4.16	事故報告の書き方について(勉強会)	生活支援員	職員1名
H31.4.18	コンプライアンスについて	統括施設長	職員10名
H31.4.19	入浴介助について(勉強会)	生活支援員	職員1名
R1.5.16	コンプライアンスについて	統括施設長	職員5名
R1.6.20	食中毒予防について	管理栄養士	職員7名
R1.7.4	仙台NASVA交流会	外部講師	職員3名
R1.7.18	接遇研修	管理者	職員6名
R2.3.12	感染症予防について	看護師	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R1.5.9	第42回定期総会	宮城県知的障害者福祉協会	ホテル白萩	職員1名
R1.5.23	平成31年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	登米市役所南方庁舎	職員1名
R1.6.19	令和元年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	恵泉会在宅サービス支援棟	職員1名
R1.8.5	障害福祉サービス従事者セミナー	恵泉会ワーキング部会	若生園(居住棟)	職員1名
〃	〃	〃	〃	職員1名
〃	〃	〃	〃	職員1名
R1.9.2	令和元年度サービス管理責任者等更新研修	宮城県社会福祉協議会	宮城県庁	職員1名
R1.9.20	令和元年度地域連携のための栄養管理研修会	登米保健所	登米市合同庁舎	職員1名
R1.9.25	令和元年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	登米市役所南方庁舎	職員1名
R1.10.21	令和元年度宮城県知的障害者福祉協会施設長・管理者職員研修会	宮城県知的障害者福祉協会	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
R1.12.16	令和元年度サービス管理責任者等更新研修	宮城県社会福祉協議会	宮城県庁	職員1名

R2.1.29	令和元年度特定給食施設等集団指導及び給食従事者等研修会	登米保健所	登米市合同庁舎	職員1名
R2.2.6	令和元年度障害児・者の口腔ケア支援者研修	宮城県・宮城県歯科医師会	若草園	職員1名
〃	〃	〃	〃	職員1名
〃	〃	〃	〃	職員1名
〃	〃	〃	〃	職員1名
〃	〃	〃	〃	職員1名
〃	〃	〃	〃	職員1名
〃	〃	〃	〃	職員1名
R2.2.18	令和元年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	恵泉会在宅サービス支援棟	職員1名
R2.2.20	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会	登米市役所総務部防災課	登米市消防防災センター	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	各種行事・各部署・委員会等申し送り及び検討等	月1回	施設長・管理者・事務員・サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
支援会議	利用者の生活状況及び活動班状況の検討等	月1回	施設長・管理者・サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
給食会議	給食について委託業者と評価・検討及び情報交換等	月1回	管理者・管理栄養士・看護師・生活支援員・利用者様

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
ケア会議 (随時開催)	利用者様の日常生活における本人からの要望や課題・改善点等について協議・検討を図る。	スタッフルーム・相談室	管理者・サビ管・生活支援員 看護職員・管理栄養士
障害児者支援 ワーキング部 会 (月1回)	8施設の共有事項について検討	若草園	管理者・サービス管理責任者・各担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故報告を分析し、事故再発防止及び発生時の対応を検証して改善策検討する。また、感染症の予防と改善に取り組む。マニュアルの見直し。	月1回	管理者・サビ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上に資するための過程や結果の分析・検討を行う。自己評価及び第三者評価による改善への取組みと対応。利用者・家族アンケート実施し、サービス向上に係る改善について検討。	月1回	管理者・サビ管・管理栄養士・生活支援員
身体拘束・虐待防止委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束「ゼロ」の取り組みや検討。	月1回	管理者・サビ管・管理栄養士・生活支援員
感染症・褥瘡予防対策委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡発生のメカニズムの基本知識習得や発生及び防止に対する体制の整備。	随時	管理者・サビ管・管理栄養士・生活支援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る。	月1回	管理者・事務員・生活支援員
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備改修等	月1回	管理者・サビ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出席者
各月	障害児者支援施設ワーキング部会	施設持ち回り	統括施設長・管理者
各月	事務担当者部会	施設持ち回り	事務員
各月	看護師部会	施設持ち回り	看護職員
隔月	栄養士部会	施設持ち回り	管理栄養士
年2回	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	管理者

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H31.4.24	N.O氏(音楽療法講師)	ボランティア(行事)	1名
R1.7.3	いきいき学園	窓ふき掃除及び交流会	21名
R1.7.4	NASVA(自動車事故対策機構)	施設見学及び交流会	20名
R1.7.25	登米産業高校	施設見学	15名
R1.8.2	東京大学 建築科	施設見学	2名
R1.8.14	登米産業高校	施設見学	1名
R1.10.2	東和中学校 吹奏楽部	慰問	12名
R1.10.17	秋田県 大日寮	施設見学	10名
R1.11.29	気仙沼市放課後デイサービス等事業連絡協議会	施設見学	23名
R1.12.24	N.O氏(音楽療法講師)	ボランティア(行事)	1名
R2.2.7	KTK福祉会	施設見学	4名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R1.10.30 ~R1.11.1	登米産業高校 福祉科2年生	介護実習	2名	6名
R1.11.6 ~R1.11.8	登米産業高校 福祉科2年生	介護実習	3名	9名
計			5名	15名

【今後の取り組み】

1. 高齢化およびADLの低下をはじめ疾病の重病化に対し、身体機能低下予防や医療機関との連携を密にとって対応していく必要があります。また、機能低下や重病化の予防も専門職員と連携を取りながら、生活の質を高められるようにします。
2. 知的障害者の方々の方々の傾向として、一般の方々より若い年代から心身の機能低下や生活習慣病、認知症のリスクが高い傾向にあります。つぶさに身体・行動変化の確認・記録をおこなうことで早い段階から状態の変化を察知。家族・専門職員・医療機関との連携を密にしたうえで、認知症ケアや個別ケア等の支援や介護をおこない、安全で安心した生活を送ることができるようにします。
3. 個々の障害(知的障害・身体障害・精神障害・難病)の特性に応じた支援に心がけ、利用者それぞれが自分らしく暮らすことが出来るようにします。
4. 地域で生活されている障害者(児)の方々やその家族に対して、将来的な「地域包括ケア」を目指し生活支援上のセーフティーネットの役割(短期入所、日中一時支援等)を果たすようにします。
5. 地域住民や地域にある公共施設(学校・保育所等)との交流活動を通し、地域に根ざした施設運営を目指します。
6. 職員間で毎月虐待防止委員会や各種会議等で障害者虐待防止法の周知や障害者虐待防止策を随時検討し、「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、基本的姿勢の確認をくり返し行います。また、接遇の再確認や同性介護の確認、行動障害者に対する専門的な支援力を高め、サービス提供面からも利用者の権利擁護(虐待防止)に積極的に取り組みます。
7. 世相の変化を鑑み、不審者等の侵入に備え、施設整備・防犯用具等(外周センサー・さすまた等)常に点検・整備し、職員に対する危機管理意識を高めるための研修や教育に努めるとともに、必要に応じて警察や警備会社等の協力も得つつ、防犯講習や防犯訓練を実施し、利用者の安全確保に努めます。
8. 法人内障害児者サービス事業所と連携・交流を深め、研修や合同行事などを通じて職員の資質向上と、支援スキルの向上を目指します。また、利用者においても他事業所との交流や地域イベントへ参加することで、生活に楽しみや生きがいを感じていただくことが出来るよう、交流や参加の機会を提供していきます。

2019年度 障害者支援施設若生園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字西綱木24
(居住棟)宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成23年4月1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
施設入所支援、生活介護	50 名
短期入所支援	4 名
計	54 名

恵泉会の基本理念並びに、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所支援」と「生活介護」の事業を一体的に行う「障がい者支援事業所」として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営めるよう支援します。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深めながら、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めていきます。また、地域で生活している障がい者(児)や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を生かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たします。

【 重 点 項 目 】

1. 生活の場(居住棟)が、全室個室のユニット型となり、更なる個別支援の促進を図り、利用者様が安心して暮らせる空間・その人らしい生活空間を創り、利用者の満足度へ繋がります。
2. 利用者個々の意向を尊重し、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書のもと、利用者の方々の笑顔が多くみられ、その人らしい自立した生活を送れるよう支援しました。
3. 保険者とや関係機関と連携を図り安全安心なサービスを利用していただける事故防止に努め、また障がい者虐待防止法を遵守し、利用者の人権擁護に努めました。
4. 医療機関との連携を図り、心身の健康管理及び感染症予防に努めました。
5. 地域で生活されている障がい児(者)の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たす努力をしました。
6. 防犯、防災(自然災害)、防火について、計画に沿った訓練を実施し、リスクの改善等を行い、利用者の安全第一に努めました。
7. 地域住民や地域の公共施設(学校・保育所等)との交流活動をとおり、地域に根ざした施設運営を目指しました。
8. 専門職としてのスキルアップを図り、他種協働の基、若生園の利用者の重度高齢化に対しての介護支援体制を整えるよう努力しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,525 名 (施設入所)、 13,025 名 (生活介護)
2. 年間稼働率 95.77 % (施設入所)、 96.48 % (生活介護)
(目標稼働率 98.00 % (施設入所)、 98.00 % (生活介護))
3. 年間平均障害程度 4.65 4.67
4. 月別利用状況

	施設入所支援事業 (延べ利用者数)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	210	215	210	217	214	210	217	210	216	215	219	248	2,601
区分4	418	444	450	465	440	444	495	480	495	523	493	527	5,674
区分5	356	387	326	341	392	387	387	389	384	384	366	372	4,471
区分6	449	413	337	414	434	420	434	416	403	366	348	345	4,779
計	1,433	1,459	1,323	1,437	1,480	1,461	1,533	1,495	1,498	1,488	1,426	1,492	17,525

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	154	161	154	161	161	154	161	154	161	161	157	184	1,923
区分4	299	320	321	335	319	318	359	343	356	379	349	381	4,079
区分5	264	295	264	278	290	282	290	281	287	293	289	276	3,389
区分6	352	332	292	322	322	308	322	307	299	271	252	255	3,634
計	1,069	1,108	1,031	1,096	1,092	1,062	1,132	1,085	1,103	1,104	1,047	1,096	13,025

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	4
退所者数	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
月末入所者数	49	48	48	49	49	50	50	49	49	49	50	49	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.21	お花見会	利用者の皆様と一緒に、お花見気分を味わいながら楽しいひとときを過ごされました。	利用者 49名 職員 6名
R1.07.10	七夕交流会	米川小学校6年生の児童を迎え、唄や踊りの披露や参加者みんなで短冊作り等、楽しく交流会が行われました。	利用者 47名 職員 11名
R1.09.15	お月見会	居住棟の玄関ホール等にススキや活動時に作ったお供え団子他を飾り月に向かって手を合わせて十五夜の雰囲気を楽しめました。	利用者 46名 職員 4名
R1.10.25	恵泉会フェスティバル みんなよってけさin秋祭り	恵泉会障害児者の施設利用者やご家族を招いて、アトラクションや抽選会・展示・出店等で利用者様に楽しんでいただきました	利用者 46名 職員 14名
R1.12.17	クリスマス忘年会	居住棟にてクリスマスソングを歌ったり、ダンス・サンタクロースが登場し、クリスマスプレゼント配布などクリスマスの雰囲気味わっていただく。	利用者 49名 職員 10名
R2.01.21	新年会	居住棟で新年を迎え、利用者代表に新年の抱負を発表していただいた後、余興(歌や二人羽織)で盛り上がり、新年を迎えられたことお祝いしています。	利用者 50名 職員 10名
R2.02.06	節分豆まき	職員扮する鬼に豆をぶつけて厄を祓い、還暦を迎える利用者を皆さんで祝い、年中行事を楽しめました。	利用者 45名 職員 11名
R2.03.05	ひなまつり会	新型コロナウイルスの感染防止のために南方保育所との交流会を中止し、居住棟にて雛人形を飾り、歌やゲームで女の節句を祝いました。	利用者 47名 職員 11名

【短期入所者・日中一時サービス】

- 年間延べ利用人員 505 名
- 年間稼働率 35.97 %
(目標稼働率 40.00 %)
- 年間平均障害程度 4.36

4. 月別利用状況 (短期入所) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
区分3	0	0	0	0	0	0	12	31	28	0	0	0	71
区分4	13	6	0	0	2	2	3	5	4	4	0	4	43
区分5	0	2	8	31	13	0	0	2	0	21	29	31	137
区分6	0	0	0	2	0	0	2	2	2	9	2	2	21
計	13	8	8	33	15	18	36	37	6	34	31	37	276

- (1) 短期入所 (年間延べ利用人員) 276 名 (稼働率) 19.66 %
 (2) 日中一時支援事業 (年間延べ利用人員) 229 名 (稼働率) 16.31 %

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.4.2	小遣いの取り扱いについて	サビ管	職員4名
R1.6.13	コンプライアンスガイドラインについて	統括施設長	※計3回開催
6.18.6.20	〃	〃	職員21名(合計)
R1.6.19	食中毒について(利用者対象)	管理栄養士	利用者47名
〃	食中毒について(職員対象)	〃	職員2名
R1.7.5	障害福祉サービス従事者セミナー『コミュニケーションについての理解』	前理事長	職員4名
R1.7.18	虐待防止について	副主任	職員8名
R1.11.15	感染症研修(利用者対象)	看護師	利用者47名
〃	感染症研修(職員対象)	看護師	職員4名
R1.11.28	介護研修(オムツの当て方研修)	外部講師	職員9名
R1.12.9	「てんかん」について	看護師	職員4名
R2.1.9	リスク対策について	管理者	職員6名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.6.19	恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.8.9	人事考課に関する意見交換会.	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.8.26	恵泉会管理職研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.9.5	軽減税率説明会	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.9.2	令和元年度宮城県サービス管理責任者更新研修	宮城県社会福祉協議会	宮城県庁	職員1名
R1.9.25	登米市福祉サービス研修会	地域支援センター他	南方支所	職員1名
R1.11.19	恵泉会管理職研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.11.26	コミュニケーション研修会	宮城県社会福祉協議会	宮城県官工事会館	職員1名
R1.12.16	令和元年度宮城県サービス管理責任者更新研修	宮城県社会福祉協議会	宮城県庁	職員1名
R2.1.29	令和元年 特定給食施設集団指導及び給食従事者等研修会	登米合同庁舎	登米合同庁舎	職員1名
R2.2.6	令和元年度障害児・者の口腔ケア支援者研修	宮城県保健福祉部健康推進課	若草園	職員7名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	施設運営全般に関する協議	毎月第3木曜日	全職種
支援会議	サービス全般に関する協議	毎月第2木曜日	全職種
ケア会議	利用者の支援に関する協議	年3回	本人・行政・地域生活支援センター・施設職員等
給食会議	利用者の食事に関する協議	毎月第4木曜日	管理者・栄養士・准看護師・生活支援員

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
恵泉会防災会議	恵泉会防災計画の立案等(年2回)	恵泉会事務局	防火管理者
入所検討会議	入所待機者の中から入所受け入れについて協議します。	若生園	統括施設長・管理者・副主任・サビ管・栄養士・准看護師・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設内事故の検証・分析、事故予防・対応策立案等	年3回	管理者、栄養士、准看護師、生活支援員
サービス向上委員会(研修委員会)	サービス評価の実行、集計、報告等。研修内容	年3回	管理者、栄養士、生活支援員
身体拘束、虐待防止対策委員会	虐待防止セルフチェック表配布・禁句集・身体拘束の有無確認等	年4回	管理者、栄養士、生活支援員
感染症予防等委員会	感染症予防の計画、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染対応検討等	年4回	管理者、准看護師、栄養士、生活支援員
防災委員会	若生園防災計画の立案等	年4回	管理者、生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R1.06.04	恵泉会地震防災対策委員会	恵泉会事務局	防火管理者
R1.06.18	障害児者支援ワーキング	若生園居住棟	管理者
R1.07.11	障害児者支援ワーキング	若生園居住棟	管理者
R1.07.17	第1回恵泉会事務担当者部会	松風園	事務員
R1.07.18	障害児者支援ワーキング	若生園居住棟	管理者
R1.08.06	障害児者支援ワーキング	若生園居住棟	管理者
R1.09.24	障害児者支援ワーキング	若生園居住棟	管理者・生活支援員
R1.10.11	障害児者支援ワーキング	若生園居住棟	管理者
R1.11.27	障害児者支援ワーキング	若生園居住棟	管理者
R1.12.24	第3回恵泉会事務担当者部会	萩風園	事務員
R2.01.14	恵泉会地震防災対策委員会	恵泉会事務局	防火管理者
R2.01.23	障害児者支援ワーキング	恵泉会事務局	管理者
R2.02.27	障害児者支援ワーキング	若生園活動棟	管理者

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H31.04.08	東松島市 Sさん	施設見学	2名
H31.04.26	恵泉会理事・評議員	施設見学	13名
H31.04.29	若生園利用者家族	施設見学	27家族
R1.05.27	県障害福祉課課長他	施設見学	2名
R1.05.27	中田町 Sさん	施設見学	2名
R1.05.28	登米市Hさん	施設見学	2名
R1.05.31	恵の会事務局長	施設見学	1名
R1.06.10	南方町 Sさん	施設見学	2名
R1.06.21	南三陸町 Aさん	施設見学	3名
R1.07.16	東北文化大学・看護科学生と東和保健師	施設見学	3名
R1.07.24	迫支援学校職員	施設見学	15名
R1.07.27	仙台・専門学校学生	施設見学	1名
R1.08.02	東京大学教授と学生	施設見学	3名
R1.08.30	迫町 Oさん	施設見学	2名
R1.09.10	迫町 Iさん	施設見学	3名
R1.09.11	中田町 Kさん	施設見学	3名
R1.09.19	迫支援学校PTA	施設見学	16名
R1.09.28	恵泉会OB会	施設見学	16名
R1.10.03	ひだまりポッケ (職員2名・利用者2名)	施設見学	4名
R1.10.04	グループホーム利用者	施設見学	2名
R1.10.09	中田町 Sさん	施設見学	2名
R1.10.28	本吉つながり隊	施設見学	14名
R1.10.29	岩手県・ふじの実学園	施設見学	5名
R1.11.11	気仙沼市 Oさん	施設見学	2名
R1.11.15	登米市 Tさん	施設見学	3名
R1.11.19	登米市 Cさん	施設見学	2名

R1.11.29	登米市 Sさん	施設見学	2名
R1.12.18	登米市 Kさん	施設見学	2名
R2.02.07	栗原市 KTK福祉会	施設見学	4名
R2.02.18	登米市 Iさん	施設見学	1名
R2.02.19	気仙沼市 Tさん	施設見学	2名
R2.02.25	気仙沼市 Eさん	施設見学	2名
R2.03.10	石巻市 Kさん	施設見学	5名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
令和元年6月10日～6月14日	迫支援学校	現場実習	1名	5名
令和元年10月21.23.24.25日	迫支援学校	現場実習	1名	4名
令和元年10月30日～11月1日	登米総合産業高校 福祉科	障害者支援施設介護実習	2名	6名
令和元年11月6日～11月8日	登米総合産業高校 福祉科	障害者支援施設介護実習	3名	9名
計			7名	25名

【今後の取り組み】

1. 生活の場(居住棟)が、全室個室のユニット型となり、更なる個別支援の促進を図り、利用者様が安心して暮らせる空間・その人らしい生活空間を創り、利用者の満足度へ繋がります。
2. 利用者個々の意向を尊重し、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書のもと、高品質なサービスを提供し、その人らしい自立した生活を送れる支援をします。
3. 保険者とや関係機関と連携を図り安全安心なサービスを利用していただける事故防止に努め、また障がい者虐待防止法を遵守し、利用者の人権擁護に努めます。
4. 医療機関との連携を図り、内部研修を心身の健康管理及び感染症予防に努めます。
5. 地域で生活されている障がい児(者)の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たします。
6. 利用者の安全を第一に、防犯、防災(自然災害)、防火に努めます。
7. 地域住民や地域の公共施設(学校・保育所等)との交流活動をとおり、地域に根ざした施設運営を目指します。
8. 専門職としてのスキルアップを図り、他職種協働の基、重度高齢化への介護支援体制を整えます。

2019年度 生活介護事業所パルめぐみ 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成17年4月1日
5. 利 用 定 員	35 名

2019年4月は契約者数54名でスタート、年間の動向は7名が生活介護利用契約、5名が契約解除となりました。

利用状況においては、稼働率が初めて100%を超えるなど、多くの利用希望に可能な限り対応した結果が数字として表れています。マイクロバスを有効に活用することで、より多くの方が送迎サービスを利用できるよう効率的かつ柔軟に対応しています。また、法人内事業所を短期利用しながら日中はパルめぐみを利用するというケースにも可能な限り送迎対応しています。

日中一時支援事業においては、生活サイクルの維持を目的として、迫支援学校時代に利用していた方々が、他事業所が休み(土、月、祝日)のときに利用するケースが本年度も継続しています。一方で、放課後デイサービス事業所がいくつか出来たことで、迫支援学校の放課後利用が減ったという現実がありました。

利用者の増加に伴い、入浴や活動の時間・人数を調整することで、幅広い年齢層の方々が個別の支援を受けられる環境を整えています。ADLの低下やてんかん発作の危険性がある方が多くなったことで、マンツーマンでの支援が増えました。本人達の行動(時間)に合わせた支援を行っていますが、時間帯によっては他の利用者への支援と重複し、対応が遅れてしまうこともありました。また、新規契約者7名のうち2名が強度行動障害を有する利用者で、専門的に研修を受けた職員を配置することでより個別化した支援を提供しています。

2019年度も表情、声のトーン、身振り・手振りを用いながらコミュニケーションを図り、利用者個々のモチベーションアップをしながら支援にあたりました。利用者それぞれの意思や自己表現を引き出しながら、さまざまな場面で自己選択できるよう支援を進めています。意思の表出が難しい利用者に関しては、家族等との連携を深めながら方向性を導き出すよう努力しています。

日中活動においては、少人数での活動をすることでより柔軟な対応が出来るようにと趣味活動や月外出を組み込み、個人の趣向を反映した活動を行うことができています。障害分野における事業所による恵泉会フェスティバルでは、パルめぐみとしてダンスを披露するなど主体的に参加しています。また、地域社会へのアピールする機会として継続して行ってきた年末のトーンチャイム演奏会は、今年度も継続して登米市役所南方庁舎福祉事務所にて実施し、多くの方に観ていただきました。新規の在宅の方々にも参加していただくことで、初見となるそのご家族にも来ていただき、好評をいただきました。今後においても地域の方々との共生という法人の理念に向けた取り組みを実践して参ります。

【 重 点 項 目 】

1. 生活介護

入浴、排泄及び食事介助を必要とされる方が増加し、一人ひとりの状況に応じて対応しています。車いす使用者の個浴利用について、希望が多い日は午前中から入浴時間を調整することで多くの方が利用できるように対応しました。ストマの利用者については、入浴時間を最終にすることで利用される方全員が気持ちよく入浴できるよう調整しています。排泄介助では、定時でのトイレ誘導をベースにその日の体調に応じたトイレ誘導を柔軟に行いました。食事介助では、利用される方々がより楽しく食事をできるようにと提供時間に幅を持たせています。強度行動障害の利用者には、個別化した支援の強化を行うことで少数派の障害特性の理解を図りました。

2. 健康管理

高齢となる利用者や重度の障害を持つ方が増えてきたことに伴い、健康状態に不安を残す方も増えました。ご家族からの申し送りや日々の健康チェック、活動の様子、ご本人の発する言葉や様子を注視し、健康状態が悪い場合にはご家庭や関係機関に連絡し、通院の提案をするなど早期の回復を図っています。また、インフルエンザや新型コロナウイルス、その他感染症に対し、湿度管理やうがい・手洗いの徹底感染症に対する意識喚起をしました。

3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能低下が懸念される方が多くなってきたことに伴い、健康器具を使用して体を動かす時間を増やすなど、機能訓練に力を入れました。体重の増加が気になる利用者などを中心に時間を設けています。ヨガ教室も心身のリラクセスが可能な時間として皆さんに定着しており、積極的な参加がみられました。従来から継続している音楽療法については、利用者の増加により主体的な参加が出来なくならないよう配慮しています。また、天気の良い日には散歩に行き公園で軽運動をして運動不足の解消に努めました。

4. 活動機会の提供

園芸や創作活動などの従来の日中活動のほか、デジタルカメラを用いた撮影会やカラオケ、書道など趣味的な活動を増やし、多様な自己表現が出来るよう支援しました。一方で、入浴介助・排泄介助対象者の増加により活動時間の確保が困難なときも多く、園芸での成果は満足のものにはなりませんでした。

昨年度同様、四季に応じた行事を行うことで、皆さんに季節の移り変わりを感じることができています。夏イベントと称して行った流しそうめんは、味覚と視覚、さらには聴覚でも夏を感じることができました。社会資源の活用として、森公民館を使用して体育祭を実施した他、秋の社会見学では岩手県の童話村を見学し、普段あまり触れることのない文学の世界を肌で感じてきています。各種外出のほか、法人内障害分野で協力し実施した恵泉会フェスティバルへも参加しました。

5. その他

迫支援学校の体験実習のほか、登米総合産業高等学校からの介護実習も受け入れました。就労移行支援については、1名の方が雇用となつてからは希望がない状況です。アウトリーチ事業やボランティアでマンドリン演奏、リコーダー演奏といった普段あまり触れることのない音楽を楽しむ機会を提供しました。10月には法人内障害分野事業所が合同で企画・運営した恵泉会フェスティバルに参加し、他事業所の利用者および地域の方々と触れ合うことができています。

地域行事は、第12回目となるトーンチャイム演奏会を前回に続いて登米市役所南方庁舎で実施しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,050 名
2. 年間稼働日数 309 日
3. 年間稼働率 102.17 % (生活介護)
4. 年間平均障害程度区分 4.12
5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分2	0	0	0	2	0	0	8	22	14	37	40	37	160
区分3	229	238	231	250	225	228	240	202	202	208	203	219	2,675
区分4	462	481	463	429	429	416	433	424	400	422	404	447	5,210
区分5	123	125	121	153	125	146	160	151	138	138	138	145	1,663
区分6	115	110	104	123	115	112	120	113	96	111	106	117	1,342
計	929	954	919	957	894	902	961	912	850	916	891	965	11,050

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	1	0	0	2	1	1	0	0	1	0	1	7
契約終了者数	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	5
月末契約者数	53	54	54	54	56	57	58	57	55	56	56	56	+ 2

【利用者サービスの状況】

1. 日中活動サービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.11 12,16,17	お花見	4日間実施。平等沼、鹿ヶ城、長沼フートピア公園に行き先を分け、外注弁当と買い物によって桜を味わいながら外で昼食を楽しんだ。	利用者 49名 職員 13名
R1.05.29	フラワーアレンジメント教室	講師を迎え、季節の花々を一人ひとり飾りつけて作品を持ち帰っていただいた。	利用者 37名 職員 9名
R1.06.12	社会見学	大衡町にあるトヨタ自動車東日本(株)宮城大衡工場にて見学。昼食は「すたみな太郎古川店」で食し、その後イオン古川店で買い物支援を実施した。	利用者 41名 職員 15名
R1.07.25	南方児童クラブ交流会	南方児童クラブ7名の児童と円盤投げ大会を実施。各々円盤を自作し、円盤投げ円盤投げ大会を開催。パルめぐみ利用者によるダンスや、児童によるソーラン節で交流した。	利用者 40名 職員 12名
R1.08.08	夏イベント①	流しそうめんとかき氷を実施。流しそうめんの土台は木工芸で作成し、夏の風情を感じながら楽しんだ。	利用者 40名 職員 11名
R1.08.15	夏イベント②	スイカ割りとかき氷を実施。夏定番のイベントで味覚と視覚両方で涼をとった。	利用者 32名 職員 10名
R1.09.05	陶芸教室	講師を迎え、陶芸教室を実施。好みに合わせたカップや皿などを作り、個別で持ち帰った。	利用者 37名 職員 12名

H31.09.24 25,27,30	ランチ外出	4日間で実施。コパン、いきなりステーキ、うまい鮭鮎、更科へ行っている。	利用者 24名 職員 8名
R1.10.10	社会見学	岩手県花巻市にある童話村へ行き宮沢賢治の童話世界に触れ、楽しんでいる。昼食は「金婚亭」へ行き、買い物支援も実施した。	利用者 40名 職員 15名
R1.11.14	体育祭	森公民館を会場にし、普段できない運動やゲームを伸び伸びと楽しみ、運動不足の解消と心のリフレッシュ機会となっている。	利用者 42名 職員 11名
R1.11.19 20,21	ランチ外出	3日間で実施。第二弾は鉄兵衛、ジョイフル、心味へ行っている。	利用者 21名 職員 8名
R1.12.16 12.25	クリスマス会	16日はクリスマスコンサートとしてジャズマミーの皆さんを迎えジャズに触れ、クリスマスの雰囲気味わっている。25日はクリスマス当日ということでクリスマスお楽しみ会としてレクリエーションやプレゼント交換で盛り上	利用者 79名 職員 16名
R1.12.18	トーンチャイム演奏会	昨年に引き続き、登米市役所南方庁舎にてトーンチャイム演奏会を実施。クリスマスソングを演奏し、来場した方々に楽しんでいただいた。	利用者 11名 職員 3名
R2.01.09	新年会	カラオケ大会で盛り上がり、昼食には新年お祝い膳を提供。新年最初の行事を楽しんだ。	利用者 45名 職員 13名
R2.01.22	リコーダー演奏会	東和町在住の鈴木星史様を迎え、美しいリコーダー演奏を楽しんだ。	利用者 42名 職員 11名
R2.02.03	節分会	年女・年男による豆まきや、恵方巻ロールを個人で作りおやつで召し上がっている。	利用者 40名 職員 12名
R2.02.15	マンドリンクラブ演奏会	とめ・くりはらマンドリンクラブ10名を迎え、マンドリン演奏会を楽しんだ。	利用者 34名 職員 8名
R2.03.03	ひなまつり会	ひなまつりにちなんだクイズ大会やひなまつりをイメージしたパフェ作りを楽しみ、昼食のひなまつりメニューと一緒に召し上がっていただいた。	利用者 43名 職員 9名

【その他の利用者サービス】 日中一時支援事業

1. 年間延べ利用人員 1,074 名 (利用上限 10 名)
2. 年間稼働日数 309 日
3. 年間稼働率 3.47 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

日中一時利用人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用市町村	登米市	105	94	103	102	102	87	83	88	58	57	77	73	1,029
	栗原市	3	3	3	3	3	2	2	2	3	3	2	3	32
	南三陸町	1	0	2	1	1	1	1	1	2	2	1	0	13
	計	109	97	108	106	106	90	86	91	63	62	80	76	1,074
	稼働日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309
	利用者/日	4.2	3.6	4.3	3.9	3.9	3.6	3.2	3.5	2.6	2.6	3.2	2.9	3.47

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
 - (1) 内部研修

年月日	内容	講師(講演者)	参加者
R1.07.05	障害福祉従事者セミナー	前理事長	サービス管理責任者兼生活支援員、生活支援員
R1.07.19	食中毒について	事務員兼栄養士兼生活支援員	全職員(及び利用者)
R1.08.09	熱中症・脱水症について	看護師	全職員(及び利用者)
R1.08.09	人事考課制度に関する意見交換会	WJU	事務員兼栄養士兼生活支援員、生活支援員
R1.12.11	感染症について	看護師	全職員(及び利用者)
R2.01.08	コンプライアンスについて	管理者	全職員
R2.02.20	障害特性について	サービス管理責任者兼生活支援員	全職員
R2.03.03	フォローアップ研修	迫風園施設長	生活支援員

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	開 催 地	参 加 者
R1.05.23	登米市障害福祉サービス事業所職員研修	登米市役所南方庁舎	職員1名
R1.06.28	集団指導	宮城県庁	職員1名
R1.09.19	サービス管理責任者研修	仙台市	職員1名
R1.09.20	サービス管理責任者研修	仙台市	職員1名
R1.09.25	障害福祉サービス研修	登米市役所南方庁舎	職員1名
R1.10.08	強度行動障害支援者養成研修	エポカ21	職員1名
R1.10.08	強度行動障害支援者養成研修	エポカ21	職員1名
R1.10.18	サービス管理責任者研修	仙台市	職員1名
R1.10.18	苦情解決に関する研修	仙台市	職員1名
R1.10.31	強度行動障害支援者養成研修	エポカ21	職員1名
R1.11.01	強度行動障害支援者養成研修	エポカ21	職員1名
R1.12.16	サービス管理責任者更新研修	宮城県庁	職員1名
R2.02.20	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会	登米市消防署	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	第1水曜日	全職員
ケア会議	利用者支援方法、身体状況等の検討	随時	全職員
給食会議	献立内容の検討、利用者嗜好、提供状況	毎月1回	サービス管理責任者・栄養士・看護職員
恵泉会種別部会	事務部会、サビ管部会、障害者推進委員会	毎月1回	栄養士、サビ管、事務員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
H31.04.18	H.C担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	GH サビ管
H31.04.22	T.H担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	家族 若草園 地域生活支援センター サビ管
H31.04.24	F.O担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	GH 若草園 伊藤サビ管
H31.04.25	M.K担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	GH 地域生活支援センター サビ管
H31.04.25	W.S担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	GH 地域生活支援センター サビ管
H31.04.25	K.G担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	GH 地域生活支援センター サビ管
R1.05.09	M.A担当者会議・ケア会議	M.A宅	家族 地域生活支援センター 保健師 サビ管
R1.06.13	H.O担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	家族 地域生活支援センター サビ管
R1.06.17	T.T担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	家族 保健師 若生園 サビ管
R1.06.20	M.M担当者会議・ケア会議	M.M宅	地域生活支援センター 保健師 サビ管
R1.06.25	T.T担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	GH サビ管
R1.07.11	M.S担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	GH 地域生活支援センター サビ管
R1.07.19	C.O担当者会議・ケア会議	中田保健福祉会館	家族 地域生活支援センター 保健師 ラボラーレ登米 サビ管
R1.08.02	C.O担当者会議・ケア会議	ラボラーレ登米	家族 ラボラーレ登米 若草園 サビ管
R1.08.06	N.I情報交換会	迫支援学校	迫支援学校 サビ管
R1.08.08	M.I応援会議	若生園	GH 若葉園 若生園 サビ管
R1.08.21	C.O担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	家族 地域生活支援センター サビ管
R1.08.28	実習打ち合わせ	パルめぐみ相談室	迫支援学校 管理者 サビ管
R1.10.07	T.H実習打ち合わせ	こだまホスピタル	家族 地域生活支援センター 若草園 サビ管
R1.10.24	N.I実習打ち合わせ	パルめぐみ相談室	迫支援学校 サビ管
R1.10.28	T.F担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	地域生活支援センター 保健師 サビ管
R1.11.05	R.I担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	家族 GH 萩風園 サビ管
R1.11.08	M.K担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	GH サビ管
R1.12.10	M.S担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	家族 地域生活支援センター サビ管
R2.01.23	N.I利用に関する打ち合わせ	パルめぐみ相談室	迫支援学校 サビ管
R2.02.04	N.I移行会議	迫支援学校	教諭 家族 関係機関 サビ管
R2.02.13	R.O担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	家族 地域生活支援センター サビ管
R2.02.21	H.W担当者会議・ケア会議	パルめぐみ相談室	家族 地域生活支援センター サビ管

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
サービス向上委員会	生活・日中活動支援、給食、行事の実施	随時	サビ管・生活支援員
リスクマネジメント委員会	安全対策、事故検証、苦情解決の実施	随時	サビ管・生活支援員
食中毒予防・感染対策委員会	衛生維持管理、清掃消毒、感染対策の実施	随時	看護師・サビ管・生活支援員
身体拘束廃止・人権侵害対策委員会	身体拘束・人権侵害の予防と取り組み	随時	サビ管・生活支援員
研修委員会	施設内・施設外研修の計画実施	随時	サビ管・生活支援員
サービス評価委員会	第三者サービス評価のとりまとめ、検証改善	随時	サビ管・生活支援員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R1.05.15	R.I(登米市)	見学(利用希望者 GH)	2名
R1.05.21	M.S(登米市)	見学(利用希望者 家族)	2名
R1.06.06	M.S(登米市)	見学(家族)	1名
R1.07.03	N.S(登米市)	見学(利用希望者 家族)	2名
R1.07.05	N.S(登米市)	見学(利用希望者 家族 迫支援学校教諭)	3名
R1.07.23	なのはなサポートセンター ピーススマイル	見学	4名
R1.08.05	M.I(登米市)	見学(利用希望者 GH)	2名
R1.09.24	T.T(登米市)	見学(利用希望者 家族 GH)	3名
R1.11.07	Y.K(登米市)	見学(利用希望者 家族 地域生活支援センター)	5名
R1.12.16	ジャズマミー	クリスマスコンサート	4名
R2.01.08	I.S(登米市)	見学(利用希望者 GH)	3名
R2.01.17	S.S(登米市)	リコーダー演奏会	1名
R2.01.22	N.I(登米市)	見学(利用希望者 迫支援学校教諭)	2名
R2.02.15	とめ・くりはらマンドリンクラブ	マンドリン演奏会	11名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
R1.10.15	迫支援学校生	産業現場体験実習(2日間)	1名	2名
R1.10.30	宮城県登米総合産業高等学校生	介護実習(3日間)	2名	6名
R1.11.06	宮城県登米総合産業高等学校生	介護実習(3日間)	2名	6名
計			4名	14名

【今後の取り組み】

1. 生活介護

家庭(在宅)やグループホームなどから通う利用者等それぞれにあった介助法を模索しながら、環境作りや支援をおこなっていきます。

また、通所を通して基本的な生活習慣やマナー・服装・身だしなみなど社会性を身につけると共に、ふれあいや対話を通して情緒の安定や良好な信頼関係を構築し、利用者にとって居心地の良い空間を目指していきます。

2. 健康管理

高齢の方や病気を抱えている利用者も増加傾向にあるため、日々の状態観察をしながら異常の早期発見・早期対応に努めます。また、病気の状況や注意点などに関わる内容については、家庭や各機関と密に連絡を取り合いながら、疾病予防及び悪化防止に努めていきます。

感染症の予防にも早期に対応しながら、万が一感染症の症状が見られた場合には、直ちに家庭や関係機関に連絡して通院などを提案し、感染症拡大を阻止していきます。

3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能の維持向上や自立の促進を図るため、音楽療法及びヨガ教室は令和2年度も継続します。

また、機能訓練についても、各利用者の状況や家族の要望を受け、機能訓練が可能な器具などを使用して毎日実施していきます。必要に応じて、法人内や関係機関の理学療法士、言語聴覚士に伺いながら、状況に応じた訓練を実施していきます。

4. 活動機会の提供

創作活動や木工芸活動の他、趣味活動としてカメラや書道、ダンスに加え卓球や縄跳びなどを活動に取り入れるとともに、利用者一人ひとりの希望も取り入れながら活動を楽しむ場としていきます。また、様々な活動を体験することで趣味の幅を広げていくとともに、レクリエーション等で体を動かす機会を多く提供していきます。更に地域行事・事業所内行事で作品発表の場を持つことを通し、社会参加の機会を増やしていきます。

5. その他

良質なサービス提供実施の取り組み、関係機関や地域、家族との連携を重視し、地域社会に開かれた事業所となるよう努めることを主に置き、随時ボランティアの受け入れ、体験や職業実習についても、お手伝いさせていただきます。

また、日常の各種活動(対外的なものも含めて)の様子を「パルめぐみブログ」を通してご紹介したり、定期的に広報誌を作成・発行して紹介していきます。

2019年度 恵泉会グループホーム ・ はせやま相談支援事業所 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所在地 登米市中田町浅水字長谷山352-2
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成18年10月1日(障害者自立支援法第29条第1項に基づく指定)
5. 利用定員 109名 (※R2. 4. 1現在, 内、2名は体験利用枠)
(ホーム数) 21ホーム:27住居

ホーム名	定員	住 所	住居区分	物件形態
みなみホーム	6名	登米市南方町瀬ノ淵	一戸建て	法人所有
ラベンダーホームⅠ	3名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有
ラベンダーホームⅡ	2名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有
ラベンダーホームⅢ(サテライト型)	1名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有
かごだんホームⅠ	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有
かごだんホームⅡ	8名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有
わたの実ホーム	6名	登米市東和町錦織字大舟渡	一戸建て	賃貸借
梨の木ホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借
わかばホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借
とよまホーム	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借
にしきホーム	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	賃貸借
こまひきホーム	5名	登米市中田町石森字駒牽	一戸建て	賃貸借
石森ホーム	4名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借
すみれホーム	6名	登米市中田町石森字境堀	一戸建て	賃貸借
くりの実ホーム	6名	登米市中田町石森字下川原毛	一戸建て	賃貸借
かきの実ホーム	6名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借
やまびこホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
やまびこホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
ももの木ホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
ももの木ホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
こだまホーム	4名	登米市迫町佐沼字内町	アパート	賃貸借
はさまホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借
はさまホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借
かりんホームⅠ	5名	登米市迫町佐沼字江合	一戸建て	賃貸借
かりんホームⅡ(サテライト型)	1名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借
さつきホーム	4名	登米市南方町内ノ目	一戸建て	賃貸借

2019年度は、『いっしょに』～あなたによりそう「けいせんかい」～を法人内障害児者支援共通スローガンに設定し、地域で暮らす利用者の皆さんが一人ひとり生き生きと輝いて生活できる共同生活住居の提供と相談支援の充実を目指した取り組みを強化した。

利用者の個性を引き出すために、世話人の配置換えの実行や入居者の転居、老朽化ホームについては移転ならびに今後の整備方針をまとめている。

また、利用者の防災安全対策として、これまで家庭用連動型自動火災報知器を使用していたホームについて、登米市消防の指導のもと、特定小規模施設用連動型自動火災報知設備への交換及び誘導灯設備の新設を計画的に進めており、2019年度には全てのホームの防災設備が行政基準を満たす仕様へと改善を図った。併せて、10月に発生した東日本台風での豪雨被害においては、全職員および関係各所の協力と指導のもと、安全に避難所の開設・避難が実行され、全ホームとも被害なく対応することができた。

職員育成の部分では、内部研修及びOJT機能の強化を目指し、職員会議や世話人会議の場の時間を有効活用し、ミニ研修と位置付け、「方針」「知識」「技術」を柱として、グループ課題を取り入れながら広く業務改善に取り組んだ。その中において、少ない人数で効率よく事業が運営できるよう、職務分担の見直しや業務手順の改善、研究発表に向けた高齢障害者に対する支援のカタチの提案など、グループホームが今後目指すべき事業の方向性を確認している。

【 重 点 項 目 】

1. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢
 - (1) 利用者の皆さんの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
 - (2) 利用者の皆さんを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
 - (3) ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
 - (4) 余暇の充実を強力に進め、その成果を示し、利用者さんの生活に楽しみと潤いをもたらすこと
 - (5) 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者さんの年齢や特性に合った住環境を整備すること

2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業
 - (1) 利用者さんの特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備
 - ①とよまホーム → 老朽化および住環境の改善のため、中田町宝江地区に移転
 - ②今後の移転計画 → 老朽化および住環境改善のため、次のホームの移転・改変を検討中
(こだまホーム, はさまホーム, こまひきホーム, にしきホーム, やまびこホーム, ももの木ホーム)
 - ③夜間支援体制の強化 → 夜間支援対象者を22名まで拡大

 - (2) 5年後・10年後を想定したアセスメントの実施と将来利用サービスの検討・提案
 - ①2019年度に恵泉会内の特別養護老人ホームへ移行した者(2名)
 - ②2019年度に恵泉会内の障害者支援施設へ移行した者(3名)
 - ③介護保険サービスの利用者(3名)
東和高齢者福祉施設(デイサービス)利用 1名
迫風園(ショートステイ)および翠風荘(デイサービス)利用 1名
福祉用具貸与サービス利用 2名
 - ④利用サービス等の変更・見直し
一般就労から福祉就労へサービス変更(5名)
一般就労から生活介護へサービス変更(1名)
福祉就労から生活介護へサービス変更(1名)
他法人から法人内サービスへの移行者(9名)
 - ⑤はせやま相談支援事業所への契約変更者(113名)

 - (3) 利用者預り金管理体制の強化および管理方法の効率化
 - ①宮城県ガイドラインに即した帳簿整備ならびに世話人管理範囲の限定適正化
→ 進捗率50%, 2020年度に完全実施の予定
 - ②後見人制度の活用推進および家族管理への切り替え(10名)

3. 消防設備の整備・拡充
特定小規模施設用連動型自動火災報知設備への交換(とよまホーム, かきの実ホーム)

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人数 39,004 名
2. 年間稼働日数 366 日
3. 年間稼働率 96.0 %
4. 年間平均障害支援区分 3.26
5. 月別利用状況

(1) 共同生活援助 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
区分2	619	606	626	647	612	598	587	603	602	613	607	678	7,398
区分3	1,395	1,337	1,350	1,385	1,324	1,315	1,366	1,327	1,301	1,284	1,228	1,260	15,872
区分4	1,139	1,151	1,125	1,142	1,068	1,092	1,143	1,117	1,162	1,090	1,041	1,108	13,378
区分5	78	60	65	122	116	119	124	119	111	113	113	116	1,256
区分6	62	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	62	734
計	3,323	3,247	3,256	3,389	3,213	3,214	3,313	3,256	3,269	3,193	3,076	3,255	39,004
日数	3,330	3,441	3,330	3,441	3,441	3,330	3,441	3,330	3,441	3,441	3,219	3,441	40,626
稼働率	99.8%	94.4%	97.8%	98.5%	93.4%	96.5%	96.3%	97.8%	95.0%	92.8%	95.6%	94.6%	96.0 %

(2) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本計画	10	5	9	7	12	2	5	11	5	9	11	9	95
モニタリング	32	51	28	34	65	87	42	62	56	35	30	62	584
合計	42	56	37	41	77	89	47	73	61	44	41	71	679

6. 契約の状況

(1) 共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
契約終了者数	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	6
月末契約者数	110	110	110	110	110	109	108	108	108	108	107	107	- 4

(2) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	97	1	0	3	1	4	1	0	0	1	0	5	113
契約終了者数	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	8
月末契約者数	178	178	178	181	180	184	185	183	183	183	183	187	+ 105

【利用者サービスの状況】

1. 入居者支援

(1) 生活支援(共同生活援助・相談支援状況)

【形態・月別相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	25	18	8	10	12	9	17	12	21	18	16	24	190
電話	40	40	42	34	41	42	54	45	36	44	29	42	489
訪問	21	35	42	35	31	20	38	56	26	28	29	40	401
計	86	93	92	79	84	71	109	113	83	90	74	106	1,080

(2) 健康管理

①通院先・月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神)佐藤医院	7	4	6	5	5	5	3	6	6	3	7	5	62
精神)三峰病院	6	5	17	16	4	5	2	4	17	15	13	7	111
精神)石越病院	2	2	2	2	3	2	2	2	3	2	2	2	26
精神)こだまホスピタル								1	4	3	3	2	13
登米市立米谷病院	6	2	5	10	10	9	13	7	13	5	5	5	90
上杉皮膚科医院	12	13	13	16	18	14	22	14	14	16	15	12	179
その他(登米市民病院他)	72	81	113	88	91	85	108	110	105	81	91	89	1,114
計	105	107	156	137	131	120	150	144	162	125	136	122	1,595

②市内・市外別 通院対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市内	93	101	143	116	119	112	142	134	134	101	113	108	1,416
市外	12	6	13	21	12	8	8	10	28	24	23	14	179
計	105	107	156	137	131	120	150	144	162	125	136	122	1,595

(3) 就労・日中活動支援

①就労・日中活動先への訪問および支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	43	52	37	88	90	80	79	59	149	80	66	49	872

(4) 余暇支援

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.23	希望旅行(プロレス)	あなたの夢を叶えましょうプロジェクト 希望旅行(全日本プロレスの観戦)	利用者 1名 職員 1名
R1.05.12	障害者スポーツ大会	宮城県障害者スポーツ大会(卓球競技) 仙台市立宮城野体育館にて開催(銀メダル)	利用者 1名 職員 1名
R1.05.18	障害者スポーツ大会	宮城県障害者スポーツ大会(ボウリング競技) 仙台コロナキャットボウルにて開催	利用者 4名 職員 2名
R1.05.19	障害者スポーツ大会	宮城県障害者スポーツ大会(フライングディスク競技) シェルコム仙台にて開催(金メダル1名, 銀メダル1名)	利用者 7名 職員 2名
R1.05.25	さくらクラブ全体会	利用者の自治会組織「さくらクラブ」による全体パーティー をホテルグランヴィア(佐沼)にて実施。	利用者 96名 職員 13名
R1.06.08	希望外出(気仙沼市)	かごだんホームIの方々、職員・世話人と共に、気仙沼方面 へ外出。カフェK-PORTでは、俳優の渡辺謙さんと交流。	利用者 6名 職員 2名
R1.06.14	芸術鑑賞(登米市)	水の里ホールで行われた「よしもとお笑いライブ2019」を 鑑賞する。	利用者 5名 職員 2名
R1.06.15	合同外出(仙台市)	法人内の障害児者支援ワーキングで企画。楽天観戦の予定 であったが、雨天中止により、アクアテラスを見学。	利用者 12名 職員 3名
R1.07.14	余暇外出(釣り)	志津川湾での釣りとホテル観洋での入浴を楽しむ。	利用者 3名 職員 2名
R1.07.15	希望旅行(東京)	あなたの夢を叶えましょうプロジェクト 希望旅行(東京ディズニーランド)	利用者 5名 職員 2名
R1.07.28	余暇外出(カラオケ)	7/6と7/28の2回に分けて、スナック令和(佐沼)を貸し 切り、カラオケパーティーを開催する。	利用者 50名 職員 6名
R1.08.07	希望外出(加美町)	あなたの夢を叶えましょうプロジェクト 希望外出(ふるさと訪問・やくらいガーデン)	利用者 4名 職員 2名
R1.08.09	余暇行事	かごだんホームIとIIの方々、職員が合同でバーベキュー行事 を実施。すいか割りなどのゲームも楽しむ。	利用者 14名 職員 5名
R1.09.10	希望旅行(東京)	あなたの夢を叶えましょうプロジェクト 希望旅行(東京ディズニーランド)	利用者 3名 職員 2名
R1.09.15	綱木之里大名行列	東和町米川地区の伝統行事に参加する。	利用者 13名 職員 2名
R1.09.20	一泊旅行(松島方面)	松島大観荘にて1泊バスの旅を企画。2日目は麒麟ビール 仙台工場にて見学と買い物を楽しむ。	利用者 35名 職員 7名
R1.09.23	希望外出(温泉)	とよまホームの方々、田尻のさくらの湯へ日帰り外出。	利用者 5名 職員 1名
R1.10.05	希望外出(石巻)	あなたの夢を叶えましょうプロジェクト 石巻リバーサイドマラソン出場(4位入賞1名)	利用者 2名 職員 1名
R1.10.19	希望外出(一関市)	藤沢にあるアーク牧場にて、梨の木ホーム・わかばホーム の方々、職員が合同でバーベキューパーティーを実施。	利用者 12名 職員 2名
R1.10.21	希望旅行(気仙沼市)	あなたの夢を叶えましょうプロジェクト 温泉旅行(気仙沼ホテル観洋)	利用者 5名 職員 1名
R1.11.09	日帰り旅行(仙台市)	定義山方面へ紅葉見学の日帰り旅行を実施。買い物やレ ストランでの昼食を楽しむ。	利用者 26名 職員 6名
R1.11.16	余暇支援(ゲーム)	TVゲームを使用した、『eスポーツ大会』を実施。トーナメント開催 により、利用者同士が交流を深める。	利用者 17名 職員 2名
R1.11.25	希望旅行(東京)	東京・上野アメ横にて趣味のプロモデルの購入を目的に日帰り 旅行を実施。	利用者 1名 職員 1名
R1.11.26	希望外出(映画)	石巻イオンシネマにて映画鑑賞を楽しむ。	利用者 4名 職員 2名
R2.01.15	余暇行事(新年会)	こだまホームの方々、鳥将(佐沼)にて新年会を実施。	利用者 4名 職員 3名
実 施 回 数		25 回	延 べ 参 加 者 数
			408 名

【月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	1	4	3	4	2	4	3	4	0	1	0	0	26

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.01	転入職員OJT(業務内容確認)	グループホーム職員	職員7名
H31.04.03	職員ミニ研修(今年度の組織体系について)	施設長	職員17名
H31.04.12	世話人ミニ研修(事業方針について)	グループホーム職員	世話人18名
H31.04.15	人事考課者研修	法人役員他	職員1名(運営)
R1.05.07	職員ミニ研修(個別支援計画について)	施設長	職員12名
R1.05.10	世話人ミニ研修(利用者支援の事例検討)	グループホーム職員	世話人18名
R1.06.13	WJUコンサル打合せ	WJU(株)	職員1名(運営)
R1.06.19	恵泉会新任職員研修①	法人役員他	職員1名(運営)
R1.06.27	恵泉会新任職員研修②	法人役員他	職員1名(運営)
R1.06.30	保護者研修会(恵泉会の事業について)	施設長	保護者20名
R1.07.05	障害福祉サービス従事者セミナー	前理事長	職員6名
R1.07.10	世話人ミニ研修(水害・土砂災害, 食中毒)	グループホーム職員	世話人16名
R1.07.17	コンプライアンス研修①	施設長	職員9名
R1.07.19	コンプライアンス研修②	施設長	職員13名
R1.07.22	コンプライアンス研修(個別伝達)①	施設長	職員3名
R1.07.24	コンプライアンス研修(個別伝達)②	施設長	職員1名
R1.08.07	世話人ミニ研修(アンガーマネジメント)	はせやま職員	世話人16名
R1.08.09	WJU人事制度意見交換会	WJU(株)	職員3名(運営1名)
R1.08.09	WJU経営企画チーム(KickOffミーティング)	WJU(株)	職員1名
R1.08.26	WJU経営企画チーム①	WJU(株)	職員1名
R1.08.26	WJU管理職育成研修(マネジメントミーティング①)	WJU(株)	職員2名
R1.09.12	WJU経営企画チーム②	WJU(株)	職員1名
R1.10.09	世話人ミニ研修(チャイルドビジョンによる疑似体験)	グループホーム職員	世話人16名
R1.10.15	WJU経営企画チーム③	WJU(株)	職員1名
R1.10.18	令和元年度恵泉会職員研修大会 「人生が500倍おもしろくなる思考力・妄想力」	中脇雅裕氏	職員9名
R1.11.05	職員ミニ研修(冰山モデルで観る・考える)	施設長	職員13名
R1.11.05	WJU経営企画チーム④	WJU(株)	職員1名
R1.11.08	世話人ミニ研修(冰山モデルと構造化)	グループホーム職員	世話人16名
R1.11.19	WJU管理職育成研修(マネジメントミーティング②)	WJU(株)	職員1名
R1.11.19	WJU経営企画チーム⑤	WJU(株)	職員1名
R1.12.02	職員ミニ研修(道路交通法改正について)	施設長	職員15名
R1.12.11	世話人ミニ研修(道路交通法改正について)	グループホーム職員	職員15名
R1.12.17	WJU経営企画チーム⑥	WJU(株)	職員1名
R2.01.07	職員ミニ研修(虐待防止・権利擁護について)	施設長	職員15名
R2.01.10	世話人ミニ研修(虐待防止・権利擁護について)	グループホーム職員	職員17名
R2.01.14	WJU経営企画チーム⑦	WJU(株)	職員1名
R2.01.20	WJU経営企画チーム⑧	WJU(株)	職員1名
R2.01.22	WJUコンサルミーティング(人事考課制度)	WJU(株)	職員1名
R2.01.22	障害児者支援ワーキング(スキルアップ講座)	施設長	職員2名(運営1名)
R2.01.29	WJU経営企画チーム⑨	WJU(株)	職員1名
R2.02.03	WJU経営企画チーム⑩	WJU(株)	職員1名
R2.02.10	世話人ミニ研修(感染症予防について)	グループホーム職員	職員17名
R2.02.12	WJU経営企画チーム⑪	WJU(株)	職員1名
R2.02.17	WJU管理職育成研修(マネジメントミーティング③)	WJU(株)	職員2名
R2.02.17	WJU経営企画チーム⑫	WJU(株)	職員1名
R2.02.18	恵泉会職員フォローアップ研修①	法人役員他	職員2名(運営1名)
R2.02.21	救命救急講習(心肺蘇生, AED, 応急手当)	登米市消防	職員22名
R2.03.02	職員ミニ研修(働き方改革に伴う規則改正について①)	施設長	職員16名
R2.03.03	恵泉会職員フォローアップ研修②	法人役員他	職員2名(運営1名)
R2.03.03	職員ミニ研修(働き方改革に伴う規則改正について②)	施設長	職員4名

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.03.04	WJU経営企画チーム⑬	WJU(株)	職員1名
R2.03.05	職員ミニ研修(働き方改革に伴う規則改正について③)	施設長	職員2名
R2.03.10	WJU経営企画チーム⑭	WJU(株)	職員1名
R2.03.12	WJU経営企画プレゼンテーション	WJU(株)	職員1名

【内部研修 実施件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	2	4	6	5	1	3	4	3	7	7	7	53

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.05.10	精神保健福祉基礎講座 I	県精神保健福祉センター	大崎合同庁舎	職員1名
R1.05.23	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(基本)	登米市	南方庁舎	職員2名
R1.05.29	OJT指導者研修	県社協	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
R1.06.11	福祉現場のリスクマネジメント研修	県社協	フォレスト仙台	職員1名
R1.06.28	障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	宮城県庁	職員1名
R1.07.10	安全運転管理者講習	宮城県安全運転管理者協会	中田町環境改善センター	職員1名
R1.07.30	障がい福祉支援者サポート事業	登米市	南方庁舎	職員3名
R1.08.19	発達障害者支援セミナーinみやぎ	県社協	宮城県庁	職員1名
R1.8.29～30	全国グループホーム等研修会	日本知的障害者福祉協会	東京ベイ幕張	職員1名
R1.09.02	サービス管理責任者等更新研修(A日程)	県社協	宮城県庁	職員1名
R1.09.25	障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員3名
R1.10.8～9	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	栗原秀峰会	エポカ21	職員1名
R1.10.09	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	県社協	宮城県管工事会館	職員1名
R1.10.21	施設長・管理者職員研修会	県知的障害者福祉協会	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
R1.10.31	感染症予防セミナー	登米保健所	登米合同庁舎	職員1名
R1.10.31～11.1	強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	栗原秀峰会	エポカ21	職員1名
R1.11.26	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	県社協	宮城県管工事会館	職員1名
R1.11.26	36協定・働き方改革セミナー	宮城労働局	登米公民館	職員1名
R1.12.16	サービス管理責任者等更新研修(B日程)	県社協	宮城県庁	職員3名
R1.12.20	障害者支援のあり方を考えるシンポジウム	県リハビリテーション支援センター	まなウェルみやぎ	職員1名
R2.01.07	相談支援従事者現任研修①	県社協	宮城県庁	職員1名
R2.01.17	相談支援従事者現任研修②	県社協	宮城県庁	職員1名
R2.01.27	相談支援従事者現任研修③	県社協	宮城県庁	職員1名
R2.02.06	新型インフルエンザ等対策研修会	地域医療対策委員会	ホテルニューグランド仙台	職員1名
R2.02.06	障害児・者の口腔ケア支援者研修	県保健福祉部	若草園	職員2名
R2.02.18	ロジカルシンキング研修	県社協	宮城県管工事会館	職員1名
R2.02.20	要配慮者避難確保計画作成講習会	登米市消防	登米市防災センター	職員1名

【外部研修 参加件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	3	2	2	2	2	5	2	2	3	4	0	27

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	行事計画, 支援課題, 事務連絡, ミニ研修 等	毎月1回	グループホーム・はせやま職員
ケア会議	個別支援計画, モニタリング, 支援方針 等	毎月1回	利用者, 担当職員 他
世話人会議	情報共有, 事業方針, 業務連絡, ミニ研修 等	毎月1回	各ホーム世話人, 担当職員

(2) その他の会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
サービス担当者会議	外部関係者を交えた支援方針等の検討・調整	随 時	担当職員, 関係者, 本人
サポート会議	個別支援計画の見直しに関するカンファレンス	随 時	担当職員 他
職場連携会議	就労先等を訪問しての情報共有	随 時	担当職員, 関係機関, 本人
行政機関等連携会議	新規入居希望者等を対象とした情報共有	随 時	担当職員, 関係機関
障害児者施設長等会議	法人内障害児者支援事業の検討・調整	全10回	施設長
障害児者支援ワーキング	支援技術の向上と事業所間の連携	全10回	施設長, 担当職員
職員研修大会実行委員会	研修大会の運営・調整	全4回	施設長, 担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
防災安全・権利擁護委員会	災害や非常時に備えた計画の整備, 訓練実施。事故や虐待, 権利擁護等に関する検証。	毎月1回程度	委員会メンバー, 関係職員
入居者支援・余暇検討委員会	支援方法や業務手順, 余暇に関する企画・実施。支援方法や入居ホームに関する検討・調整。	毎月1回程度	委員会メンバー, 関係職員
サービス向上・研修委員会	サービス内容に関する評価とマニュアルの整備, 研修計画の立案と実施。	毎月1回程度	委員会メンバー, 関係職員

【 施設機能の開放 】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H31.04.04	新規入居希望者	見学(やまびこホーム)	3名
H31.04.11	新規入居希望者	見学(やまびこホーム)	1名
H31.04.11	涌谷町	視察, 見学(かごだんホーム, 石森ホーム)	7名
R1.07.23	登米市社協	見学(やまびこホーム)	3名
R1.07.24	新規入居希望者	見学(くりの実ホーム)	4名
R1.08.01	新規入居希望者	見学(とよまホーム 他)	1名
R1.08.25	新規入居希望者	見学(くりの実ホーム)	2名
R1.09.06	新規入居希望者	見学(やまびこホーム)	3名
R1.09.09	新規入居希望者	見学(とよまホーム)	2名
R2.02.20	涌谷町 共生の森	見学(かごだんホーム)	3名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	3			2	2	2					1		10

(2) 体験ステイ, 体験入居(介護給付費対応)

年月日	対 象 者	内 容	来訪者数
H31.04.13	新規入居希望者	体験ステイ(やまびこホーム)	1名
H31.04.19~20	新規入居希望者	体験ステイ(やまびこホーム)	1名
R1.05.04~05	新規入居希望者	体験ステイ(やまびこホーム)	1名
R1.09.17~18	新規入居希望者	体験ステイ(とよまホーム)	1名
R1.10.07~11	新規入居希望者	体験入居(とよまホーム)	1名
R1.10.15~18	新規入居希望者	体験入居(とよまホーム)	1名
R1.10.31	新規入居希望者	体験入居(とよまホーム)	1名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	3	2				2	10						17

【今後の事業の取り組み】

1. 恵泉会障害児者支援共通スローガン(2019～2021年度)

『いっしょに』 ～ あなたによりそう「けいせんかい」 ～

2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

- ① 利用者の皆さんの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
- ② 利用者の皆さんを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
- ③ ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
- ④ 余暇の充実を強力に進め、その成果を示し、利用者さんの生活に楽しみと潤いをもたらすこと
- ⑤ 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者さんの年齢や特性に合った住環境を整備すること

3. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業

- ① 利用者さんの特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備
→夜間支援対応型ホームへの転居や老朽化ホームの移転、賃貸借物件の契約見直しなど
- ② 5年後・10年後を想定したアセスメントの実施と将来利用サービスの検討・提案
→現状での地域生活が困難傾向にある利用者や介護保険移行利用者についての将来設計の実行
- ③ 利用者預り金管理体制の強化および抜本的見直しの実施
→宮城県ガイドラインに即した帳簿整備ならびに世話人管理範囲の限定適正化
- ④ 相談支援事業の収益性確保と効率的な職員の配置および職務分担の決定
→報酬単価の水準維持および法人内相談支援事業所間での効率的な連携深化

4. 共同生活援助事業所としての役割を明確にし、理想を追求すると共にその実現を目指す

- ① グループホームの役割は、その人のニーズに合うサービスを創り出していく仕事です。
言い換えれば、利用者さん一人ひとりと一緒に、『地域をつくる』仕事です。
- ② グループホームは、利用者さん一人ひとりの家であり、生活する居住の場です。
決して集団生活を強いることや指導・訓練が中心となるような場所ではありません。
- ③ 恵泉会のグループホームは、若草園・若生園・若葉園の出身利用者が9割を占めています。
彼らは施設に入所しているわけではありません。法人全職員は、在宅の利用者さんと同じ目線で、一人ひとりに尊厳をもって接し、主体性のある生き方を応援します。

2019年度 恵泉会地域生活支援センター 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市迫町佐沼字中江一丁目10番地4中江第一ビル1-1、1-2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成18年10月1日 |
| 5. 利 用 定 員 | なし (利用者の障害種別は問わない) |

【 利 用 状 況 】

- | | | | |
|------------------------|---------|---|---------|
| 1. 年間延べ利用人員 | 7,142 名 | | |
| ○登米市障害者相談支援事業 | | } | |
| ○宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業 | | | 3,644 名 |
| ○宮城県障害児等療育支援事業 | | | |
| ○指定特定相談支援事業(計画相談支援) | | | 1,976 名 |
| ○障害者就業・生活支援事業 | | | 1,522 名 |

2. 年間稼働日数 291 日

3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市障害者相談支援事業 宮城県発達障害者地域支援 マネジャー配置事業 宮城県障害児等療育支援事業	374	379	347	374	282	301	262	302	234	259	243	287	3,644
指定特定相談支援事業	234	250	181	150	156	169	127	152	121	140	105	191	1,976
障害者就業・生活支援事業	172	117	150	180	121	105	125	119	120	102	82	129	1,522
計	780	746	678	704	559	575	514	573	475	501	430	607	7,142

4. 登録の状況

登米市障害者相談支援事業・宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業・宮城県障害児等療育支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	1	3	2	2	1	3	1	1	0	1	4	3	22
月末登録者数	369	372	374	376	377	380	381	382	382	383	387	390	

障害者就業・生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	6	1	2	1	0	1	2	0	0	0	0	2	15
登録抹消者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末登録者数	260	261	263	264	264	265	267	267	267	267	267	269	

5. 相談実績件数

登米市障害者相談支援事業/宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業
宮城県障害児等療育支援事業/指定特定相談支援事業(計画相談支援)

障害者就業・生活支援事業

訪問相談	来所相談	電話相談	機関連携	地域支援他	職場実習	就職者	定着支援
765	255	1,034	382	3,003	22	22	370

【利用者サービスの状況】

1. 日常サービス

(1) 技術支援

実施日	項目	内 容	参加者数
R01.05.17	ペアレントプログラム	保護者を対象にした支援プログラム(おもちゃ箱とめ)	6名
R01.05.31	〃	〃	3名
R01.06.14	〃	〃	4名
R01.06.28	〃	〃	3名
R01.07.12	〃	〃	4名
R01.09.06	〃	〃	4名
R01.09.05	〃	保護者を対象にした支援プログラム(こじか園)	9名
R01.09.19	〃	〃	11名
R01.10.03	〃	〃	6名
R01.10.17	〃	〃	8名
R01.10.31	〃	〃	9名
R02.01.30	〃	〃	8名
R01.06.27	あそぼつくり	障害児通所支援事業所職員への療育技術支援(はげまし学園)	11名
R01.11.19	〃	〃	10名
実 施 回 数		14 回	延 べ 参 加 者 数
			96 名

(2) 療育相談

実施日	項目	内 容	参加者数
H31.04.21	はあとタイム	理学療法士・言語聴覚士による療育相談(登米)	16名
R01.05.26	〃	〃	10名
R01.06.23	〃	〃	11名
R01.07.21	〃	〃	10名
R01.08.25	〃	〃	4名
R01.09.29	〃	〃	8名
R01.10.27	〃	〃	10名
R01.11.17	〃	〃	10名
R01.12.15	〃	〃	10名
R02.01.19	〃	〃	13名
R02.02.16	〃	〃	12名
R02.03.15	〃	〃	9名
R01.12.15	ほんによりタイム	理学療法士・言語聴覚士による療育相談(栗原)	2名
実 施 回 数		13 回	延 べ 参 加 者 数
			125 名

(3) 療育行事

実施日	項目	内 容	参加者数
R01.07.28	オープンはあとアクション	トラブルにならないように!!消費生活出前講座	6名
R01.12.22	〃	クリスマス忘年会～カラオケを楽しもう～	11名
R02.02.23	〃	ポッチャだよ!全員集合!!	6名
実 施 回 数		3 回	延 べ 参 加 者 数
			23 名

(4) 在職者交流会

実施日	項目	内 容	参加者数
R01.06.16	たいあつぷ	社会人としての心構え	7名
R01.07.28	〃	トラブルにならないように!!消費生活出前講座	6名
R01.11.24	〃	モチベーションを維持するためには	4名
R02.02.23	〃	ポッチャだよ!全員集合!!	5名
実 施 回 数		4 回	延 べ 参 加 者 数
			22 名

(5) 研修事業等

実施日	項目	内 容	参加者数
R01.06.13	就業支援ネットワーク強化事業	第1回就労関係事業所連絡会	20名
R01.09.04	就業支援研修事業	しごとサポート講座(若葉園)	2名
R01.09.05	就業支援研修事業	しごとサポート講座(つなぐ)	7名
R01.09.17	マネジャー配置・療育支援事業	母子支援研修会	21名
R01.09.26	就業支援ネットワーク強化事業	第2回就労関係事業所連絡会	12名
R01.10.10	マネジャー配置・療育支援事業	気になる子どもの発達応援セミナー	52名
R01.11.11	就業支援ネットワーク強化事業	第3回就労関係事業所連絡会	12名
R01.11.12	マネジャー配置・療育支援事業	母子支援研修会	20名
R01.12.03	「ゆい」研修事業	『はたらくを楽しむために!』～精神障害のある方の就労定着～	59名
R02.02.19	相談支援事業	多機能型事業所職員研修会[接遇・コミュニケーション]	20名
実 施 回 数		10回	延 べ 参 加 者 数
			225名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R01.04.24	法令遵守(コンプライアンス)並びに障害者虐待防止法に関する研修	施設長	相談業務担当職員
R01.05.29	グループスーパービジョン(事例検討)※毎月実施	施設長(スーパーバイザー)	〃
R01.10.18	恵泉会職員研修大会	中脇雅裕	職員4名

(2) 外部研修(主な研修)

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R01.06.12	精神保健福祉基礎講座Ⅱ	宮城県	大崎市	職員1名
R01.06.25	障害者職場定着支援セミナー	労働局、宮城障害者職業センター	仙台市	職員2名
R01.06.25	北部・東部地区高等学校特別支援教育情報交換会	小牛田高等学園	登米市	職員1名
R01.07.26	迫支援学校進路講演会	宮城県	登米市	職員1名
R01.07.31	アセスメント技術を高める研修会	えくぼ	仙台市	職員1名
R01.08.02	小牛田高等学園公開研修会	小牛田高等学園	美里町	職員1名
R01.08.30	思春期問題研修会	宮城県	仙台市	職員1名
R01.09.27	精神保健福祉実践講座	宮城県	仙台市	職員1名
R01.10.02	地域リハビリテーションスタッフ研修会	宮城県	名取市	職員2名
R01.10.03	障害者相談支援従事者初任者研修10/8,11/4~6	宮城県	仙台市	職員1名
R01.10.03	小牛田高等学園卒業生事例発表会	小牛田高等学園	美里町	職員1名
R01.10.31	栗原市障がい者就労セミナー	栗原市	栗原市	職員1名
R01.11.07	障がい者家族セミナー	登米市	登米市	職員3名
R01.11.10	Vineland-Ⅱ研修会	えくぼ	仙台市	職員1名
R01.11.27	就業・生活支援センター北海道・東北ブロック経験交流会議	岩手労働局	盛岡市	職員1名
R01.12.16	宮城県サービス管理責任者等更新研修	宮城県	仙台市	職員3名
R02.01.07	障害者相談支援従事者現任研修1/17,27	宮城県	仙台市	職員3名
R02.01.15	面接技術向上研修会(災害こころのケア研修Ⅰ)	宮城県	大崎市	職員1名
R02.01.18	宮城県仙台市医療的ケア児等支援者養成研修	宮城県	仙台市	職員1名
R02.02.19	障害者相談支援従事者主任研修2/20,24,25	宮城県	仙台市	職員2名
R02.02.21	発達障害児早期支援研修	宮城県	大河原町	職員2名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
相談支援事業者連絡会議	相談支援事業者と福祉事務所との定例協議	毎月実施	相談支援事業担当職員
自立支援協議会運営会議	相談支援事業者と福祉事務所との運営協議	毎月実施	相談支援事業担当職員
職員会議	各事業の現状報告並びに今後の援助対策検討	毎月実施	全職員
職員ミーティング	相談業務の共有化と個別対応方法検討	隔週実施	相談業務担当職員
グループスーパービジョン	相談支援の技術向上等を目的としたOJT	毎月実施	相談業務担当職員
事例検討会	相談支援の技術向上等を目的とした事例検討	隔週実施	相談業務担当職員

(2) その他の会議(主な会議)

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R01.06.04	宮城就業支援ネットワーク推進会議及び連絡会議	仙台市民会館	職員2名
R01.06.25	宮城就業支援ネットワーク総会	TKPガーデンシティ仙台	職員3名
R01.06.28	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県自治会館	職員1名
R01.11.07	子ども・若者支援地域協議会実務担当者部会(登米・気仙沼)	登米合同庁舎	職員1名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H31.04.24	宮城県立迫支援学校高等部3年生	センター見学・センターの機能説明	15名
R01.08.03	宮城県立支援学校小牛田高等学園2年生	「ゆい」見学・センターの機能説明	3名

【事業に伴う成果】

(1) 登米市障害者相談支援事業

- ・障害の種別や状況を問わず、相談を幅広く受け入れることで、地域生活の総合窓口としての位置付けが浸透し、より専門的な機関につながるための、支援の入り口・導入の機能も強くなっている。
- ・相談支援の経験を重ねた職員を継続して配置することで、各種制度やサービスの細かな内容に精通し、相談に的確に応じることができ、利用者のライフステージを通じた関わりも可能となっている。
- ・利用者のみならず、行政(保健師)や他支援機関から技術協力を求められる場面が増え、直接的な関わり以外にも、支援者のサポートや、支援体制作りの中心的役割を担うことで、地域の支援力向上の一助になっている。

(2) 宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

- ・宮城県が発達障害児者支援に重点を置いた施策のひとつとして新たに事業化した取り組みについて、初期の段階から協力し、県内の支援体制の現状を伝え、課題や方向性を提言し、システムの構築の一助となっている。
- ・宮城県の事業を初年度から受託し、理学療法士を地域支援マネジャーとして配置した上で、登米エリアだけでなく、栗原エリアの療育も補完し、新規事業を軌道に乗せている。
- ・初年度の取り組みとして、宮城県障害児等療育支援事業の内容をベースに、これまでの実績を踏まえ、ペアレントプログラム等を実施している。成果は市内からの評価にとどまらず、県内の療育関係者に広く認知され、次年度以降は、県全体の研修への協力を求められている。
- ・栗原エリアの療育充実に向けた取り組みのなかで、卒業後の支援体制を学校側と協議する場に加わり、教育との連携の一步を踏み出す支援を図っている。

(3) 宮城県障害児等療育支援事業

- ・療育支援担当に言語聴覚士を配置し、専門的な療育相談を身近な地域で受けられる体制を確保し、発達の状況に合わせた適切な助言を行っている。
- ・はあとタイムでの療育相談では、様々な障害(未診断を含む)特性に合わせて、専門職による個別対応を図り、家族も一緒に参加することで、家庭での療育実践につなげられる内容となっている。
- ・発達の遅れに不安を抱く家族の気持ちを受け止め、育児に自信を持てるような働きかけを通じて、不安の緩和を図り、その後のより良い療育に向けて、具体的な行動につなげられている。

(4) 障害者就業・生活支援センター「ゆい」

- ・「ゆい」登録者のうち、今年度は22名(延べ人数)が就職に結びついている。
- ・働き始めるためだけでなく、長期に働き続けるための支援やサポート体制作りについて、企業からの協力依頼が増えており、企業の関心や雇用意欲が高まっている。
- ・ハローワークの協力を得て、市内の就労系サービス事業所を対象にした「就労関係事業所連絡会」を年3回開催(年間計画4回のところ、コロナウイルスの影響で1回中止)し、事業所間の連携強化や就労支援の意識向上を図っている。
- ・支援学校との連携においては、個別移行支援会議等への参加、「ゆい」事業所見学の受け入れ、学校訪問、授業講師協力などを通して、就労に対する意識醸成の一助を担っている。また、在学中から関わることで、卒業後の切れ目のない支援につながっている。

2019年度 多機能型事業所若葉園 事業報告

【施設概要】

- | | |
|----------|---------------------------|
| 1. 所在地 | 宮城県登米市東和町米川字西綱木23番地16 |
| 2. 設置主体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経営主体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開設年月日 | 平成21年 4月 1日 |
| 5. 利用定員 | 40名（就労移行支援6名、就労継続支援B型34名） |

【基本方針の実施状況】

1. 就労移行支援

一般就労を希望する利用者に対し、個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労のための基礎的な体力や技術及び社会的なマナーの習得を目指すとともに、ハローワーク等の関係機関と連携し、希望や適正にあった就労や職場定着に向けた支援を実施した。

2. 就労継続支援B型

個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労や生産活動等を通して就労の場を提供し、社会生活における習慣の体得と技能の習得を目指しながら、工賃向上計画に準拠して、安定した工賃を払えるよう企業等とも連携を図り、生産体制の確立を図った。

3. 就労定着支援

就労移行支援は利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に実施し雇用の定着を目指すよう支援する。

【重点項目に対する評価、成果】

1. 個別支援の充実

サービス等利用計画に基づき、身体状況や社会的環境に配慮した個別支援計画作成を念頭に実施し、定期的にモニタリングしながら達成状況等を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実が図れるよう取り組んだ。

2. 工賃の向上

各作業班毎にコスト軽減や生産・販売の効率化に努めるとともに、今年度も新規開拓等にも積極的に取り組み、平成31年度就労継続支援B型事業において、大幅に工賃アップした昨年度に続き、月額平均工賃30,000円を上回る実績となった。

3. 就労支援体制のさらなる充実

関係機関と連携しながら、職場実習や企業合同説明会に参加して就労支援を行い、就労移行支援事業において利用者1名が障害者雇用にて就職しましたが、就職実績的には目標値までには達することが出来なかった。令和2年度には目標値就職者3名に向けて支援していきたい。

4. 就労定着に向けた専門的な支援

平成30年10月1日より開始となった就労定着支援事業であるが、今年度終了者2名と1名の方が会社の業績不振にともなう退職により4名、新たに1名の方が契約し5名での事業となっている。しかしながら、就労定着支援事業の指定を受けていることにより、就労移行支援に利用者が増えていることは事実である。

5. 虐待防止等

打ち合わせ時や会議時に、職員間で虐待防止法の周知を図り、虐待を行わない、見逃さない、放置しないという基本的姿勢の確認を繰り返し行った。

6. グリーン工房みやぎ生協加賀野店テナント事業

平成29年4月よりグリーン工房みやぎ生協加賀野店テナント事業行ってきましたが、出店を通して障害を持った方々を理解していただきながら、社会的障壁の除去に繋がられるよう、障害者の地域社会における共生の実現に向けた社会参加の機会を確保した。また、事業を通して就労に対する意識の向上を図ると共に、グリーン工房第2工場としての位置づけを確立し道の駅等のBP商品なども製造し更なる工賃支給を目指し取り組んだ。

【 利 用 状 況 】

就労継続支援B型事業 定員 34名

1. 年間延べ利用人員 8,118 名
2. 年間稼働日数 240 日
3. 年間稼働率 99.49 % (目標稼働率 : 100%)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	19	18	19	21	17	18	21	13	20	19	16	21	222
区分2	117	114	120	127	111	116	125	116	119	114	107	126	1,412
区分3	198	195	200	215	164	170	201	192	199	189	175	194	2,292
区分4	259	245	260	284	245	228	290	278	260	253	249	295	3,146
区分5	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
未申請	87	92	95	105	90	85	86	77	74	65	73	97	1,026
合計	700	664	694	752	627	617	723	676	672	640	620	733	8,118

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	3	8
契約解除者数	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
月末契約者数	36	36	36	35	35	33	37	37	37	38	38	38	+ 5

就労移行支援事業 定員 6名

1. 年間延べ利用人員 1,674 名
2. 年間稼働日数 240 日
3. 年間稼働率 116.25 % (目標稼働率 : 100%)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	20	20	19	19	20	23	121
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	20	18	20	22	17	20	42	40	40	38	36	41	354
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	124	114	117	124	115	112	90	80	87	80	71	85	1,199
合計	144	132	137	146	132	132	152	140	146	137	127	149	1,674

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	3	8
契約解除者数	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
月末契約者数	8	8	8	10	10	8	8	8	8	8	8	8	+ 5

若葉園(全事業合計) 定員 40名

1. 年間延べ利用人員 9,792 名
2. 年間稼働日数 240 日
3. 年間稼働率 102.00 % (目標稼働率 : 100%)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	19	18	19	21	17	18	21	13	20	19	16	21	222
区分2	117	114	120	127	111	116	145	136	138	133	127	149	1,533
区分3	198	195	200	215	164	170	201	192	199	189	175	194	2,292
区分4	279	263	280	306	262	248	332	318	300	291	285	336	3,500
区分5	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	211	206	212	229	205	197	176	157	161	145	144	182	2,225
合計	844	796	831	898	759	749	875	816	818	777	747	882	9,792

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	2	1	1	3	0	0	0	0	6	14
契約解除者数	0	0	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	6
月末契約者数	44	44	44	45	45	41	45	45	45	46	46	46	+ 8

就労定着支援事業

- 年間延べ利用人員 60 名
- 年間稼働日数 12 日以上
- 年間稼働率 100.00 % (目標稼働率 : 100%)
- 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

就労継続支援B型事業

曜日	午 前	午 後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

就労移行支援事業

曜日	午 前	午 後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	788,730	736,210	766,860	838,320	679,470	668,995	796,535	734,295	722,910	696,660	662,210	788,580	4,336,429	13,216,204
1人平均月額	21,909	21,035	21,910	23,952	19,413	19,676	21,528	20,397	19,538	18,829	17,427	20,752	111,190	357,557

就労移行支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	173,130	158,930	138,750	147,560	129,730	153,610	187,540	173,195	177,195	171,355	155,200	182,750	851,438	2,800,383
1人平均月額	21,641	19,866	19,821	16,396	14,414	19,201	23,443	21,649	22,149	21,419	22,171	26,107	94,604	342,884

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R1.06.25	法令遵守に関する研修	統括施設長	職員10名
R1.07.05	障害福祉サービス従事者セミナー	前理事長	職員2名
R1.07.30	安全運転内部研修	統括施設長	職員9名
R1.08.09	人事考課に関する意見交換会	WJU	職員1名
R1.10.18	恵泉会職員研修大会	中脇雅裕氏	職員3名
年間3回	管理職育成コンサル	WJU	職員1名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R1.05.28	事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R1.06.13	就労関係事業所連絡会	ハローワーク迫	登米市	職員1名
R1.06.26	安全運転管理者講習	県公安委員会	登米市	職員1名
R1.07.10	パックフェスタ	マツモト	仙台市	職員2名
R1.09.02	サービス管理責任者更新研修	県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.09.05	全国生産活動・就労支援部会全国大会(2日間)	日本知的障害者福祉協会	仙台市	職員1名
R1.09.05	軽減税率制度説明会	佐沼税務署	登米市	職員1名
R1.09.25	事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R1.09.26	就労関係事業所連絡会	ハローワーク迫	登米市	職員1名
R1.10.03	企業と支援機関の情報交換会	アデコ株式会社	大崎市	職員2名
R1.10.16	サトー商会展示会	サトー商会	仙台市	職員2名
R1.12.16	サービス管理責任者更新研修	県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R2.02.06	菓子製造業を対象とした講習会	食品衛生協会	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	毎月第4木曜日	全職員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随 時	スタッフ会議	支援員室他	各班チーフ責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証、虐待防止、苦情処理対応検討	随 時	若葉園職員8名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随 時	若葉園職員5名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関することを検討	随 時	若葉園職員6名
事業所利用検討委員会	利用希望の方について検討	随 時	若葉園職員6名
防 災 委 員 会	消防計画に基づき防災にについて検討	随 時	若葉園職員8名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R1.07.29	登米総合産業高校生徒	事業所見学	2名
R1.08.02	迫支援学校生徒・保護者・教員	事業所見学	5名
R1.08.02	迫支援学校教員	卒業生の巡回等	2名
R1.08.05	小松島支援学校教員	卒業生の巡回等	2名
R1.08.14	登米総合産業高校生徒	事業所見学	1名
R1.08.20	アデコ株式会社 支援員	事業所見学	1名
R1.08.27	県障害福祉課地域生活支援班班長・主事・アデコ株式会社支援員	事業所見学	3名

R1.09.02	利用希望の方(ご本人)	事業所見学	1名
R1.09.13	利用希望の方(ご本人・家族)	事業所見学	3名
R1.09.19	迫支援学校保護者	事業所見学	18名
R1.09.24	施設利用希望の方(ご本人)	事業所見学	1名
R1.10.02	利用希望の方(ご本人・GH職員)	事業所見学	4名
R1.11.05	アデコ株式会社 支援員	事業所見学	1名
R1.11.29	気仙沼市放課後デイサービス連絡協議会	事業所見学	23名
R1.12.17	フォンテーヌ職員、アデコ支援員	事業所見学	2名
H30.12.07	利用希望の方(ご本人・家族)	事業所見学	3名
R1.12.18	利用希望の方(ご本人・家族・保健師)	事業所見学	3名
R2.02.07	KTK福祉社会職員	事業所見学	4名
計			79名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
R1.06.10	迫支援学校高等部(10日間)	産業現場実習	2名	20名
R1.06.17	迫支援学校高等部(5日間)	産業現場実習	1名	5名
R1.06.28	米川小学校3年生	パン作り体験	24名	24名
R1.10.15	迫支援学校高等部(4日間)	産業現場実習	1名	4名
R1.10.15	迫支援学校高等部(9日間)	産業現場実習	3名	27名
R1.11.14	みんなの家	パン作り体験	18名	18名
R1.10.30	登米総合産業高校福祉科(3日間)	介護実習	2名	6名
R1.11.06	登米総合産業高校福祉科(3日間)	介護実習	2名	6名
R2.01.27	小牛田高等学園(5日間)	産業現場実習	1名	5名
計			54名	115名

【 今後の取り組み 】

1. 個別支援の充実

- ・サービス等利用計画に基づき、利用者の希望や意向に添った目標を設定し、身体状況や特性、社会的環境に配慮した支援計画を立案します。また、定期的にモニタリングしながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図ります。

2. 工賃の向上

- ・新商品開発はもとより、商品製造の増産体制、販路拡大を図ります。
- ・利用者に対し、各種作業の工程や技術を身につけるよう支援します。
- ・職員は、各種作業の専門的知識習得のため、自己研鑽に努めます。
- ・コスト意識の浸透を図り、経費削減に取り組み、無駄を無くすよう努めます。
- ・工賃向上計画に基づき、作業する達成感、責任感が得られるように幅広い作業提供を実施し、工賃支給を継続させます。

3. 就労支援体制のさらなる充実

- ・希望に沿った就労が出来るよう、日々の作業を通して、働くうえで必要な資質の向上を図ります。
- ・企業や関係機関と連携した支援体制を作ります。

4. 虐待防止等

- ・障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等で示されている事を大事にして利用者支援を行います。
- ・職員は利用者の権利を侵さないことはもちろん、積極的に擁護主体であるという自覚を持ち、基本的姿勢の確認を繰り返します。

5. 新規事業の検討

- ・新規の事業を検討するとともに、利用者の高齢化重度化を鑑み、他事業所と連携しながら今後のあり方等について検討します。

2019年度 就労継続支援B型さくらワークス 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成19年1月1日
5. 利 用 定 員 30 名

【 基 本 方 針 】

平成31年度 恵泉会 障害者支援共通スローガン

『いっしょに』 ～あなたによりそう「けいせんかい」

『いっしょに』に込められた意味とは、「あなたとわたし」「利用者さんと職員」「利用者さん同士」「利用者さんと家族」「職員同士」「事業所同士」など、大切な誰かとわたしを意識し、一緒にその人らしい生活を応援していこうと考えるものです。

その人の傍らに、必ず優しくよりそう恵泉会がある。この地域に必要とされ、地域のリーダーとして期待される法人・施設・職員となれるよう、一丸となって福祉課題に向き合っています。

****事業の実施にあたっては、利用者の基本的人権を尊重し、利用者個々の有する能力及び適性を十分に考えながら、社会的自立と就労支援を中心に就労移行を目指す。また、社会の一員として必要な知識、技術を習得させ、個性を尊重して安心して暮らせるための社会的役割を果たすよう努力しました。

①障害者総合支援法の中にある、自己決定と自己選択の尊重を基に、課題に対応したサービス提供体制を整えることで、希望する日中活動を保障するよう努めました。

②利用者の社会的自立を目指し、就労移行、雇用に向けた支援を行いました。

③グループホームの支援と連携を図りました。

【重点項目に対する評価、成果】

○地域生活において重要な・就労支援(生産活動の実施、職場規律の指導)・生活支援(健康管理、相談支援、余暇支援)を柱に、利用者の状況に応じ適切かつ柔軟な対応を心がけ支援する。また、ここ数年で高齢・重度化が進んでいることから、支援体制の改善に向けた検討を進めました。

○利用者個々のサービス等利用計画に基づき、一人ひとりのニーズに合った個別支援計画を作成し、就労の意識を高める。また、生活支援体制を整備しながら、サービスの量、質の充実に努めました。

- ①自 立 支 援 … 生活活動、日中活動を通して、個別の状況に応じた対応から実際の生活の安定へとつながられるよう努力しました。
- ②主体性の尊重 … 利用者が自己選択・自己決定できる機会を拡充し、本来有している能力がよい方向で発揮できるよう支援しました。
- ③就 労 支 援 … 利用者の雇用及び就労移行事業へのステップアップに向けた支援を行いました。
- ④地域生活の充実 … 地域との連携を強めた活動を展開しました。
- ⑤家 族 支 援 … 総合的な支援体制を整えるため、家族との協力関係の構築に努めました。

1. 受託加工

・ミヤギトップ

ディズニー製品の作成、梱包 ◇受注量は年間を通じ一定レベルを確保しました。

・エスコアハーツ

給湯器解体・仕分け ◇受注量は年間を通じ一定レベルを確保しました。

・登米神社お正月用品作成(1回)

2. 受託事業

軽作業(除草・窓清掃・草刈等) 91件

登米市軽度生活援助作業 26件

登米市水道配水池除草作業 2箇所×年3回

3. 法人内受託作業
 恵泉会法人本部 窓清掃(1回)園庭・駐車所除草(4回) パルめぐみ 窓清掃(1回)園庭・駐車所除草(4回)
 萩風園 窓清掃(2回)草刈り・園庭周囲(2回) 菊風荘 窓清掃(2回) 南風園 窓清掃(3回)
 南寿荘 窓清掃(3回)草刈り(1回) 光風園 支障木伐採、草刈(1回) ゆりの郷 草刈(2回)
 ほんわか 畑耕運、窓清掃(1回) 南方保育所 草刈り(1回) こじか園 園庭除草、周囲草刈り(2回)
 恵泉会体育館 草刈り(3回) 若草園 洗濯、窓清掃(1回)草刈り(3回)芝刈り(4回)
 若生園 草刈り、除草(2回)園庭側溝清掃(1回)窓清掃、床ワックス(1回)圃場整備(1回)
 ◇法人内の受託作業は、施設毎に見直ししながら今後も継続して行く。
4. 法人内販売(微酸性電解水生成・販売)
 恵泉会法人本部、ヘルパーステーション、恵泉会介護支援センター、パルめぐみ、若草園、若生園、

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,727 名
 2. 年間稼働日数 244 日
 3. 年間稼働率 91.90 %
 4. 年間平均区分 3.01
 5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	140	130	140	155	139	135	125	121	107	114	109	125	1,540
区分3	280	262	264	301	266	245	266	290	269	279	262	307	3,291
区分4	135	125	124	142	129	126	158	154	134	139	125	146	1,637
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当	27	24	24	22	25	20	20	20	20	19	17	21	259
合計	582	541	552	620	559	526	569	585	530	551	513	599	6,727

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
契約終了者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
月末契約者数	30	30	30	30	30	29	29	30	30	30	30	30	+1

【 利用者サービスの状況 】

1. 週間予定

曜日	午 前	午 後
月	出勤確認:作業	作業
火	出勤確認:作業	作業
水	出勤確認:作業	作業
木	出勤確認:作業	作業
金	出勤確認:作業	作業
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	361,860	340,510	354,750	391,670	355,995	335,070	345,350	371,740	332,920	354,850	335,935	391,285	2,250,636	6,522,571
1人平均月額	12,062	11,350	11,825	13,056	11,867	11,169	11,909	12,391	11,097	11,828	11,198	13,043	75,021	217,816

3. 余暇・レクリエーション活動

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.19	さくらワークス お花見会	さくらの開花に合わせて、地元若草神社にてお花見弁当を食べながら利用者、職員との交流を図った。	利用者 26名 職員 6名
R1.10.25	恵泉会 フェスティバル	恵泉会障害事業所が開催する「秋祭りに」参加しています。	利用者 26名 職員 7名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R1.06.27	法令順守研修会	統括施設長	職員6名
R1.07.05	障害福祉サービス従事者セミナー	前理事長	職員1名
R1.10.18	恵泉会職員研修大会	音楽プロデューサー メンタルコーチ・著述家 中脇雅裕氏	職員3名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.11.11	障害者雇用促進セミナー	宮城県	石巻合同庁舎	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	利用者の状況確認報告並びに援助対策検討	毎月最終木曜日	統括施設長・事務員他全職員

(2) その他の会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
担当者会議	利用者個々の今後の支援について検討	随時	グループホーム職員・相談支援担当・サービス管理責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
身体拘束廃止適正化委員会	身体拘束や虐待等無く適切に支援がなされているか検討	3ヶ月に1回	さくらワークス職員7名
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証・虐待防止、苦情処理対応検討	随時	さくらワークス職員7名
サービス向上委員会	サービス支援評価、工賃アップ向上等評価検討	随時	さくらワークス職員7名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随時	さくらワークス職員7名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関すること	随時	さくらワークス職員7名
感染予防委員会	利用者の衛生管理と感染予防に対する実践対策、研修	随時	さくらワークス職員7名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
R1.06.10	迫支援学校	産業現場実習	2名	20名
R1.10.15	迫支援学校	産業現場実習	2名	12名
R1.10.30	登米総合産業高校	作業現場における介護・支援実習	2名	6名
計			6名	38名

【今後の取り組み】

○地域生活において重要な就労支援(生産活動の実施、職場規律の指導)・生活支援(健康・相談援助・職場規律)を軸として、利用者個々の状況に応じた支援を誠意を持って行って参ります。また、地域で働く職業意識も高揚させながら、地域との関わりやグループホームとの連携、家族との相互理解を深めていく。

○個別支援計画を作成する上でのアセスメント・モニタリング等を実施し、①自立支援②主体性の尊重③就労支援④地域生活の充実⑤家族支援等を中心としたニーズを発掘し、その人らしい暮らしの実現に向けて行く。また、高齢・重度化に伴う身体的・精神的な配慮を含めた部分も支援計画に結び付ける。更に、関係事業所(若葉園)との協議、連携を図る。

1. 受託加工事業について、(株)リハーツ東北の(給湯器解体作業)・ミヤギトップの(ディズニー製品の作成、梱包)を中心に行います。受託作業単価が安価であること、能力的な受け入れ制限等があり、バランスを調整して今後の取り組みを行っていく。技術を伝達できる利用者の育成を図りながら事業へ取り組む。また、ミヤギトップへは年間を通じての安定供給を要望し、重度者の作業として定着出来るようにする。
2. 受託事業について、軽作業(一般作業、窓掃除、草刈り、支障木伐採等)の請負、特に地域や一般からの請負について依頼が多く、時期によっては多忙な状況となり作業の受け入れ調整が必要。また、登米市の軽度生活援助事業を法人として受託し、東和地区を限定とした利用者の地域ニーズも加味しながら継続し、さらに岩手県アーク牧場の作業委託を受け(除草・運搬等)1年を通しての利用者支援、人材育成も含めながら継続した事業を推進していく。
3. 法人内受託作業について、若草園、南風園、南寿荘、パルめぐみ、こじか園、若生園、ほんわか、ゆりの郷、萩風園、光風園等10数施設から、除草、草刈り、芝刈り等を受託し、各事業所の協力を得ながら計画的に取り組む。
4. 法人内販売について、微酸性生成電解水を販売しています。法人内施設(恵泉会事務局支援棟1階・2階、若草園、若生園、パルめぐみ、こじか園等)の利用実績と収益に結びつける。感染症や衛生処理に効果的であったという実績を持って今後も販売の拡充に努める。

2019年度 登米市児童発達支援センターこじか園 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	登米市中田町上沼字大柳117番地2
2. 設 置 主 体	登 米 市
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵 泉 会
4. 開 設 年 月 日	平成23年 4月 1日 (指定管理開始)
5. 利 用 定 員	指定障害児通所支援事業 ・児童発達支援(未就学児) 10名 ・放課後等デイサービス(就学児) 15名 ・保育所等訪問支援 定員区分なし 指定障害児相談支援事業(児童サポートセンター「バンビ」) ・指定障害児相談支援 定員区分なし ・指定特定相談支援(計画相談) 定員区分なし 登米市および石巻市地域生活支援事業 ・障害児日中一時支援事業 20名(障害児通所支援契約者を主とする)

こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成23年度の指定管理開始から3期目の3年が経過し、指定管理施設として質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行ってまいりました。施設設置者である登米市や地域の計画相談支援事業者からの指導および協力により、障害児相談支援ならびに保育所等訪問支援についても、効果的な事業推進が図られるよう努め、実績も着実に伸びつつあります。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令および登米市児童発達支援センターこじか園条例、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本とし、これまで全体での集団活動がメインとなっていた活動プログラムについて、児童発達支援管理責任者を中心とする『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、生きる力と意欲ある生活ができる療育訓練の実践に努めました。心の安定や見通しをもった行動、期待して待つこと、挑戦する意欲など、小さな集団で訓練することで、周囲の環境変化についても少しずつ克服できる力を養い、園外での体験療育の機会も増やしております。

また、家族参加型行事については、「家族と共に考える子育て」を目標とし、合同企画行事の実施や家族・支援者向けセミナー(通称:こじ豆)の開催などを行いました。

【 重 点 項 目 】

1. ㊦ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。

個々の障害特性等に応じた支援を強化するため、個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のサポートチームを編成し療育プログラムを作成しました。子供たち一人ひとりの「できる」「できた」を大切にしながら、今後もより専門的なサポートを目指して参ります。

- ◇モニタリング件数 … 児童発達支援 34件 , 放課後等デイサービス 93件
(継続障害児支援利用援助) 保育所等訪問 37件 , 障害児相談支援 67件
- ◇個別支援計画作成数 … 児童発達支援 40件 , 放課後等デイサービス 92件
(障害児支援利用計画) 保育所等訪問 36件 , 障害児相談支援 54件
- ◇サポート検討(会議) … 児童発達支援 42件 , 放課後等デイサービス 98件
(ケアカンファレンス) 保育所等訪問 39件 , 障害児相談支援 54件
- ◇職員向けアンケート(運営・サービス・行事分野)…達成度評価(11月実施)

2. ㊧ 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。

3つの力を伸ばしていけるよう、活動内容に合わせて個別・小集団・全体といった様々な活動形態を日々取り入れて活動しました。また、就学児においては、自主研修外出として、同じ分野に興味関心のある児童がグループをつくり、研修場所や研修内容を自分たちで企画・相談し、社会体験のための外出を実施しました。

- ◇個別活動 … 生活訓練, 自立課題, 学習補習, 作業訓練, 機能訓練
- ◇小集団活動 … 粗大運動, 音楽療法, 園芸活動, からだづくり(運動訓練)
- ◇全体活動 … はじまりの会, かえりの会, リズム活動, 各種行事
- ◇自主研修 … 実施回数 10回, 参加児童 63名

3. ③ 家族の「想い」、家族と一緒に「子育て」、家族同士の「交流」を大切にします。

ご家族や関係機関など、子供たちや施設に関わりのある方々や機関とのつながりを大切にしながら療育を進めました。家族参加型行事の充実や保護者・支援者向けセミナー(こじ豆)の実施など、年間を通じて企画・実践いたしました。また、保護者が自由に集い情報交換や親交を深められる場(通称:こじカフェ)を設定し、定期開催させていただきました。

◇参加交流行事 …… 療育参観, 親子遠足, タベのつどい, 親子レクゲームなど
実施回数…10回(家族等参加延べ人数 150名)

◇こじカフェ …… 実施回数…11回 営業日に実施(延べ71名利用)

◇家族・訪問先アンケート(運営・サービス・行事分野)…12月(家族)、2月(訪問先)実施,満足度評価

【 利 用 状 況 】

≪ 障害児通所支援事業, 障害児相談支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員 6,841 名 (障害児通所支援事業)※児童発達支援+放課後等デイサービス
2. 年間稼働日数 240 日 (児童発達支援)
305 日 (放課後等デイサービス)
240 日 (保育所等訪問支援)
240 日 (障害児相談支援/バンピ)
3. 年間稼働率 98.08 % (障害児通所支援事業)※児童発達支援+放課後等デイサービス
(89.33) % (児童発達支援) 定員 10 名
(102.67) % (放課後等デイサービス) 定員 15 名
9.4 件 (保育所等訪問支援 月平均訪問件数)
10.9 件 (障害児相談支援/バンピ 月平均提出件数)

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	159	147	164	191	181	151	174	173	183	189	200	232	2,144
放課後等デイサービス	423	410	405	417	404	392	403	404	358	366	384	331	4,697
保育所等訪問支援	2	14	11	10	2	14	9	11	11	14	11	4	113
障害児相談支援	11	14	13	11	10	8	10	10	10	9	11	14	131
計	595	585	593	629	597	565	596	598	562	578	606	581	7,085

5. 契約の状況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数 (児童発達支援)	12	2	0	0	2	0	0	2	0	2	1	1	0	22
契約者数 (放課後等デイ)	36	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	46
契約者数 (保育所等訪問)	10	6	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	19
契約者数 (相談支援)	33	0	0	0	1	2	1	1	2	1	2	1	1	45
契約終了者数 (児童発達支援)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
契約終了者数 (放課後等デイ)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
契約終了者数 (保育所等訪問)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約終了者数 (相談支援)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末契約者数	91	107	107	108	111	113	115	118	121	124	127	131	123	123

【療育サービスの状況】

1. 療育支援サービス

(1) 年間行事

① 児童発達支援

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.12	からだづくり (さくら観察会)	登米市米山町 平筒沼ふれあい公園にてさくら観察会と散策活動や遊具を使った体づくりを楽しむ	児童 7名 職員 6名
H31.04.15	療育説明会	通所利用にあたっての確認事項, 平成31年度行事予定 看護体制について, 給食提供について	家族 9名 職員 6名
R1.05.24	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外療育(花の公園/豊里町)	児童 9名 職員 8名
R1.06.07	いちご収穫体験	米山にあるいちごハウスの協力により, 体験学習として登米市産いちごの収穫体験を行う	児童 8名 職員 10名
R1.06.14	療育参観	全体での療育活動や各クラス毎小集団療育の活動を公開し家族に園での様子を見てもらいながら保護者同士や保護者と職員との交流を図る機会とした	児童 11名 家族 14名 職員 9名
R1.07.05	七夕会	七夕飾りの製作や行事についてパネルシアターを用いて七夕の由来を学習	児童 7名 職員 7名
R1.07.16	体験療育	波の音や砂浜の感触など実際に体験し様々な経験の幅を広げながら季節ならではのあそびを楽しむ(袖浜/志津川)	児童 8名 職員 13名
R1.08.31	タベのつどい	地域の幼稚園や保育所で経験するような「お祭り」行事を体験させたいという保護者の希望を汲み取り企画・実施、射的、水ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、手作り体験コーナー、ボランティアによる発表など保護者と協力して行う	児童 12名 家族 38名 ボランティア 10名 職員 14名
R1.09.27	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外療育(長沼フットピア公園/迫町)	児童 7名 職員 7名
R1.10.11	親子遠足	未就学児と保護者を対象にバス遠足を企画・実施、秋田ふるさと村にて記念撮影、施設内を見学したり、お土産の買い物体験などを行う。	児童 9名 家族 10名 職員 8名
R1.10.25	第1回恵泉会フェスティバル	障害者施設合同で実施した秋祭り(恵泉会フェスティバル)に参加、舞台にてダンスを披露した(若草園/東和町)	児童 12名 職員 16名
R1.11.02	療育交流会	石巻市かもめ学園との相互交流行事。こじか園を会場としてリズム体操、楽器遊び、バルーン遊びでの合同療育を行う。	児童 11名 保護者 8名 職員 12名 かもめ 15名
R1.12.06	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外療育(伊豆沼/迫町)	児童 7名 職員 8名
R1.12.06	親子クリスマス会	普段の療育の様子を公開、またお楽しみイベント・クリスマス会としてゲストによる音楽コンサート、サンタからのプレゼント、手作りのスペシャルバイキング給食を親子で楽しむ。	児童 16名 家族 19名 職員 13名 体験 2名
R2.01.16	地域交流会	登米市社協のコーディネートにより、中田地区の独居高齢者グループ(まろにえの会)との交流行事を実施、音楽療法の倉田先生をお招きし音楽交流会を行う。	児童 12名 職員 11名 ゲスト 1名 高齢者 23名 社協 2名
R2.02.3	豆まき会	豆まき, 節分の由来についての学習	児童 11名 職員 12名
R2.03.3	ひな祭り会	ひな祭りの由来についての学習	児童 11名 職員 11名
R2.03.7	令和1年度卒園・修了セレモニー	1年間のまとめの行事として実施 思い出DVDの上映, 記念品の贈呈, 学習成果の発表(感染症の蔓延防止のため規模を縮小して開催)	児童 3名 家族 6名 職員 14名

② 放課後等デイサービス

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.20	療育説明会	通所利用にあたっての確認事項、平成30年度行事予定 看護体制について、給食提供について他	家族 17名 職員 3名
R1.05.18	社会研修第1班	映画館(シネマリオオーネ古川/大崎市)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 4名 職員 4名
R1.06.29	社会研修第2班	宮城県共同募金会によるプロ野球の招待観戦、楽天イー グルスの応援と会場見学(楽天生命パーク/仙台市)	児童 5名 職員 5名
R1.07.03	りんご生育体験	小野寺りんご園(中田町)にて、りんごの木の作業体験(は さみを使ったつばみの剪定)を実施	児童 10名 職員 6名
R1.07.05	七夕会	七夕の行事に関心を持ち、七夕にちなんだ紙芝居や飾り をみて楽しむ	児童 19名 職員 12名
R1.07.27	社会研修第3班	石ノ森漫画館(石巻市)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 8名 職員 6名
R1.08.31 R1.09.01	社会研修4班 宿泊体験	氷の水族館等(気仙沼市)へ研修外出及び宿泊体験 宿泊体験や奉仕活動を通じ、地域貢献や将来の自立した 生活を見据えた課題把握のため(高等部児童対象)実施	児童 7名 職員 8名
R1.09.07	社会研修第5班	仙台うみの杜水族館(仙台市)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 5名 職員 6名
R1.10.26	親子レクゲーム大会	親子参加型行事としてレクスports交流会および手作り芋 煮汁の昼食会を実施	児童 15名 家族 23名 職員 15名
R1.10.28	りんご生育体験	小野寺りんご園(中田町)にて、りんごの収穫作業体験を 実施	児童 10名 職員 9名
R1.11.09	社会研修第7班	仙台市天文台(仙台市)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 5名 職員 6名
R1.12.14	社会研修第6班	感覚ミュージアム(大崎市)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 5名 職員 6名
R1.12.23	クリスマス会	クリスマスの由来についての学習	児童 15名 職員 11名
R2.01.16	カラオケ外出	カラオケ店でカラオケを楽しむ 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 4名 職員 5名
R2.02.03	豆まき会	豆まき、節分の由来についての学習	児童 17名 職員 11名
R2.02.14	施設見学	家族と共に施設見学を実施(ラボラーレ、みんなの家)	家族 9名 職員 6名
R2.03.30	卒園生を祝う会	1年間のまとめの行事として実施 記念品の贈呈や卒園する高校3年生をみんなで祝う	児童 12名 職員 12名

【その他の児童サービス】

《 登米市日中一時支援事業 》

1. 年間延べ利用人員 1,606 名
2. 年間稼働日数 305 日
3. 年間稼働率 26.33 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日 中 一 時	4時間未満	188	86	56	189	315	77	64	70	102	83	77	223	1,530
	4～6時間	3	5	1	0	2	5	8	6	6	1	2	30	69
	6～8時間	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
	8時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	送迎	102	39	31	86	137	33	34	39	46	42	37	86	712
合 計(送迎含まず)		191	91	57	189	324	82	72	76	108	84	79	253	1,606

【療育サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修(こじか園主催・実施関係)

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.19	エンパワメント・ストレングス・リフレーミング実践について	施設長	こじか園職員 17名
R1.05.21	コンプライアンス研修(交通法規の遵守)	施設長	こじか園職員 17名
R1.06.14	こじ豆①『就学について学ぶ』	迫支援	保護者等 14名
R1.06.21	行動の問題を示す子への理解と対応	施設長	こじか園職員 17名
R1.07.19	コンプライアンス研修(交通法規の遵守)	施設長	こじか園職員 22名
R1.08.21	「こころの貯金」理論	施設長	こじか園職員 19名
R1.09.05	こじか園ペアレント・プログラム①	地域生活支援C	保護者等 15名
R1.09.19	こじか園ペアレント・プログラム②	地域生活支援C	保護者等 15名
R1.09.20	アサーティブである私の権利と責任	施設長	こじか園職員 14名
R1.10.03	こじか園ペアレント・プログラム③	地域生活支援C	保護者等 11名
R1.10.17	こじか園ペアレント・プログラム④	地域生活支援C	保護者等 13名
R1.10.21	自己肯定感について	施設長	こじか園職員 17名
R1.10.21	虐待防止について	施設長、他	こじか園職員 17名
R1.10.21	てんかんについて	准看護師	こじか園職員 17名
R1.10.31	こじか園ペアレント・プログラム⑤	地域生活支援C	保護者等 18名
R1.11.21	コストパフォーマンス、費用対効果について	施設長	こじか園職員 19名
R1.11.21	ノロウイルス・食物アレルギーについて	管理栄養士	こじか園職員 19名
R1.12.20	日本社会や国民生活の変化(前提の共有)	施設長	こじか園職員 19名
R2.01.21	「ずっと友だち」を読んで	施設長	こじか園職員 16名
R2.01.30	こじか園ペアプロ フォローアップ	地域生活支援C	保護者等 11名
R2.02.21	子どもとての遊びとは	職員2名	こじか園職員 17名
R2.02.25	こじ豆②『救急救命講習』	登米市消防	保護者等 16名
R2.03.23	コンプライアンス研修(基本理念について)	施設長	こじか園職員 15名

(2) 内部研修(法人本部主催・実施関係)

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R1.08.09	WJU研修 人事考課について	WJC株	職員1名
R1.08.09	WJU研修 人事考課について	WJC株	職員1名
R1.10.18	第40回 恵泉会職員研修大会	中脇雅裕	職員6名
R1.02.18	准職員フォローアップ研修	法人役員 他	職員1名
R1.03.03	准職員フォローアップ研修	法人役員 他	職員1名
R1.08.26	WJUマネジメントミーティング	WJC株	職員2名
R1.11.19			
R2.02.17			

(3) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.05.16	防火管理新規講習	登米市消防	登米市	職員1名
R1.05.17				
R1.05.23	登米市障害福祉サービス職員等研修①	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R1.05.31	迫支援学校「学校見学会」	迫支援学校	登米市	職員10名
R1.06.07	特別支援教育研究会	登米市教育研究所	登米市	職員2名
R1.07.10	安全運転管理者等講習会	宮城県安管協会	登米市	職員1名
R1.07.05	障害者福祉サービス従事者セミナー	若生園	登米市	職員4名
R1.07.30	ワンダーサマースクール	ワンダーサマースクール	仙台市	職員1名
R1.08.23	宮城県サービス管理責任者等基礎研修	宮城県社協	仙台市	職員1名
R1.08.24				
R1.09.21				
R1.09.22				
R1.08.23	気になる子どもの発達応援セミナー	登米市	登米市	職員2名
R1.08.30	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	石巻市	職員2名

R1.09.19	宮城県サービス管理責任者等基礎研修	宮城県社協	仙台市	職員1名
R1.09.20				
R1.10.18				
R1.10.28				
R1.09.17	登米市母子支援研修会	支援センター	登米市	職員5名
R1.09.25	登米市障害福祉サービス職員等研修②	登米市福祉事務所	登米市	職員2名
R1.10.02	登米市特別支援研修会	登米市教育研究所	登米市	職員1名
R1.10.03	宮城県相談支援従事者初任者研修	宮城県社協	仙台市	職員1名
R1.10.08				
R1.11.04				
R1.11.05				
R1.11.06				
R1.10.10	気になる子どもの発達応援セミナー	登米市	登米市	職員2名
R1.11.14	発達障害児等支援者研修会	かもめ学園	石巻市	職員1名
R1.11.20	宮城県社会福祉施設新任職員研修4班	宮城県社協	仙台市	職員1名
R1.11.21				
R1.12.12	支援者研修会	登米障害児支援ネットワーク	登米市	職員8名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
スタッフ会議	月間予定, 事業方針・内容の調整協議	毎月1回	全職員対象
ケアカンファレンス	療育や支援に関する調整・協議 個別支援計画に関する確認	毎月1回 または随時	全職員対象

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
随時	行政機関連携会議(市教委, 福祉事務所 他)	こじか園	担当職員
随時	登米市障害者自立支援協議会(部会, 研修, 全体会)	登米市福祉事務所ほか	施設長
年 11 回	相談支援事業者 事例検討会	こじか園ほか	相談支援専門員
年 2 回	中田中学校区連絡会	ふれあいセンター他	児発管, 担当職員
随時	迫支援学校 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	南方保育所 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	さくら幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	豊里幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	東郷幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	錦織保育園 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	南方幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	石越小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	米岡小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	浅水小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	上沼小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	佐沼小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	新田小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
随時	東郷小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管, 担当職員
不定期	障害児教育相談連絡会	迫支援学校	児発管, 担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故原因の分析・改善, サービス提供時におけるリスクの評価・検討	年12回	管理者, 委員, 関係職員
サービス向上・研修委員会	施設サービス向上のための検証・改善 研修計画の立案と実施	随時	管理者, 委員, 関係職員
防災委員会	非常災害時に備えた計画の整備や訓練活動の企画・実施	年11回	管理者, 委員

(2) その他の委員会

- 障害児者支援ワーキング部会
- 事務部会
- 看護師部会
- 栄養士部会
- リハビリテーション部会
- 地震防災対策委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H31.04.04	東郷幼稚園	施設見学, 療育体験	4名
H31.04.05	保健師(登米市中田町)	施設見学	3名
H31.04.16	パーラーJ遊佐沼店	菓子類プレゼント	4名
R1.06.28	大学病院医師、県こども総合センター	施設見学	3名
R1.07.23	つどいの家、菜の花会	施設見学	2名
R1.07.24	迫支援学校教諭	施設見学	15名
R1.08.02	ボランティア(Jボラ)	施設見学, 環境整備, 療育体験	1名
R1.08.05	パーラーJ遊佐沼店	菓子類プレゼント	4名
R1.08.08	ボランティア(仙台幼児保育専門学校)	施設見学, 環境整備, 療育体験	1名
R1.08.09	ボランティア(Jボラ)	施設見学, 環境整備, 療育体験	3名
R1.08.23	ボランティア(仙台幼児保育専門学校)	施設見学, 環境整備, 療育体験	2名
R1.09.11	登米市保健師、宮城大学学生	施設見学	3名
R1.09.13	登米障害児支援ネットワーク	施設見学	8名
R1.10.07	南方保育所	施設見学	1名
R1.12.13	ボランティア(ミュージックケア)	行事サポート	1名
計			55名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R1.05.27	仙台青葉学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R1.06.10	尚綱学院大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R1.06.24	東北福祉大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R1.08.19	宮城学院女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R1.09.02	聖和学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R1.09.17	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R1.09.30	仙台こども専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R1.10.15	仙台幼児保育専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R1.10.16	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R1.11.05	仙台幼児保育専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
計			16名	160名

(3) フリーカフェ

年月	項目	利用数	年月	項目	利用数
H31.04	こじカフェ(家族交流支援)	10名	R1.10	こじカフェ(家族交流支援)	8名
R1.05	こじカフェ(家族交流支援)	0名	R1.11	こじカフェ(家族交流支援)	0名
R1.06	こじカフェ(家族交流支援)	18名	R1.12	こじカフェ(家族交流支援)	0名
R1.07	こじカフェ(家族交流支援)	7名	R2.01	こじカフェ(家族交流支援)	0名
R1.08	こじカフェ(家族交流支援)	2名	R2.02	こじカフェ(家族交流支援)	21名
R1.09	こじカフェ(家族交流支援)	0名	R2.03	こじカフェ(家族交流支援)	5名
計					71名

【今後の取り組み】

1. 【令和2年度に向けて】

こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成23年度の指定管理開始から3期目の3年が経過し、指定管理施設として質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行わせていただいています。子供の発達に不安を感じている保護者が、切れ目のない支援のもと、将来の見通しが立てられ、安心して子育てができることが児童発達支援センターの重要な役割りと考えます。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令および登米市児童発達支援センターこじか園条例、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本としながら、児童発達支援管理責任者を中心とする『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、生きる力と意欲ある生活ができる療育訓練の実践に努めます。併せて、『医療的ケア児童』への対応については、継続して施設内の体制整備を進めると共に、適切かつ安全な看護・医療支援が提供できるよう対応の強化と質の向上を目指していきます。

また、保育所等訪問支援事業と障害児相談支援事業においては、効果的な推進及び更なる活性化を目標に掲げ、児童発達支援センターとしての役割でもある地域の中核的な機能を果たすべく、各事業内容の周知を図りながら、児童が集団での生活にしなやかに適応していけるよう、関係先との連携会議を定期的に計画し、事業の円滑かつ重層的・継続的な実施に繋がるよう努めていきます。

家族支援や地域支援については継続して力を入れていき、家族・支援者向けセミナー（通称：こじ豆）の実施においては、家族や地域で療育事業に関わる方々が知りたい知識や体験したい活動などを中心に開催し、地域の療育力・地域の子育て力を高められる取り組みを考えていきます。

さらに、地域における中核的な療育支援機関として、障害児を支援する機関との連携づくりや援助、助言など地域支援に努めていきます。

*** こじか園が目指す児童発達支援センター ***

- 誰もが利用しやすい児童発達支援センター
- 相談から療育まで一貫した支援のできる児童発達支援センター
- 早めの「気づき」と「十分な支援」が約束できる児童発達支援センター
- ご家族や児童、学校等関係機関の意見を反映し、共に学び、連携のとれる児童発達支援センター
- 「認知・学習訓練」「感覚統合訓練」「運動・機能訓練」「体験・発見活動」「心とあそびの時間」の5領域が訓練のできる児童発達支援センター

2. 【令和2年度 こじか園 療育目標】

こじか園では、次の内容を療育目標と掲げ、子供たちの可能性を追求し、家族支援を強化して参ります。

- ㊦ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。
- ㊧ 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。
- ㊨ 家族の「想い」、家族と一緒に「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

3. 【児童発達支援センターとしての役割】

- ◇ 障害種別に関わらない適切な障害児通所支援サービスの提供
- ◇ 身近な障害児支援の拠点となる地域支援サービスの提供
 - ① 地域の障害児やその家族へのサービス利用に関する相談支援
 - ② 家族や地域の保育施設・学校等教育施設への援助・助言
- ◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の強化
- ◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の強化

4. 【施設機能の解放】

- ・保育士養成に係る現場実習の受入（平成令和2年度受入予定…11名）
- ・学生の職場体験やキャリア教育、ボランティア受け入れに関する協力
- ・母子通園による施設開放および支給決定前の児童を対象とした体験療育「すくすく広場」の随時開催
- ・「こじカフェ」の設置
 - 保護者や地域で療育されている母子が自由に集う喫茶スペースを設置し、茶話会や図書貸し出し、ワークショップを開催する
- ・ご家族や保育施設等職員、障害児通所支援事業所職員等を対象としたセミナー（こじ豆）の実施
- ・障害児通所施設職員の療育実習受け入れや、中田町上沼地区の高齢者との交流機会の継続

2019年度 南方保育所 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市南方町山成前1074-2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 昭和53年 4月 1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 70名 |

【 基 本 方 針 】

- 0歳児 一人ひとりの生活リズムをしっかり把握し、無理なく安心して過ごせるよう保育者間で連携を取りながら保育を進めるとともに発達に適した活動内容を取り入れ、楽しく過ごせるよう工夫した。また、個々の自分でやろうとする意欲を大切にし、必要に応じて援助しながら見守るように努めた。
- 1歳児 日々の活動や遊び、会話の中で、言葉の発達も多く見られるようになり、友達同士の会話や歌も楽しめるようになった。身の回りのことは、自分でしようという気持ちを大切にし、動作が遅い子に対しては特に丁寧に関わりを持ちながら、自信につなげることができた。
- 2歳児 身の回りのことに関しては、一人ひとりのできること、できないことを見極めながら援助や見守りを行い、できることが増えた。また、活動や行事に意欲的に参加しようという姿があり、たくさんの経験を積むことができた。
- 3歳児 基本的な生活習慣が身につく、後半からは自分のことだけではなく、周りの友達のことにも手を貸してくれるようになった。友達との関わり方については、少しずつ相手の気持ちを理解しながら関わられるようになったが、上手な関わり方の支援方法やトラブルの際の対応については、今後の課題でもあると感じている。
- 4歳児 大きな行事を経験するたびに子ども達の成長を感じることができた。配慮が必要な子どもが多いクラスであったので常に職員同士で声を掛け合い、事故やケガには十分に気をつけながら保育に当たった。
- 5歳児 年長児となったことに喜びを感じ、意欲的に生活することができた。各行事では、それぞれの行事のイメージを持たせることで、一人ひとりが目標を持ち取り組み、達成感や充実感を味わうことができた。後半では、まとめの活動や就学を意識した活動を取り入れることで、就学への意欲や期待を持ちながら生活を送ることができた。

【 重 点 項 目 】

1. 子どもの発達過程や家庭環境に応じ、一人ひとりに合った言葉がけや必要な支援をすることができた。
2. 一人ひとりの気持ちを捉え、些細なことでも褒めたり、個々との丁寧な関わりを通して心の安定を図り、より良い成長、発達の援助を行った。
3. 気になる子の家庭に対しては、保護者の気持ちを受け止めながら関係機関と連携し、援助を行った。また、未入園児フレンズデーや子育て講座を開催し、楽しく過ごせるよう工夫しながら子育て支援を行った。
4. 年間を通し、施設内研修を実施し様々な分野の知識を深めたが、外部研修への参加はなかなかできず、今後の課題である。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 16,676 名
2. 月別利用状況(名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	94	73	91	121	109	94	114	117	120	96	115	121	1,265
1歳児	206	192	197	218	167	174	185	197	207	165	174	202	2,284
2歳児	294	277	301	300	230	229	276	290	288	262	250	288	3,285
3歳児	261	234	237	259	205	221	240	247	244	216	214	233	2,811
4歳児	317	279	304	322	256	288	329	300	309	285	275	266	3,530
5歳児	302	286	304	326	259	276	303	299	303	292	262	289	3,501
計	1,474	1,341	1,434	1,546	1,226	1,282	1,447	1,450	1,471	1,316	1,290	1,399	16,676

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	72	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	72	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73

【利用者サービスの状況】

1. 保 育

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.06	入所式	平成31年度新入所児入所式	利用者 13名 職員 16名
H31.04.25	迫風園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ゆき組5歳児)	利用者 14名 職員 2名
H31.04.27	保育参観	クラス別保育参観をする	利用者 58名 職員 16名
R1.06.07	交通安全教室	交通指導隊に依頼し、交通ルール等の話を聞く	利用者 66名 職員 14名
R1.06.11	あやめ園交流会	歌を披露したり、施設見学をしながら、交流をする(ゆき組5歳児)	利用者 15名 職員 2名
R1.06.13	幼保交流会	南方幼稚園を訪問し、交流会を実施する(ゆき組5歳児)	利用者 14名 職員 2名
R1.06.19	キッズつぼみ交流会	事業所内保育所キッズつぼみとの関わりの中で、一緒に遊びを見つけて楽しむ(ほし組)	利用者 14名 職員 4名
R1.06.28	翔裕園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(つき組)	利用者 12名 職員 2名
R1.07.10	百楽荘交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ゆき組5歳児)	利用者 15名 職員 2名
R1.07.12	南風園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ゆき組4歳児)	利用者 16名 職員 3名
R1.07.17	南寿荘交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ほし組)	利用者 11名 職員 4名
R1.08.02	夕涼み会	保護者や近隣の方を招待して、宮太鼓や盆踊りを行い楽しいひとときを過ごす	利用者 72名 職員 16名
R1.08.28	萩風園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ゆき組4歳児)	利用者 16名 職員 3名
R1.09.04	幼年防火まつり	公共施設のマナーを守って参加し、火災に対する正しい知識を身に付ける(ゆき組)	利用者 30名 職員 4名
R1.10.05	運動会	南方環境改善センターにて運動会を実施する	利用者 65名 職員 15名
R1.10.16	西郷小学校学芸会見学	小学生の劇などを見学する(ゆき組5歳児)	利用者 14名 職員 2名
R1.10.18	翔裕園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ほし組)	利用者 9名 職員 3名
R1.10.25	光風園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(つき組)	利用者 12名 職員 2名
R1.10.30	あやめ園交流会	あやめ園の方々に歌や踊りを披露し、ゲームなどをしてふれあう(ゆき組)	利用者 30名 職員 4名
R1.11.01	幼保合同人形劇鑑賞	南方幼稚園にて3園合同で人形劇鑑賞をする(ゆき組)	利用者 28名 職員 3名
R1.11.07	保幼小交流会	幼稚園や小学校の子ども達とふれあい、小学校に期待を持つ(ゆき組5歳児)	利用者 15名 職員 2名
R1.12.07	お遊戯会	南方町環境改善センターにてお遊戯会を実施する	利用者 71名 職員 14名
R1.12.17	南寿大学交流会	地域の高齢者の方々に歌や踊りを披露し、ふれあう(ゆき組)	利用者 31名 職員 4名

R02.01.25	保育参観、子育て講座	親子で楽しみながら子育て講座に参加する	利用者	37名
			職員	13名
R02.02.15	一日入所	令和2年度新入所児と保護者を対象に、入所に関する話及び個人面談を行う	利用者	13名
			職員	5名
R02.02.19	キッズつぼみ交流会	事業所内保育所キッズつぼみとの関わりの中で、一緒に遊びを見つけて楽しむ(ほし組)	利用者	14名
			職員	3名
R02.03.11	修了式・お別れ会	修了児をお祝いし、バイキングで人気メニューを取り入れ、お別れ会を行う	利用者	70名
			職員	14名
R02.03.21	修了式	令和元年度卒園児のお祝いの会を行う	利用者	15名
			職員	14名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.27	防災設備(配電盤)について	副主任・事務員	全職員
R1.05.14	新任職員研修	施設長心得・副主任	保育士 2名
R1.07.02	アレルギー対応研修	登米市福祉事務所管理栄養士	保育士 8名
R1.07.03	アレルギー対応研修	登米市福祉事務所管理栄養士	保育士 8名
R1.08.07	救急救命研修	登米市消防署西出張所	保育士 16名
R1.09.09	コンプライアンス研修	施設長心得	保育士 2名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.05.16	整備管理者研修	宮城県トラック協会	仙台市	職員1名
R01.05.16~17	防火管理者講習	登米市	迫町	職員1名
R1.05.31	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.06.13	登米地方保育所協議会1・2歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	職員1名
R1.06.18	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.06.19	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.06.20	登米地方保育所協議会男性職員部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.06.26	宮城県保育所協議会施設長研修	宮城県保育所協議会	仙台市	職員1名
R1.06.26	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.06.27	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	職員1名
R1.07.01	保育所保育士基礎研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.07.02	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.07.10	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	中田町	職員1名
R1.07.30	ワンダーサマースクール	世界文化社	仙台市	職員1名
R1.09.06	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.09.20	学校保健研修会	宮城県	石巻市	職員1名
R1.10.23	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.10.30	登米地方保育所協議会男性職員部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.10.31	登米地方保育所協議会1・2歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	職員1名
R1.11.01	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	職員1名
R1.11.05	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.11.06	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R1.11.20	自家用自動車整備管理者講習会	宮城県自動車協会	栗原市	職員1名
R02.01.16	登米地方保育所協議会所長部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R02.01.17	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米町	職員1名
R02.01.22	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R02.01.23	登米地方保育所協議会1・2歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	職員1名
R02.01.24	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名
R02.01.30	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	施設長心得、副主任保育士、委託業者

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
随時	ケース検討会議	事務室	職員全員
毎月1回	防災委員会	事務室	委員他
毎月1回	リスクマネジメント委員会	事務室	委員他
3ヶ月に1回	地域交流委員会、研修委員会	事務室	委員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年月日	団体名	内容	来訪者数
R01.05.22~24	南方中学校	職場体験	15名
R01.08.05~06	登米市社会福祉協議会(Jボランティア)	職場体験	6名
R01.10.09	恵泉会OB会	読み聞かせボランティア	5名

2. 実習受入状況

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R01.5.27~6.7	仙台子ども専門学校	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R01.6.24~7.5	仙台子ども専門学校	保育実習Ⅱ期	1名	10名
R01.7.8~7.22	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R01.7.29~8.9	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅱ期	1名	10名
計			4名	40名

【今後の取り組み】

(1) 子どもの最善の利益を考慮

一人ひとりの発達に応じて、個々に合った言葉かけや支援を心掛けながら今後も保育に当たる。

(2) 養護と教育の一体的に行う

関係機関への相談や保護者との連携、信頼関係を構築しながら一人ひとりに合った支援を行っていく。

(3) 保護者と地域の子育て家庭に対する支援

地域との関わりに関しては、今後の課題とする部分もあるが、未入園児フレンズデーでは参加した親子に対して丁寧な対応を心掛けたことにより、保育所への入所のきっかけにもなっているので今後も続けていく。

(4) 保育士の専門性の向上

外部研修への参加が思うようにできなかったが、内部研修で様々な知識を深めることができた。今後は、外部研修への参加を中心に、より専門性の向上を深められるよう努めたい。

2019年度 事業所内保育所キッズつぼみ 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成28年 4月 1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 12名 |

【 基 本 方 針 】

地域型保育事業所として事業所内保育の運営にあたっては、保育指針に基づき、それぞれの子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場として、子どもや保護者、地域、そしてそこで働く職員たちがお互いに育ちあえる場、安心して楽しく生活できる拠点にする。

【 重 点 項 目 】

- (1) 子育て、子育ての拠点として:年2回、未入園児フレンズデーを設定し、地域の方に事業所の開放をした。また、恵泉会職員にお便りを作成し、事業所の取り組みを紹介、事業所の内容を広く知っていただける様に努めた。
- (2) 地域ニーズ:登米市の動向を視野に入れながら、地域・保護者のニーズを把握する様に努めた。
- (3) 保護者との連携:保育を行う中で、保護者と子ども達の成長を喜び合い、何か気になる点については、保護者と情報を共有しながらその子に応じた支援を行った。体不調の際はしっかりと状態を保護者へ報告し、また、受け入れる際は、家庭での様子を聞き、職員全員に周知し、保育を進めた。
- (4) 社会的使命感:社会ニーズをしっかりと把握しながら事業所として何をすべきなのかを職員間で考えながら保育した。
- (5) 研修:計画的に研修に参加し、それを職員に伝達研修する事で職員の質の向上に努めた。
- (6) 連携:様々な研修に参加する事で職員の質を高めると同時に地域の多職種との関わりの中で連携を深める様にした。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 3,428 名

2. 月別利用状況(名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	79	96	121	118	114	131	150	158	168	175	190	210	1,710
1歳児	66	84	84	84	81	86	97	102	94	67	75	89	1,009
2歳児	54	56	63	59	46	57	66	61	64	63	58	62	709
計	199	236	268	261	241	274	313	321	326	305	323	361	3,428

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	12	0	1	0	2	0	0	1	0	3	0	0	19
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
月末入所者数	12	0	13	0	15	0	0	16	14	17	0	0	17

【利用者サービスの状況】

1. 保 育
(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R1.05.07	ウェルカムパーティー	ご家族をお招きし、職員紹介をしたり、親子触れ合い遊びやパネルシアターを通してお友達の紹介をし、和やかな顔合わせの会とした。	利用者 12名 職員 8名
R1.05.24	トマトの苗植え	プランターにトマトの苗を植え、水かけをしながら野菜の生長を見て、野菜に興味関心が持てるようにした。	利用者 10名 職員 5名
R1.05.29	お楽しみ会	保育室で手作り楽器を使用しての演奏会や手作りテーマパークを設置し、体を使っての遊びを楽しんだ。	利用者 11名 職員 5名
R1.06.04	歯磨き教室	パペットシアターを通して歯の大切さを伝えた。	利用者 12名 職員 5名
R1.06.19	事業所内保育所交流 (キッズつぼみ)	2歳児との交流をとおして、友達との関わりや遊びが広がられるように見守った。	利用者 7名 職員 3名
R1.06.26	光風園訪問	光風園利用者様の前で歌ったり、踊ったりすることを楽しんだ。	利用者 7名 職員 3名
R1.07.05	七夕交流会	高齢者の方々と触れ合いながら季節の行事に参加し、歌ったり、表現する事を楽しんだ。	利用者 11名 職員 7名
R1.08.09	夏祭り 未入園児フレンズデー	保護者や他利用者様と一緒に夏祭りの雰囲気を感じながら行事に参加する事を楽しんだ。	利用者 12名 職員 8名
R1.08.15	流しそうめん体験	遠山荘の行事に参加し、午後のおやつを流しそうめんにし夏の風物詩を味わった。	利用者 6名 職員 6名
R1.09.13	敬老交流会	恵はあとの利用者様をお招きし、歌や踊りの発表をしたり、触れ合い遊びをしながら楽しい時間を過ごした。	利用者 13名 職員 7名
R1.09.15	登米秋祭り参加	地域の行事に参加し、キッズつぼみを知っていただく様、努めた。	利用者 11名 職員 5名
R1.10.05	運動会 (南方保育所合同)	運動会に参加する事で丈夫な体と豊かな心を育てると共に事業所内保育所との交流を図った。	利用者 13名 職員 8名
R1.10.11	子育て講座 (保育参観)	子どもたちの好きなおやつを紹介し、保護者と一緒に作った。また、出来上がったおやつを食べながら日々の保育の様子を伝えた。	利用者 10名 職員 8名
R1.10.17	光風園訪問	光風園の利用者様と触れ合いをとおしてやさしさや思いやりの気持ちが育つように見守った。	利用者 6名 職員 3名
R1.11.27	お遊戯会発表披露会	恵はあとの利用者様をお招きし、お遊戯会本番のように発表した。	利用者 14名 職員 6名
R1.12.07	お遊戯会 (南方保育所合同)	お遊戯会をとおして歌ったり、リズムに乗ったり、体を動かして表現する楽しさを味わった。	利用者 15名 職員 8名
R1.12.24	クリスマス会 未入園児フレンズデー	地域のお子さんをお招きし、クリスマスの雰囲気を感じながら歌ったり、パネルシアターを見て楽しんだ。	利用者 15名 職員 6名
R2.02.03	豆まき	節分の行事を行い、日本の伝統的な行事に興味を持つようにした。	利用者 16名 職員 7名
R2.02.19	事業所内保育所交流 (南方保育所)	同年齢の子ども達との関わりの中で集団保育の楽しさを感じ、進級する事に期待感をもつ様にした。	利用者 3名 職員 2名
R2.02.25	アウトリーチ事業 (リミック)	曲に合わせて体を動かしたり、一緒に歌ったりしながら音楽に触れ合う事を楽しんだ。	利用者 16名 職員 6名
R2.03.03	ひなまつり会	桃の節句をお祝いし、ひなまつりに関するゲームをして友だちとの触れ合いを楽しんだ。	利用者 8名 職員 2名
R2.03.28	おもいでパーティー	1年間の成長や思い出を振り返る場とした。また、職員のハンドベル演奏をし、温かな会となった。	利用者 16名 職員 8名

*この他、該当月にお誕生会を実施。

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.04	新任研修	管理者	職員1名
H31.04.25	法令遵守に関する研修について	管理者	職員4名
H31.04.26	法令遵守に関する研修について	管理者	職員4名
R1.05.31	交通安全教室	登米警察署職員	職員8名
R1.06.19	食中毒予防について(遠山荘の内部研修に参加)	遠山荘看護師	職員2名
R1.06.26	水遊びの安全性と危険性について	保育士	職員5名
R1.06.27	新人職員研修	恵泉会	職員1名
R1.08.22	新任研修	管理者	職員2名
R1.08.26	管理職育成研修	WJU株式会社	職員1名
R1.08.28	伝達研修・食中毒予防について	保育士	職員4名
R1.09.04	虐待防止について	管理者	職員4名
R1.10.31	インフルエンザ対策について	遠山荘看護師	職員6名
R1.11.19	管理職育成研修	WJU株式会社	職員1名
R1.11.22	伝達研修・気になる子どもの発達応援セミナー	保育士	職員5名
R2.01.16	伝達研修・絵本で結び合う親子の心	保育士	職員5名
R2.02.18	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	職員2名
R2.03.03	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	職員1名
R2.03.19	伝達研修・保護者支援	保育士	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.07.25	令和元年度チャイルドサマーセミナー	株式会社 チャイルド本社	仙台市	職員1名
R1.07.31	令和元年度登米市保・幼・小関連研修会	登米市	登米市	職員1名
R1.08.08	幼児教育・保育無償化に関する事業者説明会	登米市	登米市	職員1名
R1.08.29	気になる子どもの発達応援セミナー	登米市	登米市	職員1名
R1.10.10	気になる子どもの発達応援セミナー	登米市	登米市	職員1名
R1.10.29	保育担当者及び児童館等指導員研修会	登米市	登米市	職員1名
R1.10.31	感染症予防セミナー	登米市	登米市	職員1名
R1.11.06	体育科研修	登米市	登米市	職員1名
R1.11.19	令和元年度子どもの健康な体づくり研修会	登米市	登米市	職員1名
R1.11.21	令和元年度現任保育士研修 所長研修	宮城県	名取市	職員1名
R1.12.05	令和元年度保育施設長会議	登米市	登米市	職員1名
R1.12.25	平成31年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(1日目)	宮城県	大崎市	職員1名
R1.12.26	平成31年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(2日目)	宮城県	大崎市	職員1名
R1.12.27	平成31年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(3日目)	宮城県	大崎市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員(保育状況を考慮)
保育会議	利用者の状況について	随時	保育士全員(保育状況を考慮)
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	栄養士、保育士全員(保育状況を考慮)

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
毎月1回	防災委員会	保育室	委員他
毎月1回	安全管理対策委員会	保育室	委員他
毎月1回	感染予防対策委員会	保育室	委員他
毎月1回	研修委員会	保育室	委員他
必要時に開催	サービス評価委員会・マニュアル検討委員会	保育室	委員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習・職場体験受入状況

年月日	団体名	内容	来訪者数
R1.08.20	南方中学校3年生	保育補助	1名
R1.08.22	船岡支援学校	事業所見学	3名

【今後の取り組み】

(1) 子育て、子育ての拠点として

事業所を利用している子どもや保護者はもちろん、地域で子育てをしている人たちも含め、子育て、子育て親の拠点となるよう目指す。

(2) 地域ニーズ

社会の変化を把握し、常に地域ニーズを意識した事業展開をする。

(3) 保護者との連携

保護者と連携を図りながら子どもの成長を見守り、共に成長の喜びを分かち合う。家庭での子育てが楽しいものになるよう支援する。

(4) 社会的使命感

地域型保育という公的な事業所を行う事業体として社会的使命感を持って運営する。

(5) 研修

職員の資質の向上のため、計画的に研修を儲け、質の高い保育者を目指す。

(6) 連携

保育の専門機関として、様々な専門機関との連携を図り、個別対応が必要とされる子どもたちの保育システムを向上させる。

2019年度 特別養護老人ホーム光風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-3
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 昭和51年4月1日
- 5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

身体介護を中心として、特に看取り介護に力を入れ、重度・高齢化に対応した。また、健康維持の源である食事をおいしく安全に食べられることや肺炎予防を目的として、歯科医師と協力し嚥下内視鏡の検査を継続した。一方で退所した利用者が20名を超す状況、感染症などで稼働率の低迷が続いてしまった。対象者が著しく変わったため利用者全体の生活も落ち着かず、反省点として次に活かしたい。

今後は先ず、感染症対策に万全を期し安全に乗り越えられることを目標にしていく。生活に様々な規制があるからこそ、利用者の生活の質の向上を念頭に置き、当たり前の生活を取り戻す一年にしたい。

【 重 点 項 目 】

1. ケアプランに基づいた適切な支援—栄養マネジメント、口腔衛生、褥瘡マネジメントは継続した取り組みで現状維持や改善につなげることができた。認知症ケアについては重度の認知症の割合が多く、個別の対応が非常に難しかった。今後も継続し質を確保していきたい。
2. 看取り体制の整備—看取りの委員会を立ち上げ、定期的に検証や研修を行っている。見守りのセンサーも導入し、よりきめ細かいタイムリーな状態の把握ができ、職員の負担軽減にもつながった。継続して取り組む。
3. 事故防止—ヒヤリ・ハット、軽微や事故を減らすことができなかった。体制を再構築し継続し事故防止にあたる。また、職員の事故防止についても働く環境を整え、職場全体で事故防止の意識を高めていきたい。
4. ロボット等介護機器やIT機器の導入—見守りセンサーを導入し、看取り介護対応の利用者に使用し、よりきめ細かい健康観察が可能になった。また、それにより職員の負担軽減にもつながった。今後も感染症対策や職員の負担軽減を目的に継続し導入を検討していきたい。
5. 在宅中・重度者の積極的な受け入れ—地域の訪問看護ステーションと連携し在宅の重度者を受け入れしてきた。定期で利用する方がほとんどであり、継続し地域住民を支援する。
6. 施設整備—機器の買い替えや修理、建物の修繕など継続して突発的に起きている。次年度はエアコン工事等が予定されており、利用者の生活への影響が最小限で済むよう調整していきたい。
7. 法人内他事業所との連携—近隣の事業所のみならず、他事業所と連携し情報等を共有することで、法人職員として横の連携をより強固なものにしていきたい。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 16,793 名
2. 年間稼働率 91.77 %
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.10
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
要介護3	360	372	360	309	271	270	279	240	209	235	213	217	3,335
要介護4	513	507	540	603	578	540	558	635	722	730	668	684	7,278
要介護5	552	552	559	525	496	479	494	470	452	399	402	434	5,814
計	1,455	1,462	1,489	1,468	1,376	1,319	1,362	1,375	1,414	1,395	1,312	1,366	16,793

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	2	0	2	1	1	1	5	1	2	1	1	18
退所者数	2	0	2	1	6	1	1	1	1	4	2	0	21
月末入所者数	48	50	48	49	44	44	44	48	48	46	45	46	-3

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

年間実施回数 11回

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.21	春まつり	春の季節を感じながら、利用者様・ご家族と一緒にアトラクションに参加し共有の時間を過ごして頂くその後余興を楽しんでいただく。	利用者 37名 職員 10名
R1.06.13 ～15	香りの湯	ゆっくりと湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていただき、身体をリフレッシュさせることを目的とする。	利用者 52名 職員 19名
R1.06.26	キッズつぼみ交流会	子ども達の歌や踊りを観覧し、交流を図り楽しむ。	利用者 25名 職員 4名
R1.07.26	納涼会	季節の行事を開催し、入居者の方々に夏の涼を実感してもらおうと共に地域との交流の場を提供する。	利用者 46名 職員 14名
R1.08.16	盆供養	住職を招き利用者として職員で祖先を敬い、亡くなられた方々のご冥福を祈った。	利用者 42名 職員 5名
R1.08.21 ～23	香りの湯	ゆっくりと湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていただき、身体をリフレッシュさせることを目的とする。	利用者 51名 職員 19名
R1.09.17	長寿を祝う会	利用者様の長寿を祝い、長年の労に感謝し、幸せを願い、地域の皆様やご家族を招待し盛大に行われた。	利用者 47名 職員 17名
R1.09.19	百寿を祝う会	N様が百歳になるのを宮城県福祉事務所の職員やご家族と共に祝いをする。	利用者 4名 職員 6名
R1.10.17	キッズつぼみ交流会	子ども達の歌や踊りを観覧し、交流を図り楽しむ。	利用者 35名 職員 9名
R1.10.25	南方保育所交流会	南方保育所園児達の歌や踊りを観覧し、交流を図り楽しんで頂く。	利用者 28名 職員 4名
R1.10.26 ～28	香りの湯	ゆっくりと湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていただき、身体をリフレッシュさせることを目的とする。	利用者 46名 職員 20名
R1.11.14	寺池コミュニティー交流会	地域の方々と交流を図り、歌や踊りを一緒に楽しんでいただく。	利用者 30名 職員 10名
R1.12.18	光風サンタの贈り物	登米市内の幼稚園・保育所・児童館の子供たちにサンタクロースに扮してプレゼントを配りながら交流を行う	児童 148名 職員 2名
R1.12.22 ～24	香りの湯	ゆっくりと湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていただき、身体をリフレッシュさせることを目的とする。	利用者 46名 職員 19名
R1.12.23	百歳のお祝い会	N様が百歳の誕生日を迎えるに当たり、登米市よりお祝いを受けるため、一緒にお祝いをする。	利用者 1名 職員 8名
R2.01.14	新年会	新しい年を迎え、余興等を楽しみながら新年を祝う。また、1年間健やかに過ごすことが出来るよう利用者様と職員で新年をお祝いする	利用者 30名 職員 6名

R2.02.03	節分	節分という伝統行事を、利用者・職員共に楽しみながら、一年間の無病息災を願う。	利用者 37名 職員 7名
R2.02.13	ハッピーバレンタイン	南方保育所を訪問し、バレンタインチョコレートを贈る。	利用者 43名 職員 2名

【短期入所者生活介護サービス】

- 年間延べ利用人員 1,167 名
- 年間稼働率 63.77 %
(目標稼働率 97.00 %)
- 年間平均介護度 3.55
- 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	4	2	3	0	2	0	0	8	0	0	2	23
要介護2	7	13	7	9	11	13	12	10	7	12	5	15	121
要介護3	30	30	29	31	28	26	44	27	25	27	10	12	319
要介護4	51	67	52	53	55	48	52	58	47	45	44	32	604
要介護5	35	20	3	3	8	3	1	3	2	6	9	7	100
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	125	134	93	99	102	92	109	98	89	90	68	68	1,167

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.01	公用車特殊車両取扱・設備関係(止水栓等)について	主任	転勤者4名
R 1.05.14	AED(自動体外除細動器)使用について	外部講師	光風園職員9名
R 1.05.14	身体拘束廃止事例検討について	介護福祉士	光風園職員
R 1.05.23	オムツ使用研修	外部講師	光風園職員7名
R 1.05.28	感染症研修;利用者の感染症についての予防法	准看護師	光風園職員10名
R 1.06.04	オムツ使用研修	外部講師	光風園職員7名
R 1.06.25	ノロウイルス感染症について	准看護師	光風園職員9名
R 1.07.09	「看取り」研修 第1回	施設長	光風園職員7名
R 1.07.16	食中毒に関する研修	管理栄養士	光風園職員7名
R 1.07.23	介護予防研修(脱水・水分補給)	看護師	光風園職員8名
R 1.07.23	「看取り」研修 第2回	准看護師	光風園職員6名
R 1.08.27	コンプライアンス研修	施設長	光風園職員11名
R 1.10.08	ポジショニング研修	介護福祉士	光風園職員8名
R 1.10.24	身体拘束廃止事例検討について	介護福祉士	光風園職員8名
R 1.10.31	「感染予防と対策」研修	外部講師	光風園職員11名
R 2.02.18	認知症介護基本研修	主任	光風園職員7名
R 2.03.17	リスクマネジメント研修	介護福祉士	光風園職員8名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.6.11	令和元年度福祉現場のリスクマネジメント研修～管理監督者編～	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.6.26	安全運転管理者研修	佐沼警察署	登米市	職員1名
R1.7.1	令和元年度ロボット等介護機器導入セミナー(第1回)	宮城県	仙台市	職員2名
R1.7.4	新任職員フォローアップ～3年で身につけておくべき事	宮城県老人福祉施設協議会	登米市	職員1名
R1.7.5	登米市ケアマネジャー協会研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市	職員1名
R1.7.9	令和元年度第1回登米地域ネットワーク会議・意見交換会	東和・登米地域包括支援センター	登米市	職員1名
R1.7.11	新任職員フォローアップ～3年で身につけておくべき事	宮城県老人福祉施設協議会	登米市	職員1名
R1.7.11	令和元年度宮城県社会福祉施設中堅・監督職研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名

R1.7.18	令和元年度部下や後輩の成長を促す ティーチング研修	宮城県社会福祉 協議会	仙台市	職員1名
R1.7.18・19 8.9・9.4	介護福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R1.8.6・7	令和元年度宮城県社会福祉施設新任職員研修第2班	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.8.8	令和元年度指定介護サービス事業者等集団指導	宮城県	石巻市	職員1名
R1.08.22	危険物取扱者保安講習	宮城県危険物安全協会連合会	登米市	職員1名
R1.09.11	アサーティブ研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.09.20	令和元年度地域連携推進のための栄養管理研修会	宮城県登米保健所	登米市	職員1名
R1.09.26	職場のモチベーションアップ研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.02	令和元年度クレーム対応研修(入門編)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.09	令和元年度宮城県社会福祉施設職員コミュニ ケーション技術・対人援助技術研修(第2班)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.15	令和元年度第1回登米栄養士会病院・福祉部会研修会	登米栄養士会	登米市	職員1名
R1.10.17	令和元年度リーダーのためのコーチング研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.28	令和元年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.30	高齢者ケア施設で働く看護職員の役割	宮城県看護協会	東松島市	職員1名
R1.11.13	リーダー職員向けパワハラ防止&アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.11.01	令和元年度宮城県社会福祉施設老 人福祉施設職員研修	宮城県社会福祉 協議会	仙台市	職員1名
R1.11. 11・12.18	自立支援を進めるためのアドバイザー 研修会	宮城県	登米市	職員2名
R1.12.03	令和元年度タイムマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.12.05	地域包括ケア関係者研修会	登米医師会	登米市	職員4名
R1.12.06	令和元年度第2回登米栄養士会病院・福祉部会研修会	登米栄養士会	登米市	職員1名
R1.12.09	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市	職員2名
R1.12.13	令和元年度高齢者虐待防止研修会	宮城県	石巻市	職員1名
R2.01.28	地域福祉について考えてみよう!	宮城県老人福祉施設協議会	登米市	職員2名
R2.01.29	令和元年度特定給食施設等集団指 導及び給食従事者等研修会	登米保健所	登米市	職員1名
R2.02.12	普通救命講習会	松風園	登米市	職員1名
R2.02.17	令和元年度登米地域栄養士研修会	登米栄養士会	登米市	職員1名
R2.02.18	令和元年度ロジカルシンキング研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R2.02.20	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会	登米市	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画の遂行並びに各種報告及 び課題について検討	毎月第三金曜日	光風園全職員
連絡会議	各セクションの代表者により次週並び に翌月の事業予定について検討	随時	各セクションの代表者
サブリーダー会議	課題・問題についてチームで検討・協 議	随時	介護職員
サービス担当者会議	ケアプランに基づき適切なサービスが 実施されるよう検討	入所時	各セクションの代表並び 担当
ケア会議	利用者介護の質の向上とケアの課題 等を協議	毎月第2金曜日	介護・看護スタッフ、相談 員
ケアカンファレンス	利用者への援助過程に於いて、的確 な援助を行うため討議	随時	各セクションの職員
給食会議	食事サービスの質的向上を図るため、 実施	毎月1回	代表利用者・給食事業 者・給食委員
サービス評価会議	法人のサービス評価基準に則り、施設 としての自己評価を実施	年2回	各セクションの代表者
各種部会	法人内の各部門別の検討事項につい て協議	月1～2回	各部会代表者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
感染症対策検討委員会	感染症の予防及び蔓延防止の検討	火曜日	施設長と委員
褥瘡予防検討委員会	利用者個々人の分析・評価による予防対策の検討		
研修委員会	職員の資質及びサービスの質的向上に向けた検討	火曜日	委員
マニュアル検討委員会	既存のマニュアルの見直し、新規マニュアルの作成を行う		
サービス向上検討委員会	介護サービスの質的向上に向けた検討	火曜日	施設長と委員
個別ケア検討委員会	利用者の個々の状況に応じた支援方法の検討		
リスクマネジメント委員会	介護事故防止の検討	火曜日	施設長と委員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の完全廃止に向けての検討		
防災委員会	消防計画の立案及び訓練の実施について検討	随 時	委員
入所判定委員会	第三者委員を交えて入所申込み者の入所順位を決定する	3ヶ月おき開催	施設長と委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H31.04.21	堀米演芸ボランティア友の会	春まつり 歌・踊り	10名
R1.06.17	登米小学校JRC委員会	歌・踊り	10名
R1.06.26	キッズつぼみ	歌・踊り	10名
R1.07.26	登米児童館	夕涼み会余興 ゲーム・踊り	46名
R1.07.26	優友会	夕涼み会余興・踊り	20名
R1.09.12	登米中学校	光風園・ゆりの郷清掃、窓ふき	44名
R1.10.17	キッズつぼみ	歌・踊り	11名
R1.10.25	南方保育所	歌・踊り	14名
R1.11.14	寺池コミュニティー交流会	歌・踊り	7名
計			172名

【今後の取り組み】

1. ケアプランに基づいた適切な支援(継続)—栄養ケアマネジメント・口腔衛生・褥瘡マネジメント等専門的支援はもとより、生活の場として穏やかな気持ちで過ごすことが出来るようきめ細かいケアを行う。
2. 看取り体制の整備—センサー導入で、より状態の変化に迅速に対応できるようになり、職員の精神的負担の軽減も図られた。継続し重度者を積極的に受け入れる。また、家族や地域とつながりを持ち、最期まで安心して過ごせるよう、嘱託医と協力体制を密にし、看取りの質を高める。
3. 事故防止(継続)—研修や資格取得に重点を置き、職員の専門知識を高めると共に、利用者との関係を構築し介護事故防止に努める。また、働く環境を整備し職員の労働災害防止に努める。
4. ロボット等介護機器やIT機器の導入(継続)—見守りセンサーを導入。効果的に活用できるようその使用方法について委員会等で検討する。また、感染症対策の観点から、面会以外の方法で家族等への情報提供が可能になるよう継続検討する。
5. 在宅中・重度者の積極的な受け入れ—訪問看護ステーションと連携し、短期入所利用中も在宅時と変わらない体制で健康管理を行う。
6. 施設整備—施設設備が老朽化しており、計画的な移築・改修等が行えるよう、広い視野と地域の実情や福祉施策を踏まえ慎重に検討を進める。
7. 法人内他事業所との連携—安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一丸となり、協力体制を構築し支え合う体制を作る。
8. 地域との連携—地域の小学校や中学校、婦人部との定期的な交流を継続し、その中で認知症に関する研修やオレンジカフェを開催する。
9. 災害時の連携—火災や自然災害時に備え、地域との協力体制を強化する。災害に応じた法人内の連携先施設と協力し対応する。
10. 職員の質の向上—個人の経験や能力に合わせた研修に参加、スキルアップにつなげる。また、施設内研修の定期的な開催や法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、先輩職員が後輩職員を育成する土壌を作る。
11. 安定経営に向けた取り組み—施設の機能を最大限に生かし、目標収入を目指すとともに、経費削減に努める。
12. 社会のニーズに対応—介護保険改革の動向や地域福祉の情勢に柔軟に対応できるようアンテナを高くし、各関係機関と連携を図る。

2019年度 特別養護老人ホーム松風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 登米市豊里町笑沢153-62
2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
4) 開 設 年 月 日 昭和58年4月1日
5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	4 名
計	54 名

2025年を「超高齢・介護成熟社会」とするために、地域包括ケアの中核となる介護事業所の役割が注目されている。地域包括ケアシステムを深化・推進していく観点からの見直しが行われ、「医療・介護の連携」「縦割」から“我が事・丸ごと”へ転換する地域共生社会の実現にむけた取り組みの推進が重要視される。

超高齢化社会となり、65歳以上の人口割合が増す中で、高齢者と障害児者が同一のサービスを受けられる共生型サービスの位置づけも検討されており、多様な主体的参画との連携が求められている。

施設運営にあっても、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする。この展望を掲げて介護、支援した。

そして、すべての利用者に安心して頂きながら、楽しく、“自信”と“誇り”をもって、笑顔での生活を営むことが出来る様、個別に対応したサービス提供に努めた。

【 重 点 項 目 】

1. 利用者の“自信”と“誇り”“望み”を大切にし、生きる喜びを感じながら、その人らしい生活が送れる様に支援する。
 - ・利用者及び家族の意向を尊重したケアプランを作成し、個々のニーズに則した生活が継続出来るように支援した。
 - ・常に利用者の意向に耳を傾け、茶話会や生きがいケア等により、施設生活の中で喜びを感じて頂けるよう支援に努めた。
2. 利用者個々が有する個々の能力に応じて自立した生活を営み、“潤いのある生活”“充実した時間”を提供する。
 - ・リハビリ等必要な利用者の方に対して、個別リハビリに取り組み、残存機能維持、向上に努めた。
 - ・ふれあいケア、生きがいケアを通じ、利用者お一人おひとりと関わる時間を設けることにより、寄り添う介護が実践できた。
3. 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努める。
 - ・短期入所生活介護利用の際、医療機関との連携が図れるよう調整し、利用者の緊急時受け入れも対応出来ている。地域との連携を密にして、地域包括ケアシステムの中心施設としての役割を果たすよう努めた。
4. 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努める。
 - ・事故発生の原因分析から、改善案を探り事故防止策の検討を行い、その周知徹底を図り再発防止に努めてきた。
 - ・常に利用者支援の中に潜むリスクに着目し、事故防止に努めるのはもとより、利用者個々の詳細な行動を分析し、職員間の周知徹底に努めた。
5. 情報公開を積極的に行い、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたる。
 - ・定期的に広報誌を発行した。又、利用者及び家族に対しアンケートを実施し、その結果を広報誌で掲載したり、面会時に家族の忌憚のない意見を傾聴し真摯に受け止め改善に努めてきた。
6. 相談援助実習・介護等の実習、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げる。
 - ・社会人の生活援助実習や、福祉系高校生の介護実習を積極的に受け入れ、次世代の人材育成に努めて来た。

7. 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修参加させ、基本に忠実な介護実践と、一歩先を見通せる職員の育成に努める。
・内部研修会の開催を定期的に行った。又、外部研修会や、資格取得に関する研修会に全職員が参加した。今年度は介護福祉士受験に必要な実務者研修にも取り組んできた。
8. 地域との連携により、認知症カフェ“とよさと”を実践し、家族介護、地域貢献活動に努める。
・津山・豊里地域包括支援センターや地域の介護事業所と協賛し、「認知症カフェとよさと」を開催し、地域包括ケアシステムを構築しながら、情報交換に努めている。
9. 緊急時・災害時(火災・地震・水害・土砂崩れ・防犯・原発事故対応等)の体制強化を図る。
・様々な想定での防災訓練を実施し、地震火災時の防火訓練はもとより原子力災害(UPZ圏内)対策について避難計画、マニュアル策定し訓練を行った。また普通救命講習Ⅰを実施した。
・施設内だけでなく、平林・笑沢地区事業所間とも防災防火講習を行い、近隣とも連絡体制を確立し緊急時の協力体制を強化してきた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,412 名
2. 年間稼働率 95.15 %
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.28

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
要介護3	150	155	120	124	124	120	124	118	93	62	58	91	1,339
要介護4	667	697	744	787	794	780	762	671	668	678	701	790	8,739
要介護5	623	618	529	571	574	544	516	554	631	620	570	618	6,968
計	1,470	1,501	1,423	1,513	1,523	1,474	1,433	1,373	1,423	1,391	1,358	1,530	17,412

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	1	3	0	0	0	0	3	0	3	2	2	16
退所者数	0	3	1	0	0	0	2	1	4	1	2	0	14
月末入所者数	50	48	50	50	50	50	48	50	46	48	48	50	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.17	春の会食会	職員紹介(担当)後、ご家族様方とアトラクションを楽しみ、その後会食を共にした。	利用者 53名 職員 17名 家族 28名
R1.07.19	夏祭り	百楽荘合同でアトラクションを楽しみ、模擬店のメニューを食べ夏祭りの雰囲気を楽しむ。	利用者 48名 職員 18名 百楽荘 27名
R1.08.23	盆供養	香林寺住職が来園し、故人の冥福を祈った。	利用者 25名 職員 4名
R1.09.08	長寿を祝う会	利用者の長寿に敬意を表し、家族様と共に祝い、皆さんとアトラクションを楽しんだ。	利用者 53名 職員 13名 家族他 38名
R1.10.11	いも煮会	野外で行い、豚汁・焼き芋は好評で美味しくいただいた。	利用者 15名 職員 3名
R1.12.20	クリスマス会	利用者と職員でハンドベルを演奏し、クリスマス会の雰囲気の中サンタクロースよりプレゼントを頂き、楽しいひと時を過ごした。	利用者 46名 職員 7名
R1.12.23.24	ゆず湯	ゆずの香りに包まれながら、1年の疲れを癒し、季節を感じていただいた。	利用者 54名 職員 10名

R1.12.26	もちつき大会	杵と臼で餅つきを行い、正月の準備としてみずの木に餅や飾り付けを行った。	利用者 32名 職員 10名
R2.01.14	新年会	新年にあたり甘酒を頂き、職員による獅子舞にて悪魔を追い払い、その後かるた取りを行い新年会を楽しんだ。	利用者 33名 職員 10名
R2.02.03	節分	年男・年女の方々が、豆をまきながら鬼と棟内を回り無病息災を祈願した。	利用者 54名 職員 8名
H31.03.03	ひな祭り会	ひな祭りの歌を皆さんで合唱し、ひなあられや甘酒を頂く。その後カラオケを行い楽しい一時を過ごしている。	利用者 29名 職員 4名
H31.03.18	彼岸供養	香林寺住職が来園し、利用者と共に故人の冥福を祈っていただいた。	利用者 50名 職員 7名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,525 名
2. 年間稼働率 104.17 %
(目標稼働率 94.00 %)
3. 年間平均介護度 2.88
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	20	59	25	39	30	33	34	21	23	13	15	20	332
要介護2	14	16	23	6	11	16	21	19	32	23	31	21	233
要介護3	49	38	42	44	46	43	39	43	25	31	24	29	453
要介護4	28	30	25	27	24	22	25	40	37	19	10	6	293
要介護5	7	6	6	7	8	9	7	8	26	41	52	37	214
計	118	149	121	123	119	123	126	131	143	127	132	113	1,525

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
 - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.4.5	消防機器等の取扱いについて	職員	職員6名
H31.04.16	オムツ交換について	職員	職員6名
H31.04.24	法令遵守に関する研修(他6/6,6/25,10/4実施)	施設長	職員26名
R1.05.22	褥瘡について	准看護師	職員10名
R1.05.24	食事介助について	職員	職員8名
R1.05.28	移乗介助について	外部講師	職員10名
R1.06.06	高齢者虐待・身体拘束廃止について	施設長	職員25名
R1.06.18	着脱介助について	職員	職員5名
R1.07.16	排泄介助について	職員	職員7名
R1.07.25	食中毒予防について	管理栄養士	職員12名
R1.08.14	腰痛予防について	准看護師	職員9名
R1.09.17	入浴介助について	職員	職員7名
R1.10.09	口腔ケア研修	看護師	職員6名
R1.11.19	移乗介助について	職員	職員5名
R1.11.27	感染症対策について	看護師	職員9名
R2.12.17	認知症について	職員	職員6名
R2.12.10	高齢者虐待・身体拘束廃止について	施設長	職員25名
R2.1.10.17.30	介護記録	施設長	職員19名
R2.01.21	リスクマネジメントについて	職員	職員7名
R2.02.12	普通救命講習会	登米市消防署	職員10名
R2.02.18	体位交換について	職員	職員9名
R2.03.17	介護保険について	職員	職員8名
R2.03.17	消防機器等の取扱いについて	職員	職員9名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H31.04.13	演芸ボランティアマッチング会	登米市社会福祉協議会	登米市	職員1名
R1.06.06	2019年度材育成研修	登米市社会福祉協議会	登米市	職員2名
R1.06.11	令和元年度福祉現場のリスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.06.19	恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市	職員1名
R1.06.20	2019年度材育成研修	登米市社会福祉協議会	登米市	職員2名
R1.06.20・27	リーダーの原理原則	宮城県老人福祉施設協議会	登米市	職員2名
R1.06.25	令和元年度登米市介護従事者等サポート研修	登米市津山・豊里地区包括支援センター	登米市	職員1名
R1.06.27	2019年度材育成研修	登米市社会福祉協議会	登米市	職員1名
R1.06.27	恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市	職員2名
R1.07.04	2019年度材育成研修	登米市社会福祉協議会	登米市	職員1名
R1.07.10	安全運転講習	平林地区・笑沢地区事業所連絡協議会	登米市	職員1名
R1.07.11	2019年度材育成研修	登米市社会福祉協議会	登米市	職員2名
R1.07.16	制度の理解と尊厳ある介護の実践(接遇)	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R1.07.26	認知症サポーター活動促進「チームオレンジ」説明会	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク	仙台市	職員1名
R1.07.30	権利擁護支援と成年後見制度	宮城県社会福祉士会	ハーネル仙台	職員1名
R1.08.08	令和元年度指定介護サービス事業者集団指導	登米市	登米市	職員1名
R1.08.08	令和元年度人事考課制度に関する意見交換会	WJUコンサルティング	法人本部	職員1名
R1.08.09	令和元年度人事考課制度に関する意見交換会	WJUコンサルティング	法人本部	職員1名
R1.08.13	利用者理解とコミュニケーション	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R1.8.13・18.8.26.9.3	介護支援専門員・更新研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.08.22	介護過程の展開	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R1.08.23	多職種の理解と連携	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R1.08.23	消費税軽減税率制度説明会	佐沼税務署	登米市	職員1名
R1.08.29	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	仙台市	職員1名
R1.09.05	記録の要点とチームケア	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R1.09.06	消費税軽減税率制度説明	佐沼税務署	登米市	職員1名
R1.09.12	認知症の基礎的理解と支援	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R1.09.24	リーダーのための指導術	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R1.09.26	令和元年度職場のモチベーションアップ研修	宮城県社会福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R1.09.26	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R1.09.26	地域歯科保健研修会	登米市	登米市	職員1名
R1.10.02	令和元年度クレーム対応研修	宮城県社会福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R1.10.10	介護技術・自立支援と生活支援技術	宮城県社会福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R1.10.17	観察・記録とチームケアの展開	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R1.10.18	恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米市	職員2名
R1.10.23	登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市津山・豊里地区包括支援センター	登米市	職員1名
R1.10.24	事例から学ぶ認知症ケアの実際	宮城県社会福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R1.10.24	危険物保安研修	宮城県危険物安全協会連合会	石巻市	職員1名
R1.10.31	感染症予防セミナー	宮城県登米保健所	登米市	職員1名
R1.11.13	リーダー職員向けパワハラ防止&アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R1.11.30	認知症セミナー	スマイル豊里学習委員会	登米市	職員1名
R1.12.04	地域包括ケア関係者研修会	宮城県東部保険福祉事務所	登米市	職員1名
R2.01.09	レクリエーションの展開方法	2019キャリアバス支援事業	仙台市	職員1名
R2.01.11	准看護師の研修と懇談会	公益社団法人宮城県看護協会	石巻市	職員1名
R2.01.23	新カリキュラム対応介護実習指導者研修	公益社団法人日本介護福祉士会	仙台市	職員1名
R2.01.29	令和元年度特定給食施設等集団指導及び給食従事者研修会	宮城県登米保健所	登米市	職員1名
R2.02.06	新型インフルエンザ等対策研修会	登米地区地域医療対策委員会	登米市	職員1名
R2.02.17	令和元年度登米市地域栄養士研修会	宮城県登米保健所	登米市	職員1名
R2.02.18	令和元年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	登米市	職員2名
R2.02.27・28	安全衛生推進者等養成講習	宮城労働基準監督署	栗原市	職員1名
R2.03.03	令和元年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	登米市	職員2名

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	各職種の連絡調整に関する事項の協議	第3水曜日	施設長、各部代表者
サービス担当者会議	サービス提供に関する事項の協議	随時	施設長、介護支援専門員、各部代表
連絡調整会議	松風園、百楽荘との連携	第1水曜日	施設長、各部代表者
ケア会議	利用者サービス内容及びケア内容等の検討	第3水曜日	施設長、介護支援専門員、各部代表
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月1回	委託業者、施設長、管理栄養士、各部代表

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
H31.04.25	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員2名
H31.04.26	平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会	登米市豊里町	職員1名
R1.05.14	実習先指導担当者説明会	登米市中田町	職員1名
R1.05.21	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員1名
R1.06.26	登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市豊里町	職員1名
R1.07.11	認知症カフェ・とよさと	登米市豊里町	職員1名
R1.08.08	令和元年度指定介護サービス事業者等集団指導	石巻市	職員2名
R1.08.20	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員1名
R1.09.12	認知症カフェ・とよさと	登米市豊里町	職員2名
R1.10.16	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員2名
R1.10.23	令和元年度登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市豊里町	職員1名
R1.11.14	認知症カフェ・とよさと	登米市豊里町	職員2名
R2.01.17	平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会	登米市豊里町	職員1名
R2.01.24	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員2名
R2.03.03	認知症カフェ企画・グループ会議	登米市豊里町	職員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
サービス向上検討委員会	利用者の自立促進のための評価項目毎の自己評価	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	第3木曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	リスクの検証、検討、評価の実施	第2木曜日	施設長、各委員
褥瘡対策委員会	褥瘡の発生要因と予防の検討	随時	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待廃止検討委員会	身体拘束の改善と処遇の検討	随時	施設長、各委員

(2) その他の委員会

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
R1.06.05	平成31年度第1回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R1.09.04	平成31年度第2回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R1.12.06	平成31年度第3回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R2.03.04	平成31年度第4回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H31.04.17	月姫会	春の会食会演芸	8名
R1.05.10	藤原 澄 様	音楽ボランティア	1名
R1.07.10	南方保育所	園児が歌や踊りを披露しゲームで交流する	15名
R1.07.19	喜楽楽会	夏祭り演芸	8名
R1.08.10	よさこいボランティア	よさこい踊り	34名
R1.09.08	錦流熊谷旭英会	長寿を祝う会演芸	6名
R1.09.13	藤原 澄 様	音楽ボランティア	1名
R1.11.08	藤原 澄 様	音楽ボランティア	1名
R2.01.10	藤原 澄 様	音楽ボランティア	1名
計			75名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R1.6.19～9.4	宮城県登米総合産業高等学校3年生	介護実習	1名	16名
R1.11.05	東北薬科大学2年生	介護体験学習	1名	1名
R1.11.07	東北薬科大学2年生	介護体験学習	1名	1名
計			3名	18名

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み

1. 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援する。
2. 利用者の個々の能力に応じて自立した生活を営み、「潤いのある生活」「充実した時間」を過ごせるよう、買い物、余暇、趣味活動等様々な場面で提供する。

2 サービス向上に向けた取り組み

3. ケアパレット・介護ロボット導入し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめる。
4. 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できるように医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努める。
5. 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努める。

3 職員の資質、専門性の向上の取り組み

6. 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努める。
7. 法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行う。
8. 社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げる。

4 地域貢献、地域連携の取り組み

9. 情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたる。
10. 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催する。
11. 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整える。
12. 地域(庚申地区)との災害協定を結び、また、既に災害協定を締結している他施設(迫風園、南風園)と連携し、災害時(火災・地震・防犯・原発事故)の対応を行う。

5 継続可能な事業運営の取り組み

13. 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進める。
14. 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行う。

2019年度 豊里デイサービスセンター百楽荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市豊里町笑沢153-78 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成8年4月1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 30名 |

2025年を「超高齢・介護成熟社会」とするために、地域包括ケアの中核となる介護事業所の役割が注目されている。地域包括ケアシステムを深化・推進していく観点からの見直しが行われ、「医療・介護の連携」「縦割」から“我が事・丸ごと”へ転換する地域共生社会の実現にむけた取り組みの推進が重要視される。

超高齢化社会となり、65歳以上の人口割合が増す中で、高齢者と障害児者が同一のサービスを受けられる共生型サービスの位置づけも検討されており、多様な主体的参画との連携が求められている。

施設運営にあっても、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする。この展望を掲げて介護、支援していきたい。

そして、すべての利用者に安心して頂きながら、楽しく、“自信”と“誇り”をもって、笑顔での生活を営むことが出来る様、個別に対応したサービス提供に努める。

【 重 点 項 目 】

1. 利用者の“自信”と“誇り”“望み”を大切にし、生きる喜びを感じながら、その人らしい生活が送れる様に支援する。
・利用者及び家族の意向に沿ったサービスを提供し、個々の生活が豊かになるよう支援に努めた。
2. 利用者個々が有する個々の能力に応じて自立した生活を営み、“潤いのある生活”“充実した時間”を提供する。
・常に利用者の想いに耳を傾け、季節毎の外出、買い物、茶話会等のレクリエーション活動を通じ職員と歓談する場を設け、利用者の望むサービス提供に努めた。
3. 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努める。
・家族介護の負担が軽減されるよう、中重度・認知症高齢者をスムーズに受け入れられるよう介護支援専門員、医療機関等と連携を図りながら対応した。
4. 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努める。
・事故発生の原因分析から改善策を探り、事故防止策の検討を行い、それらを全職員に周知し再発防止に努めた。
5. 情報公開を積極的に行い、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたる。
・定期的に新聞を発行した。また、利用者及び家族に対しアンケートを実施し、その結果を広報誌に掲載し事業の改善に努めることが出来た。
6. 相談援助実習・介護等の実習、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げる。
・今年度の実習受け入れはなかったが、行事、趣味活動へのボランティア受け入れは積極的に行う事が出来た。
7. 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努める。
・内部研修会を定期的に行う事により、質の高いサービス提供が出来る職場作りに努めた。また、介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修の受講。外部研修も含め、全職員が研修参加している
8. 地域との連携により、認知症カフェ“とよさと”を実践し、家族介護、地域貢献活動に努める。
・津山・豊里地域包括支援センターや地域の介護事業所と協賛し「認知症カフェとよさと」を開催し地域包括支援システムを構築しながらの情報交換に努めている。
9. 緊急時・災害時(火災・地震・水害・土砂崩れ・防犯・原発事故対応等)の体制強化を図る。
・様々な想定で防災訓練を実施し、地震火災時の防火訓練はもとより、原子力災害(UPZ圏内)対策について避難計画、マニュアルを策定し訓練を実施した。更に、平林笑沢地区事業所間での連絡体制を確立し緊急時の協力体制を強化した。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,266 名
 2. 年間稼働日数 310 日
 3. 年間稼働率 88.88 % (通所介護+総合事業)
 (82.67) % (通所介護)
 (6.22) % (総合事業)
 (0.00) % (生きがい)

4. 年間平均介護度 2.20 (通所介護)
 0.76 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	185	166	168	174	168	159	182	175	186	172	176	190	2,101
要介護2	291	291	278	275	239	242	260	269	256	245	255	242	3,143
要介護3	118	121	118	133	157	136	153	149	134	124	116	122	1,581
要介護4	31	27	43	51	35	50	50	62	67	57	44	46	563
要介護5	14	17	15	16	28	39	50	30	23	23	24	21	300
計	639	622	622	649	627	626	695	685	666	621	615	621	7,688
事業対象者	3	0	4	5	4	5	4	4	5	4	4	5	47
要支援1	11	14	8	14	18	12	13	12	12	12	12	12	150
要支援2	33	33	30	31	30	31	32	29	36	34	32	30	381
計	47	47	42	50	52	48	49	45	53	50	48	47	578
合計	686	669	664	699	679	674	744	730	719	671	663	668	8,266

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	5	2	3	1	5	3	1	0	1	2	24
契約終了者数	2	2	4	3	1	4	3	3	3	2	1	3	31
月末契約者数	81	81	83	82	82	82	82	83	81	78	78	78	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

- (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.4.18~20	お花見	ドライブを兼ねて近隣のお花見へ外出する	利用者 34名 職員 10名
R1.05.29	松風園との交流会	松風園利用者とゲームを通じて楽しみながら交流を図る	利用者 23名 職員 7名
R1.07.8~9	七夕会	七夕飾りを眺めながら歌や踊りを楽しむ	利用者 55名 職員 15名
R1.07.10	南方保育所交流会	南方保育所の園児を招いて歌やゲームを楽しむ	利用者 23名 職員 8名
R1.07.19	合同夏祭り	アトラクションや屋台風の食事などで夏祭りを楽しむ	利用者 27名 職員 8名
R1.08.29	松風園との交流会	松風園利用者とゲームを通じて楽しみながら交流を図る	利用者 25名 職員 8名
R1.9.12~14	長寿を祝う会	利用者の方々に長寿をお祝いする	利用者 79名 職員 23名
R1.10.15	芋煮会	施設内にて、野菜を切るなど芋煮会の気分を味わっている	利用者 28名 職員 9名
R1.11.06	焼き芋会	焼き芋を食べながら、季節を感じ、利用者間での交流を深める	利用者 27名 職員 9名
R1.11.11~13	リンゴ狩り	市内の果樹園にてリンゴ狩りを楽しむ	利用者 28名 職員 10名
R1.12.16~18	クリスマス忘年会	ツリーを眺めながら、アトラクションを楽しむ	利用者 86名 職員 28名

R1.12.25	餅つき	杵と臼で餅つきを行い、みずの木に飾り付けを行う	利用者 30名 職員 9名
R2.1.9～11	新年会	おとそ配りで新年を祝い、アトラクションを楽しんで頂く	利用者 90名 職員 25名
R2.2.3～5	節分豆まき	年男・年女の利用者が袴を着て、豆まきを行い福を招く	利用者 81名 職員 26名
R2.03.03	ひな祭り会	雛人形を飾り、雛あられを食べながらゲームを楽しむ	利用者 24名 職員 9名
実 施 回 数		15 回	延べ参加者数 864 名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
H31.04.12	公用車リフト操作手順	介護福祉士	職員3名
R1.05.21	着脱介護の方法	介護福祉士	職員4名
R1.05.21	ボディメカニクスの基本の考え	介護福祉士	職員5名
R1.07.24	送迎介助について	介護福祉士	職員3名
R1.08.09	実習受け入れについて	介護福祉士	職員4名
R1.08.31	体位交換について	介護福祉士	職員5名
R1.09.27	高齢者虐待防止について	介護福祉士	職員3名
R1.10.25	入浴介助について	介護福祉士	職員4名
R2.01.16	おむつ交換について	介護福祉士	職員5名
R2.1.17. 21	介護記録について	施設長	職員3名
R2.03.09	褥瘡予防について	介護福祉士	職員4名
R2.03.31	送迎介助について	介護福祉士	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.06.19	恵泉会新任職員研修	恵泉会法人本部	登米市	職員1名
R1.06.27	恵泉会新任職員研修	恵泉会法人本部	登米市	職員1名
R1.08.09	令和元年度介護保険サービス事業者集団指導説明会	宮城県保健福祉部	登米市	職員1名
R1.09.20	令和元年度介護技術ステップアップ講習	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名

3. 会開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
連絡調整会議	松風園、百楽荘との行事や連絡事項等を話し合い業務の徹底を図る	第1火曜日	管理者
サービス調整会議	百楽荘の行事、利用者や家族の意見、業務連絡をし徹底を図る	第3金曜日	施設長・事務員・栄養士・百楽荘職員
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月1回	施設長・栄養士・生活相談員・介護員・百楽荘利用者
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び曙懸案の協議	毎月1回	生活相談員
デイサービス部会	各デイサービスとの情報交換	2ヶ月に1回	生活相談員

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	参加者
随時	サービス担当者会議	利用者自宅	生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加者
サービス評価委員会	評価項目毎の自己評価、改善項目の検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	ヒヤリハットの検証、検討、評価の実施	第1火曜日	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H31.04.22	ピーチダンベル	音楽に合わせて体操する	9名
R1.07.08	豊里町・喜楽楽会	七夕会にて歌や踊りを披露していただく	7名
R1.07.09	三浦吉喜と仲間の会	七夕会にて民謡や踊りを披露していただく	6名
R1.07.19	築館町・錦流・旭英会	夏祭りにて舞踊を披露していただく	8名
R1.08.10	北海道大学・武蔵女子短期大学	よさこいを披露していただく	35名
R1.09.12	千寿会	長寿を祝う会で民謡や踊りを披露していただく	7名
R1.09.13	米山町・衣川会(宮城県民謡連合会)	長寿を祝う会で民謡や舞踊を披露していただく	11名
R1.09.14	中田町・熊谷流	長寿を祝う会で舞踊を披露していただく	13名
R1.10.03	ピーチダンベル	音楽に合わせて体操する	5名
R1.10.09	二ツ屋 嶋ゆう子	歌や踊りを披露していただく	9名
R1.12.16	中田町・熊谷流	クリスマス忘年会で舞踊を披露していただく	9名
R1.12.17	米山町・衣川会(宮城県民謡連合会)	クリスマス忘年会で民謡と踊りを披露していただく	8名
R2.01.09	中田町・熊谷流	新年会で舞踊を披露していただく	9名
R2.01.10	三浦吉喜と仲間の会	新年会にて民謡と踊りを披露していただく	6名
R2.11.11	築館町・錦流・旭英会	新年会にて舞踊を披露していただく	8名
R2.02.08	ピーチダンベル	音楽に合わせ体操する	10名
延べボランティア数			168名

2. 情報の開示

(1) 広報誌

発行日	名 称	内 容
H31.04.24	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R1.05.24	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R1.06.25	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R1.07.24	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R1.08.27	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R1.09.24	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R1.10.23	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R1.11.25	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R1.12.24	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.01.27	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.02.21	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.03.26	百楽広報	利用者の日常生活状況の写真掲載や百楽荘の動向等お知らせ

【今後の取り組み】

1 「幸せを感じて」いただく取り組み

1. 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援する。
2. 利用者の個々の能力に応じて自立した生活を営み、「潤いのある生活」「充実した時間」を過ごせるよう、買い物、余暇、趣味活動等提供する。

2 サービス向上に向けた取り組み

3. ケアパレットを導入し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめる。
4. 作業療法士による個別機能訓練(個別機能訓練加算1)により利用者の機能維持・向上を図る。
5. 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努める。

3 職員の資質、専門性の向上の取り組み

6. 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努める。
7. 法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行う。
8. 社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げる。

4 地域貢献、地域連携の取り組み

9. 情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたる。
10. 社会福祉法人として食事代無料化とし、利用者負担の軽減を図る。
11. 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催する。
12. 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整える。
13. 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援を行います。

5 継続可能な事業運営の取り組み

14. 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進める。
15. 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行う。

2019年度 特別養護老人ホーム萩風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1) 所 在 地 | 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-4 |
| 2) 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3) 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4) 開 設 年 月 日 | 平成29年4月1日 |
| 5) 事 業・利 用 定 員 | |

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

今年度は、二つの変革キーポイントがあり、2021年度に予定される法改正の方針を左右する年となりました。一つめは消費税率の引き上げ。社会保障費充足の財源となると同時に、膨らみ続ける費用を抑制する具体策を検討していく姿勢が明確にされました。次期単価改正には身体機能の維持、向上により事業者インセンティブを与える方向性となりました。二つめは働き方改革関連法の施行です。より労働環境を改善していくことが求められました。

萩風園は上記の社会情勢により要求される新しい施設の在り方に対応しながら、「年次有給休暇の計画的付与制度」を遵守しつつ、ご利用者皆様にあった自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を目指しました。また、生産性・効率化等と介護職員の精神的負担を軽減するため「見守りセンサー」を宮城県の補助金制度を利用し導入いたしました。負担軽減と同時に記録したデータを解析し、個別支援に反映されるようケにし自立支援や重度化防止に資する質の高いサービス提供に結びつけました。

【 重 点 項 目 】

- ① 在宅生活の移行または継続するための支援。新しいニーズに向けた積極的な改善・改革。
2020年春の在宅復帰に向けて、地域ケア会議等の開催や、在宅生活に必要な体力・筋力の維持に対するサポートを整えたご利用者がおりました。これまでは未経験で今後多様化するであろうニーズなど、良い経験となりました。しかし新型コロナウイルスにより在宅復帰を延期せざるを得なくなりました。
- ② 尊厳ある「看取り」に向け、ご利用者、ご家族、嘱託・協力医療機関である米谷病院との連携強化。
連携強化はもちろん、看取りに関し各々研鑽し尊厳ある終末を過ごしていただけるよう職員一丸で取り組みます。
- ③ 業務仕訳で効率化を図り、介護ロボット・ICT導入により職員負担の軽減を図る。
上記の通り「見守りセンサー」を宮城県の補助金制度を利用し導入、特に夜勤職員の精神的負担を減らすことができました。また、ICT活用や業務見直しのための「業務改善委員会」を立ち上げました。
- ③ 介護について「地域の核」となるべく、地域貢献事業を通し地区への働きかけや、機能解放を実践する。
地域貢献事業として、外部講師を招き、「排せつ」や「これからのリハビリ」についてボランティアの方々を交えた合同研修会を開催しました。また、中田地区民生委員児童委員協議会から依頼を受け生活相談員を講師として派遣いたしました。
- ⑤ 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり。専門性の向上を図り更なる資質向上を図る。
③で触れております「業務改善委員会」にて、ICT活用にて変化している介護の専門性の検討を行います。また、今後見込まれる介護の担い手不足に対応するような勤務体系の見直しなど委員が自発的に検討する自主性を重んじました。
- ⑥ 介護実習施設として、次世代の担い手を育成する。
継続して行われている登米総合産業高校の介護実習について、実習マニュアルを作成しそれに沿って実施している。担当教諭との連携を密にとりながら次世代の「福祉人」を育成しております。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 15,729 名
2. 年間稼働率 85.95 %
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.28
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	30	0	0	0	274
要介護3	270	208	161	155	155	150	124	129	124	136	116	139	1,867
要介護4	603	546	564	651	581	549	617	592	539	523	493	579	6,837
要介護5	516	571	530	580	558	520	472	534	570	561	652	687	6,751
計	1,419	1,356	1,285	1,417	1,325	1,249	1,244	1,285	1,263	1,220	1,261	1,405	15,729

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	3	0	4	1	0	2	2	2	1	4	0	3	22
退所者数	0	5	0	5	1	3	1	2	3	1	0	1	22
月末入所者数	50	46	49	47	44	43	44	44	42	45	45	47	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.18	桜まつり	家族の方々と三味線後藤会の演奏や踊りを楽しまれており、手拍子や一緒に踊る利用者の方もおり大変盛況であった。	利用者 37名 職員 19名
H31.04.18	利用者家族との懇談会	今年度の行事予定の説明及びご家族の要望や質疑応答が行われた。	家族 30名 職員 19名
H31. 5. (3.4)	菖蒲湯	浴室内が菖蒲の香りに包まれ、無病息災を祈りながらリラックスした。	利用者 31名 職員 8名
R1.08.06	菊風荘・萩風園合同夏祭り	菊風荘フロアにて、抽選会や長谷打ち囃子を鑑賞しながらかき氷やスイカを召し上がりお祭りの雰囲気と涼を感じて頂いている。	利用者 22名 職員 6名
R1.08.23	盆供養	故人の冥福を祈り、焼香し、団子や落雁を頂いた。	利用者 13名 職員 4名
R1.09.08	長寿を祝う会	沢山のご家族が出席の中、記念品を頂き感激されていた。アトラクションのとして熊谷流の方々の舞踊が披露されると皆さん喜んでいました。	利用者 39名 職員 18名
R1.10.03	秋を楽しむ会	園庭にて散策を行い、昼食を取り秋を感じて頂いている。	利用者 17名 職員 4名
R1.12.18	クリスマス忘年会	前半のクリスマス会では、職員による余興とケーキ等のおやつバイキングを楽しみました。その後、写真を見ながら1年を振り返り笑顔で忘年会を終了しました。	利用者 37名 職員 11名
R1. 12. (20. 21)	ゆず湯	浴室内がゆずの香りに包まれ、無病息災を祈りながらリラックスした。	利用者 33名 職員 10名
R2.01.15	新年会	職員が付き添い施設長によるお屠蘇配り、職員による獅子舞披露、玉入れ合戦、新年の抱負を職員も利用者も語り合い正月気分を味わった。	利用者 33名 職員 10名
R2.02.03	節分	年男、年女が袴と袴を身につけ、棟内に豆をまき、一年の厄を払った。	利用者 47名 職員 13名
R2.03.19	彼岸供養	故人の冥福を祈り、焼香し、団子や落雁を頂いた。	利用者 7名 職員 3名
実施回数		12回	延べ参加者数 463名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 2,000 名
2. 年間稼働率 109.29 %
(目標稼働率 95.00 %)
3. 年間平均介護度 3.06
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	8	5	5	13	13	11	16	21	22	25	23	18	180
要介護2	43	51	53	59	62	65	69	70	59	64	32	34	661
要介護3	24	14	25	24	7	13	13	15	13	41	22	58	269
要介護4	42	38	38	38	74	84	61	58	64	54	61	32	644
要介護5	32	14	19	8	44	19	9	24	20	16	21	20	246
計	149	122	140	142	200	192	168	188	178	200	159	162	2,000

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.01	新任者研修(コンプライアンス、身体拘束廃止)	施設長	職員5名
H31.04.25	緊急時対応について	看護師	職員7名
R1.05.22	排泄のキホン、オムツのあて方研修	外部講師	職員7名
R1.05.30	コンプライアンス研修	施設長	職員7名
R1.06.26	食中毒予防について	管理栄養士	職員8名
R1.07.25	事故発生防止研修	介護福祉士	職員10名
R1.08.21	これからのリハビリの形	外部講師	職員11名
R1.09.04	身体拘束防止研修	介護福祉士	職員10名
R1.10.16	緊急・救急対応について	看護師	職員12名
R1.11.20	認知症研修について	相談員	職員12名
R1.12.25	感染症予防研修について	看護師	職員8名
R2.01.22	身体拘束防止研修	介護福祉士	職員10名
R2.03.24	看取りについて	看護師	職員6名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.06.19	平成31年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.06.27	平成31年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.06.27	平成31年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.7.18-19	介護福祉士養成施設実習指導者研修会①	宮城県介護福祉士会	仙台市民活動センター	職員1名
R1.08.08	介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保険福祉事務所	石巻合同庁舎	職員1名
R1.8.8-9	介護福祉士養成施設実習指導者研修会②	宮城県介護福祉士会	仙台市民活動センター	職員1名
R1.08.09	人事考課制度に関する意見交換会	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.08.26	管理職育成コンサル	恵泉会	法人本部	職員1名
R1.09.02	宮城県サービス管理責任者等更新研修	宮城県社会福祉協議会	宮城県庁	職員1名
R1.09.20	地域連携のための栄養管理研修会	登米保健所	登米合同庁舎	職員1名
R1.10.1-2	新任職員研修3班	宮城県社会福祉協議会	パレス宮城野	職員1名
R1.10.09	コミュニケーション技術・対人援助技術2班	宮城県社会福祉協議会	宮城県管工事会館	職員1名
R1.11.13	パワハラ&アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	フォレスト仙台	職員1名
R1.11.20	看護師部会支部研修	宮城県看護協会	登米市立米谷病院	職員1名
R1.11.20-21	新任職員研修4班	宮城県社会福祉協議会	パレス宮城野	職員1名
R1.12.03	タイムマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	宮城県管工事会館	職員1名
R1.12.04	地域包括ケア関係者研修	登米地区地域医療対策委員会	ホテルニューグランヴィア	職員1名
R2.01.29	特定給食施設等集団指導及び給食従事者等研修会	宮城県登米保健所	登米合同庁舎	職員1名
R2.02.05	ロボット等介護機器導入セミナー	宮城県保健福祉部	宮城県庁	職員1名

R2.02.17	登米地域栄養士研修会	登米栄養士・保健所	登米合同庁舎	職員1名
R2.02.18	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R2.02.17	管理職研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R2.03.03	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	行事予定及び実施報告反省点の検討、各部門の連絡調整等	月1回	施設長、生活相談員他
ケアスタッフ会議	看護・介護・給食支援共有、新規更新利用者各種プラン説明等	月1回	施設長、生活相談員他
給食会議	献立メニュー、療養食・低栄養高リスクケース提供食の検討等	月1回	施設長、生活相談員他
連絡調整会議	施設運営、各種会議の議題設定等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
サービス担当者会議	ケア手段・方法の検討、プラン目標の設定検討等	月2回	施設長、生活相談員他

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
入所判定検討委員会	入所申込の確認、入所判定基準に従い優先順位の決定	3か月1回	施設長、生活相談員他
栄養ケアマネジメント検討委員会	栄養ケアマネジメントに関わる関連職種間の情報交換	月2回	施設長、生活相談員他
サービス向上検討委員会	介護サービス計画の検討、サービス評価の実施・評価	月1回	施設長、生活相談員他
防災対策・安全運転検討委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施、災害対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止対策の検討、褥瘡予防計画書の作成	3か月1回	施設長、生活相談員他
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策の検討、虐待防止対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
事故防止・苦情対策委員会	事故防止対策の検討、ヒヤリハット・苦情処理等の検討	月1回	施設長、生活相談員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R1.06.12	浅水小学校交流会	生徒との交流会	12名
R1.07.09	中田町ボランティア友の会	園庭の除草作業(花壇・芝生)	12名
R1.08.28	南方保育所	園児との交流会	19名
R1.09.06	中田町ボランティア友の会	園庭の除草作業(花壇・菊風荘入り口)	13名
計			56名

(2) 実習

年月日	団体名	実習・見学内容	実人数	延人数
R1.5.28~9.11	宮城県登米総合産業高等学校	施設実習(2学年1名16日間1名17日間)	2名	33名
R1.6.19~9.2	宮城県登米総合産業高等学校	施設実習(3学年16日間)	2名	32名
計			4名	65名

【今後の取り組み】

- ① 尊厳ある「看取り」に向け、ご利用者、ご家族、嘱託・協力医療機関である米谷病院との連携強化
- ② 介護ロボット等AIの活用を図り、職員の負担軽減を図り業務改善(効率化・最適化)を図る。
- ③ 介護支援システムの連携を図り、バイタルチェック等の入力手間を省き正確化・時間短縮を図る
- ④ 介護について「地域の核」となるべく、地域貢献事業を通し地区への働きかけや、機能解放を实践する。
- ⑤ 内部研修に地域の方を招き、認知症セミナー等を集客方式にて開催。
- ⑥ 地域貢献の新しい形(Small Local Hub: 小さな拠点)を模索し必要な提携や協力に取り組む
- ⑦ 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり。専門性の向上を図り更なる資質向上を図る
- ⑧ 指導監督職が次世代職員の育成を担う役割を遂行する。(法人内研修講師等)
- ⑨ 介護実習施設として、次世代の担い手を育成する。

2019年度 中田デイサービスセンター菊風荘 事業報告

【施設概要】

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 所在地 | 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-2 |
| 2. 設置主体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経営主体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開設年月日 | 平成2年3月15日 |
| 5. 利用定員 | 30名 |

【基本方針の実施内容について】

1. ご利用者の尊厳を保持し、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスを提供することを目的としました。その一環として食事提供費用を無償化しその必要なサービスを多くご利用いただく体制を整えました。
2. サービスは、要介護状態等の軽減又は悪化防止に資するものであることが求められております。個別機能訓練を充実させ作業療法士を中心に職員一同ご利用者皆様にあった自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現に向け取り組みました。
3. 介護の支え手が減少することが見込まれている中、職員一人ひとりのニーズにあった、納得のいく「働き方改革」を実現するため、雇用形態や給与支給規則の改正を年度内に図り、令和2年度より施行いたします。

【重点項目】

1. 在宅生活を継続するための支援。新しいニーズに向けた積極的な改善・改革。
基本方針の通り、個別機能訓練を充実させ可動域の向上など身体機能の向上を図られた方が毎月数名、維持されている方はほぼ機能訓練契約者の9割となっております。半面、作業療法士の病気休暇により低下した方が3割発生した月もあり、安定した訓練が身体機能の向上につながる事が立証された裏付けと推測されます。可能な限り維持する体制を今後も取り続けます。
2. 重度のご利用者への対応充実。ご利用者・ご家族・医療との連携強化。
個別提供サービスに合わせた送迎時間の調整や障害に合わせた送迎対応（玄関から玄関を基本）としベッドからベッドなど介護力に合わせた対応に努めニーズに対応しました。
3. 個別ケアとプライバシーに配慮した環境改善。
重点項目2.の重度利用者の対応の更なる充実とプライバシー保護を合わせた対策として、建物自体の構造を含め検討いたしました。中間浴槽の改修立案など今年度は準備段階とし、次年度も継続して改善計画を推進してまいります。
4. 介護について「地域の核」となるべく、地域貢献事業を通し地区への働きかけや、機能解放を実践する。
昨年度は地域のミニデイ等へ数回出向き、健康教室やレクレーション等行いましたが、疥癬対策により計画の見直しを余儀なくされ、浅水小学校への訪問や1回の交流会しか実施できませんでした。事情が許す限り、次年度以降も「地域貢献事業」を通し施設機能の開放に努めます。
5. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり。専門性の向上を図り更なる資質向上を図る。
外部研修7回、内部研修15回とほぼ全員が研修に参加しました。法人内の国家資格取得研修委員会により資格取得した職員もおります。また、2名の資格取得のスクーリングも終了しました。資格取得に対するバックアップ体制は整っており、今後もこの方向で全職員が協力して参ります。
6. 介護実習施設として、次世代の担い手を育成する。
登米総合産業高校の2年生・3年生の実習を継続して受入、次世代の「福祉人」を育成してまいります。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,775 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 83.81 % (通所介護+総合事業+生きがいデイ)
(77.69) % (通所介護)
(5.91) % (総合事業)
(0.20) % (生きがいデイサービス)
4. 年間平均介護度 2.56 (通所介護)
0.61 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	101	107	96	94	82	90	105	97	83	65	61	65	1,046
要介護2	255	274	252	265	283	246	271	289	264	236	271	299	3,205
要介護3	135	144	133	141	117	122	133	101	93	126	121	117	1,483
要介護4	63	75	62	66	104	92	73	66	77	62	80	71	891
要介護5	62	54	49	33	52	54	54	40	43	49	54	56	600
計	616	654	592	599	638	604	636	593	560	538	587	608	7,225
事業対象者	13	14	12	10	8	10	15	12	11	12	12	12	141
要支援1	8	8	8	9	8	7	9	8	11	12	15	14	117
要支援2	28	34	35	30	27	32	35	19	17	8	12	15	292
計	49	56	55	49	43	49	59	39	39	32	39	41	550
合計	665	710	647	648	681	653	695	632	599	570	626	649	7,775

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	1	2	3	2	4	4	2	1	3	2	0	28
契約終了者数	0	4	1	3	2	2	1	6	13	1	0	0	33
月末契約者数	84	81	82	82	82	84	87	83	71	73	75	75	-5

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R1.8.6 R1.8.7	夏祭り	やぐら、ゲームやおやつ模擬店を設置し、お祭り気分を味わっていただきながら余興を見学、会場全体で盆踊りを踊った。	利用者 49名 職員 19名
R1.9.9 R1.9.10	長寿を祝う会	長寿の方のお祝いと、一年間の皆勤賞を表彰した。その後踊り等の余興を楽しんで頂いた。	利用者 60名 職員 18名
R1.12.24 R1.12.25	クリスマス会	クリスマスの雰囲気を楽しんでいただき、サンタクロースに扮した職員からプレゼントをもらい喜んでいただいた。	利用者 47名 職員 17名
R2.2.3 R2.2.4	節分豆まき	豆まきを行い、利用者様の無病息災を願った。豆まきにちなんだゲームを実施。	利用者 47名 職員 16名
実施回数	5回	延 べ 参 加 者 数	273名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 19 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 (0.20) %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生きがいデイサービス	0	0	0	0	0	0	2	4	4	4	4	1	19
合計	0	0	0	0	0	0	2	4	4	4	4	1	19

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.4.25	緊急時対応について	看護師	職員1名
H31.04.10	介護技術研修(移乗動作)	生活相談員	職員4名
R1.05.22	介護技術研修(排泄のキホン、おむつの巻き方)	外部講師	職員2名
R1.05.30	コンプライアンス研修	施設長	職員4名
R1.06.26	食中毒予防について	管理栄養士	職員1名
R1.07.25	事故発生防止研修	介護福祉士	職員2名
R1.08.01	コンプライアンス研修	施設長	職員3名
R1.08.21	これからのリハビリの形(投影型リハビリテーション)	外部講師	職員2名
R1.08.29	新任者研修(職員就業規則・服務規程・感染症予防)	施設長	職員3名
R1.09.04	身体拘束防止研修	介護福祉士	職員1名
R1.10.16	緊急・救急対応について	看護師	職員1名
R1.11.20	認知症ケアについて	相談員	職員1名
R1.12.25	感染症予防研修について	看護師	職員1名
R2.01.22	身体拘束防止研修	介護福祉士	職員2名
R2.03.24	看取りについて	看護師	職員1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R1.6.27	デイサービス収益改善セミナー	(株)三菱総合研究所	仙台市	職 員 1 名
R1.8.9	介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職 員 1 名
R1.10.1-2	宮城県社会福祉施設新任職員研修3班	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職 員 1 名
R1.11.20-21	宮城県社会福祉施設新任職員研修4班	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職 員 1 名
R1.11.01	宮城県老人福祉施設職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職 員 1 名
R1.11.26	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職 員 1 名
R1.11.16	緊急時対応研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職 員 1 名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	萩風園を含め施設管理等運営に関する検討	月1回	生活相談員1名
デイサービス調整会議	デイ行事企画・事業執行等の検討	月1回	施設長他12名
給食会議	給食内容・栄養管理等の検討	月1回	生活相談員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災対策・安全運転委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施	月1回	生活相談員他4名
サービス向上委員会	①サービス提供内容の検討②介護サービス提供計画の作成③サービス評価の実施・評価④サービス情報公表の実施・評価⑤内部・外部職員研修計画の作成⑥研修会の開催⑦記録整備の検討毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	生活相談員他4名
事故防止・苦情対策検討委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討、記録整備の検討。毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	生活相談員他3名
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策、人権擁護、人間の尊厳、虐待廃止対策の検討。	随時	生活相談員他3名
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止、衛生管理体制の検討、褥瘡予防対策の検討。	随時	生活相談員他4名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	なし		

(2) 活動ボランティア

年月日	団体名	内容	来訪者数
4月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	7名
5月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
6月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
7月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
8月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
9月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
10月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	5名
11月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	5名
12月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	5名
1月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
2月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
3月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	5名

【今後の取り組み】

1. 次期介護保険法改正に向けた準備

次期介護保険法改正では事業者が利用者の要介護度を下げた場合に、それに見合ったインセンティブが事業者には与えられる見込みです。つまり事業者が経営状態を改善するためには要介護度を上げるのではなく、むしろ下げることが得策だという方向性となります。そのための制度として2018年の介護報酬改定で導入することが決定したのが、アウトカム評価です。

しかし、「ADL維持等加算」に対する現状でのアウトカム評価は、「Barthel Indexの評価負担が大きい」「事務負担が大きい」といった問題から加算申請をしていない事業者がほとんどです。評価方法が見直される次年度の単価改正に合わせて令和2年度中にエビデンスをしっかりと構築し備える必要があります。

2. 外部環境への適応

前回の介護保険法改正にて、通所介護の専門性が協議されており、①預かり機能(レスパイト)に特化したサービス②機能訓練を中心とした自立支援の要素の強いサービス③専門性を持って認知症ケアに特化したサービス④ナーシング機能を持つサービス等考えられています。

今後15年間は我々事業者をふるいに掛ける様な政策が想像され「強いサービス提供事業者」のみが生き残れる時代と予想されます。「介護保険を使うのであれば重度者対応は必須」の見通しに、私たちが取り組むべき具体策としては、重度者への対応の強化や生産性の向上などがあげられます。

制度改正や報酬改定、ニーズの増減・変動、地域の実情などを注視しながら、前述の専門性を持った通所介護事業者として、外部環境に適応して変わっていくことが大事となっていきます。

3. 「ICT」活用を視野に入れた専門性

厚生労働省は、介護サービス事業所が指定申請や報酬請求を行う際に人員配置などを明らかにする「勤務体制・勤務形態一覧表」について、令和2年度中に全国共通の様式を確立する計画を打ち出しております。このように「事務処理・申請等」の標準化・簡素化が進められていく中、事業者独自でも事務処理を簡素化すべく、記録の手間を省き、誤入力をなくすため次年度は「Care Palette」等導入します。

また、アウトカム評価に対する準備のため、身体機能の測定の標準化とともに記録化もできるソフトなど検討を重ね「個別機能訓練」利用者を広げていく手段を検討いたします。

2019年度 特別養護老人ホーム迫風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市迫町北方字大洞56番地6
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成5年4月1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	10 名
計	60 名

【 基 本 方 針 】

迫風園は、法人の基本理念を全職員が理解し、利用者本位のサービス提供に努める。「職員はご利用者の為に業務を行う」ことを互いに理解し、尊重し合い、全員で組織(法人・施設)の理念やビジョンを共有し、戦略を理解し、自らの責任でどこにどの程度貢献できるか考え実践する。また、全員で良い「空気(職場環境)」を作り、「言える化(建設的対立)」を大切にして、必死のコミュニケーションに努め、組織力を最大限に発揮できるようにする。そして、その組織が常にダウン(1日目)の活力を保てるように、「捨てる」「止める」「入れ替える」という新陳代謝を考える。無駄を省き、常に効率化・最適化を指向し、業務にメスを入れ続ける「改善」を最も重要な現場の本来業務とし、介護サービスの品質の維持・向上を図る。働き方改革等の時代の変化に対応するために異なる意見やアイデアを建設的にぶつけ合い、挑戦(実践の理論化)し、成長し続ける個人や組織を目指す。また、社会福祉法人の原点である安定経営と奉仕の精神をもとに、高齢者ケアの基本理念である自立支援を個別の施設サービス計画書に基づき実践する。そして地域包括ケア体制の中にきちんとしたポジションを確立できるように、他事業所や病院、学校などと連携し、地域共生社会の実現を目指す。その為に以下の五つの柱を基に実践する。

- ①地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
- ②職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
- ③安定した経営を目指した健全な財政運営
- ④社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
- ⑤時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成

【 重 点 項 目 】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と組織づくり
 - ・利用者、家族の意見を取り入れた個別ケア提供により、その人らしく生活できるサービス体制を構築した。
 - ・利用者、家族の同意のもとに、看取り介護を実施し、ご利用者の尊厳や人権、生活の質を最後まで保てた。
 - ・定期的なモニタリングの実施で、課題分析されたケアプランに基づいたサービス提供の実施を継続できた。
 - ・定期的にマッサージ師・音楽療法士を招き、心身の活性化を図れた。
 - ・定期的な歯科医師の専門指導を受け、口腔ケアの徹底を図れた。
 - ・利用者の医療ニーズを各医療機関に適切につなげられた。
 - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図れた。
 - ・ヒヤリハット、事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図れた。
 - ・感染症予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底に努めた。
 - ・利用者及び家族等からの苦情や提案に速やかに対応し、解決を図った。
 - ・幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的に行い施設理解を図れた。
 - ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めた。
 - ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員などと連携、地域ニーズの把握に努めた。
 - ・認知症サポーター養成研修、認知症介護教室などを開催したり、職員を講師として派遣したりした。
 - ・地域のケアマネジャーや地域包括支援センターなどと連携し、緊急ショートステイなど積極的に受け入れた。
 - ・併設する翠風荘と連携して、生活リハビリの積極的な導入に努めた。
 - ・施設行事と地域貢献活動を同時に行えるよう、他事業所や他団体、学校などと共同開催を図れた。
2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
 - ・行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成を目指したが不十分。
 - ・定期的な健康診断・検診を実施した。
 - ・法人内の研修(新任、階層別、フォローアップ)に計画的に参加した。
 - ・施設の内部研修(テーマ別)を毎月開催できた。時に他施設や地域住民も参加する拡大版でも実施した。
 - ・マニュアルを利用した業務習得状況の確認と、必要な指導を行うOJT体制を整備した。
 - ・禁煙や健康増進体操に取り組んだが、不十分であった。労働災害もゼロにはできなかった。
 - ・「企画王」(利用者に関する事、業務に関する事、職員に関する事等様々な事を企画する取組)は実施した。
 - ・20分ミーティングを定期的に行い波長合わせを行った。

3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
 - ・節電、節水を常に意識し、光熱水費の削減を図った。
 - ・修繕できるものは修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけた。
 - ・十分ではないが、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を行い、ムダを省くよう努めた。
 - ・業務の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を洗い出し効率化・最適化に努めた。
 - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、近づく手順や方法を検討した。
 - ・見守りセンサーを活用し職員の負担軽減を図ると同時に、利用者のデータ分析・個別ケアに活用した。
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
 - ・専門職以外のマンパワーの育成・活用に向けカフェ等の取り組みは開始したが、実際に活用するまでに至らなかった。
 - ・介護医療一体化構想を理解し、一層の連携強化を図れた。
 - ・地域貢献の新しい形を模索し、必要な連携や協力に取り組んだ。
5. 時代の要求に応じた各種の研究と質の高い職員の育成
 - ・各委員会活動の充実を図れた。
 - ・認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習担当者養成研修等計画的に参加した。
 - ・各種・各機関の研修会に積極的に参加し専門的知識を身につけ、伝達を行うことができた。
 - ・指導監督職員が次世代の育成を担う役割が遂行できるよう努めた。
 - ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現に努めた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,318 名
2. 年間稼働率 94.63 %
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.01
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	60	31	30	31	31	30	31	0	0	0	0	0	244
要介護3	300	341	330	341	341	330	354	330	356	372	319	341	4,055
要介護4	670	656	674	713	696	703	644	635	753	745	616	723	8,228
要介護5	411	465	437	458	424	353	375	379	403	386	365	335	4,791
計	1,441	1,493	1,471	1,543	1,492	1,416	1,404	1,344	1,512	1,503	1,300	1,399	17,318

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	1	0	0	0	2	4	2	0	1	4	16
退所者数	1	1	0	0	1	3	4	0	0	4	1	3	18
月末入所者数	49	49	50	50	49	46	44	48	50	46	46	47	- 2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
 - (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.4.25	さくら祭り	南方保育所園児による歌やダンスが行われた。ご家族も参加し楽しい一時を過ごした。園児との握手に涙する利用者もいた。	利用者 48名 職員 16名
R1.7.4	七夕会	短冊に願い事を書いて飾り付ける。記念撮影の後、カラオケを皆で楽しんだ。	利用者 45名 職員 12名
R1.8.1	夕涼み会	スイカ割りや模擬店(射的・輪投げ・ザリガニ釣り)や記念写真の撮影等を行い、季節感を味わっていただいた。	利用者 46名 職員 12名
R1.8.21	盆供養	心性寺の住職に依頼し、亡き利用者の冥福を祈る。	利用者 30名 職員 4名
R1.8.22	100歳を祝う会	平山とみ子様100歳のお祝い会	利用者 30名 職員 8名
R1.9.8	ギターコンサート	ご利用者ご家族の5人グループによるギター演奏を聴く	利用者 36名 職員 11名

R1.9.12	長寿を祝う会	長寿を祝う会として、登米市敬老祝い金の贈呈や敬老記念品の贈呈など行い、童謡(歌)のアトラクションでお祝いする。	利用者 48名 職員 16名
R1.9.20	100歳を祝う会	鈴木節子様・平山とみ子様100歳のお祝い会	利用者 26名 職員 9名
R1.10.10	お月見会	中庭で焼き芋実施。新聞紙に芋を包んでもらうことから利用者に参加して頂く。焼けるまで食堂でカラオケを楽しむ	利用者 37名 職員 11名
R1.11.14	芋煮会	室内での芋煮会を実施。マイタケ、こんにゃく、豆腐等利用者に切ってもらい芋煮作りをした。歌を歌ったり楽しんで実施。	利用者 42名 職員 16名
R1.12.22	クリスマス会	おやつ作りや余興を楽しみ、クリスマスの雰囲気を感じながら楽しい一時を過ごす。	利用者 43名 職員 9名
R1.12.26	餅つき大会	新年に願いを込めお供え餅を作る。また、正月の飾り付けを行いその雰囲気を味わう。	利用者 39名 職員 9名
R2.1.1	新年会	食堂において新年を迎えたことを祝い、食事を味わいながら楽しい時間を過ごす。	利用者 36名 職員 7名
R2.2.6	節分・豆まき	年男・年女の写真撮影をロビーで行い、正面玄関から各居室・廊下を鬼が逃げ回り、豆まきをし、一年の健康を祈願する。	利用者 32名 職員 13名
R2.3.5	ひな祭り	食堂にひな人形を飾りひな祭りの雰囲気を味わい、ひな祭りの由来やクッキングを行い楽しい一時を過ごす。	利用者 36名 職員 6名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 3,549 名
2. 年間稼働率 96.97 %
(目標稼働率 90.00 %)
3. 年間平均介護度 3.20
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7
要支援2	0	0	0	1	3	0	2	0	2	0	0	0	8
要介護1	10	11	67	36	13	10	11	7	21	13	35	14	248
要介護2	90	87	60	73	60	53	50	79	57	55	50	59	773
要介護3	65	64	70	67	98	86	91	102	107	95	99	113	1,057
要介護4	89	93	68	69	86	72	100	68	60	71	56	41	873
要介護5	22	32	35	34	39	58	44	61	47	54	54	59	539
その他	0	0	0	0	0	6	0	3	6	10	9	10	44
計	276	290	300	284	299	285	298	320	300	298	303	296	3,549

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
 - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.4.18	防災・災害時・緊急時の対応研修	副主任	職員7名
R1.5.30	介護基礎・身体拘束・高齢者虐待研修	施設長	職員8名
R1.6.20	行動規範・個人情報保護研修	施設長	職員8名
R1.7.11	おむつのあて方	外部講師	職員9名
R1.7.11	感染症(食中毒)研修	管理栄養士	職員7名
R1.8.22	安全運転・安全衛生・防犯研修	施設長	職員8名
R1.9.19	認知症研修	副主任	職員8名
R1.10.3	おむつのあて方	外部講師	職員5名
R1.10.24	機能訓練・排泄機能の向上研修	看護師	職員5名
R1.11.21	介護記録の書き方・ケアマネジメント研修	副主任	職員6名
R2.1.9	コンプライアンス研修	施設長	職員9名
R2.1.23	事故防止研修(リスクマネジメント)・虐待防止	副主任	職員7名
R2.2.13	褥瘡・感染症対応研修	看護師	職員7名
R2.3.19	介護保険制度	副主任	職員7名
R2.3.19	働き方改革	施設長	職員15名
R2.3.24	事故防止研修(リスクマネジメント)・虐待防止	看護師	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H31.4.15	人事考課者研修	法人本部	登米市	職員2名
R1.5.16	防火管理者研修	登米市	登米市	職員1名
R1.5.16	東北ブロック老人福祉施設大会	県老施協	仙台市	職員1名
R1.5.17	東北ブロック老人福祉施設大会	県老施協	仙台市	職員1名
R1.5.23	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
R2.6.6	人材育成研修「理念で生き残る」	県老施協登米地区	登米市	職員3名
R2.6.13	人材育成研修「理念で生き残る」	県老施協登米地区	登米市	職員3名
R2.6.20	人材育成研修「リーダーの原理原則」	県老施協登米地区	登米市	職員3名
R2.6.27	人材育成研修「リーダーの原理原則」	県老施協登米地区	登米市	職員3名
R2.7.4	人材育成研修「新任職員フォローアップ」	県老施協登米地区	登米市	職員2名
R2.7.11	人材育成研修「新任職員フォローアップ」	県老施協登米地区	登米市	職員3名
R1.7.18	介護福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R1.7.19	介護福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R1.7.26	特養部会 課題検討研修会	県老施協	仙台市	職員1名
R1.7.29	実習指導者フォローアップ研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R1.7.30	介護講座(チームワークの大切さ)	宮城県	大崎市	職員1名
R1.8.2	介護講座(PDCA.無駄のないケア)	宮城県	大崎市	職員1名
R1.8.9	介護福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R1.8.9	介護講座(介護技術の基本)	宮城県	大崎市	職員1名
R1.8.21	認知症介護実践者研修	宮城県	大崎市	職員1名
R1.8.22	危険物取扱者講習	登米市	登米市	職員1名
R1.9.4	介護福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R1.9.6	東北ブロック老人福祉施設研修会	東北ブロック老施協	仙台市	職員3名
R1.10.8	認知症介護実践リーダー研修(4日間)	宮城県	大崎市	職員1名
R1.10.21	認知症介護実践リーダー研修(5日間)	宮城県	大崎市	職員1名
R1.10.28	認知症介護実践リーダー研修(1日間)	宮城県	大崎市	職員1名
R2.1.23	新カリ対応介護実習指導研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R2.1.29	特定給食施設集団指導	宮城県	登米市	職員1名
R2.2.17	令和元年度登米地域栄養士研修会	登米栄養士会	登米市	職員1名
R2.2.18	令和元年度恵泉会職員フォローアップ研修	法人本部	登米市	職員3名
R2.2.20	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会	登米市	登米市	職員1名
R2.3.3	令和元年度恵泉会職員フォローアップ研修	法人本部	登米市	職員2名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リーダー会議	グループケアを進めるうえでの業務改善点を話し合い、協議しながらグループ間の調整を図る	第1木曜日	グループリーダー
ケア会議	介護全般及び個別支援内容の統一を図る。	第2木曜日	施設長、栄養士、相談員 看護師、介護職員
職員会議	利用者の生活の質の向上に向け、業務全体が円滑に進むよう連絡、調整を図る	第3木曜日	全職員
給食会議	充実した食事提供のため、献立、調理に関する事項の検討及び改善を行う	第2金曜日	施設長、栄養士、調理員、相談員、看護師、介護職員、利用者

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随時	モニタリング・ケアカンファレンス(ケアプランの見直し等)	介護部	相談部、介護部、給食部、看護部
随時	サービス担当者会議(更新・変更・新規)	会議室	施設長、相談部、介護部、給食部、看護部、利用者、家族

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止の取り組み、検討	第3木曜日	施設長、各委員
感染症・褥瘡対策委員会	感染症予防や褥瘡予防の検討	奇数月第3木曜日	施設長、各委員
アクティビティケア検討委員会 (自立支援・重度化防止検討委員会)	地域交流や日中活動の内容検討 科学的根拠に基づいた理論と技術の実践	第1木曜日	施設長、各委員
業務改善委員会 (介護ロボット活用委員会)	職員の資質の向上やサービス内容の向上 業務の省力化、効率化を検討する	第2木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災に関する検討	随 時	施設長、各委員
入所検討委員会	第三者委員を交えて入所申込者の入所順番を決定する。	随 時	施設長、各委員
拠点連携委員会	併設通所介護事業所との連携事業の検討	随 時	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
9月9日	聖和学園短期大学1年生	視察研修	6名
11月12日	社会福祉協議会ボランティア	ハンドマッサージ&ネイル	5名
11月16日	聖和学園短期大学1年生	オレンジカフェボランティア	8名

(2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
4月11日	宮城県迫桜高等学校3年	介護実習Ⅱ	1名	15名
6月19日	登米総合産業高等学校3年生	介護実習Ⅱ	2名	32名
5月28日	登米総合産業高等学校2年生	介護実習Ⅱ	3名	36名
7月26日	宮城県迫桜高等学校3年	介護実習Ⅱ	1名	10名
9月3日	登米総合産業高等学校2年生	介護実習Ⅱ	3名	12名
11月6日	東北医科薬科大学医学部	介護・在宅医療体験学習	2名	2名

【今後の取り組み】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり

- ・利用者、家族の意見を取り入れた個別ケア提供により、その人らしく生活できるサービス体制を構築する。
- ・利用者、家族の同意のもとに、看取り介護を実施し、ご利用者の尊厳や人権、生活の質を最後まで保つ。
- ・定期的なモニタリングの実施で、課題分析されたケアプランに基づいたサービス提供の実施を継続する。
- ・定期的にマッサージ師・音楽療法士を招き、心身の活性化を図る。
- ・定期的な歯科医師の専門指導を受け、口腔ケアの徹底を図る。
- ・利用者の医療ニーズを各医療機関に適切につなげる。
- ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図る。
- ・ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図る。
- ・感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底。
- ・ご利用者及びご家族等からの苦情や提案に速やかに対応し、解決を図る。
- ・幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的に開催する。(みやぎ教育応援団登録)
- ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努める。
- ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員などと連携、地域ニーズを把握。
- ・RUI Cafe(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等を開催(集客方式)、また地域に出向いて開催。
- ・地域のケアマネジャーや地域包括支援センターなどと連携し、緊急ショートステイなど積極的に受け入れる。
- ・併設する翠風荘と連携して、生活リハビリの積極的な導入を図る。
- ・施設行事と地域貢献活動を同時に行えるよう、他事業所や他団体、学校などとの共同開催を図る。
- ・災害協定を結んでいる他施設(南風園・松風園)と連携し災害時対応を図る。地域と連携し協定を結べるよう努める。

2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
 - ・行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成を目指す。
 - ・定期的な健康診断・検診を実施する。
 - ・法人内の研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加する。
 - ・施設の内部研修(テーマ別研修)を毎月開催。時に他施設や地域住民も参加する拡大版で実施。
 - ・マニュアルを利用した業務習得状況の確認と、必要な指導を行うOJT体制を確立する。
 - ・禁煙や健康増進体操(モビバン利用)などに取り組み、労働災害防止にも繋げる。
 - ・「企画王」(利用者に関する事、業務に関する事、職員に関する事等様々な事を企画する取組)の実施。
 - ・昼の20分ミーティングを定期的で開催し、波長合わせを行う。

3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
 - ・節電、節水を常に意識し、光熱水費の削減を図る。
 - ・修繕できるものは修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がける。
 - ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省く。
 - ・業務の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を洗い出し効率化・最適化を図る。
 - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、近づく手順や方法を検討する。
 - ・介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図ると同時に、業務改善(効率化・最適化)を図る。

4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
 - ・専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討していく。
 - ・介護医療一体化構想を理解し、一層の連携強化を図ることができる。
 - ・地域貢献の新しい形(Small Local Hub小さな拠点)を模索し、その為に必要な連携や協力に取り組む。

5. 時代の要求に応じた各種の研究と質の高い職員の育成
 - ・各委員会活動の充実を図る。
 - ・認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習担当者養成研修等計画的に参加する。
 - ・各種・各機関の研修会に積極的に参加し専門的知識を身につけ、伝達を行うことができる。
 - ・指導監督職が次世代の育成を担う役割が遂行できる。(初任者研修講師や国試・ケアマネ試験対策講師)
 - ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図る。

2019年度 迫デイサービスセンター翠風荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市迫町北方字大洞45-3
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成3年4月1日
5. 利 用 定 員	40 名

翠風荘は、法人の基本理念を全職員が理解し、利用者本意のサービス提供に努める。「職員はご利用者の為に業務を行う」ことを互いに理解し、尊重し合い、全員で組織(法人・事業所)の理念やビジョンを共有し、戦略を理解し、自らの責任でどこにどの程度貢献できるか考え実践する。また、全員で良い「空気(職場環境)」を作り、「言える化(建設的対立)」を大切にして、必死のコミュニケーションに努め、組織力を最大限に発揮できるようにする。そして、その組織が常にダウン(1日目)の活力を保てるように、「捨てる」「止める」「入れ替える」という新陳代謝を考える。無駄を省き、常に効率化・最適化を指向し、業務にメスを入れ続ける「改善」を最も重要な現場の本来業務とし、介護サービスの品質の維持・向上を図る。働き方改革等の時代の変化に対応するために異なる意見やアイデアを建設的にぶつけ合い、挑戦(実践の理論化)し、成長し続ける個人や組織を目指す。また、社会福祉法人の原点である安定経営と奉仕の精神をもとに、高齢者ケアの基本理念である自立支援を個別援助計画に基づき実践する。そして地域包括ケア体制の中にきちんとしたポジションを確立できるように、他事業所や病院、学校などと連携し、地域共生社会の実現を目指す。その為に以下の五つの柱を基に実践する。

- ①地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
 - ②職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
 - ③安定した経営を目指した健全な財政運営
 - ④社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
 - ⑤時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成
- サービス提供時間は7時間以上8時間未満とする。

【 重 点 項 目 】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり

- ・利用者及び家族の意向や意見を尊重しケアプランを基に個別ニーズを把握しサービスの向上に繋げた。
- ・一人ひとりの活動を尊重しながらグループ毎の活動を充実し自立支援に繋げた。
- ・対人援助技術の向上を図り、あらゆる場面で心地よい接遇に努めた。
- ・季節感ある環境整備により、生活の活性化を図れた。
- ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図れた。
- ・ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図れた。
- ・感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底に努めた。
- ・十分ではないが幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的で開催し地域との交流を図れた。
- ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めた。
- ・利用者や家族のニーズを捉え、サービスの改善に積極的に取り組んだ。
- ・利用時の対話から思いを把握し個人々の連絡帳の活用を図り信頼関係を築いた。
- ・担当者会議において各事業者等と互いに情報の共有に努めた。
- ・十分ではないが認知症サポーター養成研修、認知症介護教室、介護予防教室等を開催したり、講師を派遣した。
- ・広報誌の発行(年4回)により施設の活動内容を発信し、理解を深めた。
- ・十分ではないが行事や地域貢献を他事業所や他団体、学校などと連携し、共同開催ができた。
- ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員と連携、コミュニティ・カフェで地域ニーズを把握することは十分ではなかった。

2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり

- ・十分ではないが行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成ができた。
- ・定期的な健康診断・検診を実施した。
- ・法人内研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加した。
- ・事業所内部研修(テーマ別研修)を実施したが、他施設や地域住民も参加する拡大版での実施は十分ではなかった。
- ・十分ではないが禁煙や健康増進体操(モビバン利用)などに取り組み、労働災害防止に繋げた。

3. 安定した経営を目指した健全な財政運営

- ・節電、節水を常に意識し、光熱水費の削減に努めた。
- ・修繕できる物は修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけた。
- ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省くよう努めた。
- ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、それに近づく手順や方法を検討した。
- ・業務の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を洗い出し、効率化・最適化を図れた。

4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革

- ・十分ではないが、専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討した。
- ・介護医療一体化を理解し、一層の連携強化を図れた。
- ・地域貢献の新しい形(伝統芸能の継承など)を模索し、その為に必要な提携や協力に取り組むことは十分ではなかった。

5. 時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成

- ・各委員会活動の充実を図れた。
- ・認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習指導担当者養成研修等計画的な参加については十分ではなかった。
- ・各種・各機関の研修会に参加し専門的知識を身につけ伝達を行うことができた。
- ・指導監督職職員が次世代の育成を担う役割が遂行(介護職員初任者研修講師や国家試験対策講師)できた。
- ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図れた。

【 利 用 状 況 】

- 年間延べ利用人員 12,268 名
- 年間稼働日数 362 日
- 年間稼働率 84.72 % (通所介護+総合事業)
(77.85) % (通所介護)
(6.87) % (総合事業)
- 年間平均介護度 2.45 (通所介護)
0.65 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	251	268	226	204	195	200	200	157	165	135	135	132	2,268
要介護2	354	368	349	372	399	381	394	415	412	377	365	378	4,564
要介護3	180	179	180	216	214	202	185	170	129	137	104	134	2,030
要介護4	127	158	158	169	178	176	153	132	149	153	170	158	1,881
要介護5	41	27	31	38	32	37	63	63	60	46	45	47	530
計	953	1,000	944	999	1,018	996	995	937	915	848	819	849	11,273
事業対象者	17	13	12	12	14	14	11	12	11	12	11	11	150
要支援1	22	22	27	26	31	27	27	30	30	23	22	25	312
要支援2	36	34	34	45	50	50	52	47	47	44	46	48	533
計	75	69	73	83	95	91	90	89	88	79	79	84	995
合計	1,028	1,069	1,017	1,082	1,113	1,087	1,085	1,026	1,003	927	898	933	12,268

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	8	1	2	5	3	5	1	2	0	0	1	0	28
契約終了者数	2	7	6	0	2	1	10	4	1	10	1	2	46
月末契約者数	124	118	114	119	120	124	115	113	112	102	102	100	-18

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.30	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 35名 職員 11名
R1.05.29	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 40名 職員 10名
R1.06.02	佐沼保育園交流会	佐沼保育園園児と歌を通して交流会を行う。	利用者 38名 職員 11名
R1.06.21	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 37名 職員 11名
R1.07.25	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 36名 職員 11名
R1.08.23	夏祭り	射的や水ヨーヨーなどのゲームを行い、盆踊りを踊り夏祭りの雰囲気を楽しんでいただく。	利用者 36名 職員 13名

R1.08.30	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 44名 職員 12名
R1.09.13 ～09.16	長寿を祝う会	利用者の長寿をご家族と一緒に祝い、アトラクションなどを楽しんでいただく。	利用者 145名 職員 44名
R1.09.21	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 35名 職員 10名
R1.10.21	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 38名 職員 11名
R1.11.12	北方小学校5年生との交流会	地元の北方小学校5年生の皆さんと交流を図り楽しいひと時を過ごしていただく。	利用者 29名 職員 11名
R1.11.13	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 36名 職員 10名
R1.12.17	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 33名 職員 11名
R1.12.23 ～12.25	クリスマス忘年会	職員と一緒に余興に参加したり職員の扮するサンタクロースからクリスマスプレゼントを貰い、クリスマスを満喫していただく。	利用者 104名 職員 33名
R2.01.08 ～01.11	新年会	ボランティアによる余興を見たりお屠蘇を振る舞い、新年を迎えたことをみんなで祝う。	利用者 138名 職員 42名
R2.01.30	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 28名 職員 11名
R2.02.03 ～02.05	節分会	年男・年女の利用者様を紹介し豆まきを行い、邪気や厄を払い一年間健康に過ごせるよう祈願する。	利用者 106名 職員 33名
R2.02.21	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 39名 職員 10名
		延べ参加者数	利用者 997名 職員 305名

(2) レクリエーション

実施日	項目	内容	参加者数
H31.4	DVD鑑賞 棒サッカーゲーム カラオケ 生活リハビリ リズム体操 映画鑑賞 BIG風船バレー	おしん等のDVDを大きな画面で観る。 新聞紙で作った棒を使いゴールを狙ってボールを取り合う。 好きな曲を選択し歌う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 綾小路きみまろの漫談を大きな画面で観る。 ネットを張り、2チームに分かれて大きな風船でバレーを行い点数を競う。	548名 13回
R1.5	棒サッカーゲーム DVD鑑賞 ボール送りゲーム リズム体操 BIG風船バレー カップリレー カラオケ 生活リハビリ	新聞紙で作った棒を使いゴールを狙ってボールを取り合う。 おしん等のDVDを大きな画面で観る。 カップを使用し、ボールや風船等をリレーで送りタイムを競う。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 ネットを張り、2チームに分かれて大きな風船でバレーを行い点数を競う。 カップを使用し、ボールや風船等をリレーで送りタイムを競う。 好きな曲を選択し歌う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。	592名 15回
R1.6	カラオケ リズム体操 生活リハビリ ビンゴゲーム BIG風船バレー 新聞紙玉入れ DVD鑑賞 どじょうすくいゲーム	好きな曲を選択し歌う。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 お題のものを考えゲームを行う。 ネットを張り、2チームに分かれて大きな風船でバレーを行い点数を競う。 新聞紙を一枚ずつ丸め、玉入れの要領でカゴに投げ入れ個数を競う。 おしん等のDVDを大きな画面で観る。 細く切った新聞紙をどじょうに見立て、すくった数を競う。	418名 11回

R1.7	映画鑑賞 七夕ゲーム リズム体操 カップリレー BIG風船バレー 生活リハビリ カラオケ DVD鑑賞 介護予防体操 モビバン ビンゴゲーム	8時だよ！全員集合を大きな画面で観る。 七夕にちなんで、星を釣るゲームで点数を競う。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 カップを使用し、ボールや風船等をリレーで送りタイムを競う。 ネットを張り、2チームに分かれて大きな風船でバレーを行い点数を競う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 好きな曲を選択し歌う。 おしん等のDVDを大きな画面で観る。 利用者がグループに分かれ、それぞれに合った体操を行う。 モビバンを使用して体操を行う。 お題のものを考えゲームを行う。	746名 21回
R1.8	DVD鑑賞 高校野球観戦 夏祭り モビバン 生活リハビリ リズム体操	おしん等のDVDを大きな画面で観る。 高校野球の試合をテレビ中継で応援する。 夏祭りの雰囲気の中、射的や千本釣り、ヨーヨー釣り等を行う。 モビバンを使用して体操を行う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。	529名 12回
R1.9	カップリレー カラオケ リズム体操 モビバン DVD鑑賞 ビンゴゲーム 生活リハビリ	カップを使用し、ボールや風船等をリレーで送りタイムを競う。 好きな曲を選択し歌う。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 モビバンを使用して体操を行う。 おしん等のDVDを大きな画面で観る。 お題のものを考えゲームを行う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。	497名 13回
R1.10	映画鑑賞 生活リハビリ ミニ運動会 DVD鑑賞 リズム体操 モビバン	日本昔ばなしを大きな画面で観る。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 玉入れやスリッパ飛ばし、ほっかぶりリレー、カップリレー競技を行う。 おしん等のDVDを大きな画面で観る。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 モビバンを使用して体操を行う。	456名 12回
R1.11	生活リハビリ 映画鑑賞 カラオケ モビバン リズム体操 DVD鑑賞	上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 ドリフの大爆笑を大きな画面で観る。 好きな曲を選択し歌う。 モビバンを使用して体操を行う。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 おしん等のDVDを大きな画面で観る。	453名 12回
R1.12	実習生レクリエーション 新聞紙玉入れ カップリレー DVD鑑賞 リズム体操 生活リハビリ 映画鑑賞 モビバン	登米総産高校実習生によるレクで玉入れと物当てゲームを行う。 新聞紙を一枚ずつ丸め、玉入れの要領でカゴに投げ入れ個数を競う。 カップを使用し、ボールや風船等をリレーで送りタイムを競う。 必殺仕置人のDVDを大きな画面で観る。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 日本昔ばなしを大きな画面で観る。 モビバンを使用して体操を行う。	381名 10回
R2.1	福笑い 映画鑑賞 モビバン リズム体操 生活リハビリ DVD鑑賞	目隠しをし、おかめやひよっとこ・動物等の表情を作る。 日本昔ばなしを大きな画面で観る。 モビバンを使用して体操を行う。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 おしん等のDVDを大きな画面で観る。	540名 16回
R2.2	節分ゲーム 生活リハビリ 映画鑑賞 カラオケ 折り紙 DVD鑑賞 リズム体操	穴を開けた手作りの鬼の人形めがけて、豆に見立てた新聞紙を投げ入れ、入った数を2チームで競う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 日本昔ばなしを大きな画面で観る。 好きな曲を選択し歌う。 折り紙を使って折った雛人形を、台紙に貼り飾り付ける。 おしん等のDVDを大きな画面で観る。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。	520名 14回

R2.3	脳トレプリント 映画鑑賞 カラオケ 生活リハビリ ひな祭りゲーム会 リズム体操 ビンゴゲーム	間違い探しやクロスワード等のプリントを職員と一緒に考えながら解く。 はだかの大将を大きな画面で観る。 好きな曲を選択し歌う。 上腕や下肢筋力の強化を図る為、リズムに合わせて体を動かす。 イラストを貼り付けたペットボトルでボーリングし、倒した数を競う。 曲に合わせて手足を動かし体操を行う。 お題のものを考えゲームを行う。	562名 19回
	実施回数	168回	延べ参加者数 6,242名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 40名
2. 年間稼働日数 362日
3. 年間稼働率 0.28%
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分6	3	2	3	4	4	4	3	4	4	4	4	1	40
合計	3	2	3	4	4	4	3	4	4	4	4	1	40

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R1.06.18 ～06.20	接遇研修	生活相談員兼介護福祉士	職員15名
R1.09.22 ～09.25	安全運転講習	介護福祉士	職員7名
R1.09.26 ～09.27	緊急時対応(救命救急)研修	管理者兼生活相談員	職員10名
R2.01.22 ～01.27	個人情報保護(プライバシー)・コンプライアンス研修	施設長	職員17名
R2.01.24	感染症対策研修	准看護師	職員7名
R2.02.20	リスクマネジメント研修	生活相談員兼介護福祉士	職員5名
R2.03.10	認知症ケア研修	管理者兼生活相談員	職員7名
R2.03.11	食中毒予防研修	管理栄養士	職員7名
R2.03.12	身体拘束廃止研修	介護福祉士兼生活相談員	職員7名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.05.23	登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	登米市	登米市	職員1名
R1.06.19	恵泉会新任職員研修	法人本部	登米市	職員1名
R1.08.09	介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R2.02.18	恵泉会フォローアップ研修	法人本部	登米市	職員1名
R2.03.03	恵泉会フォローアップ研修	法人本部	登米市	職員1名
R2.03.03	恵泉会フォローアップ研修	法人本部	登米市	職員1名

(3) 認知症カフェ

年月日	項目	内容	参加者数
R1.06.06	人材育成研修	「理念」で生き残る	職員4名
R1.06.13	人材育成研修	「理念」で生き残る	職員8名
R1.06.20	人材育成研修	リーダーの原理原則	職員6名
R1.06.27	人材育成研修	リーダーの原理原則	職員7名
R1.07.04	人材育成研修	新任職員フォローアップ	職員4名
R1.07.11	人材育成研修	新任職員フォローアップ	職員3名
R1.09.06	登米高校キャリア講話	将来の仕事に関する説明・アドバイス	職員35名
R1.10.24	出前カフェ	介護予防PPK・介護予防レクリエーション	職員30名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	利用者職員に関わる議題内容	月1回	生活相談員 1名
スタッフ会議	利用者利用状況等に関わる議題内容	月1回	施設長他 17名
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	生活相談員 1名
給食会議	給食に関する事項等	月1回	給食係、利用者各1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス検討委員会	利用者のサービス向上について	月1回	生活相談員他5名
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止について	月1回	生活相談員他5名
アクティビティケア検討委員会	地域交流、利用者ケアの充実について	月1回	生活相談員他5名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H31.04.30	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.05.29	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.06.06	ボランティアサークル アンサンブルフルール	ミニコンサート	3名
R1.06.21	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.07.10	宮城いきいき学園10期会	歌、踊り	23名
R1.07.23	リハビリ部会	モビバン見学	5名
R1.07.25	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.08.30	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.09.13	KI音楽企画	長寿を祝う会・アトラクション	4名
R1.09.14	笑笑グループ	長寿を祝う会・アトラクション	6名
R1.09.15	翔春会	長寿を祝う会・アトラクション	4名
R1.09.16	優友会	長寿を祝う会・アトラクション	7名
R1.09.21	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.10.21	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.11.13	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.11.16	鈴乃流	舞踊	10名
R1.11.20	宮城いきいき学園登米栗原校11期会	歌、カラオケ、手遊び、コカリナ、踊り	21名
R1.12.17	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R1.12.23	フレッシュ燦美	3B体操、歌	13名
R2.01.08	三日月舞踊一座	新年会・アトラクション	8名
R2.01.09	笑笑グループ	新年会・アトラクション	5名
R2.01.10	翔春会	新年会・アトラクション	4名
R2.01.11	優友会	新年会・アトラクション	8名
R2.01.30	藤原澄様	ミュージックケア	1名
R2.02.21	藤原澄様	ミュージックケア	1名
計			132名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R1.06.03 ～06.07	宮城県福祉人材センター	義務教育職員免許法の特例による「介護等の体験」	1名	5名
R1.07.12 ～08.07	登米総合産業高等学校	介護実習(通所介護)Ⅰ夏季	2名	14名
R1.09.06 ～12.12	登米総合産業高等学校	介護実習(通所介護)Ⅰ秋・冬季	2名	16名
R1.11.06	東北医科薬科大学	介護・在宅医療体験	2名	2名
R1.12.16 ～12.20	宮城県福祉人材センター	義務教育職員免許法の特例による「介護等の体験」	1名	5名
計			8名	42名

【今後の取り組み】

- 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
 - 利用者及び家族の意向や意見を尊重しケアプランを基に個別ニーズを把握しサービスの向上に繋げる。
 - 一人ひとりの活動を尊重しながらグループ毎の活動を充実し自立支援に繋げる。
 - 対人援助技術の向上を図り、あらゆる場面で心地よい接遇を心掛ける。
 - 季節感ある環境整備により、生活の活性化を図る。
 - 介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図る。
 - ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し予防策・対応策の立案と実行を図る。
 - 感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底。
 - 幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的に行い交流を図る(みやぎ教育応援団登録)。
 - 実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努める。
 - 利用者や家族のニーズを捉え、サービスの改善に積極的に取り組む。
 - 利用時の対話から思いを把握し個人々の連絡帳の活用を図り信頼関係を築く。
 - 担当者会議において各事業者等と互いに情報の共有に努める。
 - RUIカフェ(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等を開催(集客方式)したり、地域に出向いて出張カフェとして開催。
 - 広報誌の発行(年4回)により施設の活動内容を発信し、理解を深めていただく。
 - 行事や地域貢献を、他事業所や他団体、学校などと連携し、共同開催を図る。
 - 社会福祉法人としての利益還元として食事代無料化とし、利用者負担金の軽減を図る。
- 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
 - 行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員1人ひとりの行動目標の達成を目指す。
 - 定期的な健康診断・検診を実施。
 - 法人内の研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加する。
 - 事業所内部研修(テーマ別研修)を実施。時に他施設や地域住民も参加する拡大版で実施。
 - 禁煙や健康増進体操(モビバン利用)などに取り組み、労働災害防止にも繋げる。
- 安定した経営を目指した健全な財政運営
 - 節電・節水を常に意識し、光熱水費の削減を図る。
 - 修繕できる物は修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がける。
 - 5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省く。
 - ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、それに近づく手順や方法を検討する。
 - 介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図り、業務改革し、業務の効率化・最適化を図る。
- 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
 - 専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討していく。
 - 介護医療一体化を理解し、一層の連携強化を図ることができる。
 - 地域貢献の新しい形(Small Local Hub 小さな拠点)を模索し、その為に必要な提携や協力に取り組む。
- 時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成
 - 各委員会活動の充実を図る。
 - 認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習指導担当者養成研修等計画的に参加する。
 - 各種・各機関の研修会に参加し専門的知識を身につけ伝達を行うことができる。
 - 指導監督職が次世代の育成を担う役割が遂行できる(介護職員初任者研修講師や国試・ケアマネ試験対策講師)。
 - 安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図る。

2019年度 特別養護老人ホーム南風園 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市南方町高石6番地43
 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
 4) 開 設 年 月 日 平成6年5月1日
 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	54 名
短期入所生活介護	16 名
計	70 名

住み慣れた地域において、生活を継続していくためのサービス提供体制の中核拠点、地域づくりを目指して、自立支援、重度化防止といった観点から、よりサービスの質(自立支援、認知症介護、中重度ケア)を高め、利用者のみならず地域の拠り所、期待や信頼に添えていく。

南方地域の要支援・要介護者数は、2030年まで増加し、その後緩やかに減少していく(ピークアウト)。家族介護の限界、地域で支える仕組み、支援体制(地域包括ケア)の構築、地域共生社会の観点に立った包括的支援が急がれる。地域の課題解決や社会的要請に応え、また継続可能な事業運営(収入を増やす・利益率を上げる)に取り組みながら、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組んでいく。

【 重 点 項 目 】

1. 自立支援生活

「身体的」・「精神的」・「社会的」自立を達成し、改善または、維持するよう介護という方法によって支援する。生活の継続性を見ていくとき、健康状態に心身、活動、参加の状況がどのように関わっているか個別に把握し、心身共に自立した生活を送ることが可能となる活動や参加を主体とした取り組みを実施する。

- 1) 栄養マネジメントでは、栄養(1,400～1,500kcal/日)と水分(1,500ml)の摂取目標とする。
- 2) 運動は、定期的に機能訓練プログラム(認知機能・運動器機能)を充実し、生きがいサービス活動(生花・書道・音楽・創作・レク活動・外出等)の一環として実施する。機能向上や維持の効果測定にはADL評価にて実施する。
- 3) 個別ケアの充実のため、24hシートにて生活リズムを把握し、その人にあった介護(排泄、3日以内に1回の自然排便、排尿コントロール)に取り組む。また、入浴を週3回の実施。スキントラブルや希望者の方を中心に取り組む。
- 4) 生活に潤いと生きがい、楽しみを持つ取り組みについて、希望者によるグループ外出、買い物イベント(年2回:6月・10月)・ボランティアとのふれあい等、年間行事を実施していく。

2. 認知症介護

高齢者人口は高止まりながら、2040年までは続く予想。年代人口の分、認知症となる方も多数の割合を占め、家族での介護は限界、地域で支えることとなるため、認知症介護を充実させていく。

- 1) 認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施する。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指す。
- 2) 認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方に認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制(仮称:認知とも)の取り組みを検討していく。
- 3) 認知症の特性に応じた介護技術研修や認知症プログラムにより、特性に応じたケアや予防としての取り組みを検討していく。

3. 中重度ケア

特に中重度の利用者の生活リズムを整え、生活にメリハリを持つことは、心身の健康維持を保つことになる。基本的介護である食事、入浴、排泄の介助の他、更衣を促し、活動参加や環境衛生、栄養管理、口腔ケア、褥瘡予防に委員会を通じて取り組んでいく。

- 1) 興味・関心チェックシートを使用し、その人にとって意味のある作業・生活行為を見つけ個別ケアとして支援していく。
- 2) 生活のリズム、メリハリのある生活のため支援を実践していく。就寝着から日常着へ着替えやその方にあった服装選びなど、希望や思いに添った支援を行う。

3) 余暇支援の充実には生活に潤いを持たせること。季節行事、買い物イベント、目的に応じた外出、踊りや歌、生け花や書道など取り組む。またボランティアによる慰問や実習を積極的に受け入れし、賑わいと充実を図っていく。

4. 職員の資質・専門性の向上

- 1) 外部研修や伝達研修、内部研修の開催の充実を継続して取り組む。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論と実践の学びを深める。
- 2) 認知症ケア実践者研修、リーダー研修へ参加、修了により「認知症ケア加算」取得を進める。また、実施している褥瘡予防委員会の取り組みを加算へとつなげ、「褥瘡ケア加算」取得を進める。24hシートにより、排泄支援に取り組み「排泄ケア加算」取得を進める。
- 3) 基本理念、倫理綱領の理解と行動、サービス規定等、その他取り巻く規則規定の遵守の徹底を図り、職員間共通認識を高めよりよい職場環境にしていく。

5. 継続的な事業運営

- 1) 取り損ねている加算の取得(認知症ケア、褥瘡ケア)により、収入増を目指す。
- 2) 毎月事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに実践していく。
- 3) 短期目標の明確化と長期目標の共有を図り、新規事業の展開、経営効率を検討する。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 18,507 名
2. 年間稼働率 93.64 %
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.21
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	267	279	268	263	279	270	279	270	310	287	232	248	3,252
要介護4	629	646	663	674	653	643	705	711	671	703	655	722	8,075
要介護5	568	563	630	648	646	630	651	587	502	499	605	651	7,180
計	1,464	1,488	1,561	1,585	1,578	1,543	1,635	1,568	1,483	1,489	1,492	1,621	18,507

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	4	2	2	1	2	1	2	0	3	3	1	23
退所者数	2	2	2	2	1	2	1	0	3	2	2	0	19
月末入所者数	50	52	52	52	52	52	52	54	51	52	53	54	+ 4

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.21	春まつり	家族の方と一緒に余興を楽しみながら、絆を深めていただくと共に、花見気分を満喫していただく。	利用者 43名 職員 17名
R01.05.04 ~5	菖蒲湯	端午の節句にちなみ、昔からの風習に習い、湯船に菖蒲を浮かべ健康と無病息災を願う。	利用者 50名 職員 23名
R1.07.10	七夕交流会	七夕の季節を感じながら、保育所の子ども達との交流を楽しんでいただく。また、子ども達との関わりを通して気分転換を図り、有意義な時間を過ごしていただく。	利用者 28名 職員 6名
R1.07.31	夕涼み会	夕涼み会を開催し、入所者の方々に夏の涼を実感して頂く。また、「地域」との交流の場を提供する。	利用者 47名 職員 16名
R1.08.20	盆供養	住職を迎え読経・焼香を行い物故者の冥福を祈る。	利用者 23名 職員 7名
R1.09.08	長寿を祝う会	長年の労に感謝し、余興を楽しみながら家族と共に祝う。	利用者 48名 職員 14名
R1.10.08	あやめ園との交流会	地域障害者施設の方々を招待し、ゲーム等行い交流を深める。	利用者 28名 職員 6名

R1.12.23	クリスマス忘年会	余興やスライドショーを楽しみながら、クリスマスの雰囲気を味わい一年間の思い出を振り返る。	利用者 54名 職員 17名
R01.12.18 ～21	ゆず湯	昔からの風習に習い冬至の時期に湯船にゆずを浮かべて入浴し、風邪の予防を始めとする健康祈願、無病息災を祈願する。	利用者 73名 職員 37名
R02.01.10	新年会	新年の雰囲気を感じながら新年を祝い、一年の健康を願う。また、余興を楽しみ和やかな時間を過ごしていただく。	利用者 41名 職員 16名
R02.02.03	節分	健康と長寿を願い、豆をまき厄を払う。	利用者 57名 職員 11名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 4,448 名
2. 年間稼働率 75.96 %
(目標稼働率 88.00 %)
3. 年間平均介護度 3.31
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	30	28	18	21	30	21	18	13	8	8	11	24	230
要介護 2	128	93	72	91	82	91	81	92	69	63	80	88	1,030
要介護 3	83	123	105	128	120	110	128	86	97	82	77	78	1,217
要介護 4	69	70	74	65	81	65	53	55	79	77	82	98	868
要介護 5	79	73	79	88	106	97	108	88	75	67	67	64	991
その他	10	9	6	15	15	8	17	11	3	9	8	1	112
計	399	396	354	408	434	392	405	345	331	306	325	353	4,448

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
 - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.22	コンプライアンス研修	施設長	10名
H31.04.26	防災機器・ボイラーの取扱研修	介護福祉士	3名
R01.05.10	身体拘束廃止推進研修(新任職員)	介護福祉士	2名
R01.05.22	新任研修	主任准看護師	2名
R01.06.12	防災基本研修	生活相談員	7名
R01.06.21	食中毒予防研修	管理栄養士	7名
R01.07.03	新規採用者研修	主任事務員	3名
R01.07.03	新規採用者研修	副主任生活相談員	3名
R01.07.03	新規採用者研修	副主任看護師	3名
R01.07.03	新規採用者研修	管理栄養士	3名
R01.07.23	事故報告書の書き方研修	施設長	7名
R01.07.23	介護事故防止研修(前期)	介護福祉士	7名
R01.07.23	身体拘束廃止推進研修(前期)	介護福祉士	7名
R01.08.27	普通救命講習	登米市消防署西出張所	9名
R01.08.29	医療研修 緊急時の連絡調整	主任准看護師	6名
R01.09.26	身体拘束廃止推進研修(後期)	介護福祉士	9名
R01.09.26	褥瘡予防研修	副主任看護師	9名
R01.10.23	交通安全教室・防犯教室	宮城県佐沼警察署	14名
R01.10.29	認知症高齢者介護基本研修	看護師	5名
R01.12.18	プライバシー研修	主任生活相談員	11名
R01.12.18	感染予防研修	看護師	8名
R02.01.31	介護予防研修	作業療法士兼機能訓練指導員	15名
R02.03.11	介護事故防止研修(後期)	介護福祉士	6名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開催地	参 加 者
R01.07.01	令和元年度ロボット等介護機器導入セミナー	宮城県保健福祉部長寿社会政策課	仙台市	職員2名
R01.07.10	平成31年度安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米市	職員1名
07.18～R1.0	2019年度第1回会議福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R01.07.18	令和元年度ティーチング研修	宮城県社会福祉協議会・宮城県福祉人材センター	仙台市	職員1名
R01.07.29	介護福祉士養成施設実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R01.08.08	令和元年度指定介護サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
08.09～R1.0	2019年度第1回会議福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R01.09.04	令和元年度第1回ワークショップ フットリートメント講座	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R01.09.20	令和元年度介護技術ステップアップ講習会	宮城県社会福祉協議会・宮城県福祉人材センター	仙台市	職員1名
R01.09.30	認知症介護セミナー	認知症介護研究・研修仙台センター	仙台市	職員1名
R01.10.09	外国人介護人材活用に関するセミナー	宮城県	石巻市	職員1名
R01.10.31	宮城県看護協会登米支部看護管理者ネットワーク会議	宮城県看護協会	登米市	職員1名
R01.12.04	地域包括ケア関係者研修会	登米地区地域医療対策委員会	登米市	職員1名
R01.12.13	令和元年度高齢者虐待防止研修会	宮城県東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R01.12.24	令和元年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	仙台市	職員1名
01.15～R2.0	平成31年度宮城県認知症介護実践者研修会	宮城県	大崎市	職員1名
R02.01.11	認知症カフェセミナー	認知症介護研究・研修仙台センター	仙台市	職員1名
R02.01.21	令和元年度宮城県高齢者権利擁護推進研修看護職員研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	仙台市	職員1名
R02.01.29	令和元年度特定給食施設等集団指	宮城県登米保健所	登米市	職員1名
R02.02.06	令和元年度新型インフルエンザ等研修会	登米地区地域医療対策委員会・宮城県登米保健所	登米市	職員1名
R02.02.13	働き方改革関連法説明会	仙台労働基準監督署・栗原法人会・登米法人会	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
サービス担当者会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
栄養ケアマネジメント会議	利用者栄養状態の把握等をマネジメント及び検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
苦情処理リスクマネジメント委員会	家族・利用者の苦情・に対しリスクを考慮しながら予防と防止対策を図る。	毎月第1木曜日	施設長・相談員・看護師・介護職員
サービス向上委員会	利用者サービスの質の向上を検討企画し、サービス評価事業に取り組む。	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
研修委員会	職員の資質の向上を図れるよう、施設内研修の実施の企画調整を行う。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束0をめざし誘発原因の除去や環境の整備を行う。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
予防衛生対策委員会	各種感染症の予防・対策の検討を行い、まん延の防止に努める。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡が発生しないよう体制の整備及び、研修等を行う。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備する。	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R01.04.04	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.04.11	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.04.18	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.04.21	いきいき学園 絆10期会	春まつりでのアトラクション	10名
R01.05.09	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.05.16	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.05.23	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.06.06	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.06.13	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名

R01.06.20	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.07.04	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.07.11	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.07.18	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.07.31	とめ歌謡会	夕涼み会でのアトラクション	5名
R01.08.01	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.08.08	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.08.15	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.09.05	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.09.14	メガネの相澤	メガネの洗浄とフレームの調整	1名
R01.09.19	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.10.03	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.10.10	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.10.11	茶道裏千家みなみかた	抹茶と饅頭を利用者に振る舞っていただく	6名
R01.10.17	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.11.14	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.11.21	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.12.12	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R01.12.19	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R02.01.16	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R02.01.23	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
R02.02.20	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名

【今後の取り組み】

1. 1) 自立支援介護

施設生活においても「身体的」「精神的」「社会的」自立を目指し、自己決定、自己選択、生活機能の維持の視点で生活支援する。生活の継続性を見ていくとき、健康状態に心身、活動、参加の状況がどの様に関わっているか個別に把握し、心身共に自立した生活を送ることが可能となる活動や参加を主体とした取り組みを実施する。

①栄養マネジメントでは、栄養(1,500kcal/日)と水分(1,500ml)を摂取目標とし、心身の状態、摂取状況の確認により状態に合わせた食形態や食事提供全般にわたる工夫や試みを担当者会議、給食会議等によりチームケア(看護師・介護福祉士・生活相談員・栄養士)によってすすめていく。

②心身機能維持の取り組みは、体を使った活動と生きがいサービス活動により展開していく。定期的に機能訓練プログラム(認知機能・運動器機能)を実施する。また、生きがいサービス活動(生花・書道・音楽・創作・レク活動・外出等)の取り組みを実施する。機能向上や維持の効果測定にはADL評価(パーセルインデックス)にて実施、介護ロボットで得られたデータを活用し、個別ケアへの取り組みをすすめる。

③個別ケアの充実のため、24hシートにて生活リズムを把握し、その人にあった介護(特に排泄、3日以内に1回の自然排便、排尿コントロール)に取り組む。また、週3回の入浴を実施。スキントラブルや希望者の方を中心に取り組みをすすめる。

2) 認知症介護

①認知症の理解と症状に合わせた介護技術の習得、不安や焦燥への心理的サポート、環境への配慮を行い、個別ケアの取り組みをすすめる。また、認知症実践者研修、認知症実践者リーダー研修を積極的に受講し、認知症ケア実践の体制作りをすすめる。

②認知症の特性に応じた介護技術研修や認知症予防プログラムにより、特性に応じたケアや予防としての取り組みを実践する。

3) 中重度ケア

利用者の生活リズムを整え、生活にメリハリを持つことは、心身の健康維持を保つことになる。基本的介護である食事、入浴、排泄の介助の他、更衣や整容、活動参加や環境衛生、栄養管理、口腔ケア、褥瘡予防について委員会を通じて取り組んでいく。

- ①生活のリズム、メリハリのある生活のため支援を実践していく。就寝着から日常着へ着替えや起床している時間の確保、活動への参加など生活に刺激を持ち、希望や思いに添った支援を行う。
- ②心身機能維持は、栄養確保を切り口として食形態を考慮し、摂取できるよう工夫する。食前には口腔体操、食後の歯磨きやうがい等により口腔内の衛生に配慮、健康維持の取り組みをすすめる。
- ③褥瘡予防マネジメントは、褥瘡対策に関するケア計画に基づき、予防としての取り組みを介護職、医療職が一体となり取り組みをすすめる。
- ④余暇支援の充実には生活に潤いを持たせること。季節行事、買い物イベント、目的に応じた外出、踊りや歌、生け花や書道など取り組む。またボランティアによる慰問や実習を積極的に受入し、賑わいと充実を図っていく。

2. 職員の資質・専門性の向上の取り組み

- 1) 外部研修や伝達研修の充実を継続して取り組む。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論と実践の学びを深める。
- 2) 認知症ケア実践者研修、リーダー研修参加、修了により「認知症ケア加算」取得をめざし体制作りをすすめる。
- 3) 基本理念、倫理綱領の理解と行動、サービス規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境にしていく。
- 4) 人材育成については、法人内の実施している研修への講師派遣(介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修)
- 5) 介護福祉士実習指導者講習会へ参加、実習指導の体制作りをすすめる。また登米総合産業高校福祉科介護実習、職場体験実習の受入、実習生の介護福祉に関する専門知識技術の習得と介護福祉士資格取得に向けた支援をすすめる。

3. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

- 1) 介護ロボット導入により介護職員の業務負担軽減をすすめる。
- 2) サービス向上委員会において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でサービスの質について検討をすすめる。
- 3) ストレスマネジメント(職場ストレス評価)を実践し、セルフケア、ラインケアにより、感情のコントロールを意識、組織として関わり合いが出来る組織、職場環境に取り組む。

4. 地域貢献・地域連携の取り組み

- 1) 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指す。認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方に認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制づくりに取り組む。
- 2) 地域災害相互協定(覚書)について
 - ①登米市(災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書)
 - ②宮城県老人福祉施設協議会(災害派遣介護チームの派遣に関する協定・登米気仙沼地区災害災害時相互支援協定)
 - ③恵泉会(施設間原子力災害時受入覚書・施設間土砂災害時受入覚書・非常時災害時施設間協定)
 - ④地区(高石地区)との災害時相互協定の取り交わしに向けた取り組みをすすめる。

5. 継続的な事業運営の取り組み

- 1) 取り損ねている加算の取得(認知症ケア)により、収入増を目指す。
- 2) 毎月事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに実践をしていく。
- 3) 中長期計画の作成。長期目標と短期目標を明確にし共有する。収入見通し、設備整備計画、新規事業の展開、経営効率を評価分析、検討する。

2019年度 南方デイサービスセンター南寿荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市南方町高石6-8 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成6年5月1日 |
| 5. 利 用 定 員 | 32名 |

恵泉会の基本理念である「人間の尊厳」、「人権の擁護・平等・主体性の尊重」、「生活の質の向上」、「地域福祉の向上」、「職員の資質・専門性の向上」を基本とし、住み慣れた地域において、生活を継続していくためのサービス提供体制の中核拠点、地域づくりを目指して、自立支援、重度化防止といった観点から、よりサービスの質(自立支援、認知症介護、中重度ケア)を高め、利用者のみならず地域の拠りどころ、期待や信頼に応えていく。

南方地域の要支援・要介護者数は、2030年まで増加し、その後緩やかに減少していく(ピークアウト)。地域で支えていく仕組み、支援体制(地域包括ケア)の構築、地域共生社会の観点に立った包括的支援が急がれる。地域の課題解決や社会的要請に応えるべく、職員の資質、専門性の向上、業務改善や工夫、地域貢献や地域連携、継続可能な事業運営に取り組みながら、サービス提供体制の基盤強化とこの地域の介護の受け皿、拠点づくりに向けて取り組んでいく。

【 重 点 項 目 】

1. 自立支援の取り組み
 - ・心身機能維持の取り組みとして、機能訓練プログラム(認知機能・運動器機能)を実施、機能向上や維持の効果測定にはADL評価(バーセルインデックス)にて、全利用者を実施し個別ケアへの取り組みをすすめる事が出来た。
 - ・運動器機能向上プログラム(転倒予防)を実施し、筋力低下の防止、身体機能維持、介護予防の取り組みをすすめた。
 - ・個別機能訓練Ⅱを実施。IADL(料理・洗濯・掃除・買物等)の自立、自ら望む生活を目標し設定計画介入により心身の機能維持向上に向けた取り組みを行った。
2. 認知症介護の取り組み
 - ・認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指し、認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施した。
 - ・認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方に認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制(仮称:認知とも)が組める、取り組みを行った。
 - ・認知症の特性に応じた介護技術研修や認知症予防プログラムによる、特性に応じたケアや予防としての取り組みについては、今後さらなる研鑽を積み構築すべき課題である。
3. 中重度ケアの取り組み
 - ・生活のリズム、メリハリのある生活のため支援を実践する事が出来た。
 - ・余暇支援の充実は生活に潤いを持たせること。季節行事、月行事、買物等目的に応じた外出、またボランティアによる歌や踊りの慰問や学生実習の積極的受入れ、刺激と充実を図っていく事が出来た。
4. 職員の資質・専門性の向上の取り組み
 - ・施設内、外研修に参加することで職員の資質の向上を図ることが出来た。
 - ・職員フォローアップ研修等に参加し職員の意識の向上や次世代の育成に繋げることが出来た。
5. 継続的な事業運営の取り組み
 - ・目標稼働率の達成及び、各種加算の取得(中重度ケア体制加算、個別機能訓練加算Ⅱ、運動器機能向上加算等)により、増収とする事が出来た。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,501 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 90.90 % (通所介護+総合事業)
(81.21) % (通所介護)
(9.69) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.12 (通所介護)
0.67 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	168	184	153	181	221	240	280	269	252	247	284	291	2,770
要介護2	227	228	189	213	184	175	163	171	182	212	232	233	2,409
要介護3	136	131	144	134	130	113	133	144	123	119	112	120	1,539
要介護4	55	61	58	45	34	48	52	46	39	21	16	26	501
要介護5	38	39	37	38	30	32	37	32	21	29	33	10	376
計	624	643	581	611	599	608	665	662	617	628	677	680	7,595
事業対象者	15	14	12	13	13	8	9	8	7	8	11	13	131
要支援1	22	27	20	23	22	22	28	25	29	18	21	13	270
要支援2	38	44	45	52	50	45	42	38	30	34	39	48	505
計	75	85	77	88	85	75	79	71	66	60	71	74	906
合計	699	728	658	699	684	683	744	733	683	688	748	754	8,501

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	0	2	5	0	7	3	3	3	2	3	4	36
契約終了者数	1	1	1	0	1	6	3	2	13	2	3	0	33
月末契約者数	78	76	78	80	76	80	78	79	81	76	76	77	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R1.01.11~13	長寿を祝う会	社会に貢献された利用者の方々に感謝と敬意を表し、長寿をお祝いする。	利用者 78名 職員 26名
R1.12.23~25	クリスマス会	職員と一緒に余興に参加して頂き、身体を動かされたり楽しい雰囲気味わおうと共に今年一年を振り返る機会に繋げる。	利用者 80名 職員 27名
R2.01.09~11	新年会	新年のお祝いをすると共に、ボランティアによる余興で楽しい時間や地域の方々と交流する事で、張りの有る生活に繋ぐ。	利用者 92名 職員 27名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.22	倫理及び法令遵守について	施設長	職員2名
R1.06.12	防災基本研修	生活相談員兼介護支援専門員	職員3名
R1.06.21	食中毒予防研修	管理栄養士	職員2名
R1.07.03	新任職員研修	総務部	職員1名
R1.07.03	新任職員研修	相談部	職員1名
R1.07.03	新任職員研修	看護部	職員1名
R1.07.03	新任職員研修	給食部	職員1名
R1.07.23	適切な事故報告書の記入について	施設長	職員1名
R1.07.23	介護事故防止研修	介護福祉士	職員1名
R1.07.23	身体拘束廃止推進研修	介護福祉士	職員1名

R1.08.27	普通救命講習	登米市消防署西出張所	職員2名
R1.08.29	医療研修 緊急時の連絡調整	主任准看護師兼機能訓練指導員	職員2名
R1.09.26	褥瘡予防研修	看護師	職員2名
R1.09.26	身体拘束廃止推進研修	介護福祉士	職員2名
R1.10.23	「交通安全教室」「防犯指導教室」	登米市佐沼警察署	職員6名
R1.12.18	プライバシー研修	主任生活相談員兼介護支援専門員	職員1名
R1.12.18	感染症予防研修	看護師	職員1名
R2.01.31	ポジショニングについて	作業療法士	職員2名
実 施 回 数		18 回	延べ参加者数
			職員32名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R1.0718	令和元年度ティーチング研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.09.25	令和元年度 介護技術ステップアップ講習会	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R1.12.13	令和元年度高齢者虐待防止研修会	東部保健福祉事務所	石巻市	職員1名
R2.01.11	認知症カフェセミナー2020	認知症介護研究・研修センター	仙台市	職員1名
R2.01.15.16.17.20.21	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県社会福祉協議会	大崎市	職員1名
R2.02.19	プレゼン力アップセミナー	東部保健福祉事務所	登米市	職員1名
実 施 回 数		6回	延べ参加者数	職員6名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
デイ職員会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3火曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	毎月第2金曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備する。	毎月第1金曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
苦情処理・リスクマネジメント委員会	家族及び利用者の苦情に対応し、リスク(介護事故等)を考慮して対策を行う。	毎月第3金曜日	施設長、看護師、生活相談員、介護員
サービス向上委員会	サービス提供のための過程や結果を検討し、サービスの質の向上に努める。	毎月第3金曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
身体拘束廃止委員会	利用者の自由と人権、尊厳を守るため、身体拘束ゼロの実現をめざす。	毎月第4木曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
研修委員会	介護等における基礎知識の習得、及び専門的知識、技術の向上を図る。	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
予防衛生対策委員会	感染予防や食中毒の予防、研修などを行い、リスクに備えた環境作りを行う。	毎月第4木曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員

【施設機能の開放】

1. 地域貢献事業・ボランティア・視察・見学・実習

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
毎週 月木曜日	ボランティア南方	利用者の整髪手伝い、布団敷き、その他	148名
R1.04.25	東郷小学校	交流会と児童の発表	29名
R1.07.17	南方保育所	交流会と園児遊戯発表	15名
R1.09.11	日本民謡寛謡会	長寿を祝う会(舞踊、民謡)	10名
R1.09.12	ボランティア南方レクリエーション部会	長寿を祝う会(舞踊、歌)	4名
R1.09.13	及川カラオケ愛好会	長寿を祝う会(カラオケ)	5名
R1.09.18	いきいき学園14期生	ミュージックケア、コカリナ演奏、踊り	19名
R1.12.03	東郷幼稚園	交流会と園児遊戯発表	24名
R2.01.09	優友会	新年会(舞踊、フラダンス)	7名
R2.01.10	三日月舞踊一座	新年会(舞踊、歌)	7名
R2.01.11	ボランティア南方レクリエーション部会	新年会(舞踊、歌)	6名
計			264名

【今後の取り組み】

1. サービスの質の向上の取り組み

- 1) 自立支援介護、健康状態に心身、活動、参加の状況がどの様に関わっているか把握し、心身共に自立した生活を送ることが可能となる活動や参加を主体とした取り組みをすすめる。
- 2) 認知症介護、認知症の理解と周辺症状に合わせた介護技術の習得、不安や焦燥への心理的サポート環境への配慮を行い、個別ケアの取り組みをすすめる。また、認知症実践者研修、認知症実践者リーダー研修に積極的に受講し、認知症ケア実践の体制作りをすすめる。
- 3) 中重度ケア、中重度の利用者の生活リズムを整え、生活にメリハリを持つことは、心身の健康維持を保つことになり基本的介護である食事、入浴、排泄の介助の他、更衣や整容、活動参加や環境衛生、栄養管理、口腔ケア、褥瘡予防に委員会を通じて取り組みをすすめる。

2. 職員の資質・専門性の向上の取り組み

- 1) 外部研修や伝達研修、内部研修の開催の充実を継続して取り組む。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論と実践の学びを深める。
- 2) 認知症ケア実践者研修、リーダー研修へ参加し、知識と技術を身に付ける。
- 3) 基本理念、倫理綱領の理解と行動、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間の共通認識を高め、よりよい職場環境にしていく。
- 4) 人材育成については、法人内の実施している研修への講師派遣(介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護実務者講習、介護初任者研修)の要請に対応する。
- 5) 介護福祉士実習指導者講習会へ参加、職場体験実習の受け入れ、実習生の介護福祉に関する専門知識、技術の習得と介護福祉士資格取得に向けた支援体制をすすめる。

3. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

- 1) サービス向上委員会において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でサービスの質について検討をすすめる。
- 2) ストレスマネジメント(職場ストレス評価)を実践し、セルフケア、ラインケアにより、感情のコントロールを意識、組織として関わり合いが出来る組織、職場環境に取り組む。

4. 地域貢献・地域連携の取り組み

地域貢献事業、地域交流としての認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信する。認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方に認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制作りをすすめる。

5. 継続的な事業運営の取り組み

- 1) 取り損ねている加算の取得(ADL維持等加算)により、収入増を目指す。
- 2) 毎月事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに実践をしていく。
- 3) 中長期計画の作成。長期目標と短期目標を明確にし共有する。収入見通し、設備整備計画、新規事業の展開、経営効率の評価分析、検討する。

2019年度 地域密着型特別養護老人ホーム東和 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成21年4月1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
地域密着型介護老人福祉施設	20 名
短期入所生活介護	空床
計	20 名

利用者様が家庭での生活の延長線として過ごしていただけるよう、馴染みの品を持ち込んでいただき、24時間シートを活用し統一した介護を実践しました。好きなメニューを選んで召し上がっていただく出前昼食会や、季節を感じて頂けるよう焼き芋会などの行事を行ってきました。また、地域の方々やご家族様を招いての行事(桜まつり、敬老会)を展開してきました。地域貢献事業等を通して、交流、情報発信の拠点施設として地域に必要とされる施設運営を目指しました。

【 重 点 項 目 】

1. ユニットケア施設の機能を生かし、利用者が家庭的な雰囲気の中でその人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう、昨年度に引き続きアットホームなケアの充実に努めます。

家庭から個室の施設に入居されることへの不安を軽減するために馴染みの物の持ち込みや好きな歌謡曲などの音楽鑑賞や新聞購読など利用者様一人一人に寄り添う支援を心掛けてきた。又、利用者様個々の身体状況や生活習慣に合わせて24時間シートの作成と見直しを行い、統一したケアの充実に努めてきた。今後も利用者様の状態の変化にきちんと対応しながら、安全・安心な生活が継続できるよう支援していきたい。

2. 利用者の健康状態や嗜好に応じた食事の提供に努めると共に、栄養ケアマネジメントを通して、低栄養者の予防・改善に努めます。

利用者様の健康状態の把握や嗜好調査を行い、よりよい食事の提供を行ってきた。また、栄養士と看護師、担当職員との連携を密に図り、食形態の変更や補食の検討を行い、食事の喜びを感じて頂けると共に、低栄養の予防、改善を図ってきた。

3. 利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に行動して、早期解決と再発防止に努めます。

今年度も苦情はなかったが、大きな事故が1件発生した。事故については発生した際は、リスクマネジメント委員会を通して、分析とモニタリングを継続してきたと共にユニット会議で改善策について話し合い職員の意識の統一とケアの継続に努めてきた。また、ご家族に対しての連絡を怠らず、信頼の維持に努めてきた。今後もヒヤリハットの積極的な提出を働きかけていきたい。

4. 協力医療機関と連携を図りながら、利用者の病状悪化防止、感染症や褥瘡発生の予防に努めます。

近隣に協力医療機関がある利点を活かし、協力医療機関との密な連携を図りながら、利用者様の病状悪化防止、感染症の発生及び褥瘡予防に努めてきた。上半期は退所者0名であり、褥瘡も当該施設での発生はなく、状態低下による入院での褥瘡発生があった。下半期は退所者が出たが昨年度よりも稼働率は良い状態であった。感染症については、感染対策委員会が中心となりインフルエンザ及び新型コロナウイルスの予防を徹底し発生していない。

5. 職員がモチベーションを保ち、楽しく働ける職場環境の整備に努めます。また、人材確保と育成の為、施設内外の研修に積極的に参加し、職員各自のスキルアップを図ります。

業務改善や年間5日間の計画年休の取得など、職員がモチベーションを保てるよう対策を行ってきたが、利用者様の重度化と一人夜勤体制などの理由により、職員の負担の軽減は困難であった。研修については、計画的に内部研修と講習会を開催しスキルアップに努めたが、外部研修は職員の人材不足から、数回のみでの参加であった。

6. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。

地域貢献事業としては、長年の地域行事への参加と地域の小学校、こども園の交流を行ってきた。また、地域の一員として地域の除草作業や防災訓練の場の提供等を行ってきた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,941 名
2. 年間稼働率 94.82 %
(目標稼働率 94.00 %)
3. 年間平均介護度 3.91
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
要介護3	237	248	235	248	246	240	235	210	217	217	174	230	2,737
要介護4	74	93	90	93	93	90	66	51	62	87	78	83	960
要介護5	239	248	240	248	248	239	248	257	216	225	223	247	2,878
計	580	620	595	620	618	599	580	548	526	560	504	591	6,941

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	4
退所者数	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
月末入所者数	20	20	20	20	20	20	19	20	18	20	20	20	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

○合同行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.21	桜まつり	家族と共に季節を感じながら、アトラクションの方々による舞踊を鑑賞し季節を感じていただく。	利用者 20名
			家族 12名
			職員 10名
R1.05.03 ~04	花菖蒲湯	湯船に菖蒲を浮かべ皆様に入浴を楽しんでいただく。	利用者 15名
			職員 7名
R1.08.25	夕涼み会	魚釣りゲームやスイカ割りを行ったり、かき氷を提供する。夕食後花火を行い楽しく過ごしていただく。	利用者 19名
			職員 7名
R1.09.15	長寿を祝う会	家族と共に利用者の長寿を祝い、喜びを感じて頂く。	利用者 19名
			家族 18名
			職員 12名
H30.12.16 ~17	ゆず湯	季節の風物詩としてゆず湯につかっていただく。	利用者 17名
			職員 3名
R2.02.03	節分豆まき	職員扮する鬼に向かって豆まきを行い福を呼び込む。	利用者 17名
			職員 3名

○ユニット行事(1丁目)

実施日	行事名	内 容	参加者数
R1.05.22	新緑ドライブ	「林林館」まで田植え後の田んぼを見たり、新緑を楽しみながらドライブを行う。	利用者 2名
			職員 2名
R1.06.10	出前昼食	好きなメニューを注文して頂き会食する。	利用者 8名
			職員 2名
R1.06.18	お食事外出	「かつぱ寿司」に出かけ、好きな寿司を楽しんで頂く。	利用者 1名
			職員 1名
R1.07.03	出前昼食	好きなメニューを注文して頂き会食する。	利用者 7名
			職員 2名
R1.07.07	七夕会	短冊に願い事を書き、事前に作成した七夕飾りと一緒に笹竹に飾って記念撮影を行う。	利用者 9名
			職員 3名
R1.09.13	お月見会	夕食後中央テラスにて名月を拝み季節を感じていただく。	利用者 7名
			職員 2名
R1.10.27	園芸	春に咲く花の球根をプランターに植える。	利用者 6名
			職員 3名

R1.10.06	焼き芋会	2丁目と合同で炭火でさつまいもとジャガイモを焼き、秋の味覚を楽しんで頂く。	利用者	8名
			職員	3名
R1.11.14	出前昼食	好きなメニューを注文して頂き会食する。	利用者	8名
			職員	2名
R1.12.22	クリスマス会	プリンをトッピングしクリスマスの音楽を聴きながら、会食する。	利用者	10名
			職員	3名
R2.01.19	新年会	2丁目と合同で獅子舞や福笑いを楽しみ茶話会を行う。	利用者	7名
			職員	2名
R2.02.03	節分	豆まきを行い福を呼び込む。	利用者	9名
			職員	3名
R2.02.09	バレンタインクッキング	チョコバナナを作り、会食する。	利用者	9名
			職員	2名

○ユニット行事(2丁目)

実施日	行事名	内 容	参加者数	
H31.04.25	お花見外出	満開の桜を眺めながら、春の季節感を感じて頂く。	利用者	4名
			職員	2名
R1.05.11	チューリップまつり 見学	毎年楽しみにしている米山のチューリップまつりを楽しんで頂く。	利用者	3名
			職員	3名
R1.07.01	買い物外出	利用者様からの要望あり、近所のセブンイレブンまで出掛ける。	利用者	8名
			職員	3名
R1.07.06	出前昼食会	出前にてそれぞれ好みのメニューを選んで頂き、給食とは違う食事を楽しんで頂く。	利用者	6名
			職員	2名
R1.08.03	蓮の花見学	お盆の月であり、蓮の花を眺めながら気分転換を図る。	利用者	2名
			職員	2名
R1.08.10	出前昼食会	夏バテしないようにうなぎが食べたいとの要望受け実施する。	利用者	1名
			職員	1名
R1.11.18	紅葉ドライブ	車窓からではあるが、色付いた景色を楽しんで頂く。	利用者	2名
			職員	2名
R1.12.22	出前おやつ会	各々好きなパフェを選び、皆さんで会食する。	利用者	7名
			職員	3名
R2.02.03	節分豆まき	鬼に扮した職員がユニットそれぞれを回り、豆まきを楽しんで頂く。	利用者	10名
			職員	2名
R2.02.14	出前昼食会	利用者様の誕生日会を兼ね、皆さんで食事会を楽しむ。	利用者	6名
			職員	4名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 18 名
2. 年間平均介護度 1.89
3. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	0	9
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	0	2	18

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.4.5	施設設備研修	職員	職員3名
H31.4.11	新任職員研修	施設長	職員1名
R1.05.14~05.23	介護事故防止研修※夜間緊急時対応について	職員	職員21名
R1.06.18	食中毒予防研修	職員	職員8名
R1.06.19	車両運転操作研修	職員	職員2名
R1.07.18	脱水症予防研修	外部講師	職員9名
R1.07.23	防犯教室	登米警察署	職員6名
R1.8.23~09.27	普通救命講習	登米市消防署	職員12名
R1.08.24	介護予防研修(デイ職員対象)	職員	職員4名
R1.10.08	身体拘束廃止及び虐待防止研修	職員	職員6名
R1.10.29	感染予防研修・褥瘡予防研修	職員	職員8名
R1.11.19	認知症基本研修	職員	職員6名
R1.11.26	感染予防研修	職員	職員5名
R1.12.12	介護事故防止研修※夜間緊急時対応について	職員	職員3名
R1.12.23	医療研修	職員	職員7名
R2.01.17	身体拘束廃止及び虐待防止研修(第2回目)	職員	職員6名
R2.01.21~01.22	法令遵守研修	施設長	職員16名
R2.02.14	プライバシー研修	職員	職員6名
(1-2)ミニ講習会 R1.06.10	接遇について	職員	職員2名
R1.07.05~08.11	ユニットケアについて	職員	職員7名
R1.12.19	オムツのあて方・移乗・体位交換について	職員	職員2名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.06.26	安全運転管理者講習	県安全運転管理者会	中田農村環境改善センター	職員1名
R1.06.26	第1回東和地区地域ネットワーク会議意見交換会	東和地域包括支援センター	登米市東和支所	職員1名
R1.09.05	軽減税率制度説明会	登米市	登米市東和支所	職員1名
R1.12.5~6	甲種防火管理新規講習	登米市消防署	登米市消防防災センター	職員1名
R2.02.06	介護事業者向け業務改善のシンポジウム	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
R2.02.06	新型インフルエンザ等対策研修会	登米地区地域医療対策委員会	ホテルニューグランヴィア	職員1名
R2.02.20	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会	登米市	登米市消防防災センター	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	行事、業務改善、施設運営管理等の企画・調整。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	受託業者と給食内容、栄養管理について検討。	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・相談員・介護職員
運営推進会議	サービス内容の評価・改善、利用者の生活状況報告。	2か月に1回	施設長・相談員・運営推進委員
ユニット会議	ユニット行事や入居者のケアについて検討。	毎月第2火・木曜日	ユニットリーダー・介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
入所判定会議	実態調査の結果を基に、総合的に入居の可否を判定。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開 催 日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員・看護師
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員
入所検討委員会	新規入所申込者の入所順位を決定する。	3か月に1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
H31.04.21	翔乃流 秀扇会	踊りを披露していただく	8名
R1.09.15	金谷ボランティア	踊りを披露していただく	7名

【今後の取り組み】

1. 定期的に見直しを行っている24時間シートをきちんと活用し、利用者様の自分で出来ることは、自分で行っていただき、自立支援を目指す。そうすることにより自分で出来る喜びを感じて頂き、生活リハビリの充実を図る。
2. 外部研修の機会を増やし、しっかりと持ち帰ることにより出来る限り多くの職員の知識習得に努める。また職員一人ひとりが介護のプロとしての自覚を持ち、各々のスキルアップを目指していく。
3. 地域の特性を活かし、社会福祉法人の運営する施設として事業所を開放し、認知症サポーター養成講座の開催などを通じ、地域における社会資源としての機能と地域づくりの拠点としての機能を構築し、地域に貢献できる開かれた施設になるよう働きかけていく。

2019年度 東和高齢者福祉施設デイサービス 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成14年10月15日 |
| 5. 利 用 定 員 | 32 名 |

地域に根ざした施設として在宅生活の継続支援に重点を置き取り組んでまいりました。病院に隣接する施設でもあり退院直後の利用者様を積極的に受け入れ機能の回復を支援すると共に、認知症高齢者の利用者様や、重度の利用者様も積極的に受け入れ、スポット利用等活用していただきながら、利用者様、家族様の気持ちに寄り添いながら、丁寧な対応と機能の維持に努めました。また、職員の知識、技術等資質の向上を図る為、認知症サポーター研修を地域包括支援センターに依頼し、利用者様の家族にも参加していただき、認知症に対する理解が深まり、関係も深まった様に思われます。安心して利用していただき、より身近に信頼される施設として稼働率も安定出来ました。地域包括ケア体制を支える施設として、地域の中での施設の役割を自覚し、信頼され利用していただけるよう自己研鑽に努め職員同士の共通理解、チームワークの強化に努め、安定した質の高い丁寧な支援を行い、地域貢献も検討、実行しながら地域の中でより身近で安心して利用しやすい施設となるよう取り組んできました。

【 重 点 項 目 】

1. 法人の基本理念、自立支援に基づき、利用者、家族が安心してご利用していただけるように、サービス内容の充実に努めます。
法人の基本理念に基づき、丁寧な対応を心掛け、利用者ご家族が安心してご利用していただけるように、スポット利用も柔軟に受け入れながらサービス内容の充実に努めました。
2. 利用者の安心安全な生活を支援する為、リスクの分析から改善策を的確に検討し、事故防止に努めます。
ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書を作成し、ミーティングや委員会で改善策を更に検討し職員に周知徹底を図り、事故の再発防止に努めてきました。
3. 在宅生活の継続を支えるサービスとして、認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、家族の介護負担軽減を支援します。
リクライニング車イスや特別浴槽等、施設機能を最大限に活かし、他の事業所では対応が困難となった認知症高齢者や重度要介護者、退院直後の利用者も積極的に受け入れ、在宅生活の継続を支えるサービスとして、身近で頼れるように取り組んできました。
4. 在宅での自立支援に向け、利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体機能の維持と認知症ケアの充実に努めます。
在宅での生活が継続出来るよう自立支援に向け、個々の機能維持に努めてきました。サービス担当者会議に出席し、ケアマネジャーのケアプランと利用者様の意向に沿った個別援助計画書の作成に努めてきました。
看護師による機能訓練を毎利用時に行い機能維持に努め、内部研修を通して認知症の利用者様に対する関わり方を職員に理解してもらい、良質なサービスに繋げてきました。
5. 人材確保と育成のため、施設内外の研修に積極的に参加し、職員各自の資質向上を目指します。
施設内の研修では、職員の知識技術の向上を行い、外部への研修にも参加し、自己研鑽を図りました。
6. 時間外労働の抑制や年次有給休暇の取得促進を図り、職員が健康で意欲を持って仕事に取り組める職場づくりに努めます。
年次有給休暇の取得促進を図るとともに、職員健康診断や腰痛検査等の実施により、異常の早期発見と健康維持に努め、働きやすい職場環境になるよう配慮してきました。
7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。
施設前の除草作業を定期的に取り組みました。また、地域行事に参加したり、認知症サポーター養成講座を施設を会場とし実施しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,538 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 86.07 % (通所介護+総合事業)
(77.01) % (通所介護)
(9.06) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.50 (通所介護)
0.79 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	103	108	107	132	133	139	157	160	155	149	163	155	1,661
要介護2	244	256	232	238	186	170	166	157	152	143	132	138	2,214
要介護3	168	178	172	188	248	195	212	218	228	227	200	171	2,405
要介護4	92	103	85	80	67	83	108	90	73	64	79	81	1,005
要介護5	30	25	21	22	23	27	28	34	31	34	39	40	354
計	637	670	617	660	657	614	671	659	639	617	613	585	7,639
事業対象者	0	0	4	5	10	7	4	4	4	4	9	10	61
要支援1	11	13	16	17	17	13	16	17	15	22	22	22	201
要支援2	68	64	62	70	58	54	51	58	38	44	35	35	637
計	79	77	82	92	85	74	71	79	57	70	66	67	899
合計	716	747	699	752	742	688	742	738	696	687	679	652	8,538

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	5	2	7	0	3	3	3	5	3	2	3	37
契約終了者数	3	3	6	2	4	2	2	4	2	3	4	4	39
月末契約者数	88	90	86	91	87	88	89	88	91	91	89	88	-2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.16 ～04.22	お花見ドライブ	桜の季節を感じていただく為に登米市内の桜の名所に見学に行っている。	利用者 41名 職員 12名
R1.05.13 ～05.18	新緑ドライブ	市内の新緑を見学している。	利用者 39名 職員 11名
R1.07.04 ～07.06	七夕会	七夕会で慰問の方々による余興を見ていただき、最終日には菊風荘の利用者様との交流会を行っている。	利用者 81名 職員 22名
R1.07.08 ～07.19	紫陽花ドライブ	季節の花、紫陽花を見学している。	利用者 41名 職員 9名
R1.08.06 ～08.15	蓮ドライブ	長沼の蓮を見学に出掛けている。	利用者 42名 職員 12名
R1.08.26 ～08.28	夏祭り	はっぴを着て御輿を担ぎ、盆踊りで体を動かした後は出店でかき氷を食べていただいている。	利用者 92名 職員 24名
R1.09.12 ～09.14	長寿を祝う会	慰問で舞踊を鑑賞し、自身で作成したコサージュを胸に付けていただき参加されている。	利用者 82名 職員 18名
R1.10.02	芋煮会	大鍋を使い芋煮を作り、秋の味覚を味わっていただいた。	利用者 27名 職員 4名
R1.10.07 ～10.12	社会見学	地域の資料館で町の歴史を見学していただいている。休館日の際は、動物園の見学を行っている。	利用者 28名 職員 8名
R1.11.13 ～11.16	紅葉ドライブ	色鮮やかに染まった紅葉を見学していただいている。	利用者 35名 職員 10名
R1.12.12 ～12.14	クリスマス会	プレゼントや余興を楽しんでいただいている。	利用者 81名 職員 21名
R2.01.06 ～ 1.8	お屠蘇配り	新年の抱負とご挨拶を行いながらお屠蘇をお配りしている。	利用者 82名 職員 19名

R2.01.18 ～ 1.25	初詣ドライブ	津島神社に初詣に行き無病息災を祈願している。	利用者 42名 職員 12名
R2.02.04 ～02.07	節分ゲーム	年男、年女の利用者の方々による豆まきが実施されている。併せてアトラクションも楽しんでいる	利用者 115名 職員 27名
R2.03.08	ふるさと文化祭	利用者の作品を展示し、観覧を行う予定だったが、コロナ流行の為ふるさと文化祭中止となる。	利用者 0名 職員 0名
R2.03.02 ～03.04	ひな祭りゲーム	ひな人形を飾り、桃の節句を祝い、ゲームを楽しみました。	利用者 83名 職員 22名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R1.05.14	緊急時・夜間対応研修	職員	全職員
R1.5.21～22	緊急時・夜間対応研修	職員	全職員
R1.06.18	食中毒予防研修	職員	職員2名
R1.06.19	車輛運転講習	職員	職員1名
R1.07.18	脱水予防研修	外部講師	職員3名
R1.07.23	防犯教室	登米警察署	職員2名
R1.08.23	普通救命救急講習	登米市消防署	職員3名
R1.08.24	介護予防研修	職員	職員5名
R1.09.27	普通救命救急講習	登米市消防署	職員2名
R1.10.08	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修	職員	平山 桂
R1.10.18	恵泉会職員研修大会		職員3名
R1.10.29	感染・褥瘡予防研修	職員	職員3名
R1.11.19	認知症基本研修	職員	職員1名
R1.11.26	感染予防研修	職員	職員1名
R1.12.09	敗血症研修	職員	職員1名
R1.12.12	介護事故防止研修	職員	職員1名
R1.12.19	第3回ミニ講習会	職員	職員2名
R1.12.23	医療研修	職員	職員2名
R1.12.26	新任職員研修	施設長	職員1名
R2.01.17	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修	職員	職員3名
R2.01.21	法令遵守研修	施設長	職員2名
R2.01.22	法令遵守研修	施設長	職員1名
R2.02.14	プライバシー研修	職員	職員2名
R2.02.18	恵泉会フォローアップ研修	法人本部	職員1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.06.26	第1回東和地区地域ネットワーク会議意見交換会	東和・登米地域包括支援センター	登米市東和支所	職員1名
R1.7.18～19	介護福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R2.09.04	「介護実習」実習先指導担当者説明会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R1.10.02	クレーム対応研修(入門編)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R2.10.23	第2回東和地区地域ネットワーク会議	東和・登米地域包括支援センター	登米市東和支所	職員1名
R1.10.31	感染症予防セミナー	宮城県東部保健福祉事務所	宮城県登米合同庁舎	職員1名
R1.11.08	福祉レクリエーション研修2班	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R2.02.06	新型インフルエンザ等研修会	登米地区地域医療対策委員会	ホテルニューグランヴィア	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師
デイサービス調整会議	サービス提供の内容・行事企画・業務執行等の運営に関し検討	毎月第3木曜日	施設長・デイサービス職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・栄養士・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等、苦情処理の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・栄養士・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成、給食業務等の評価改善を行う。	毎月第2月曜日	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R1.05.30	鴫田明美様	一人芝居と踊りを披露していただいた。	1名
R1.06.03	秋山清人様	弾き語りを披露していただいた。	1名
R1.06.29	エル・フォーラム21様	舞踊を披露していただいた。	13名
R1.07.04	東北股旅会登米支部様	舞踊や唄を披露していただいた。	7名
R1.07.05	三日月舞踊一座様	舞踊を披露していただいた。	8名
R1.07.06	フラ・アロハ様	フラダンスを披露していただいた。	11名
R1.07.22	コーチズみやぎ様	健康体操を行っている。	6名
R1.08.26	栗原神楽様	南部神楽を披露していただいた。	8名
R1.09.11	コーチズみやぎ様	健康体操を行っている。	6名
R1.09.12	こらぼ座様	舞踊や唄を披露していただいた。	15名
R1.09.13	三浦吉記と仲間の会様	民謡、舞踊、歌謡ショーを披露していただいた。	1名
R1.09.14	千代乃会様	舞踊を披露していただいた。	9名
R1.10.26	秋山清人様	弾き語りを披露していただいた。	1名
R1.12.12	秋山清人様	弾き語りを披露していただいた。	1名
R1.06.11	米谷こども園様交流会	ゲーム、触れあい遊びを行っている。	15名
R1.11.14	米谷小学校4年生様	ゲーム、触れあい遊びを行っている。	12名

(2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
R1.07.12	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
R1.07.29	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	2名
R1.08.05	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	3名
R1.08.06	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	4名
R1.08.07	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	5名
R1.08.08	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	6名
R1.08.09	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	7名
R1.09.06	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	8名
R1.09.13	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	9名
R1.10.25	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	10名
R1.11.15	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	11名
R1.12.06	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	12名
R1.12.10	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	13名
R1.12.11	登米総合産業高等学校	介護実習・レクリエーション	1名	14名
R1.12.12	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	15名
	計		1名	15名

【今後の取り組み】

1. 法人の基本理念、自立支援に基づき、利用者がその居宅において可能な限り自立した生活が継続できるようサービスの充実に努めます。また、利用者家族の相談に適切に対応し、安心して在宅介護が継続できるよう支援します。
2. 利用者の安心安全な生活を支援するため、リスクの分析から改善策を的確に検討し、事故防止に努めます。
3. 在宅生活の継続を支えるサービスとして、認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、機能訓練や活動を行い、状態の維持・軽減を図ります。
4. 在宅での自立支援に向け、利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体機能の維持と認知症ケアの充実に努めます。
5. 人材確保と育成のため、施設内外の研修に積極的に参加し、職員各自の資質向上を目指します。
6. 時間外労働の抑制や年次休暇の取得促進を図り、職員が健康で意欲を持って仕事に取り組める職場づくりに努めます。
7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献に取り組みます。
8. 社会福祉法人が経営する事業所として、その利益還元として食事代を無料とすることにより、利用者負の軽減をはかります。

2019年度 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
 2) 設 置 主 体 登米市
 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
 4) 開 設 年 月 日 平成14年10月1日
 5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
生活支援ハウス	10 名
介護家族支援レスパイト	空床
計	10 名

生活支援ハウスでは、入所する利用者の状況に応じ支援機能、住宅機能、交流機能を提供し穏やかな生活が送れるよう、支援を行ってきた。施設が周知されてきてはいるものの、複数年利用されている方が半数を占め、地域的にも偏りが見られているのが現状である。高齢者が地域で、自宅で、安心して生活していくためには、まだまだ課題山積である。生活支援ハウスの意義を考えながら、今後も事業実施主体の登米市及び各地域包括センターと連携を図り、利用者の安全・安心・自立の支援を行っていく。

【 重 点 項 目 】

- 安全で安心して暮らせる住まいの提供をします。
高齢者の一人暮らしに於いて、冬期間を自宅で過ごすことは大変厳しいことと思われる。また、退院後等自宅へ直接帰るには不安がある場合など、体力の回復を待ちながら過ごされる事もある。ご本人にとっても、ご家族にとっても安心して暮らせる住まいを提供している。
- 共同生活をしながらも、それぞれが自立した生活が送れるよう支援します。
寝食を共にする安心感を感じていただきながら、個々の時間も大切に自立した生活を送れるよう支援している。
- 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人による地域貢献に積極的に取り組みます。
登米市及び地域包括支援センターとの連携を図り、支援ハウスを必要とされる方の利用を柔軟に対応している。

【 利 用 状 況 】

- 年間延べ利用人員 1,330 名
- 年間稼働率 36.34 %
(目標稼働率 50.00 %)
- 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要援助者	0	0	0	0	0	18	11	0	27	49	58	54	217
要支援1	0	0	19	15	0	0	0	0	114	141	145	146	580
要支援2	66	0	0	0	0	14	31	30	87	93	87	85	493
要介護3	0	11	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
計	66	11	48	15	0	32	42	30	228	283	290	285	1,330

- 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	1	0	0	2	1	0	8	2	0	0	15
退所者数	3	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	7	15
月末入所者数	0	1	1	0	0	1	1	0	8	10	10	3	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R1.12.10 ～03.20	貼り絵クラブ	支援ハウス棟の壁画(干支や季節の風物)や米谷公民館で行われる「ふるさと文化祭」へ出展する為の貼り絵を作る。	利用者 10名 職員 2名

【その他の利用者サービス】

*介護家族支援レスパイト事業

1. 年間延べ利用日数 0 日

2. 月別利用状況 (延べ利用日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.4.5	施設設備研修	職員	職員3名
H31.4.11	新任職員研修	施設長	職員1名
R1.05.14～05.23	介護事故防止研修※夜間緊急時対応について	職員	職員21名
R1.06.18	食中毒予防研修	職員	職員8名
R1.06.19	車両運転操作研修	職員	職員2名
R1.07.18	脱水症予防研修	外部講師	職員9名
R1.07.23	防犯教室	登米警察署	職員6名
R1.8.23～09.27	普通救命講習	登米市消防署	職員12名
R1.08.24	介護予防研修(デイ職員対象)	職員	職員4名
R1.10.08	身体拘束廃止及び虐待防止研修	職員	職員6名
R1.10.29	感染予防研修・褥瘡予防研修	職員	職員8名
R1.11.19	認知症基本研修	職員	職員6名
R1.11.26	感染予防研修	職員	職員5名
R1.12.12	介護事故防止研修※夜間緊急時対応について	職員	職員3名
R1.12.23	医療研修	職員	職員7名
R2.01.17	身体拘束廃止及び虐待防止研修(第2回目)	職員	職員6名
R2.01.21～01.22	法令遵守研修	施設長	職員16名
R2.02.14	プライバシー研修	職員	職員6名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス調整会議	利用者状況報告・入所希望者の実態把握	毎月第4金曜日	施設長・事務員・生活援助員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス利用検討会議	入所申請が上がった際に、登米市福祉事務所を主催に随時開催	随時	登米市職員・包括支援センター職員・生活援助員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・栄養士・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員

【今後の取り組み】

1. 個々の生活を基本にしながらも、利用者が互いに声を掛け合い和やかに安心して過ごせるよう支援をしていく。
2. バランスの取れた食事を提供し、健康的な生活が送れるようにする。
3. 複合施設の特徴を活かし交流の場を設け楽しむ機会を作ることで、入所中の生活が活気あるものにする。また、地域貢献活動に積極的に取り組む。

2019年度 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-5
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成23年4月18日
- 5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
地域密着型介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護	空床
計	34 名

【 基 本 方 針 】

その人らしい暮らしが継続できるよう、利用者の立場に立ち根拠に基づいた支援を行いました。ユニットケアを生かした、継続性のある生活が送れるよう家族・地域とのつながりを大切に、個別支援による笑顔と生きがいの持てる生活の場を提供しました。

【 重 点 項 目 】

1. ケアプランに基づいた適切な支援
入居者及び家族の意向を捉えたアセスメント・24時間シートも活用し心身の状況や以前の生活状況などその人らしく生活することにつなげ、安定した生活を送ることにつながった。今後も継続する。
2. 看取り体制の整備
見守りセンサーの導入により、きめ細やかな観察ができるとともに職員の精神的負担の軽減が図られご家族から感謝される取り組みも多くなった。今後も継続。
3. 職員の質の向上
内外の研修に参加、職員の意識の向上につながったところもあるが、職員の配置が長くなることで思い切った改善ができない場面も見られ継続し自己研鑽行うことが必要。
4. 事故防止
骨折事故があり、リスクマネジメント委員会やユニットで検証は行ったが、介護技術の向上やノーリフトなど環境の改善も必要である。今後も継続し取り組む。
5. 地域に根差した施設運営
運営推進会議やボランティアを通じ地域と定期的に交流を図ってきた。今後も良好な関係を築くことができるよう継続し取り組む。
6. ロボット等介護機器やIT機器の導入検討
見守りセンサーを導入し、看取り介護に生かすことができた。今後はコミュニケーション系ロボットや感染症対策で面会ができない場合の対応策など検討を重ねる。

【 利 用 状 況 】

- 1 年間延べ利用人員 12,149 名
- 2 年 間 稼 働 率 97.63% %
(目 標 稼 働 率 98.00 %)
- 3 年間平均介護度 4.07
- 4 月 別 利 用 状 況

	(延べ利用者数)												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	29	31	672
要介護3	206	217	240	248	186	180	162	135	186	186	193	212	2,351
要介護4	356	337	321	341	372	360	397	390	406	434	403	416	4,533
要介護5	321	377	390	377	430	420	406	408	372	372	348	372	4,593
計	943	993	1,011	1,028	1,050	1,020	1,027	993	1,026	1,054	973	1,031	12,149

5 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	1	1	0	1	0	2	0	1	0	0	0	8
退所者数	3	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1	9
月末入所者数	33	33	34	33	34	34	34	33	34	34	34	33	-1

【利用者サービスの状況】

1 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.12	さくら祭り	ゆりの郷を囲む桜を見て季節をかんじていただきながら、御家族を招待しボランティアの余興を入居者と共に鑑賞し楽しむ。	入居者 32名 職員 11名
R1.08.07	納涼会	夏祭りの雰囲気味わい、出店のゲーム等楽しんでもらい、一時でも夏の暑さを忘れてもらう。	入居者 32名 職員 10名
R1.09.13	長寿を祝う会	長寿を祝いながら、長年の労に感謝し、これからの健康を祈る。また、御家族等と一緒にアトラクションを鑑賞し、楽しいひと時を過ごす。	入居者 31名 職員 13名

【短期入所者生活介護サービス】

1 年間延べ利用人員 101 名

2 年間平均介護度 3.40

3 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	8
要介護3	14	9	0	5	0	0	0	11	0	0	2	17	58
要介護4	14	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	22
要介護5	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	39	15	0	9	0	0	0	11	8	0	2	17	101

【利用者サービスの向上】

1 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.01	防災設備取扱い研修	介護福祉士	介護職員7名
R1.06.06	オンコール研修	看護師	介護職員5名他1名
R1.07.09	食中毒・手洗い感染予防について	管理栄養士・看護師	介護職員4名他2名
R1.08.27	看取りについて	看護師	介護職員5名他2名
R1.09.18	ポジショニングについて	外部講師	介護職員4名他3名
R1.09.20	コンプライアンスについて	施設長	介護職員4名他3名
R1.10.23	インフルエンザについて	看護師	介護職員6名他3名
R1.10.24	認知症介護基本について	介護福祉士	介護職員4名他4名
R1.10.29	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員1名他2名
R1.11.22	褥瘡予防について	看護師	介護職員5名他4名
R1.11.22	身体拘束廃止・虐待防止について	介護福祉士	介護職員4名他4名
R1.12.24	介護予防について	介護福祉士	介護職員3名
R2.01.21	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員3名他3名
R2.02.23	身体拘束事例検討について	介護福祉士	介護職員2名他1名
R2.03.17	プライバシー保護研修	生活相談員	介護職員3名他2名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R1.06.06	令和元年度登米市栄養士会研修会	登米栄養士会	登米市迫町	職員1名
R1.07.01	令和元年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市迫町	職員1名
R1.07.09	令和元年度第1回登米地区地域ネットワーク会議・意見交換会	登米東和地域包括支援センター	登米市登米町	職員1名
R1.07.11	令和元年度宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.08.08	令和元年度指定介護保険サービス事業所集団指導	宮城県保健福祉部	石巻市	職員1名
R1.08.26	令和元年度介護サービス事業所集団指導	登米市福祉事務所長寿介護課	登米市南方町	職員1名
R1.09.26	令和元年度職場のモチベーションアップ研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.02	令和元年度クレーム対応研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.17	令和元年度リーダーのためのコーチング研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.30	令和元年度高齢者ケア施設で働く看護職員の研修	宮城県看護協会	石巻市	職員1名
R1.11.13	令和元年度リーダー職員向けパワハラ防止&アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.11.19	令和元年度第2回登米地区地域ネットワーク会議・意見交換会	登米東和地域包括支援センター	登米市登米町	職員1名
R2.01.29	令和元年度特定給食施設等集団指導及び給食従事者等研修会	宮城県登米保健所	登米市迫町	職員1名
R2.01.31	令和元年度宮城県ユニットケア研修	長寿社会政策課	仙台市	職員1名
R2.02.17	令和元年度登米地域栄養士研修会	登米栄養士会	登米市迫町	職員1名
R2.02.18	令和元年度ロジカルシンキング研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R2.02.20	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会	登米市	登米市迫町	職員1名

2 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
ユニット会議	入居者状況、業務課題・問題・行事内容を検討する。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
リーダー・サブリーダー会議	ユニット間の連絡調整、行事・サービス・ケア内容の検討。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討する。	第3火曜日	全職員
運営推進会議	サービス評価・改善、入居者の生活状況確認。	6回/年	運営推進委員・入居者代表・施設長・相談員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討する。	第3水曜日	入居者代表・施設長・管理栄養士・調理員・看護師・介護部
入所判定会議	実態調査を終了した方の入居の可否を検討、決定する。	4回/年	施設長・相談員・看護師・介護職員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随時	担当者会議(ケアプランの確認、見直し)	相談室	ご家族、施設長、相談部、看護部、介護部

3 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
施設指名委員会	見積り合わせなどの指名業者の審議、入札の場合は法人本部に内申を行う。	随時	施設長、総務部、担当職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての検討。	第1火曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	事故等の防止対策を検証・共有し再発防止に努める。	第1火曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡等の予防対策。	第2火曜日	各委員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル等の評価・改善。	随時	各委員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため、研修の企画・実施する。	随時	各委員
防災委員会	災害時等の防災訓練を企画・実践し、施設の安全な環境整備を行う。	随時	各委員
マニュアル検討委員会	施設に合ったマニュアルの作成及び整備を行う。	第2土曜日	各委員
入所判定検討委員会	入所申し込みの確認、入所判定基準に従い優先順位の審査、決定する。	3ヶ月に1回	第3者委員、施設長、栄養士、看護部、相談部、ユニットリーダー

【施設機能の開放】

1. 地域交流・視察・見学・実習受入状況

(1) 地域交流

年月日	団体名	内容	来訪者数
H31.04.12	佐沼ロータリークラブ	踊り	13名
H31.04.27	登米日根牛太鼓「桜乃会」	太鼓、ギター演奏、歌	5名
R1.05.09	岩淵幽清社中	煎茶手前	5名
R1.06.04	登米町婦人会	窓拭き	20名
R1.06.24	花かご	苔リュウム作り	1名
R1.07.24	コーチズみやぎ	ガンバルーン体操とゲーム	3名
R1.08.07	榑原様・伊藤様	納涼会・お話ボランティア	2名
R1.08.22	登米児童館	映画鑑賞	25名
R1.09.05	花かご	ハーバリウム作り	1名
R1.09.12	登米市立登米中学校	清掃活動	10名
R1.09.13	翔乃流秀扇会	民謡、舞踊	8名
R1.10.09	衣川会	民謡	7名
R1.10.10	登米幼稚園	ハロウィン交流会	11名
R1.11.14	寺池地区コミュニティー・岩淵幽清社中	唄、踊り・煎茶手前	5名・3名
R1.12.06	花かご	クリスマスリース作り	1名
R1.12.26	寺池地区コミュニティー推進協議会	餅つき	7名

(2) 視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H31.04.01	専門学校学生	施設見学	1名
R1.07.17	入居申し込み御家族	施設見学	1名
R1.07.29	高校生	施設見学	1名
R1.07.31	高校生	施設見学	1名

(3) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R1.05.28	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2名	2名
R1.06.25	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2名	4名
R1.07.02	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2名	6名
R1.07.09	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名	7名
R1.07.16	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2名	9名
R1.07.25	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2名	11名
R1.07.26	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2名	13名
R1.07.29	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2名	15名
R1.08.06	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	1名	16名
R1.08.7~08.9	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅰ	2名	18名
R1.08.27	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	2名	20名
R1.09.03	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	2名	22名
R1.09.09	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	2名	24名
R1.09.10	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	2名	26名
R1.09.11	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	2名	28名

【今後の取り組み】

1. ケアプランに基づいた適切な支援－栄養ケアマネジメント・口腔衛生・看取りケア・認知症ケア等専門的支援はもとより、自立支援を重視したきめ細かいケアを行う。
2. 看取り体制の整備－最期まで施設での生活が継続できるよう嘱託医、協力病院と連携をはかり施設での看取り体制を整備する。
3. 事故防止－資質の向上や専門性の向上・環境整備により介護事故・労働災害の防止に努める。
4. 地域に根ざした施設運営－運営推進会議や行事等を通じ地域住民と交流・情報交換を行う。施設の機能を解放しオレンジカフェ等の実施により地域福祉向上に努める。
5. ロボット等介護機器やIT機器の導入－見守りセンサーを導入、利用者の安全確保、記録の分析による体調管理や行動予測により利用者・介護職員の負担を軽減する。
6. 法人内他事業所との連携－安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一丸となり、協力体制を構築し支え合う体制を作る。
7. 災害時の連携－火災や自然災害時に備え、地域との協力体制を強化する。災害に応じた法人内の連携先施設(遠山荘)と協力し対応する。
8. 職員の質の向上－個人の経験や能力に合わせた研修に参加、スキルアップにつなげる。
また、施設内研修を定期的な開催や法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、先輩職員が後輩職員を育成する土壌を作る。
9. 安定経営に向けた取り組み－施設の機能を最大限に生かし、目標収入を目指すと共に、経費削減に努める。
10. 社会のニーズに対応－介護保険改革の動向や地域福祉の情勢等に柔軟に対応できるようアンテナを高くし、各関係機関と連携を図り適切に対応する。

2019年度 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1) 所 在 地 | 宮城県登米市東和町米川字寺内28-22 |
| 2) 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3) 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4) 開 設 年 月 日 | 平成23年4月18日 |
| 5) 事業・利用定員 | |

事 業	利 用 定 員
地域密着型介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護	空床型
計	34 名

地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷は、入居者様一人ひとりの意志及び人格を尊重しながら、心穏やかに充実した生活を送れるよう支援しました。

地域の方々との交流の場を大切にし、地域行事の参加など、人と人との人間関係が営まれる生活支援を行い、この地域で暮らしてよかったと思える施設づくりを目指し余暇活動や行事に取り組みました。

恵泉会の基本理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」の5つの理念を基本的な方針として、「福祉」＝「幸せ」となるように入居後も入居者がその能力に応じ自律した日常生活を営むことができるよう自己実現の支援を行い、入居者様の心身機能の維持が図られるよう取り組みました。

また、ユニットケアの特質を活かし、入居者様一人ひとりの暮らしをそれぞれの生活リズム、スタイルに沿って支援し、個人を重視した取組に努めました。更に、ほっとカフェ(認知症カフェ)を開催継続し、地域貢献に取り組んでいます。

【 重 点 項 目 】

1. ケアプラン、個別援助計画、24時間シートなどのツールを使い、個別ケアを重視した取り組みを実践し、ターミナルケアの充実にも取り組んでいます。
入居者一人一人の生活リズムを把握し、ケア提供を行っていくために24時間シートを活用しケア提供を実施することで、排泄のリズムを掴み、誘導を行いトイレでの排泄に繋がる方や食事の内容や介助方法を検討することで、「個」に重点を於いたサービスを継続する努力をしております。委員会をとおり、ターミナルケアの研修充実にも努力しました。
2. ユニット毎の余暇活動(時間)の充実を図り楽しみと潤いのある生活を提供します。
各ユニット毎に日々の余暇活動を実施し、孤立や寝たきりの予防を図っています。また、生花教室、書道教室など地域の方のボランティア協力を得ながら開催、地域行事へ出かけ参加し楽しみや、懐かしさを感じていただけの企画を実施しています。
3. 地域福祉の拠点として機能の充実と地域との交流を企画・実施していきます。
施設入所に係る相談は、勿論のこと、伝統行事見学や施設内行事開催には、近隣住民を招待し交流を行いながら、施設の理解を深めてもらいました。また、認知症カフェを当施設で開催するなど施設機能の開放に取り組みました。
4. リスクマネジメントに心がけ、安全・安心が確保され快適な生活ができるようサービス提供をします。
リスクマネジメント委員会を中心に、ヒヤリハット等を検証し、改善案に基づく対応を実践しました。移動時の転倒、食事介助の際の誤嚥防止、入浴介助中の事故など事故防止が図られていますが、少数の事故報告があり今後も継続して取り組み、介護事故ゼロが目標です。
5. 質の高いサービス提供に向け各種研修等へ参加し職員の資質・専門性の向上に努めます。
宮城県や宮城県社会福祉協議会主催の研修会への参加をはじめ、研修委員会が中心となり、施設内研修を企画、実施し職員の知識や技術の向上に繋がる研修を実施しています。
また、外部研修として福祉サービスの苦情解決に関する研修や保険担当者研修に職員を派遣し、ケアの質向上をはかりました。
更に、新任職員には、内部研修だけでなく、外部で開かれる新任職員研修へも職員を派遣し、技術や知識の習得を行っています。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 12,191 名
2. 年間稼働率 97.97 %
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.08
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	37	31	30	31	30	31	31	29	31	372
要介護3	325	281	278	279	248	238	240	240	254	257	203	217	3,060
要介護4	270	296	270	257	346	360	341	360	347	341	377	403	3,968
要介護5	390	408	420	465	395	360	413	386	374	400	377	403	4,791
計	1,015	1,016	998	1,038	1,020	988	1,025	1,016	1,006	1,029	986	1,054	12,191

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	5
退所者数	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	5
月末入所者数	33	34	34	34	34	33	34	34	32	34	34	34	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R1.07.10	出前昼食会	土用の丑の日が近いので、希望者でうなぎの出前を取り、会食を行う。	利用者 22名 職員 3名
R1.08.09	夏祭り会	かき氷やすいか割りと夏を感じながら祭りの雰囲気を楽しむ。	利用者 27名 職員 9名
R1.09.13	長寿を祝う会	入居されている皆様の長寿をご家族・地域の方々とお祝いする。	利用者 32名 職員 14名
R1.10.23	芋煮会	秋の風物詩である芋煮を調理し会食を行う。	利用者 34名 職員 8名
R1.12.27	正月飾り作り	餅をついて正月飾りをみずの木に飾り付けをして新年の準備を行う。	利用者 25名 職員 6名
R2.01.14	昼食出前会	外食の機会が取れないため、希望者を募り地域の仕出し店より寿司の出前をとり、会食を行う。	利用者 12名 職員 3名
R2.02.03	節分・豆まき	厄を祓い健康と幸せを願い豆まきをし無病息災を願う。	利用者 32名 職員 13名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 41 名
2. 年間平均介護度 2.85
3. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
要介護3	0	2	8	0	0	0	8	0	8	9	0	0	35
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	2	8	6	0	0	8	0	8	9	0	0	41

【入居者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
H31.04.01	新人職員研修	看護師他	職員 2名
H31.04.11	手洗いについて	准看護師	職員 6名
H31.04.17	災害対応研修	相談員	職員 6名
H31.04.22	コンプライアンスについて	施設長	職員 8名
R1.05.23	消防設備研修	相談員	職員 5名
R1.05.27	食中毒予防について	管理栄養士	職員 6名
R1.06.24	ユニットケア研修	介護福祉士	職員 6名
R1.07.04	事故防止研修	ユニットリーダー	職員 5名
R1.07.11	看取りについて	看護師	職員 6名
R1.07.11	感染症予防について	准看護師	職員 6名
R1.07.22	身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	職員 6名
R1.08.26	事故防止研修	ユニットリーダー	職員 6名
R1.09.30	接遇研修	介護福祉士	職員 7名
R1.10.10	インフルエンザの予防と対策について	看護師	職員 5名
R1.10.24	虐待防止研修	ユニットリーダー	職員 3名
R1.10.28	プライバシー研修	ユニットリーダー	職員 6名
R1.10.28	メンタルケア研修	看護師	職員 6名
R1.11.25	救命救急研修	相談員	職員 8名
R1.12.23	認知症研修	ユニットリーダー	職員 6名
R2.01.09	ノロウイルス対策について	看護師	職員 6名
R2.01.20	身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	職員 4名
R2.01.27	褥瘡について	看護師	職員 5名
R2.02.27	緊急時の対応について	相談員	職員 5名
R2.02.28	看取りケアについて	看護師	職員 5名
R2.03.26	苦情処理について(復命研修)	ユニットリーダー	職員 5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.06.19	令和元年度恵泉会新任職員育成研修	恵泉会	登米市	職員1名
R1.06.26	令和元年度安全運転管理者講習	安全運転管理者会	登米市	職員1名
R1.06.27	令和元年度恵泉会新任職員育成研修	恵泉会	登米市	職員1名
R1.08.08	令和元年度介護サービス事業者集団指導	宮城県	石巻市	職員1名
R1.08.09	人事考課制度に関する意見交換会	恵泉会	登米市	職員2名
R1.08.26	登米市介護サービス事業者集団指導	登米市	登米市	職員1名
R1.08.26	管理職育成コンサル・マネジメント	恵泉会	登米市	職員1名
R1.08.29	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国保連	仙台市	職員1名
R1.10.03	令和元年度宮城社会福祉施設保健担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.10.28	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	運営適正化委員会	仙台市	職員1名
R1.11.19	管理職育成コンサル・マネジメント	恵泉会	登米市	職員1名
R1.11.20・21	宮城県社会福祉施設新任職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R2.02.17	令和元年度登米地域栄養士研修会	登米栄養士会	登米市	職員1名
R2.02.17	管理職育成コンサル・マネジメント	恵泉会	登米市	職員1名
R2.02.18	令和元年度恵泉会フォローアップ研修会	恵泉会	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
ユニット会議	業務課題、問題、24Hシートの見直しをユニットで行う。	随時	各ユニット職員
リーダー会議	ユニット間の連絡調整、サービス、ケア内容の検討。	第3木曜日	各セクション職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討。	第4月曜日	全職員
運営推進会議	利用者の状況説明、事故報告、施設状況の説明。	2ヶ月毎	施設職員、登米市職員、地域住民、包括支援センター
入所判定会議	実態調査等を元に入居可否の検討を行う。	随時	各セクション職員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討。	第3月曜日	施設長、栄養士、調理員、相談員、医務、介護員、SV

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
サービス評価委員会	サービス評価、検討	随時	施設長、各委員
研修委員会	職員の資質向上を図るため、研修の計画実施を図る。	第1木曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡の予防対策について	第2木曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメントの取り組み、検討	第1木曜日	施設長、各委員
マニュアル検討委員会	マニュアルの整備、見直しを行う。	第4木曜日	施設長、各委員
虐待防止・身体拘束防止委員会	入居者の虐待防止、身体拘束防止への取り組み。	第4月曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災に関する検討	第4木曜日	施設長、各委員
入所検討委員会	入所申込者の点数、順位の見直し	3ヶ月毎	施設長、各委員、外部委員
環境整備委員会	施設の環境整備に関すること	第2木曜日	各委員
指名委員会	備品等の購入、契約に関する指名業者の選定	随時	施設長、各委員
ターミナル検討委員会	看取りに関する情報共有、対応	随時	施設長、各委員、ユニット職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R1.05.26	フラワーショップ花かご	生花教室	1名
R1.06.27	認定こども学園さくら幼稚園	ほたるサロン	23名
R1.07.01	コーチズみやぎ	ほたるサロン	5名
R1.09.12	蓬田はつえ様	長寿を祝う会(味噌作り)	1名
R1.09.13	はっとボランティア	長寿を祝う会(はっと作り)	8名
R1.09.13	大目弾正太鼓	長寿を祝う会(アトラクション)	5名
R1.10.24	石井美香様	ほたるサロン	1名
R1.11.01	コーチズみやぎ	はっとカフェ	5名
合計			49名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R1.06.19	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	1名
R1.06.26	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	2名
R1.07.03	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	3名
R1.07.10	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	4名
R1.7.17～7.19	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	7名
R1.7.25・26	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	9名
R1.7.29～31	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	12名
R1.08.28	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	13名
R1.9.2～4	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	16名
計			9名	67名

【今後の取り組み】

1. ケアプラン、個別援助計画、と24時間シートなどのツールを使い、個別ケアを重視した取り組みを実践し、看取り介護の充実についても取り組んでいきます。
2. ユニット毎の余暇活動(時間)の充実を図り楽しみと潤いのある生活を提供します。又、介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図ると同時に業務改善(効率化・最適化)に取り組めます。
3. 地域福祉の拠点として機能の充実と地域との交流を企画(ほっとカフェ)・実施していきます。
4. リスクマネジメントに心がけ、安全・安心が確保され快適な生活ができるようサービス提供をします。更に、地域と災害協定を結べるよう働きかけ、またすでに災害協定を結んでいる他施設(若草園)と連携し、災害対応を確立していきます。
5. 質の高いサービス提供に向け各種研修等へ参加し職員の資質・専門性の向上に努めます。なお、次世代の育成を担う役割を遂行できる人材育成にも取り組めます。

2019年度 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777番地 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成5年3月15日 |
| 5. 利 用 定 員 | 40 名 |

○事業内容

- [1]通所介護
- [2]介護予防通所介護
- [3]日常生活支援総合事業通所型サービス(第1号通所事業)
- [4]基準該当生活介護(障害デイサービス)
- [5]登米市生きがい対応デイサービス

- (1) 「笑顔」「思いやり」「安心」のある支援、施設・人をつくる。
- (2) 質の高いサービス提供。
- (3) 施設機能解放・地域社会への貢献。
- (4) 利用者の安定確保・健全な経営。

【 重 点 項 目 】

1. 中重度者ケア体制加算を取得していたが、職員人数(加配)が満たされず、9月より取得できていない。リハビリについては、個別機能訓練加算Ⅰを取得し、機能維持向上に向け、利用者のやる気にも繋がった。レスパイト機能のみならず、精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指した。
2. 利用者・職員等が安心して生活できる施設や職場創り・・・オレンジカフェ「えん」の継続開催をすることで、利用者や家族、地域の方々との関係性が広がり固定の利用客も増えた。また毎回内容を工夫することで職員の創意工夫につながり、職員間のコミュニケーションも増え職場が活性化した。
3. 隣接施設との異世代交流を通した生きがい作り・・・地域住民や3歳未満児との交流を継続的に行うことで、顔なじみが増え、活性化した。特に子供たちとの交流は子育てした頃を思い出したり、子供とふれ合う機会がなかなか少ない利用者にとっても良い刺激となり、自然と笑みがこぼれ楽しみとなった。
4. 事故ゼロに向けた取り組み・・・介護度が変わるような事故や交通事故は無く大きな成果とだ思う。事故やミス、ヒヤリハットは委員会等で検証を十分に行い今後の再発防止に努めた。
5. 経費削減・安定経営・・・食事代無料化に伴う収入の減少により、利用者人数を増やすことで稼働率を上げ収入を増やすことを目指した。7月からは定員を5名増やし40名定員とした。利用定員を増やすことや、中重度者ケア体制加算の取得、リハビリの重点化だけでなく、施設機能の専門性を深め効果的なサービスを提供することで利用者の獲得をねらう。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 10,900 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 90.76 % (通所介護+総合事業)
(81.82) % (通所介護)
(8.93) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.12 (通所介護)
0.74 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	251	262	254	312	274	271	270	232	216	234	220	240	3,036
要介護2	354	380	350	367	354	332	371	362	321	305	346	367	4,209
要介護3	66	71	65	94	116	126	137	128	142	135	128	132	1,340
要介護4	61	59	56	63	71	66	73	73	79	66	80	91	838
要介護5	27	26	32	37	40	30	31	38	35	30	36	42	404
計	759	798	757	873	855	825	882	833	793	770	810	872	9,827
事業対象者	8	8	8	8	13	12	14	12	12	10	11	8	124
要支援1	20	18	23	23	28	25	27	22	20	17	15	14	252
要支援2	62	64	57	63	54	48	62	63	58	54	49	63	697
計	90	90	88	94	95	85	103	97	90	81	75	85	1,073
合計	849	888	845	967	950	910	985	930	883	851	885	957	10,900

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	3	3	5	3	3	0	1	3	2	2	2	28
契約終了者数	2	5	1	0	3	2	2	1	1	0	3	7	27
月末契約者数	103	101	103	108	108	109	107	107	109	111	110	105	+1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R1.05.04	菖蒲湯	菖蒲湯	利用者 31名 職員 9名
R1.07.05	七夕交流会	キッズつぼみ、恵はあとの交流会	利用者 36名 職員 9名
R1.08.09	合同夏祭り	かき氷、フライドポテト、ボランティア訪問	利用者 38名 職員 12名
R1.08.13	流しそうめん	流しそうめん(4日間実施)	利用者 85名 職員 40名
R1.09.09	長寿を祝う会	3日間実施、ボランティア訪問	利用者 112名 職員 30名
R1.09.14	とよま秋祭り見学	施設前での山車見学	利用者 40名 職員 10名
R1.10.01	お月見交流会	登米児童館との交流会	利用者 7名 職員 2名
R1.10.30	秋の運動会	玉入れ、職員対抗リレー、パン食い競争等	利用者 38名 職員 10名
R1.12.24	クリスマス会	レクリエーション、プレゼント	利用者 40名 職員 11名
R1.12.21	ゆず湯	ゆず湯	利用者 37名 職員 12名
R2.01.13	新年会	ボランティア訪問	利用者 36名 職員 11名
R2.02.03	節分・年祝い	豆まき	利用者 35名 職員 13名

R2.02.13	絵手紙	ボランティア依頼	利用者 36名 職員 11名
R2.02.18	陶芸教室	講師をお呼びし、陶芸に触れる	利用者 15名 職員 5名
R2.03.02	ひな祭り会	レクリエーション	利用者 38名 職員 13名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 267 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 2.22 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
デ 生 イ キ		4	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	4	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
身 障 デ イ	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分4	22	22	21	23	22	21	22	21	19	20	21	22	256
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	22	22	21	23	22	21	22	21	19	20	21	22	256
合 計	26	27	23	23	22	21	22	21	19	20	21	22	267	

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R1.06.19	食中毒予防について	看護師	職員4名
R1.07.17	不審者対応訓練	介護福祉士	職員8名
R1.12.05	車輛操作研修	介護福祉士	職員3名
R1.12.25	冬の感染症対策について	看護師	職員3名
R2.01.27	リスクマネジメントについて	介護員	職員3名
R2.03.11	介護実践研修	介護福祉士	職員3名
R2.03.05	コンプライアンス研修	管理者	職員7名
R2.03.09	コンプライアンス研修	管理者	職員6名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.06.19	令和元年度新採用職員研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R1.06.26	安全運転管理者・副安全運転管理者講習	登米市	中田町	職員1名
R1.06.27	令和元年度新採用職員研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R1.08.26	令和元年度WJU管理職育成コンサル「マネジメントミーティング」	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R1.08.29	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県	仙台市	職員1名
R1.09.02	令和元年度宮城県サービス管理責任者等更新研修	宮城県	仙台市	職員1名
R1.10.09	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県	仙台市	職員1名
R1.10.18	恵泉会職員研修大会	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員3名
R1.11.08	福祉レクリエーション研修	宮城県	仙台市	職員1名
R1.11.12	令和元年度第2回登米地区地域ネットワーク会議・意見交換会	登米市	登米市	職員1名
R1.11.19	令和元年度WJU管理職育成コンサル「マネジメントミーティング」	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R2.02.17	令和元年度WJU管理職育成コンサル「マネジメントミーティング」	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	全職員参加し、業務や利用者についてなど全般にわたり検討	月1回	全職員
給食会議	委託業者を交えて給食についての検討	月1回	委託業者・栄養士・利用者・職員
デイサービス部会	恵泉会内デイサービスの検討	月1回～2ヶ月に1回	生活相談員
担当者会議	モニタリング、計画書の確認	随時	全職員、生活相談員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束廃止に向けての検討	必要時	全職員
褥瘡予防検討委員会	褥瘡発生予防、高リスク利用者分析・評価	定期	全職員
感染症対策検討委員会	感染症対策に関すること	月1回程度	全職員
リスクマネジメント委員会	施設のリスク全般について	月1回程度	全職員
防災委員会	防災についての検討	随時	防災委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H31.04.01	金田晶子様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H31.04.05	金田晶子様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H31.04.08	金田晶子様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H31.04.12	金田晶子様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
R1.06.25	寺池コミュニティー様	歌、踊り	6名
R1.07.24	寺池コミュニティー様	歌、踊り	8名
R1.08.23	鈴乃流舞美会	踊り	12名
R1.09.09	衣川貞夫(城二)様 他2名	踊り(敬老会アトラクション)	3名
R1.09.10	見沼伸一様	歌(敬老会アトラクション)	1名
R1.09.11	熊谷とし子様 他4名	オカリナ演奏とレクダンス(敬老会アトラクション)	5名
R1.11.14	寺池コミュニティー様	歌、踊り	7名
R1.11.23	舞綺櫻様12名 聖和学園短期大学様9名	よさこい踊り披露	21名
R1.12.20	寺池コミュニティー様	歌、踊り、雅楽	8名
R2.01.13	衣川貞夫(城二)様	歌、踊り	5名
R2.01.22	寺池コミュニティー様	歌、踊り	8名
R2.02.13	登米市社会福祉協議会	絵はがき教室	10名
R2.02.18	東和焼瑞樹窯様	陶芸教室	2名
R2.02.22	寺池コミュニティー様	歌、踊り	8名
	合 計		108名

2. 認知症カフェ プチ・ルポ「えん」開催

発行日	内 容	講 師	参加人数
R1.07.21	趣味活しませんか?～指先と頭を使って小物づくり～	作業療法士	23名
R1.10.20	認知症ケアと上手なコミュニケーションについて	准看護師	24名
R1.12.15	ミュージックケア～座ってできる楽しい体操～	ボランティア 藤原 澄	24名
R2.02.16	レクリエーション～楽しく体と頭の体操をしよう～	登米市社会福祉協議会	42名
	実 施 回 数	4回	延べ参加者人数
			113名

【今後の取り組み】

1. 個別機能訓練加算Ⅰを取得し、レスパイト機能のみならず、精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指す。
2. オレンジカフェの開催、地域行事への参加を通し地域との共生を目指す。
3. 隣接するサービス付き高齢者向け住宅「恵はあと」、事業所内保育所「キッズつぼみ」、地域住民との交流を通じ生きがい作りの場を提供する。
4. 介護・交通事故「ゼロ」に向けた取り組みを行う。
5. 利用者確保を目指すと共に、経費削減に努め、安定経営につなげる。

2019年度 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市中田町宝江黒沼字十文字211-5 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成21年 3月15日 |
| 5. 利 用 定 員 | 10 名 |

地域に密着した小規模事業所の特性を活かし、一人ひとりに寄り添った家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりが安心してその人らしい生活を送れることを意識しながら支援することができた。住み慣れた地域や家庭での生活が継続できるように、個々の状況に合わせた支援を考慮し、一日を満足して過ごしていただく環境作りに取り組んだ。

創作活動では、利用者同士協力し作品を仕上げ、皆で達成感を味わい喜ぶ姿が見られた。ゲームやレクリエーション、軽運動では、楽しそうな笑顔や声が飛び交い充実した時間を過ごして頂いた。季節の移り変わりを感じていただくために、季節毎の花々の見学やりんご狩りに出掛け、気分転換の場が提供できた。また、外食の機会を多くし、大変喜んで貰うことが出来た。交流面に於いては、沢山のボランティアの来所により踊りや歌で元気をもらい、沢山の方々とふれあい、信頼関係の構築もできた。また、運営推進委員の方々を招いてお花見昼食会を行い、地区の方々との交流も図れた。誕生会ではホールケーキと手作りの誕生カードでお祝いし大変喜んでいただくと共に、昔話をしたり、語り場と交流を図る時間の提供ができた。今年度は利用者さんの安定した利用により、年間稼働率100%を達成することが出来た。一年を通してスタッフ一人ひとりが質の高いサービス提供を目指し内部研修等で、技術の向上に努めた。

【 重 点 項 目 】

1. 利用者本人の思いを汲み取り在宅で快適な生活を送れるように、一人ひとりのニーズをとらえ、又利用者の状態を常に把握し、安心して過ごせる環境で、スタッフ全員が意識統一を図り最適なサービス提供ができた。
2. サービス会議やモニタリング等で利用者の状況について話し合い、小さな変化も見逃さず、ニーズに適した介護計画の見直しを行い、一人ひとりの状態にあったサービス提供ができた。
3. 担当者会議において利用者の幸せや家族の要望に配慮し、ケアマネージャーや各サービス担当者と情報の共有を密に行い、利用者本人が在宅でより快適に暮らすことが出来るような支援を心掛けることができた。
4. デイサービス連絡手帳にバイタルや利用状況を記載し、体調面や一日の様子について細かく伝えることができた。変化のあった際は家族やケアマネージャーに迅速に連絡して対応することができた。
5. 病状の変化や状態に応じ食事形態等を考慮した食事提供ができた。おやつは健康状態に配慮し、できる限りバラエティーに富んだ手作りおやつを提供して喜んで頂くことができた。
6. クッキングやタオルたたみ等の生活リハビリを行い日常の生活動作に結びつける事ができた。また、レクリエーション等を多く取り入れたり、個別リハビリ(柔道整復師によるマッサージ)の実施で身体機能の維持が図れた。
7. 地域のボランティアさんを招いて交流を深め、新鮮な雰囲気の中でデイサービスを提供できた。又、運営推進会議でほんわかの様子を伝え地域の方々や御家族様にも伝える事が出来た。運営推進委員を招いての昼食会で更にほんわかの様子を見て頂く事が出来た。
8. 担当者会議等で情報の共有化を図り連携を深め、ケアプランに基づいたより良いサービス提供に努めた。
9. 研修計画に基づき毎月内部研修を実施し、職員一人ひとりの資質向上と専門性の向上に努め職員の意識改革に取り組むことができた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 3,100 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 100.00 % (通所介護・総合事業)
91.00 % (通所介護)
9.00 % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.42 (通所介護)
1.67 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	60	60	58	55	52	44	50	54	47	45	46	50	621
要介護2	55	47	66	70	88	90	87	85	73	68	81	75	885
要介護3	44	53	19	32	39	39	50	52	52	46	56	56	538
要介護4	57	60	61	61	63	53	57	49	57	61	50	57	686
要介護5	17	21	17	20	0	0	0	0	0	0	0	0	75
計	233	241	221	238	242	226	244	240	229	220	233	238	2,805
事業対象者	11	12	12	13	12	13	14	12	13	12	9	13	146
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	16	17	17	19	16	11	12	8	8	8	8	9	149
計	27	29	29	32	28	24	26	20	21	20	17	22	295
合計	260	270	250	270	270	250	270	260	250	240	250	260	3,100

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	2	0	7
契約終了者数	2	1	0	1	0	1	1	0	2	2	0	0	10
月末契約者数	30	30	31	30	31	31	30	31	29	27	29	29	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H31.04.17～ H31.04.22	桜見学	迫町鹿ヶ城公園・石越町総合運動場周辺・米山町平筒沼・登米町遠山之里の桜を見学(4日間)	利用者 41名 職員 16名
H31.04.29 R1.05.03	チューリップ見学	米山のチューリップ園見学(2日間)	利用者 18名 職員 6名
R1.05.14 R1.5.16	藤見学	加賀野公園、中田庁舎の藤の花を見学(2日間)	利用者 17名 職員 6名
R1.06.18 R1.07.1	花菖蒲見学	南方花菖蒲園を見学・散策する。(2日間)	利用者 19名 職員 6名
R1.06.17/06.19 /06.21	新緑ドライブ(外食)	長沼フートピア公園に出掛け、新緑の風景を楽しみ散策する。3日間は和風レストランまるまつにて外食をしてくる。	利用者 28名 職員 12名
R1.07.01 R1.07.17	紫陽花見学	大嶽山・興福寺の紫陽花を見学・散策する。(2日間)	利用者 20名 職員 7名
R1.07.05	七夕会	手作りの七夕飾りをホールに飾り短冊に願いを込める。演芸ボランティアの来所で楽しく過ごす。	利用者 9名 職員 4名
R1.08.07～ R1.08.12	蓮の花見学	海上蓮親水公園(石越)の蓮の花見学(4日間)	利用者 33名 職員 11名
R1.09.12～ R1.09.16	長寿を祝う会	利用者に敬意を表し、長寿と健康を祈念する。ボランティアさんによる演芸(3日間)や「敬老祝い膳」で御祝い行っている。(5日間)	利用者 48名 職員 16名
R1.09.14	外出(登米秋祭り見学)	遠山荘駐車場にて、伝統ある「登米の秋祭り」の山車を見学する。	利用者 8名 職員 4名
R1.09.23/09.25 /09.27	外食(中田町愛菜館)	中田町「愛菜館」にて外食をしてくる。	利用者 30名 職員 13名
R1.10.10 R1.10.15	芋煮会	ほんわかテラスで芋煮汁を召し上がり、芋煮会の雰囲気を味わって頂く。午後には諏訪公園や加賀野公園の散策を行った。	利用者 19名 職員 6名

R1.10.30～ R1.11.01	りんご狩り	中田町上沼の小野寺りんご園に出掛けりんご狩り体験を行っていく。(3日間)	利用者 32名 職員 11名
R1.12.24	クリスマス会	クリスマスメニューの提供と、ビンゴゲームで上位三名の方にプレゼントを送った。ボランティアによるギター演奏を楽しんだ後、手作りのクリスマスカードを全員にプレゼントした。	利用者 10名 職員 5名
R1.12.26	正月飾り(門松)作り	新年に飾る門松を利用者様に手伝っていただきながら作る。	利用者 10名 職員 2名
R2.01.04～ R2.01.10	新年会	ボランティアさん(2日間)に來所してもらい、歌や踊りで新年を祝う。また「新年祝い膳」を提供。喜んで召し上がっていただく。(5日間)	利用者 47名 職員 24名
R2.02.03	節分	一年間の無病息災を願い、豆まきを行う。	利用者 12名 職員 6名
R2.03.03～ R2.03.05	ひな祭り会	ひな祭りにちなんだ昼食(3日間)とおやつのひなあられで桃の節句を祝う。午後の活動ではひな人形作りを行い持ち帰っていただいた。	利用者 32名 職員 15名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.01	車輛操作・安全運転研修(転入職員対象)	職員	職員1名
R1.05.01	コミュニケーション研修	職員	職員4名
R1.06.03	食中毒予防研修	職員	職員4名
R1.07.01	新任職員研修会復命会	職員	職員4名
R1.08.01	法令遵守研修	職員	職員4名
R1.09.02	介護サービスの質の向上に関する研修会復命会	職員	職員4名
R1.10.01	リスクマネジメント研修	職員	職員4名
R1.11.01	福祉サービスの苦情解決に関する研修会復命会	職員	職員6名
R1.11.01	法人研修大会復命会	職員	職員6名
R1.12.02	レクリエーション研修復命会	職員	職員4名
R2.01.07	認知症基礎研修会復命会	職員	職員4名
R2.02.03	身体拘束廃止・プライバシーに関する研修	職員	職員4名
R2.03.20	介護実践研修(体位交換・移乗)	職員	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.06.19	令和元年度 恵泉会新人職員研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R1.07.19	中田・石越地域包括ケア推進研修会	中田・石越地域包括支援センター	中田町	職員1名
R1.08.09	令和元年度 WJU コンサルティング人事考課制度ヒヤリング	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R1.08.26	令和元年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R1.08.27	令和元年度 介護サービス事業者集団指導	登米市福祉事務所長寿介護課	南方町	職員1名
R1.08.29	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	仙台市	職員1名
R1.09.02	令和元年度 宮城県サービス管理責任者等更新研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R2.10.18	第40回 恵泉会職員研修大会	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員2名
R1.10.28	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.11.08	令和元年度宮城県社会福祉施設職員研修「福祉レクリエーション研修」	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R1.11.19	令和元年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R1.11.29	平成31年度 宮城県認知症介護基礎研修	宮城県社会福祉協議会	大崎市	職員1名
R2.02.17	令和元年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R2.03.03	令和元年度 恵泉会職員フォローアップ研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	2ヶ月に1回	生活相談員1名
サービス会議	利用者の利用状況や行事予定について	月1回	全職員
給食会議	食事に関する事項等	月1回	全職員
運営推進会議	事業報告等	年2回	管理者・生活相談員・事務員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
防災委員会	通報順位や通報訓練について	H31.4.1	全職員
	・通報訓練の振り返り・総合防災訓練について	R1.5.1	全職員
	総合防災訓練について	R1.6.3	全職員
	防災訓練について	R1.7.1	全職員
	防災訓練(火災想定)について	R1.8.1	全職員
	防災訓練(日程調整)について	R1.9.3	全職員
	防災訓練の振り返りと防災教室(防災DVD鑑賞)について	R1.10.1	全職員
	防災教室の振り返りと今後の予定について	R1.11.1	全職員
	不審者対応訓練の振り返りについて	R1.12.2	全職員
	通報訓練(図上)について	R2.1.7	全職員
	通報訓練(図上)の振り返りと緊急時対応用具の確認について	R2.2.3	全職員
研修委員会	今月の反省及び次月のコミュニケーションの研修について	H31.4.26	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の食中毒予防研修について	R1.5.31	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の新任職員研修会復命会について	R1.6.20	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の法令遵守研修について	R1.7.19	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の研修会復命会について	R1.8.19	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のリスクマネジメント研修について	R1.9.27	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の法人研修復命会について	R1.10.21	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の福祉レクリエーション研修復命会について	R1.11.18	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の認知症研修復命会について	R1.12.16	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の身体拘束・プライバシー保護に関する研修について	R2.1.21	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の介護実践研修について	R2.2.21	管理者・生活相談員
今月の反省及び次月のマニュアルの見直しについて	R2.3.31	管理者・生活相談員	
リスクマネジメント委員会	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R1.5.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R1.6.3	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R1.7.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R1.8.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R1.9.3	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R1.10.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R1.11.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R1.12.2	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.1.7	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.2.3	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.3.2	全職員
サービス向上委員会	研修の計画についてとマニュアルの確認について	R1.5.1	全職員
	サービス評価の様式変更と自己評価スケジュールについて	R1.11.1	全職員
	サービス評価の自己評価結果に基づく話し合いについて	R1.12.2	全職員
	サービス評価の自己評価結果まとめとアンケート実施について	R2.1.7	全職員
	第三者委員評価結果とアンケート結果について	R2.2.3	全職員

褥瘡予防検討委員会	状況確認と対応について	R1.5.1	全職員
	状況確認と対応について	R1.6.3	全職員
	状況確認と対応について	R1.7.1	全職員
	状況確認と対応について	R1.8.1	全職員
	状況確認と対応について	R1.9.3	全職員
	状況確認と対応について	R1.10.1	全職員
	状況確認と対応について	R1.11.1	全職員
	状況確認と対応について	R1.12.2	全職員
	状況確認と対応について	R2.1.7	全職員
	状況確認と対応について	R2.2.3	全職員
	状況確認と対応について	R2.3.2	全職員
	感染症対策検討委員会	感染症予防対策について	R1.5.1
感染症予防対策とバルサン散布について		R1.6.5	全職員
感染症予防対策について		R1.7.1	全職員
感染症予防対策とバルサン散布について		R1.8.1	全職員
感染症予防対策と皮膚状況について		R1.9.3	全職員
感染症予防対策と皮膚状況について		R1.10.1	全職員
感染症予防対策とインフルエンザ予防接種について		R1.11.1	全職員
感染症予防対策と加湿器の使用について		R1.12.2	全職員
感染症予防対策とインフルエンザの状況について		R2.1.7	全職員
感染症予防対策と利用者状況について		R2.2.3	全職員
感染症予防と新型コロナウイルスの対策について		R2.3.2	全職員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の現状について	R1.9.2	全職員
	身体拘束の現状について(内部研修実施)	R2.2.3	全職員

【今後の取り組み】

1. 利用者一人ひとりのニーズをとらえ、安全で快適に過ごせる最適なサービスを提供し、選ばれる事業所となる。
2. 地域の方々やボランティアの方々を招き、地域に根ざしたサービス提供を展開し、家族や地域の方々を含めた援助が行えるように努め、地域に貢献出来る事業所を目指す。
3. 家族やケアマネジャーとの連携を密に行い、情報の共有を図り、利用者のしあわせを考えた支援を目指す。
4. 各種研修会や内部研修で専門性を高め、適切な支援を実践に活かし質の高いサービスを提供する。
5. 目標稼働率97%以上を達成する。

2019年度 恵泉会ヘルパーステーション 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人 恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成17年4月15日 |

在宅で医療を受ける人が多くなり、それに伴い、関わる機会も増加している。在宅医療、在宅介護に携わる大きなチームの一員として、ケアマネージャーや訪問看護師など他の職種とも連携を図り、質の高いサービス提供が行えるよう努めた。

また、障害者サービスに於いても、在宅で日常生活をより良く営むことができるよう、自立に向け一人ひとりにあわせた援助を行った。

【 重 点 項 目 】

1. 良質なサービスを提供するために、サービス提供責任者が職員・登録ヘルパーの技術面・意識面においてサービスの質の向上を図るため指導をした。また、現在行っている業務内容等の見直しを行った。
2. 利用者が満足するサービスを提供するため、ケアマネージャーを通して各サービス事業所と連携し、利用者・家族の意向や介護生活の状況などをアセスメントを行い、計画に沿ったサービスを適確に行った。
3. 外部研修へ参加するほか、毎月内部研修を実施し、職員の意識改革と専門性の向上に努めた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 5,195 名
2. 年間稼働日数 366 日
3. 年間平均介護度 2.88 (訪問介護)
- 0.79 (介護予防・日常生活総合事業)

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	50	64	58	67	67	61	65	45	60	72	72	76	757
要介護2	84	100	83	76	75	89	114	111	91	83	105	124	1,135
要介護3	106	79	66	48	47	60	107	119	127	122	113	122	1,116
要介護4	51	50	46	69	48	56	39	50	50	46	50	61	616
要介護5	45	49	71	78	74	69	71	68	71	76	52	32	756
計	336	342	324	338	311	335	396	393	399	399	392	415	4,380
要支援1	16	23	17	36	20	22	30	28	20	20	20	19	271
要支援2	41	41	38	56	60	5	57	52	50	50	45	49	544
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	57	64	55	92	80	27	87	80	70	70	65	68	815
合 計	393	406	379	430	391	362	483	473	469	469	457	483	5,195

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	1	4	3	1	5	1	5	4	0	2	1	28
契約終了者数	1	0	1	2	2	1	1	1	5	1	2	1	18
月末契約者数	134	135	138	139	138	142	142	146	145	144	144	144	+ 10

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,043 名
2. 年間稼働日数 366 日
3. 月別利用状況

(延べ利用者数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	区分1	1	1	1	1	1	4	1	2	1	1	0	15
	区分2	12	19	19	21	19	20	22	18	17	15	17	217
	区分3	14	15	13	18	14	18	24	18	16	17	14	197
	区分4	12	16	12	13	15	12	15	14	15	11	8	156
	区分5	45	9	2	0	0	2	2	0	2	11	10	92
	区分6	28	34	28	34	29	31	33	25	31	32	29	366
	計	112	94	75	87	78	87	97	77	82	87	79	88
合計	112	94	75	87	78	87	97	77	82	87	79	88	1,043

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.26	倫理及び法令の厳守について	職員	職員5名
R1.05.27	緊急時マニュアルの見直しについて	職員	職員5名
R1.06.20	感染症の予防について	職員	職員5名
R1.07.22	登録ヘルパー研修会	職員	登録ヘルパー9名
R1.07.23	介護職にととのえの接遇について	職員	職員5名
R1.08.28	事故発生時及び再発防止について	職員	職員5名
R1.09.24	身体拘束排除の取り組みについて	職員	職員5名
R1.10.25	リスクマネジメントについて	職員	職員5名
R1.11.21	認知症の理解・ケアの基本について	職員	職員6名
R1.12.24	食中毒の予防・蔓延防止について	職員	職員6名
R2.01.20	高齢者・障害者虐待について	職員	職員6名
R2.02.19	登録ヘルパー研修会	職員	登録ヘルパー11名
R2.02.19	介護予防・要介護進行予防について	職員	職員6名
R2.03.24	プライバシーの保護について	職員	職員6名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.05.23	登米市障害福祉サービス事業所職員研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R1.08.06	指定介護サービス事業者集団指導	東部保険福祉事務所	石巻合同庁舎	職員1名
R1.09.25	登米市障害福祉サービス事業所職員研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R1.10.28	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	アエル多目的ホール	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
ケアカンファレンス	契約利用者のサービス状況について	随時	介護福祉士
職員会議	業務に関する課題への対応方策について話し合う	月1回	介護福祉士
スタッフ会議	訪問介護員の技術指導を目的とする	月末	介護福祉士・登録ヘルパー
伝達会議	サービス提供責任者と訪問介護員の情報伝達および報告	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R1.08.21	宮城県登米総合産業高等学校2年	介護科介護実習	1名	1名
R1.08.22	宮城県登米総合産業高等学校2年	介護科介護実習	2名	2名
R1.09.07	宮城県登米総合産業高等学校2年	介護科介護実習	1名	1名
計			4名	4名

【今後の取り組み】

1. 他の職種及び事業所との連携を図り、利用者の必要としているサービスと自立を目指し、満足していただけるサービスが提供できるよう努める。
2. サービス計画書と連動した訪問介護計画書を作成のうえ、訪問介護員にはサービス提供責任者による同行訪問にてより良い指導を行う。また、手順書を作成することで、適切で統一されたサービス提供ができるようにする。
3. サービス提供状況の確認を強化し、質の高いサービスを提供できるよう、積極的に研修会に参加し訪問介護員のキャリアアップに努める。また、登録ヘルパーを積極的に確保・育成しサービス提供の現場に送り出せるようにする。

2019年度 恵泉会介護支援センターいきいき 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成19年4月1日 |

【 重 点 項 目 】

- ・地域包括センターや医療機関、保険者など各関係機関との連携を常に意識し、良好な関係作りができた。

- ・職員一人ひとりが心身共に良好で気持ち良く働ける職場環境づくりに関しては、個々で問題を抱え込まず相談できる体制を強化し、風通しの良い職場環境の構築に努めたことで、一年を通して大きく体調を崩す職員や離職者を出さずに利用者に安定したサービスを提供出来た。

- ・困難事例に関しては、事業所全体での解決に向けた検討を重ねることで一職員に負担がかかり過ぎないような体制が取れた。

- ・対人援助技術の習得に努め、利用者・事業所との良好な関係作りでは、利用者や家族に対しての普段の関わりからの信頼構築に努めた。アンケートでも満足度の高いことが分析でき、苦情も出ていないことから達成できた。

- ・アセスメント、課題分析の充実に関しては、主任介護支援専門員のケアプランチェックや助言でスキルアップを図り、利用者の自立に向けた固有のニーズの引き出しができるようになっている。各自の力量も概ね平均化している。

- ・在宅緩和ケアや認知症・難病等各種疾患についての知識は、研修や伝達会議を通じて事業所全体で共有するよう努めた。実際のケース担当で学ぶことも多く、難しいケースの担当での経験を積むことが、今後も必要と思われる。

- ・計画された事業所内事例検討会や施設内研修の開催、各種外部研修会には意欲をもって参加でき、専門職としての意識向上に繋がっていると思われる。また今年度も、他居宅事業所との合同の事例検討会を2回開催でき、定着してきている。

- ・ターミナルケアマネジメントを継続して積極的に受け入れ事業所加算Ⅳの継続取得ができた。

- ・重度要介護者の積極的な受け入れを行った結果、特定事業所加算Ⅰの継続取得が出来た。

【 利 用 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	89	89	91	86	92	84	85	85	81	80	81	81	1,024
女	219	220	222	220	215	215	212	210	209	209	214	221	2,586
計	308	309	313	306	307	299	297	295	290	289	295	302	3,610

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	55	52	57	57	60	59	56	55	53	51	60	61	676
要介護2	91	91	92	81	77	79	78	80	78	74	76	75	972
要介護3	87	90	85	87	85	81	81	77	71	77	73	77	971
要介護4	46	43	49	45	47	48	50	52	53	54	52	56	595
要介護5	29	33	30	36	38	32	32	31	35	33	34	33	396
計	308	309	313	306	307	299	297	295	290	289	295	302	3,610

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	23	7	9	18	7	8	8	5	6	15	15	4	125
契約終了者数	11	6	12	9	6	10	9	4	10	12	6	10	105

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	54	55	58	55	51	56	54	56	56	54	53	55	657
訪問入浴	23	28	23	26	24	23	24	20	20	20	22	22	275
訪問看護	48	48	48	48	49	46	46	46	47	45	46	47	564
通所介護	196	192	193	188	182	183	176	182	173	175	177	184	2,201
通所リハ	29	28	28	29	25	30	30	30	30	28	26	29	342
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具	204	204	205	204	194	191	193	194	191	187	191	191	2349
短期生活	76	77	78	77	73	80	73	74	73	70	66	74	891
短期療養	10	10	12	10	11	10	9	11	5	7	4	7	106
認知通所介護	3	3	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	31
地密通所介護	46	47	49	50	49	47	45	45	42	41	43	43	547
計	689	692	696	689	660	668	652	661	640	630	631	655	7,963

【認定調査状況】

1. 認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	46	39	40	43	41	40	39	34	53	34	39	44	492

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	2	3	3	3	3	3	4	3	2	2	2	32
要支援2	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	4	5	30
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	4	4	5	6	6	6	7	8	7	6	7	8	74

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予防 対象 件数	迫町	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	中田町	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	南方町	3	3	3	3	3	3	3	5	4	3	4	5	42
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4	4	5	6	6	6	7	8	7	6	7	8	74

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
通所型サービス	3	3	3	5	5	5	6	7	6	5	5	6	59
計	4	4	4	6	6	6	7	8	7	6	6	7	71

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師・事例提供者	参加者
R1.05.15	法令遵守について	介護支援センター施設長心得	10名
R1.06.10	個人情報保護について	東和介護支援センター管理者	10名
R1.07.10	介護支援専門員業務に関するチェックリストについて	サービス向上委員会	11名
R1.09.11	他事業所との合同事例検討会	介護支援センターらくらく職員	11名
R1.11.12	登米市における支援困難ケースの現状等について	登米市長寿介護課・保健師	10名
R1.12.10	事例検討会	介護支援センターいきいき職員	11名
R2.01.10	苦情受付対応、法人苦情解決規程について	マニュアル委員会	10名
R2.02.10	認知症研修	介護支援センターいきいき職員	11名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1. 5. 10 他7日間	令和元年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県 ケアマネジャー協会	宮城県庁他	職員1名
R1. 6. 12 他7日間	令和元年度介護支援専門員専門研修Ⅰ	宮城県 ケアマネジャー協会	宮城県庁他	職員1名
R1.06.25	登米市介護従事者サポート研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員3名
R1.07.10	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	中田農村環境改善センター	職員1名
R1.07.11	地域医療意見交換会	登米市民病院 地域医療連携室	登米市民病院 医療連携センター	職員1名
R1. 7. 16 他3日間	令和元年度介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県 ケアマネジャー協会	宮城県庁	職員4名
R1.08.27	令和元年度介護サービス事業者集団指導	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R1.12.04	地域包括ケア関係者研修会	登米地区地域医療 対策委員会	ホテルニューグランピア	職員2名
R2.02.07	令和元年度介護認定調査員現任研修	登米市福祉事務所	宮城県 登米合同庁舎	職員7名

(3)その他の研修

年月日	内 容	主催者 講師	開催地	参加者
R1.8.26 他2回	令和元年度WJU管理職育成コンサル	恵泉会 WJU(株)	恵泉会研修室	職員1名
R1.10.18	恵泉会職員研修大会・講演会	音楽プロデューサー・メンタルコーチ・著述家 中脇雅裕	水の里ホール	職員7名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
R1.07.09	登米・東和高齢者ネットワーク会議	登米公民館	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【 今後の取り組み 】

新規マネジメントの依頼は月ごとにばらつきがあるが季節の変わり目に増加する傾向が見られる。給付管理件数は他事業所からの紹介も数十件あったもののやや減少がみられている。新規獲得に向け、関係機関との関係作りに努めるとともに、中重度者（要介護3, 4, 5）への継続的なマネジメントを行い、安定した給付管理につなげる。そのために、主任介護支援専門員によるケアプランチェックや相談体制を引き続き整備していく。また、医療依存度の高い利用者や困難ケースの等も増加しているため、各職員の業務量等を把握しながら認定調査件数等を調整するなどし、業務に偏りが出ないようにする。特定事業所加算Ⅰの取得継続のために現在の体制を維持しつつ、特定事業所加算Ⅳ取得のための受け入れ態勢も整備していく。

2019年度 恵泉会介護支援センターらくらく 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成19年4月1日

【 重 点 項 目 】

- ・職員一人ひとりが心身共に健康で、意欲を持って仕事に取り組める職場作りに関しては、職員同士お互いの業務遂行状況に配慮し、業務調整や相談対応が行えたことで、病休者や退職者も出ず、利用者、家族に安定したサービス提供ができた。
- ・対人援助技術の研修で振り返りを行いながら、利用者、家族との信頼関係の構築に努めた。アンケート結果の満足度も高く、苦情等もないことから良好な関係作りが行えていると思われる。
- ・主任介護支援専門員によるケアプランチェックを継続して行うことにより、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで適切に行え、自立に向けた支援にも繋がっている。
- ・各関係機関との連携に関しては、普段の情報交換、研修会等の参加で、知識の習得と共に顔の見える関係作りに繋がり、各サービス提供事業所、地域包括支援センター職員等と連携して支援することができた。
- ・在宅緩和ケア・認知症・難病等各種疾患の知識については、主治医を含め、各関係機関との連携に配慮し利用者個々に対応できているが、軽度者が中心であるため、今後も研修会の参加や事業所での情報共有に努め、さらなる研鑽が必要である。
- ・少ない人数での新規対応、毎週の情報伝達会議と課題はあるが、主任介護支援専門員を中心に支援困難ケースの受け入れ、対応も行え、特定事業所加算Ⅱの算定を継続することができた。
- ・定期的な施設内研修、他事業所共同での事例検討会、研修会を実施することで、マネジメント機能の向上を図ることができたと思われる。

【 利 用 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	41	47	43	43	46	43	44	40	43	42	46	42	520
女	80	82	85	78	83	89	89	91	92	87	90	92	1,038
計	121	129	128	121	129	132	133	131	135	129	136	134	1,558

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	52	52	48	47	48	51	49	49	51	48	48	44	587
要介護2	52	59	57	54	55	52	54	52	51	51	55	56	648
要介護3	10	12	16	15	19	19	20	21	20	19	18	22	211
要介護4	5	4	5	3	5	9	9	7	9	8	12	10	86
要介護5	2	2	2	2	2	1	1	2	4	3	3	2	26
計	121	129	128	121	129	132	133	131	135	129	136	134	1,558

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	9	4	3	4	6	5	4	3	3	4	4	4	53
契約終了者数	1	0	4	2	3	0	2	6	3	4	1	7	33

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	15	15	16	14	16	16	18	19	21	22	22	23	217
訪問入浴	3	3	3	2	3	3	3	3	4	3	4	4	38
訪問看護	5	5	5	5	7	7	8	9	8	8	7	7	81
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	91	93	90	87	92	91	88	87	83	84	84	84	1,054
通所リハ	5	5	5	4	5	5	5	6	6	6	6	6	64
短期生活	23	20	19	19	20	21	24	26	24	26	20	23	265
短期療養	0	0	0	0	0	1	3	2	3	1	1	1	12
福祉用具	58	60	61	59	65	69	72	74	74	74	72	74	812
地域密着通所	19	18	20	22	21	24	23	25	25	26	26	29	278
認知通所介護	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
計	220	221	221	214	231	239	246	253	250	252	244	253	2,844

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	20	20	18	16	18	22	21	17	17	23	16	21	229

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
R1.05.15	法令遵守について	介護支援センターいきいき 施設長心得	全職員
R1.06.10	個人情報保護について	東和介護支援センター 管理者	全職員
R1.07.10	介護支援専門員業務に関するチェックリストについて	サービス向上委員会	全職員
R1.09.11	他事業所との合同事例検討会	介護支援センターらくらく職員	全職員
R1.11.12	登米市における支援困難ケースの現状等について	登米市長寿介護課 保健師	全職員
R1.12.10	事例検討会	介護支援センターいきいき 職 員	全職員
R2.01.10	苦情受付対応、法人苦情解決規程について	マニュアル委員会	全職員
R2.02.10	認知症研修	介護支援センターいきいき職員	全職員

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R1.5.10 他 7日	令和元年度介護支援専門員専門研修Ⅰ	宮城県ケアマネ ジャー協会	宮城県庁他	職員1名
R1.07.11	地域医療意見交換会	登米市民病院 地域医療連携室	登米市民病院 医療連携センター	職員1名
R1.7.16 他3日	令和元年度介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県ケアマネ ジャー協会	宮城県庁	職員1名
R1.08.27	令和元年度介護サービス事業者集団指導	登米市福祉事務 所	登米市役所 南方庁舎	職員1名
R1.12.04	地域包括ケア関係者研修会	登米地区地域医 療 対策委員会	ホテル ニューグランヴィア	職員1名
R2.02.07	令和元年度介護認定調査員現任研 修	登米市福祉事務 所	宮城県登米合同 庁舎	全職員

(3) その他の研修

年月日	内 容	主 催 者・講 師	開 催 地	参 加 者
R1.8.26 他2回	令和元年度WJU管理職育成コンサル	恵泉会 WJU(株)	恵泉会研修室	職員1名
R1.10.18	恵泉会職員研修大会・講演会	音楽プロデューサー・メ ンタルコーチ・著述家 中脇雅裕	水の里ホール	職員3名

2. 会議開催状況

定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

3. 委員会開催状況

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施。サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

職員全員が新規の受け入れを柔軟に行えたため、ケアマネジメント契約数、給付管理件数については前年度と比べ大幅に件数を伸ばすことができた。今後も利用者・家族との信頼関係の構築、各関係機関との関係作りに努め、安定した給付管理に繋がるようにする。また、主任介護支援専門員を中心に資質向上を図り、利用者の身体機能の維持向上に向けた支援を継続し、重度化の予防に繋がられるようにする。職員の健康状態にも配慮しながら、利用者・家族の安定した生活を支えられること、どの職員でも支援困難ケースの受け入れが柔軟に行えることを目標に努力していく。

2019年度 恵泉会東和介護支援センター 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成24年4月1日 |

【 重 点 項 目 】

- ・利用者の自立支援、重度化防止に資するケアマネジメントについてはケアプランチェックや情報伝達会議等をおして利用者個々の抱える問題を検討したり、アセスメント、課題分析のスキルを向上させ、利用者の自立を支援する事ができた。
- ・地域包括ケアシステム構築の為、各関係機関や団体と連携を図り顔の見える関係作りについては、各種研修会への参加等とおし顔の見える関係作りに関心がけた。また、サービス事業所との連携を強化し利用者の状況把握に努め利用者支援ができた。
- ・対人援助技術の習得に努め、利用者・家族との良好な関係を作ることにについては、利用者・家族の気持ちに寄り添うよう相談・支援を心がけてきた。利用者・家族からの苦情はなく、利用者満足度調査アンケートでは満足度が高い結果が得られた。
- ・在宅緩和ケア・認知症・難病等各種疾患の知識を深め、医療・介護の連携・調整を図ることにについては、職員一人ひとりが各種研修会へ積極的に参加し伝達研修を実施し知識の習得に努め、多様なニーズに対応できるようにしてきた。
- ・専門職としての資質の向上については外部研修会参加、施設内研修、情報伝達会議を実施し、専門知識を習得し資質向上に努めてきた。
- ・職員一人ひとりが心身共に健康で気持ちよく働ける事業所の雰囲気を作ることにについては、職員が各々健康管理に努めると共に、働きやすい職場環境を作り病休者や退職者を出さずに業務を行う事ができた。
- ・医療ニーズの高い利用者に対しての支援については、軽度者が多く医療ニーズの高い利用者は少なかったが、日頃から病院との連携を密にし利用者の情報共有に努め対応できるようにしてきた。
- ・他の居宅介護支援事業所と共同し事例検討会や研修会等を実施することについては特定事業所の要件であり、研修委員会を中心に圏域の小規模事業所と共同で事例検討会、研修会を開催し事業所の垣根を越えて共にスキルアップを図る事ができた。

【 利 用 者 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	32	32	33	39	35	36	34	39	40	39	40	41	440
女	75	77	79	81	78	79	83	87	84	81	86	86	976
計	107	109	112	120	113	115	117	126	124	120	126	127	1,416

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	32	29	31	32	33	31	35	39	34	32	36	35	399
要介護2	48	48	53	56	51	54	50	52	55	52	53	51	623
要介護3	15	17	14	17	17	18	19	22	22	23	23	21	228
要介護4	9	12	11	12	9	8	10	9	9	9	10	12	120
要介護5	3	3	3	3	3	4	3	4	4	4	4	8	46
計	107	109	112	120	113	115	117	126	124	120	126	127	1,416

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	4	9	1	4	1	7	3	5	4	2	5	48
契約終了者数	1	3	0	4	3	1	1	2	0	4	2	3	24

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	18	20	19	22	20	21	22	23	26	24	22	23	260
訪問入浴	6	5	5	7	7	5	5	5	5	5	5	7	67
訪問看護	9	9	9	9	9	7	7	7	8	9	9	11	103
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	64	62	65	68	66	66	68	72	74	75	77	76	833
通所リハ	6	6	7	7	7	5	5	5	4	5	6	8	71
短期生活	19	16	20	19	19	21	17	16	18	19	16	20	220
短期療養	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	4
福祉用具	59	64	67	70	67	68	66	68	70	69	69	70	807
認知通所介護	1	1	3	2	2	1	2	2	2	2	3	3	24
地域密着型通所介護	20	21	20	21	22	22	22	23	23	23	22	21	260
計	202	204	215	225	219	216	215	222	230	231	230	240	2,649

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	7	14	22	18	21	19	22	16	17	21	16	22	215

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
要支援2	5	5	5	6	5	6	5	4	3	3	3	3	53
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	6	6	7	6	7	6	5	4	4	4	4	66

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
	東和町	6	5	5	6	5	6	5	5	4	4	4	4	59
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	6	6	7	6	7	6	5	4	4	4	4	66

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	3	3	3	3	3	3	3	2	1	1	1	1	27
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	4	4	4	4	4	4	3	2	2	2	2	39

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	20
通所型サービス	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	31
計	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	51

【利用者サービスの向上】

職員研修実施状況

1. (1) 内部研修

年月日	内 容	講師・事例提供者	参加者
R2.05.15	法令遵守について	恵泉会介護支援センターいきいき 施設長心得	4名
R2.06.10	個人情報保護について	恵泉会東和介護支援センター 職員	4名
R2.07.10	介護支援専門員業務に関するチェックリストについて	サービス向上委員会	4名
R2.09.11	他事業書との合同事例検討会	恵泉会介護支援センターらくらく 職員	3名
R2.11.12	登米市における支援困難ケースの現状等について	登米市長寿介護課保健師	4名
R2.12.10	事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 職員	4名
R2.01.10	苦情受付マニュアル・福祉サービス利用に関する苦情解決策規定について	マニュアル委員会	4名
R2.02.10	認知症について	恵泉会介護支援センターいきいき 職員	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R1.05.14	新任介護認定調査員研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R1.07.11	地域医療意見交換会	登米市民病院	登米市民病院 多目的ホール	職員1名
R1.7.16 ～4日間	介護支援専門員専門研修Ⅱ	宮城県 ケアマネジャー協会	宮城県庁	職員1名
R1.8.22 ～3回	宮城県ケアマネジャー協会登米支部 新任研修会	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	南方庁舎他	職員1名
R1.08.27	令和元年度介護サービス事業者等集 団指導	登米市福祉事務 所	南方庁舎	職員1名
R1.12.04	地域包括ケア関係者研修会	登米市 地域医療対策委 員会	ホテルニューグラ ンピア	職員3名
R2.02.07	令和元年度 介護認定調査員現任研修会	登米市	宮城県登米合同 庁舎	職員4名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開催地	参加者
R1.8.26 ～ 3 回	令和元年度WJU管理職育成コンサル	恵泉会 WJU(株)鈴木真一氏	恵泉会在宅支援棟 研修室	職員1名
R1.10.18	第40回恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米祝祭劇場	職員2名
R2.02.18	令和元年度恵泉会職員フォローアップ	恵泉会	恵泉会在宅支援棟 研修室	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
R1.06.26	東和地区地域ネットワーク会議	東和総合支所	1名
R1.10.23	東和地区地域ネットワーク会議	東和総合支所	1名

3. 委員会開催状況

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
マニュアル委員会	マニュアル・災害時要援護者台帳の作成・見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施・サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員

【今後の取り組み】

2019年度当初はケアマネジメント給付管理件数が落ち込んでいたが、新規契約件数が例年より若干多く、契約終了者が少なかったため年度末には大幅な給付管理件数の増加となった。今後、この給付管理件数を維持していくためには新規利用者の獲得が必要不可欠であり地域に信頼され選ばれる事業所を目指していきたい。

平成31年2月、米谷病院に療養病棟が新設されたことにより医療依存度の高い利用者は医療機関に入院する事がおおく在宅で支援するケースは少ない。しかしながら、地域包括ケアシステムが推進され在宅で看取を希望する利用者が増えてきており、医療機関や、高齢者施設、地域包括支援センター等、医療と介護の連携が重要になってくる。チームケアの重要性を認識しコミュニケーション・調整能力の向上を図り多様なニーズに対応できる専門的な知識を習得する事が求められる。そのため各種研修参加、事業所内研修で職員個々のスキルアップを図り利用者一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援して行きたい。

2019年度 恵泉会とよま介護支援センター 事業報告

【 施 設 概 要 】

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 所 在 地 | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777番地 |
| 2. 設 置 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 3. 経 営 主 体 | 社会福祉法人恵泉会 |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成25年5月1日 |

【 重 点 項 目 】

- ・各職員のスキルアップによる質の高い支援の提供については、主任ケアマネを中心としたケアプランチェックや支援についてのきめ細かい助言を行うことにより、各職員が利用者の自立に向けた質の高い支援を提供できている。
- ・各関係機関や団体との連携については、地域ネットワーク会議への参加や各種相談を受けることで地域への貢献を図っている。
- ・対人援助技術の習得については、利用者と家族に対して常に敬う態度で接することで利用者からの苦情等も無く良好な関係構築ができています。
- ・医療・介護の連携については、各種研修や伝達会議の実施により職員の医療知識を高めることで医療との連携をスムーズに行っている。
- ・専門職としての資質向上については、各種研修会や事例検討会への参加により、各職員が専門職としてのスキルアップにつなげている。
- ・職員の心身の健康については、何でも話しやすい職場作りを心がけ、できるだけストレスを溜め込まないことと、各職員の年休取得にも配慮することで一人の病休者も出さずに事業所の運営ができた。
- ・事業所に対する信頼度については、利用者はもとより関係事業者に対しても懇切丁寧な対応を行うことで、当事業所に対する周囲からの好感度を維持している。
- ・困難ケースへの対応については、担当ケアマネに対して主任ケアマネを中心とした相談・助言の支援を行い、担当ケアマネが問題を一人で抱え込まないようフォローし、事業所全体として困難ケースへの支援に当たっている。

【 利 用 状 況 】

1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	42	44	39	39	41	40	37	39	38	36	36	37	468
女	89	87	88	88	88	92	89	94	90	95	95	94	1,089
計	131	131	127	127	129	132	126	133	128	131	131	131	1,557

2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	42	41	43	41	39	42	40	43	41	42	40	40	494
要介護2	61	62	62	61	63	61	58	59	57	57	60	60	721
要介護3	14	16	15	16	16	17	18	18	18	17	15	15	195
要介護4	10	9	5	6	6	7	5	8	8	9	8	7	88
要介護5	4	3	2	3	5	5	5	5	4	6	8	9	59
計	131	131	127	127	129	132	126	133	128	131	131	131	1,557

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	2	4	5	3	2	6	2	2	1	4	2	36
契約終了者数	1	3	3	0	2	5	2	4	2	3	1	5	31

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	20	19	19	20	18	17	19	20	22	21	22	23	240
訪問入浴	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	5	5	36
訪問看護	14	14	15	11	15	17	18	17	18	21	20	21	201
訪問リハ	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
通所介護	90	94	92	91	90	90	92	88	90	93	91	94	1,095
通所リハ	10	11	11	7	6	6	6	6	6	6	6	6	87
短期生活	14	17	18	17	18	16	16	18	21	18	15	17	205
短期療養	5	2	2	2	4	5	5	6	5	3	3	3	45
福祉用具	75	74	73	74	74	73	74	74	76	74	74	76	891
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地密通所介護	18	18	18	20	19	18	19	18	19	16	17	17	217
計	249	252	252	246	247	245	251	249	260	255	253	262	3,021

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	18	19	15	16	17	22	16	19	19	16	18	20	215

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
H31.04.10	登米市民病院における病棟の種類とその特徴について	恵泉会介護支援センター・いきいき職員	4名
R1.05.15	法令遵守(コンプライアンス)について	恵泉会介護支援センター・いきいき施設長	4名
R1.06.10	個人情報保護について	恵泉会東和介護支援センター職員	4名
R1.07.10	居宅介護支援事業所の介護支援専門員業務に関するチェックリストについて	恵泉会とよま介護支援センター職員	4名
R1.09.11	事例検討会	恵泉会介護支援センター・らくらく職員	4名
R1.11.12	登米市における支援困難ケースの現状について	登米市長寿介護課保健師	3名
R1.12.10	事例検討会	恵泉会介護支援センター・いきいき職員	4名
R2.01.10	苦情受け付け対応マニュアル・福祉サービス利用に関する苦情対策規定	恵泉会介護支援センター・らくらく職員	4名
R2.02.10	認知症について	恵泉会介護支援センター・いきいき職員	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R1.06.12～07.09	令和元年度介護支援専門員専門研修 I	宮城県ケアマネジャー協会	東北福祉大学仙台駅東ロキヤンパス宮城県庁	職員1名
R1.06.25	令和元年度登米市介護従事者等サポート研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R1.08.27	令和元年度介護サービス事業者集団指導	登米市福祉事務所	登米市南方庁舎	職員1名
R1.12.04	地域包括ケア関係者研修会	登米地区地域医療対策委員会	ホテルニューグランヴィア	職員1名
R2.02.07	令和元年度介護認定調査員現任研修	宮城県東部保健福祉事務所	登米合同庁舎	職員4名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主 催 者・講 師	開 催 地	参 加 者
R1.10.18	第40回恵泉会職員研修大会	音楽プロデューサー・メンタルコーチ・著述家中脇雅裕氏	登米祝祭劇場	職員2名
R1.08.26	令和元年度WJU管理職育成コンサル	WJU(株)鈴木真一氏	恵泉会在宅サービス支援棟研修室	職員1名
R1.11.19				
R2.02.17				

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長心得以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内容	開催地	出席者
R1.07.09	登米地区地域ネットワーク会議	登米公民館	佐々木 淳
R1.11.12	登米地区地域ネットワーク会議	登米公民館	千葉 すみ江

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	出席者
研修委員会	施設内研修開催に向けた企画立案と調整	毎月1回	2名
マニュアル検討委員会	業務標準化に向けたマニュアルの作成と見直し	毎月1回	1名
サービス向上委員会	サービス向上に向けた自己評価と改善の検討	毎月1回	1名

【今後の取り組み】

今年度の給付状況としては、月平均129件の給付件数となっており、前年度より月平均5件ほどの増加となっている。新規依頼数に関しては大きな伸びはなく、既存利用者が減らなかったことが給付件数の伸びにつながった。新規利用者の獲得は事業所運営に欠くことのできない要素であるため、今後も包括支援センターや地域住民、地域病院等への継続的なアプローチを行い、新規利用者の安定確保につなげていく必要がある。

職員のスキルアップに関しては、常に各職員の接遇対応やケアマネジメントに関する資質向上に取り組んでおり、アンケート結果からも読み取れるように利用者からの評価も良好な状況であった。しかし、利用者側の利用者意識が年々高まっている状況にあり、ケアマネジャーに求められるニーズも増加傾向にあることから、今後も各職員のスキルアップを図りながら円滑なケアマネジメントの展開につなげることが重要となる。

医療との連携については、各職員の医療知識や連携に関するスキルが向上していることもあり、大きなトラブルなく連携対応が図られている。しかし、医療機関によって独特の対応を迫られるケースもあり、今後も十分な配慮が必要である。

ケアマネジャーの資質向上は国から必須命題として求められており、今後は事業所の収入アップにも必要不可欠な条件となる。今後も各職員の自己研鑽と、事業所としての努力を続け、利用者からの信頼確保と事業所の安定経営につなげていかなければならない。

2019年度 登米市迫地域包括支援センター 事業報告

【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
2. 設 置 主 体 登米市
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成18年4月1日

【 利 用 状 況 】

1. 相 談 事 業

(1) 形態別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	45	55	66	68	93	60	56	48	54	50	61	108	764
来所	26	39	34	27	29	34	29	22	31	30	30	33	364
訪問	195	214	211	241	171	221	232	228	220	203	194	163	2,493
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	266	308	311	336	293	315	317	298	305	283	285	304	3,621

(2) 相談者別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	228	240	243	264	208	227	260	253	246	229	216	247	2,861
家族	18	40	26	36	49	31	24	12	20	22	25	28	331
ケアマネ	9	10	20	7	13	18	8	10	7	12	13	9	136
サービス事業所	3	2	2	4	2	3	1	1	3	3	1	3	28
医療機関	2	6	7	5	7	7	1	6	15	1	3	3	63
民生委員・区長	6	3	6	3	2	2	2	0	3	4	9	4	44
社協	0	0	1	1	1	18	3	1	0	0	0	0	25
行政関係	0	8	3	11	5	6	8	16	4	8	5	11	85
その他	3	0	3	5	6	3	10	5	7	4	13	3	62
計	269	309	311	336	293	315	317	304	305	283	285	308	3,635

(3) 内容別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談	サービス利用	43	63	85	75	71	52	56	45	74	46	56	75	741
	実態把握	8	14	4	13	7	32	12	20	9	10	7	5	141
	認知症関係	7	4	2	3	8	1	5	4	3	4	3	14	58
	その他	0	4	1	0	0	1	0	4	0	0	2	2	14
権利擁護	虐待関係	1	3	2	1	1	1	1	7	0	0	4	1	22
	成年後見関係	0	0	1	0	1	2	1	1	0	1	3	0	10
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防 ネット	要支援・事業対象者	202	213	212	231	204	209	231	215	208	210	194	206	2,535
	福祉サービス	0	5	1	10	0	1	8	0	8	8	16	0	57
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続的 ケア・ トマ	ケアマネジメント支援	5	2	3	3	1	16	3	2	3	4	0	1	43
	困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		266	308	311	336	293	315	317	298	305	283	285	304	3,621
予防 給付 関係	給付管理件数	172	173	177	179	180	179	185	185	185	185	182	180	2,162
	(内委託件数)	15	15	16	18	19	19	23	19	19	15	16	16	210
計		172	173	177	179	180	179	185	185	185	185	182	180	2,162

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31. 4. 2	新任者研修	管理者	職員1名
R 1. 8. 26	管理職育成コンサル・マネジメントミーティング	WJU	職員1名
R 1.10.18	令和元年度第40回恵泉会職員研修大会	中脇雅谷	職員4名
R 1.11.19	管理職育成コンサル・マネジメントミーティング	WJU	職員1名
R 2. 2. 17	管理職育成コンサル・マネジメントミーティング	WJU	職員1名
R 2. 2. 27	法令遵守研修	管理者	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H31. 4. 16	平成31年度宮城県地域包括支援センター職員等基礎研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R 1. 5. 21	平成31年度宮城県地域包括支援センター職員等基礎研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R 1. 6. 19	令和元年度第1回登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R 1. 6. 21	令和元年度宮城県介護予防のための地域ケア個別会議推進研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R 1. 6. 25	令和元年度登米市介護従事者等サポート研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R 1. 7. 11	登米市民病院医療連携意見交換会	登米市民病院	登米市民病院	職員1名
R 1. 7. 17	令和元年度第2回登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R 1. 7. 25	認知症サポーター活動促進「チームオレンジ」説明会	全国キャラバン・メイト連絡協議会	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
R 1. 7. 30	令和元年度登米市地域包括支援センター職員研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R 1. 7. 30	令和元年度「福祉関係者・市町村担当者」のための成年後見制度活用講座	令和元年度登米市地域包括支援センター職員研修会	ハーネル仙台	職員1名
R 1. 8. 21	令和元年度第3回登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R 1. 9. 18	令和元年度第4回登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R 1. 9. 20	令和元年度宮城県認知症キャラバン・メイト養成講座	宮城県	大崎合同庁舎	職員1名
R 1. 9. 24	令和元年度依存症関連問題研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R 1.10. 4	令和元年度宮城県地域包括支援センター職員基礎研修会	宮城県	宮城県庁	職員1名
R 1.10. 4	令和元年度登米市生活支援体制整備事業迫圏域研修会	登米市社協	迫町北方公民館	職員1名
R 1.10.16	令和元年度第5回登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R 1.10.23	令和元年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット	仙台弁護士会館	職員1名
R 1.11. 8	令和元年度宮城県認知症地域ケア推進研修会	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
R 1.11.11	自立支援を進めるためのアドバイザー研修会	登米市	登米合同庁舎	職員2名
R 1.11.19	令和元年度第2回宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議情報交換会	宮城県	ホテルサンシャイン佐沼	職員1名
R 1.12. 4	地域包括ケア関係者研修会	登米地区地域医療対策委員会	ホテルニューグランヴィア	職員1名
R 1.12.18	自立支援を進めるためのアドバイザー研修会	登米市	登米合同庁舎	職員2名
R 1.12.23	宮城県介護予防のための地域個別会議司会者養成研修会	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
R 2. 1. 22	令和元年度第6回登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員4名
R 2. 1. 28	令和元年度第2回登米市地域包括支援センター職員研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R 2. 2. 19	令和元年度第7回登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R 2. 2. 26	令和元年度アルコール問題等研修会	宮城県	登米市米山農村環境改善センター	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
登米市地域包括支援センター会議	業務連絡・確認、活動状況報告、研修	第3水曜日	管理者他2名輪番による
迫地区民生委員児童委員協議会定例会	業務連絡・確認、活動状況報告、相談	第3木曜日	管理者他1名輪番による

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
H31. 4. 9	経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H31. 4.23	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
H31. 4.25	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
H31. 4.26	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R 1. 5. 7	関係者調整会議	南方庁舎	職員1名
R 1. 5.18	癒しの音楽カフェ	津山公民館	職員2名
R 1. 5.20	はさま元気応援研修会の打ち合わせ	迫総合支所内	職員1名
R 1. 5.23	デイサービスきりり運営推進会議	デイサービスきりり	職員1名
R 1. 5.24	関係者調整会議	カーサにしき	職員1名
R 1. 5.27	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名
R 1. 5.30	認知症初期集中支援チーム員会議	登米市民病院	職員3名
R 1. 6.13	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R 1. 6.14	登米市集いの場づくり介護予防事業打ち合わせ	登米保健所	職員2名
R 1. 6.14	デイサービスさくらんぼクラブ運営推進会議	デイサービスさくらんぼクラブ	職員1名
R 1. 6.18	令和元年度登米市生活支援体制整備事業第二層協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名
R 1. 6.26	はさま元気応援研修会の打ち合わせ	迫総合支所内	職員2名
R 1. 6.29	介護職員初任者研修	迫風園	職員1名
R 1. 7. 8	講話(大網東行政区福寿会)	大網東共栄館	職員3名
R 1. 7. 9	介護職員初任者研修	迫風園	職員1名
R 1. 7.11	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R 1. 7.13	癒しの音楽カフェ	みんなの家	職員2名
R 1. 7.22	認知症初期集中支援チーム員会議	登米市民病院	職員2名
R 1. 7.26	関係者調整会議	迫包括事務所内	職員1名
R 1. 8. 1	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名
R 1. 8. 2	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R 1. 8. 9	はさま元気応援研修会の打ち合わせ	迫総合支所内	職員2名
R 1. 8.20	迫老連女性部研修会	北方公民館	職員2名
R 1. 8.23	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R 1. 8.27	令和元年度介護サービス事業者等集団研修	南方庁舎	職員2名
R 1. 8.29	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R 1. 9. 4	関係者調整会議	迫総合支所内	職員1名
R 1. 9. 9	集いの場づくり介護予防事業	大網東共栄館	職員2名
R 1. 9. 9	生活圏域地域ケア会議	迫公民館	職員3名
R 1. 9.13	関係者調整会議	南方庁舎	職員1名
R 1. 9.18	グループホームあんど運営推進会議	迫総合支所内	職員2名
R 1. 9.24	はさまデイサービス運営推進会議	はさまデイサービス	職員1名
R 1. 9.25	癒しの音楽カフェ	石森ふれあいセンター	職員2名
R 1. 9.26	大錦デイサービス運営推進会議	大錦デイサービス	職員1名
R 1. 9.26	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R 1. 9.26	認知症地域推進会議	南方庁舎	職員1名
R 1. 9.27	迫圏域協議体説明会	迫老人福祉センター	職員1名
R 1. 9.27	デイサービスこころ運営推進会議	デイサービスこころ	職員1名
R 1.10. 3	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R 1.10. 8	あんどデイ(ケアサービス・スポーツ・まめスポ)運営推進会議	迫公民館	職員1名
R 1.10.17	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R 1.10.24	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R 1.10.25	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R 1.10.28	癒しの音楽カフェ打ち合わせ	登米総合産業高等学校	職員2名
R 1.10.29	関係者調整会議	迫総合支所内	職員1名
R 1.10.29	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名

R 1.11. 1	はさま元気応援研修会打ち合わせ	迫総合支所内	職員2名
R 1.11.12	はさま元気応援研修会	迫公民館軽運動場	職員2名
R 1.11.12	講話(北方小学校)打ち合わせ	北方小学校	職員2名
R 1.11.14	講話(登米総合産業高等学校)打ち合わせ	登米総合産業高等学校	職員2名
R 1.11.16	癒しの音楽カフェ	迫風園	職員2名
R 1.11.19	北方小学校福祉体験研修会	北方小学校	職員2名
R 1.11.21	デイサービスきらり運営推進会議	デイサービスきらり	職員1名
R 1.11.21	関係者調整会議	南方庁舎	職員1名
R 1.11.25	はさま元気応援研修会打ち合わせ	迫総合支所内	職員2名
R 1.11.26	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名
R 1.12. 2	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R 1.12. 5	癒しの音楽カフェ打ち合わせ(登米総合産業高等学校)	迫総合支所内	職員2名
R 1.12. 9	生活圏域地域ケア会議	迫公民館	職員3名
R 1.12.11	経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
R 1.12.11	デイサービスひなたぼっこ運営推進会議	デイサービスひなたぼっこ	職員1名
R 1.12.12	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R 1.12.20	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R 1.12.20	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R 1.12.24	生活圏域地域ケア会議	迫総合支所内	職員2名
R 1.12.25	関係者調整会議	迫総合支所内	職員1名
R 1.12.26	関係者調整会議	南方庁舎	職員1名
R 2. 1. 8	関係者調整会議	南方庁舎	職員1名
R 2. 1. 9	はさま元気応援研修会反省会	迫総合支所内	職員1名
R 2. 1.15	癒しの音楽カフェ	石越公民館	職員2名
R 2. 1.16	講話(登米市の福祉サービスについて)	迫老人福祉センター	職員2名
R 2. 1.20	地域福祉人材育成研修実施の打ち合わせ	登米総合産業高等学校	職員2名
R 2. 1.23	介護予防教室	品の浦生活センター	職員2名
R 2. 1.28	地域福祉人材育成研修「癒しの音楽カフェ」in登米総合産業高等学校	登米総合産業高等学校	職員2名
R 2. 1.28	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名
R 2. 2. 7	登米市生活支援体制整備事業第3回協議体合同会議	迫老人福祉センター	職員1名
R 2. 2.14	地域福祉フォーラム	登米公民館	職員1名
R 2. 2.18	あんデイ(ケアサービス・スポーツ)運営推進会議	あんデイケアサービス・あんデイスポルト	職員1名
R 2. 2.25	デイサービスにしだて運営推進会議	デイサービスにしだて	職員1名
R 2. 2.25	経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
R 2. 2.26	令和元年度地域包括支援センター事業評価	迫総合支所内	職員1名
R 2. 2.27	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R 2. 2.27	グループホームはさま運営推進会議	グループホームはさま	職員1名
R 2. 3. 6	デイサービスさくらんぼクラブ運営推進会議	デイサービスさくらんぼクラブ	職員1名
R 2. 3. 6	迫地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R 2. 3.24	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名

2019年度 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと 事業報告

【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777
 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
 4) 開 設 年 月 日 平成28年2月1日
 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
サービス付き高齢者向け住宅	36 名
計	36 名

開設して4年が経過し、入居者の皆さまも恵はあとでの生活に慣れ、心身ともに安定し、入居者同士の交流も深まってきました。自由に外出をしたり、部屋では家事や趣味など、それぞれの生活スタイルで生き生きと過ごしております。ホールにはキッズつぼみの子供たちを眺めにくる姿、談話室ではお茶のみをしながら会話を楽しんでいる姿がありました。自主的に入居者同士で行事を企画実施し、外食をするなど自らの生活の喜びを見つけているようでした。一方で、年齢を重ねるにつれ、薬の管理やひとりでの通院等が難しくなってきた入居者も数名出ており、外部サービスや訪問診療等の利用も増えてきました。恵はあと職員がヘルパーステーションの兼務となり、一部ではありますが、洗濯や清掃のサービスに入るなどし、恵はあとに安心して長期間住むことができるように努めてきました。また、常勤職員を減らし、パート職員を増やすことで経営状況の改善にも努めました。

1. 入居者の自主性の尊重

入居者ひとり一人のライフスタイルが確立しており、その生活スタイルを把握しながら、個々に応じた距離感を持ち、自宅と同じように周囲に気を使わず自由な生活を送って頂くように配慮した支援に努めてきました。入居者の身体状況や生活スタイルも様々で、ニーズの多様化がありました。運営懇談会やアンケートの意見、入居者の声を反映し、訪問販売の回数を検討したり、タクシーや理美容の手配、地域活動への参加の協力、環境整備などの支援をしてきました。

2. 健康の保持

入居者においては外出等外部との接触の機会が多く、インフルエンザ等の感染症は避けたい状況にあるため、電解水を使用し、室内の湿度・温度の管理、健康教室を開催し予防の啓発に努めることで、インフルエンザ・胃腸炎の発生には至らず安定した日々を送って頂きました。最近では新型コロナウイルスの感染予防として、棟内消毒や入居者への注意喚起に努めました。また、入居者より体不調の訴えがあった場合には、血圧や体温を測定し、健康観察をするなどご家族へ連絡や必要に応じて救急車の要請など迅速な対応に心がけました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 12,055 名
 2. 年間稼働率 91.49 %
 3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立	240	248	240	248	239	210	217	210	217	217	203	217	2,706
要支援1	144	130	120	124	93	90	93	90	93	93	87	93	1,250
要支援2	136	186	180	186	193	216	248	240	248	248	174	186	2,441
要介護1	240	248	294	334	310	300	285	248	276	279	261	279	3,354
要介護2	180	186	180	155	195	186	217	210	158	155	174	186	2,182
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	29	31	122
計	940	998	1,014	1,047	1,030	1,002	1,060	998	1,023	1,023	928	992	12,055

4. 入退居所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入居者数	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	5
退去者数	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	5
月末入居者数	32	33	34	32	33	35	33	33	33	32	32	32	± 0

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R01.10.22	虐待防止について	介護支援センターとよま管理者	5名
R01.11.14	認知症について	職員	3名
R02.01.18	コンプライアンスについて	管理者	3名

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H31.04.17	消防設備の取り扱い研修	外部講師	3名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R01.08.07	有料老人ホーム集団指導	宮城県	宮城県自治会館	管理者

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
スタッフ会議	入居者の状況、業務内容の検討	月1回	管理者・生活相談員
ケアカンファレンス	入居者の状況について	随時	管理者・生活相談員

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
H31.04.12	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・生活相談員
R1.05.18	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・生活相談員
R01.08.11	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・生活相談員
R01.08.30	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	管理者・生活相談員
R01.02.26	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	看護師・管理者・生活相談員

R01.09.26	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員
R02.02.13	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
マニュアル検討委員会	各種マニュアルの整備	随時	管理者・生活相談員
研修委員会	職員の資質の向上を図るよう、施設内研修実施の企画調整を行う	随時	管理者・生活相談員
サービス向上委員会	入居者アンケートの実施	随時	管理者・生活相談員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R01.09.09	聖和短期大学	施設見学	6名

【今後の取り組み】

1. 入居者も年齢を重ねるにつれ、要介護度が上がってくる方が見られております。ご本人、ご家族、担当ケアマネジャーとも相談をしながら、必要に応じて外部サービスとも連携をするなどし、安心して長期間住むことができるようにすすめていきます。
2. 地震や火災などの災害に備えた避難訓練や防災教室開催等により、自助・共助・公助のそれぞれの仕組みづくりなど、サービス付き高齢者向け住宅の防災・避難について探りながら実践していきます。
3. 感染症予防について、国や県からの情報や指示のもと、職員は対応をし、入居者・家族・関係機関にご理解をいただけるように説明をし、感染予防対策を行っていきます。

2019年度 恵泉会 若生園居住棟 新築事業報告

1. 整備の概要

これまで若生園利用者が生活していた建物は、昭和60年度に建築し33年の月日が流れました。

その建物は、当時の古い基準での適合で整備されていることから、居室等は利用者一人あたり面積3.3㎡以上であればよいとされ（現行法の障害者総合支援法による居室の設備基準は9.9㎡であることから、比較すると3分の1程度の面積の居室環境で暮らしています）、大変手狭な設えです。

また近年、利用者の重度高齢化は顕著（平均障害支援区分4.66）であり、自力歩行が難しい利用者、常に車椅子を使用して生活する利用者も多く、そのため居室には介護用ベット等を備えるため狭小となっています。

更に1居室の定員が4名 or 5名（多数室）であることから、個々のプライバシーの確保等は困難であり、決して良い環境ではありません。

そのため、利用者ひとり一人の人権を重んじその人が充実した生活が送られるよう、また快適な住まいと日中の活動や余暇等が満たす環境を整え、個室化を整備し、そして安心して暮らせる空間と共生の場を整備する目的で、このたび「若生園居住棟」を新築、新しい住環境を整備いたしました。

2. 整備にかかる事業内容

1. 名称及び種類 若生園居住棟新築工事(創設)
2. 所在地 宮城県登米市東和町米川字西綱木6番1、同5番
3. 敷地面積 9,566.22㎡ 2筆 (恵泉会自己所有地)
4. 入所定員 54名(長期50名+短期4名)
5. 建物構造 鉄骨造ガルバリウム鋼板葺2階建 ・エレベーター設備
6. 建物面積 延2,003.13㎡(建築確認検査証の面積)
居室54室、エントランスホール2箇所、支援員室2室、エレベーター2室、階段2箇所、キッチン室2室、食品庫2室、トイレ洗面室2室、収納リネン室2室、リビングダイニング4箇所、相談スペース2箇所、消火ポンプ室1箇所、廊下等
外部非常階段2箇所、非常用スロープ2箇所等
7. 補助金等 平成30年度社会福祉施設等施設整備事業補助金
8. 補助金等 305,600,000円

9. 事業費等	◇本体工事	750,600,000円
	◇外構工事	17,064,000円
	◇植栽工事	3,500,000円
	計	771,164,000円 (税込)
	◇建物等設備費	8,514,000円 (税込)
	・人感セキュリティシステム (1式)	
	・オゾン脱臭処理設備 (1式)	
	・登米市水道設備 (1台)	
	◇備品等設備費	28,832,000円 (税込)
	・家庭用電化製品 (32台)、介護ベッド (22台)、家具カーテン (一式)、厨房器具備品 (一式)、パソコン (4台)、電話設備 (一式)、防犯カメラ設備 (一式)、勤怠管理備品 (一式)	
	◇建物設計監理費	31,104,000円 (税込)
	・新築基本設計業務及び実施設計業務 (一式)	
	・工事監理業務 (一式)	
	◇地質調査費	2,862,000円 (税込)
	◇建築確認・検査費等	833,000円 (税込)
	・建築検査確認申請料、建築物基準適合検査料、構造計算適合性判定料	
	<u>合計</u>	<u>843,309,000円 (税込)</u>

10. 施工期間等

○建築工事

- (1) 公告した日 平成30年 7月10日
- (2) 入札実施日 平成30年 7月30日 (条件付き一般競争入札)
※落札候補者の資格審査書類審査において落札者を決定
- (3) 請負業者名 (株)太田組 (登米市)
- (4) 契約年月日 平成30年 8月 1日 締結
- (5) 着工年月日 平成30年 8月 2日
- (6) 完成年月日 平成31年 4月19日

○設計監理業務

- (1) 業務委託業者名 関・空間設計株式会社 (仙台市)
- (2) 業務委託期間
- | | | | | | | | |
|--------|-------|----|----|---|-------|----|-----|
| 実施設計業務 | 平成30年 | 4月 | 4日 | ～ | 平成30年 | 6月 | 30日 |
| 工事監理業務 | 平成30年 | 8月 | 1日 | ～ | 平成31年 | 4月 | 26日 |

2 0 1 9 年 度

特別養護老人ホーム萩風園ロボット等介護機器導入支援事業報告

萩風園は、介護ロボット導入による介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など介護職員が継続して就労するための環境整備を図り、また利用者の高齢・重度化が進んでいることから、介護職員の精神的・身体的な負担をできる限り軽減し、組織的に安定した介護サービスを提供するため見守り介護ロボットを設置しました。

1. 名 称 特別養護老人ホーム萩風園 ロボット等介護機器導入支援事業

2. 場 所 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-4

特別養護老人ホーム萩風園

3. 整備機器の内容

(1) 眠りSCAN NN-1520 (センサーマット及び接続機器) 10台

(2) 16ポートPoE 給電 HUB 1式

(3) 介護用アクセスポイント 6個

4. 事業費等 1,782,000円

(うち補助金対象額 1,155,000円)

5. 財 源 令和元年度ロボット等介護機器導入支援事業補助金

577,000円

6. 施行期間等

(1) 通知した日 令和2年 1月22日 (随意契約・見積もり合わせ) 4者指名

(2) 見積合わせ日 令和2年 1月31日 ※見積書持参 4者応札

(3) 契約業者 日本パック・リハビリ株式会社 (仙台市)

(4) 契約年月日 令和2年 2月 4日 締結

(5) 納品年月日 令和2年 2月21日

2019年度 ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告

【法人総括】

①ヒヤリハット・軽微・事故

事故分類	ヒヤリハット	軽微	事故	合計	割合
転倒	37	182	31	250	19.4%
転落	41	177	11	229	17.7%
誤嚥	2	8	4	14	1.1%
異食	6	13	0	19	1.5%
加害行為	1	21	0	22	1.7%
器物破壊	5	7	11	23	1.8%
投棄ミス	16	31	18	65	5.1%
施設外飛び出し	11	23	21	55	4.3%
送迎・訪問	5	6	10	21	1.6%
設備不良	0	2	0	2	0.2%
連絡ミス	0	4	7	11	0.9%
自傷	1	18	0	19	1.5%
介護・支援ミス	20	136	8	164	12.7%
食事提供ミス	14	22	4	40	3.1%
その他	45	276	32	353	27.4%
原因不明	0	0	0	0	0.0%
合計	204	926	157	1287	100.0%

②苦情処理

	苦情処理
合計	5

I. 受付方法

来所	1
電話	3
訪問	0
文書	0
その他	1
計	5

II. 苦情の分類

ケアの内容	1
個人の嗜好・選択に係わる事項	0
財産管理(遺産・遺言)	1
その他	3
(施設での転倒事故に関する苦情)	(1)
(他入居者に関する苦情)	(1)
(連絡ミスに関する苦情)	(1)
計	5

III. 第三者委員関連(申出人の希望)

	要	否
第三者委員への報告の要否	0	5
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会い要否	0	5